

平成 19 年度

事業実績及び主要施策成果説明書

小 布 施 町

地方自治法第 233 条第 5 項の規定により、平成 19 年度決算に係る主要施策  
成果説明書を次のとおり提出する。

平成 20 年 9 月 8 日

小布施町長 市 村 良 三

## 目 次

1. はじめに	1
2. 平成19年度決算の概要	1
3. 平成19年度会計別歳入歳出決算の状況	2
4. 普通会計決算の状況	3
普通会計決算状況調書（決算カード）	9
5. 平成19年度重点施策の成果・概要	11
6. 会計別決算概要	
I 一般会計	15
歳入	18
歳出	
款1 議会費	30
款2 総務費	33
項1 議会費	55
項1 総務管理費	56
項2 徴税費	58
項3 戸籍住民基本台帳費	60
項4 選挙費	61
項5 統計調査費	63
項6 監査委員費	88
款3 民生費	95
項1 社会福祉費	96
項2 児童福祉費	108
項3 災害救助費	114
款4 衛生費	127
項1 保健衛生費	128
項2 環境保全費	137
款5 農林水産業費	138
項1 農業費	144
項2 林業費	147
款6 商工費	149
款7 土木費	156
項1 土木管理費	157
項2 道路橋梁費	160
項3 河川費	162
項4 都市計画費	165
項5 まちづくり費	167
項6 住宅費	168
款8 消防費	183
項1 消防費	186
款9 教育費	188
項1 教育総務費	224
項2 小学校費	227
項3 中学校費	229
項4 幼稚園費	234
項5 社会教育費	238
項6 保健体育費	243
項7 給食センター費	243
款10 公債費	189
項1 公債費	203
II 国民健康保険特別会計	208
III 老人保健特別会計	224
IV 介護保険特別会計	227
V 同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計	229
VI 霊園事業特別会計	234
VII 下水道事業特別会計	238
VIII 農業集落排水事業特別会計	243
IX 水道事業会計	243
7. 第四次総合計画・後期基本計画評価指標の達成度	243

## 1. はじめに

本説明書（事業実績及び主要施策成果説明書）は、地方自治法第233条第3項の規定に基づき、町長が決算を議会の認定に付すにあたり、同法同条第5項の規定により施策の成果を説明するものです。

一般会計ほか8会計の各決算概要および総務省地方財政状況調査基準に基づく普通会計（一般会計、同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計、霊園事業特別会計の各特別会計の合計額から会計相互間の重複額等を控除したもの）の決算概要とそれらの平成19年度の主要な施策の成果について取りまとめたものです。

なお、予算科目区分と施策の目的、成果をよりわかりやすくするため、成果を示す事業の区分については、原則として「平成19年度小布施町予算事業説明書 ここに使います ことしの予算！」にあわせて作成しています。

## 2. 平成19年度決算の概要

平成19年度各会計歳入歳出決算の状況は、「3. 平成19年度 会計別歳入歳出決算の状況」のとおりとなっています。

普通会計をみると、平成19年度は基幹歳入である地方税が、制度改正により前年度に比べて1億4,108万2千円（前年比14.2%）の増となり、前年度に引き続き増額となりました。また、普通交付税は人口と面積を基本とした簡素な算定方法（新型交付税）の影響により1,640万7千円の増額、特別交付税についても2,436万7千円の増額となりました。

地方債は、前年度より1億4,232万3千円（40.2%）の減額となりました。これは、学校教育施設等整備事業債の減（△3,940万円）、災害復旧事業債の減（△3,130万円）、地域総合整備資金貸付事業債の減（△3,000千円）によるものです。この結果、平成19年度末の普通会計の地方債残高は51億9,895万5千円となりました。

さらに、歳出を性質別にみると、義務的経費のうち人件費は前年度より3,246万1千円（4.5%）の減額となりました。扶助費は前年度より2,348万7千円（8.5%）、公債費は公的資金補償金免除繰上償還により965万4千円（1.3%）の増額となりました。また、維持補修費は1,363万3千円（31.9%）の増額、繰出金は4,714万1千円（8.4%）の減額、物件費は1,657万1千円（2.5%）の増額となりました。

歳出を目的別に分析すると、総務費が1億4,658万3千円（36.1%）、教育費が3,408万5千円（7.0%）の増額、衛生費が1億6,937万5千円（45.6%）、土木費が4,059万6千円（6.7%）の減額となりました。

また、自然災害のあった平成18年度に比べ、災害復旧費が1億466万8千円の減（皆減）となっています。

### 3. 平成19年度 会計別歳入歳出決算の状況

(単位：千円)

会計名	年度	歳入総額	歳出総額	歳入歳出差引	繰越財源	実質収支	単年度収支
一般会計	平成19年度	4,244,917	3,956,520	288,397	52,565	235,832	△ 46,929
	平成18年度	4,429,484	4,137,171	292,313	9,552	282,761	150,904
	差引	△ 184,567	△ 180,651	△ 3,916	43,013	△ 46,929	△ 197,833
国民健康保険特別会計	平成19年度	1,092,930	1,026,113	66,817	0	66,817	3,758
	平成18年度	1,081,295	1,018,236	63,059	0	63,059	27,883
	差引	11,635	7,877	3,758	0	3,758	△ 24,125
老人保健特別会計	平成19年度	1,064,392	1,064,380	12	0	12	△ 4
	平成18年度	1,093,573	1,093,557	16	0	16	16
	差引	△ 29,181	△ 29,177	△ 4	0	△ 4	△ 20
介護保険特別会計	平成19年度	718,336	675,311	43,025	0	43,025	△ 5,775
	平成18年度	658,304	608,372	49,932	1,132	48,800	43,213
	差引	60,032	66,939	△ 6,907	△ 1,132	△ 5,775	△ 48,988
同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計	平成19年度	3,462	3,462	0	0	0	△ 10
	平成18年度	8,479	8,469	10	0	10	△ 6
	差引	△ 5,017	△ 5,007	△ 10	0	△ 10	△ 4
霊園事業特別会計	平成19年度	4,165	223	3,942	0	3,942	1,369
	平成18年度	2,753	180	2,573	0	2,573	505
	差引	1,412	43	1,369	0	1,369	864
下水道事業特別会計	平成19年度	714,372	713,615	757	0	757	△ 152
	平成18年度	524,730	523,615	1,115	206	909	△ 597
	差引	189,642	190,000	△ 358	△ 206	△ 152	445
農業集落排水事業特別会計	平成19年度	49,834	49,043	791	0	791	668
	平成18年度	63,114	62,991	123	0	123	△ 1,109
	差引	△ 13,280	△ 13,948	668	0	668	1,777
計	平成19年度	7,892,408	7,488,667	403,741	52,565	351,176	△ 47,075
	平成18年度	7,861,732	7,452,591	409,141	10,890	398,251	220,809
	差引	30,676	36,076	△ 5,400	41,675	△ 47,075	△ 267,884

水道事業会計 (収益的収支)	平成19年度	222,665	185,750	36,915	/
	平成18年度	227,917	193,524	34,393	
	差引	△ 5,252	△ 7,774	2,522	
水道事業会計 (資本的収支)	平成19年度	3,959	141,539	△ 137,580	
	平成18年度	7,298	76,703	△ 69,405	
	差引	△ 3,339	64,836	△ 68,175	

#### 4. 普通会計歳入歳出決算の状況

##### 【歳入】

(単位：千円)

区 分	平成19年度		平成18年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
町 税	1,137,726	26.8%	996,644	22.5%	141,082	14.2%
個人町民税	489,565	11.5%	367,298	8.3%	122,267	33.3%
法人町民税	46,510	1.1%	35,916	0.8%	10,594	29.5%
固定資産税	524,327	12.3%	517,424	11.7%	6,903	1.3%
軽自動車税	27,353	0.6%	26,734	0.6%	619	2.3%
町たばこ税	48,259	1.1%	48,761	1.1%	△ 502	△ 1.0%
入湯税	1,712	0.0%	511	0.0%	1,201	235.0%
地方譲与税	68,616	1.6%	156,120	3.5%	△ 87,504	△ 56.0%
利子割交付金	5,945	0.1%	4,465	0.1%	1,480	33.1%
配当割交付金	4,562	0.1%	4,163	0.1%	399	9.6%
株式等譲渡所得割交付金	2,689	0.1%	3,152	0.1%	△ 463	△ 14.7%
地方消費税交付金	96,543	2.3%	97,110	2.2%	△ 567	△ 0.6%
自動車取得税交付金	27,594	0.6%	29,922	0.7%	△ 2,328	△ 7.8%
地方特例交付金	7,189	0.2%	26,108	0.6%	△ 18,919	△ 72.5%
地方交付税	1,672,555	39.4%	1,631,781	36.8%	40,774	2.5%
普通交付税	1,555,222	36.6%	1,538,815	34.7%	16,407	1.1%
特別交付税	117,333	2.8%	92,966	2.1%	24,367	26.2%
交通安全対策特別交付金	1,838	0.0%	1,793	0.0%	45	2.5%
分担金及び負担金	5,166	0.1%	7,392	0.2%	△ 2,226	△ 30.1%
使用料	148,005	3.5%	159,321	3.6%	△ 11,316	△ 7.1%
手数料	7,019	0.2%	6,821	0.2%	198	2.9%
国庫支出金	202,803	4.8%	304,312	6.9%	△ 101,509	△ 33.4%
県支出金	160,140	3.8%	140,970	3.2%	19,170	13.6%
財産収入	9,049	0.2%	4,444	0.1%	4,605	103.6%
寄付金	1,750	0.0%	4,017	0.1%	△ 2,267	△ 56.4%
繰入金	39,527	0.9%	201,364	4.5%	△ 161,837	△ 80.4%
繰越金	294,353	6.9%	152,786	3.4%	141,567	92.7%
諸収入	142,585	3.4%	151,712	3.4%	△ 9,127	△ 6.0%
町 債	211,877	5.0%	354,200	8.0%	△ 142,323	△ 40.2%
うち臨時財政対策債	162,977	3.8%	179,600	4.0%	△ 16,623	△ 9.3%
合 計	4,247,531	100.0%	4,438,597	100.0%	△ 191,066	△ 4.3%

※ 普通会計：決算統計上の分類で、町の会計のうち、企業会計、収益事業会計等を除いた、一般会計、同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計、霊園事業特別会計を合算したもの。

【歳 出】

目的別決算状況

(単位：千円)

区 分	平成19年度		平成18年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
議 会 費	65,645	1.7%	81,142	2.0%	△ 15,497	△ 19.1%
総 務 費	552,979	14.0%	406,396	9.8%	146,583	36.1%
民 生 費	849,998	21.5%	871,794	21.0%	△ 21,796	△ 2.5%
衛 生 費	201,748	5.1%	371,123	9.0%	△ 169,375	△ 45.6%
労 働 費	2,736	0.1%	2,958	0.1%	△ 222	△ 7.5%
農林水産業費	198,423	5.0%	236,316	5.7%	△ 37,893	△ 16.0%
商 工 費	42,422	1.1%	45,374	1.1%	△ 2,952	△ 6.5%
土 木 費	568,194	14.4%	608,790	14.7%	△ 40,596	△ 6.7%
消 防 費	183,335	4.6%	167,664	4.0%	15,671	9.3%
教 育 費	523,915	13.2%	489,830	11.8%	34,085	7.0%
公 債 費	767,843	19.4%	758,189	18.3%	9,654	1.3%
災害復旧費	0	0.0%	104,668	2.5%	△ 104,668	△ 100.0%
合 計	3,957,238	100.0%	4,144,244	100.0%	△ 187,006	△ 4.5%

性質別決算状況

区 分	平成19年度		平成18年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
人 件 費	683,071	17.3%	715,532	17.3%	△ 32,461	△ 4.5%
うち職員給	435,759	11.0%	438,445	10.6%	△ 2,686	△ 0.6%
扶 助 費	298,474	7.5%	274,987	6.6%	23,487	8.5%
公 債 費	767,838	19.4%	758,184	18.3%	9,654	1.3%
元利償還金	767,838	19.4%	758,184	18.3%	9,654	1.3%
一時借入金利子						
物 件 費	686,108	17.3%	669,537	16.2%	16,571	2.5%
維持修繕費	56,334	1.4%	42,701	1.0%	13,633	31.9%
補 助 費 等	466,239	11.8%	465,411	11.2%	828	0.2%
うち一組負担金	150,216	3.8%	164,082	4.0%	△ 13,866	△ 8.5%
操 出 金	514,357	13.0%	561,498	13.5%	△ 47,141	△ 8.4%
積 立 金	255,252	6.5%	536	0.0%	254,716	47521.6%
投資及び出資金・貸付金	2,000	0.1%	32,000	0.8%	△ 30,000	△ 93.8%
前年度繰上充用金						
投資の経費	227,565	5.8%	623,858	15.1%	△ 396,293	△ 63.5%
うち人件費	0	0.0%	3,836	0.1%	△ 3,836	100.0%
内 普通建設事業費	227,565	5.8%	519,190	12.5%	△ 291,625	△ 56.2%
うち単独事業費	153,821	3.9%	266,303	6.4%	△ 112,482	△ 42.2%
内 災害復旧事業費	0	0.0%	104,668	2.5%	△ 104,668	△ 100.0%
失業対策事業費						
合 計	3,957,238	100.0%	4,144,244	100.0%	△ 187,006	△ 4.5%

## 【財政構造】

平成19年度普通会計決算における各財政指標は次のとおりです。

- ・ 財政の豊かさを計る財政力指数（過去3ヵ年平均）は0.39（平成18年度0.39）
- ・ 財政の堅実度を見る実質収支比率は8.2%（平成18年度10.0%）
- ・ 財政の弾力性を判断する経常収支比率は88.4%（平成18年度89.0%）
- ・ 一般財源の財政上のゆとりを見る経常一般財源等比率は102.6%（平成18年度102.5%）
- ・ 普通会計の実質的な公債費の負担を見る起債制限比率は12.5%（平成18年度13.2%）

## 【財政の健全化】

財政健全化法に基づき平成19年度決算より公表と審査が義務付けられた、健全化判断比率（実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率）は次のとおりです。

- ・ 普通会計における実質収支の赤字比率を示す実質赤字比率、全会計の実質収支の赤字比率を示す連結赤字比率は実質収支が黒字であったため、数値はありません。
- ・ 公営企業会計や一部事務組合の公債費も考慮した、実質公債費比率は18.4%（平成18年度18.8%）
- ・ 第三セクター等の負債も含めた、町の将来にわたる負債の規模を示す将来負担比率は80.6%

平成19年度決算においては公表と審査のみですが、平成20年度決算からは各指数に応じて、基準を上回る場合は、早期健全化計画や財政再生計画の策定が必要となります。

財政健全化法における基準

	平成19年度 決算数値	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	15%	20%
連結実質赤字比率	—	20%	40%
実質公債費比率	18.4%	25%	35%
将来負担比率	80.6%	350%	—

※市町村の財政規模によって異なります。

## 【地方債現在高】

平成19年度末における地方債の現在高は51億9,895万5千円となり、前年度に比べ4億3,968万6千円減少しました。これは、発行額において一般債4,890万円、臨時財政対策債の特例債が1億6,297万7千円で、総額2億1,187万7千円と前年度に比べ1億4,232万3千円減少したことと、平成19年度から平成21年度までの3年間にわたり実施される、公的資金補償金免除繰上償還（平成19年度 1,552万7千円）等の繰上償還を行ったためです。

## 【基金残高】

基金の平成19年度末現在高（積立基金、定額運用基金）は、17億1,175万円で、前年度末に比べ2億1,670万1千円増加しました。これは、財政調整基金に1億1,233万2千円、図書館建設基金に1億4,055万5千円の積立を行ったためです。また、減債基金を1,552万7千円、土地開発基金を1,900万円、芸術文化振興基金を500万円それぞれ取崩しを行いました。



## 町債の概要（普通会計）

### [町債発行額の推移]

(単位:千円)

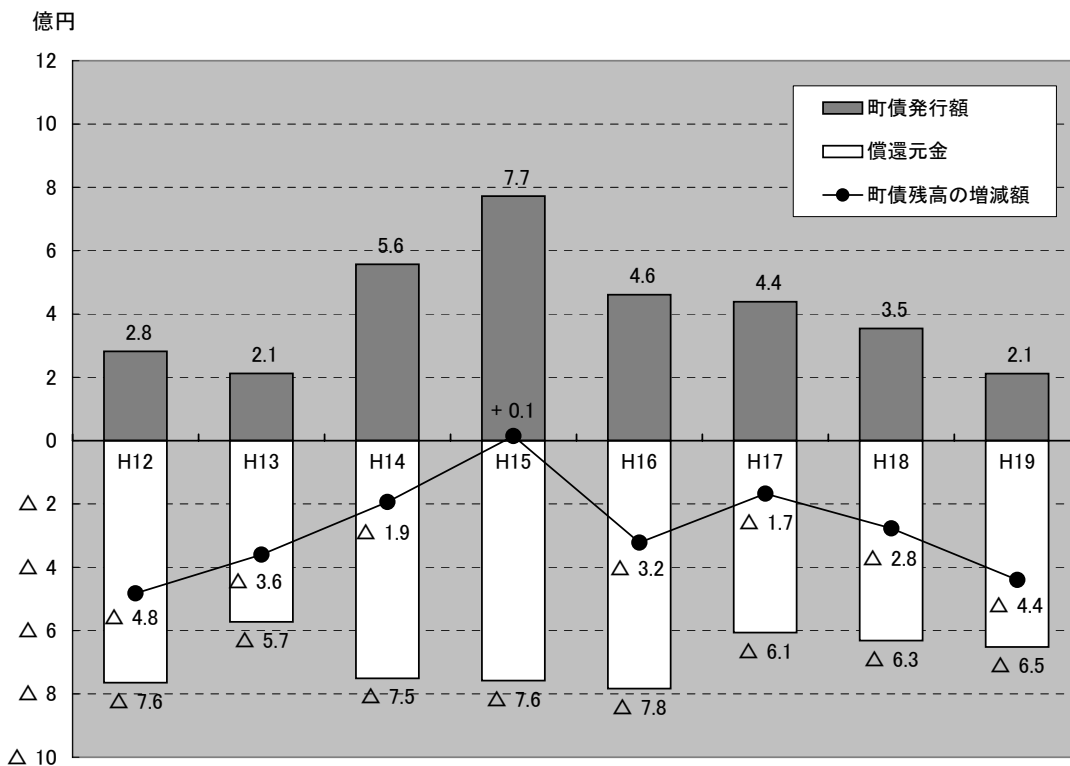
	H12決算	H13決算	H14決算	H15決算	H16決算	H17決算	H18決算	H19決算
町債発行額	282,000	212,100	557,163	772,400	461,100	438,900	354,200	211,877
うち減税補てん債	15,500	15,800	15,100	14,100	13,500	13,300	9,100	-
うち臨時財政対策債	-	82,300	165,100	368,100	253,100	196,300	179,600	162,977

### [公債費(町債元利償還金額)の推移]

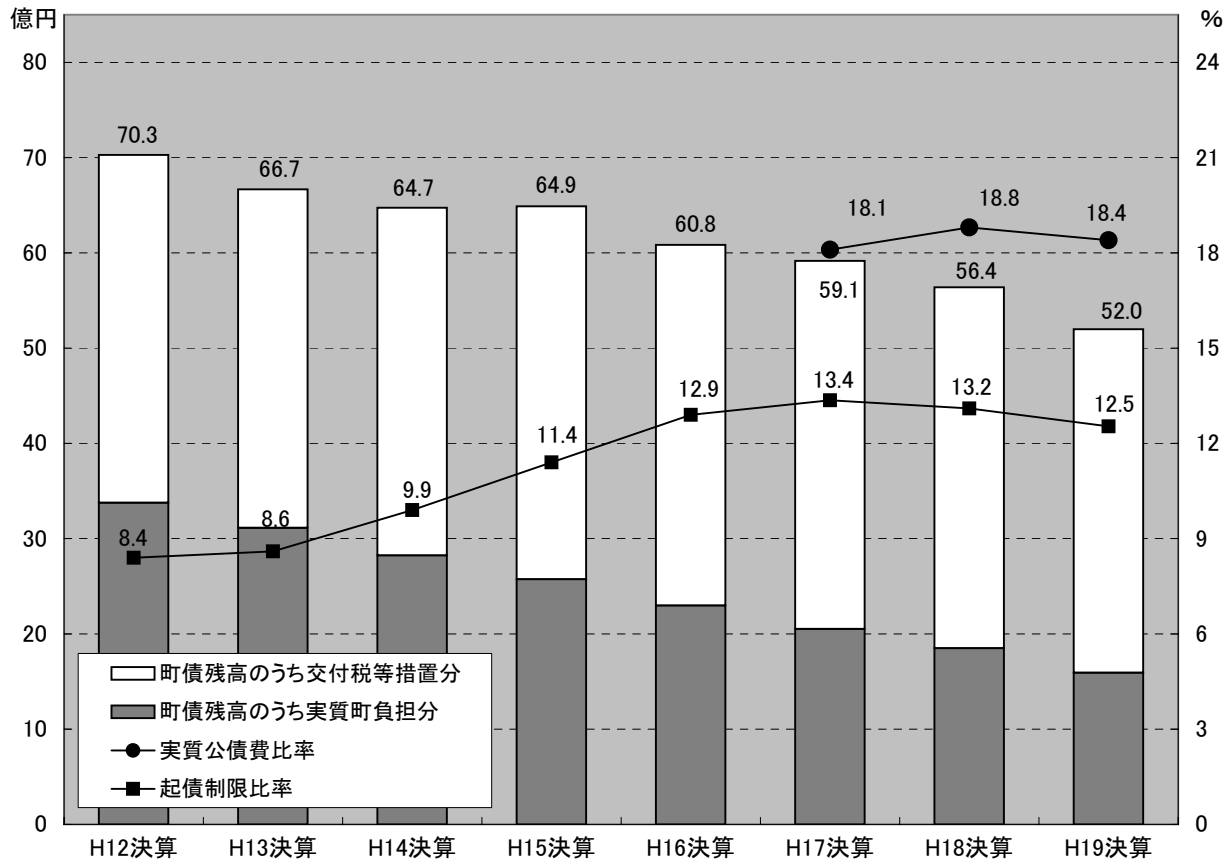
(単位:千円)

	H12決算	H13決算	H14決算	H15決算	H16決算	H17決算	H18決算	H19決算
町債元利償還金額	989,625	777,057	939,159	923,850	935,748	740,365	758,184	767,838
償還元金	764,393	572,117	750,819	758,015	783,332	606,376	631,493	651,563
うち繰上償還分	269,802	-	114,562	90,932	114,430	-	9,459	24,130
支払利子	225,232	204,940	188,340	165,835	152,416	133,989	126,691	116,275

※ H16は、減税補てん債の借り換え(1億3,000万円)を除いた実質的な元利償還金額



[年度末町債残高と実質公債費比率・起債制限比率の推移]



○町債残高:

新たな起債を極力抑え、計画的に繰上償還を実施してきた結果、普通会計の町債残高は、平成11年度の75億1千万円をピークに年々減少傾向にある。

平成19年度末の残高52億円のうち、36億1千万円(69.4%)程度は、後年度に地方交付税で措置されたり、貸付金の回収金や住宅家賃など特定の収入でまかなうなど、実質的には町の負担とならない。

○起債制限比率:

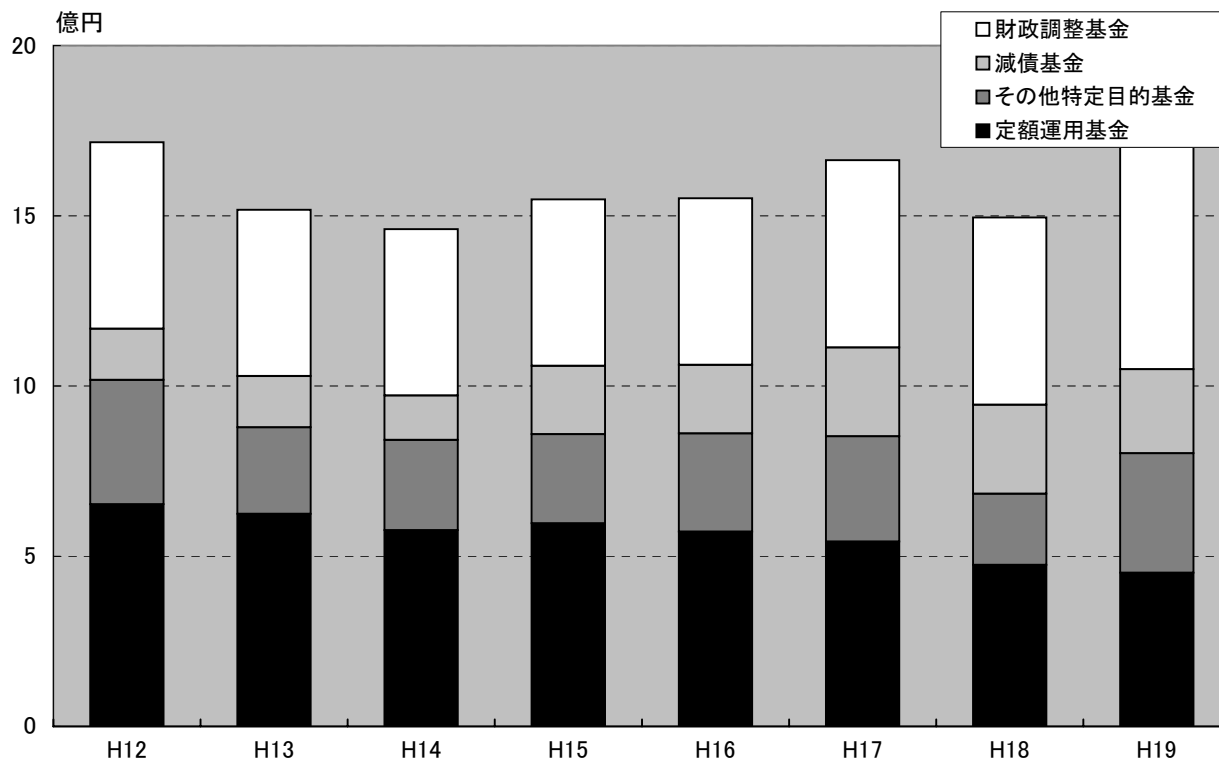
地方債の許可制限のための指標として、公債費比率(一般財源に占める地方債の償還の割合を示す指標)から地方交付税で措置される償還額を除くことなどにより、実質的な公債費の負担の程度を表した比率をいう。

○実質公債費比率:

地方債協議制度への移行に伴い新設された指標。起債制限比率の算定においては対象とされていなかった公営企業会計(上水道事業、下水道事業等)の公債費に充当した繰出金や、一部事務組合の公債費に係る負担金等を含め、実質的な公債費が標準財政規模に占める割合を示したもの。18%以上の場合は、地方債の発行に際し許可が必要となる。

(H18県平均: 17.7%)

## 基金残高の推移（普通会計）



- 財政調整基金**： 年度間の財源の不均衡を調整し、財政の健全な運営を図るための基金
- 減債基金**： 町債償還の財源を確保し、計画的な償還と信用維持を図るための基金
- その他特定目的基金**： 図書館建設基金、社会福祉積立基金、大規模建設事業積立基金 ほか
- 定額運用基金**： 土地開発基金、芸術文化振興基金、育英金貸付基金 ほか

### [年度末基金残高の推移]

（単位：千円）

	H12決算	H13決算	H14決算	H15決算	H16決算	H17決算	H18決算	H19決算
財政調整基金	547,716	488,481	488,681	488,908	489,447	549,901	550,165	662,497
減債基金	150,655	150,769	130,829	200,882	200,993	261,164	261,255	246,884
その他特定目的基金	365,033	254,372	265,178	261,653	288,840	309,279	209,459	351,223
定額運用基金	652,601	624,149	576,175	596,828	572,157	543,014	474,170	451,146
計	1,716,005	1,517,771	1,460,863	1,548,271	1,551,437	1,663,358	1,495,049	1,711,750

平成19年度 普通会計決算状況調書 (決算カード)		国調人口		世帯数		
		H17年国調	11,477人	H17年国調	3,406世帯	
		H12年国調	11,460人	H12年国調	3,264世帯	
		増減率	0.1%	人口集中地区人口		
		住民基本台帳人口	H20.3.31	11,616人	H17年国調	0人
	H19.3.31	11,704人	H12年国調	0人		
	増減率	△0.8%				
歳入の状況 (単位 千円・%)						
区分	決算額	構成比	増減率	経常一財等	構成比	
地方税	1,137,726	26.8	14.2	1,137,726	38.4	
地方譲与税	68,616	1.6	△56.0	68,616	2.3	
利子割交付金	5,945	0.1	33.1	5,945	0.2	
配当割交付金	4,562	0.1	9.6	4,562	0.2	
株式等譲渡所得割交付金	2,689	0.1	△14.7	2,689	0.1	
地方消費税交付金	96,543	2.3	△0.6	96,543	3.3	
自動車取得税交付金	27,594	0.6	△7.8	27,594	0.9	
地方特例交付金	7,189	0.2	△72.5	7,189	0.2	
地方交付税	1,672,555	39.4	2.5	1,555,222	52.5	
普通交付税	1,555,222	36.6	1.1	1,555,222	52.5	
特別交付税	117,333	2.8	26.2			
(一般財源計)	3,023,419	71.2	2.5	2,906,086	98.0	
交通安全対策特別交付金	1,838	0.0	2.5	1,838	0.1	
分担金及び負担金	5,166	0.1	△30.1			
使用料	148,005	3.5	△7.1	4,481	0.2	
手数料	7,019	0.2	2.9			
国庫支出金	202,803	4.8	△33.4			
県支出金	160,140	3.8	13.6			
財産収入	9,049	0.2	103.6	3,661	0.1	
寄附金	1,750	0.0	△56.4			
繰入金	39,527	0.9	△80.4			
繰越金	294,353	6.9	92.7			
諸収入	142,585	3.4	△6.0	48,270	1.6	
地方債	211,877	5.0	△40.2			
うち都道府県貸付金	16,000	0.4	25.0			
うち減税補てん債			△100.0			
うち臨時財政対策債	162,977	3.8	△9.3			
歳入合計	4,247,531	100.0	△4.3	2,964,336	100.0	
性質別歳出の状況 (単位 千円・%)						
区分	決算額	構成比	増減率	充当一財等	経常経費充当一財等	経常収支比率
人件費	683,071	17.3	△4.5	588,655	583,204	18.6
うち職員給	435,759	11.0	△0.6	342,977	-	-
扶助費	298,474	7.5	8.5	112,718	111,703	3.6
公債費	767,838	19.4	1.3	730,845	697,991	22.3
元利償還金	767,838	19.4	1.3	730,845	697,991	22.3
一時借入金利息						
(義務の経費計)	1,749,383	44.2	0.0	1,432,218	1,392,898	44.5
物件費	686,108	17.3	2.5	522,816	459,063	14.7
維持補修費	56,334	1.4	31.9	53,984	52,920	1.7
補助費等	466,239	11.8	0.2	454,504	415,497	13.3
うち一組負担金	150,216	3.8	△8.5	147,517	131,109	4.2
繰出金	514,357	13.0	△8.4	481,193	443,755	14.2
積立金	255,252	6.5	47,521.6	250,000		
投資及び出資金・貸付金	2,000	2.0	△93.8			
前年度繰上充用金						2,764,133千円
投資的経費	227,565	5.8	△63.5	123,330		
うち人件費			△100.0			
普通建事業費	227,565	5.8	△56.2	123,330		
うち単独事業費	153,821	3.9	△42.2	107,480		
災害復旧事業費			△100.0			
失業対策事業費						
(臨時財政対策債含む)						88.4%
(歳入一般財源等)						
歳出合計	3,957,238	100.0	△4.5	3,318,045		3,628,338千円

面積	19.07km <sup>2</sup>	人口密度 (H17年国調)	601.8人	指定団体等の指定状況		都道府県名	20	団体名	5419	市町村類型	Ⅲ - 2
産業構造											
区分	H17年国調 (構成比)		H12年国調 (構成比)		新産	×	20	5419	Ⅲ - 2		
第1次産業	1,592人	23.9%	1,587人	23.6%	工	特	×	ナガノケン	オブセマチ	地方交付税種地	
第2次産業	1,865人	28.0%	2,149人	31.9%	低	開	×	長野県	小布施町	Ⅱ - 2	
第3次産業	3,203人	48.1%	2,997人	44.5%	産	炭	×				
市町村税の状況 (単位 千円・%)					山	振	×	区分	H19年度(千円)	H18年度(千円)	
区分	徴収済額	構成比	増減率	基準税額×100/75	離	島	×	歳入総額	4,247,531	4,438,597	
市町村民税	16,640	1.5	2.5	16,248	過	疎	×	歳出総額	3,957,238	4,144,244	
個人均等割	472,925	41.6	34.7	497,755	半	島	×	歳入歳出差引	290,293	294,353	
所得割	18,395	1.6	3.4	18,131	首	都	×	翌年度繰越財源	52,565	9,552	
法人均等割	28,115	2.5	55.1	18,541	近	畿	×	実質収支	237,728	284,801	
法人税割	524,327	46.1	1.3	522,020	中	部	×	単年度収支	△ 47,073	150,860	
固定資産税	523,720	46.0	1.3	521,412	市	町	×	積立金	112,332	264	
うち純固定資産税	27,353	2.4	2.3	27,027	特	定	×	繰上償還額	24,127		
軽自動車税	48,259	4.2	△ 1.0	49,081	財	政	×	積立金取崩し額			
市町村たばこ税					指	数	×	実質単年度収支	89,386	151,124	
鉱産税					財	源	×				
特別土地保有税								ラスパイレス指数	91.2	90.6	
(法定普通税計)	1,136,014	99.8	14.0	1,148,803				一般職等数	給料月額(百円)	1人当給料月額(百円)	
法定外普通税					一	組	×	一般職員	82	239,714	
旧法による税					議	員	×	うち技能労務職	1	2,592	
目的税	1,712	0.2	235.0		非	常	×	教育公務員	5	13,130	
入湯税	1,712	0.2	235.0		退	職	×	消防職員			
事業所税					事	務	×	臨時職員			
都市計画税					税	務	×	合計	87	252,844	
水利地益税					老	人	×	特別職等数	適用開始年月日	1人当平均月額(百円)	
					伝	染	×	市区町村長	1	H19. 4. 1	
					し	尿	×	副市区町村長	1	H19. 4. 1	
合計	1,137,726	100.0	14.2		ご	み	×	教育長	1	H19. 4. 1	
適用税率の状況	個人均等割 (H20.4.1) 3,000円	個人所得割 6.0%	固定資産税 1.4%		火	葬	×	議会議長	1	H19. 4. 1	
	法人均等割				常	備	×	議会副議長	1	H19. 4. 1	
	1号法人 50,000円	2号法人 120,000円	3号法人 130,000円	4号法人 150,000円	小	学	×	議会議員	12	H19. 4. 1	
	2号法人 120,000円	3号法人 130,000円	4号法人 150,000円	5号法人 160,000円	中	学	×				
	3号法人 130,000円	4号法人 150,000円	5号法人 160,000円	6号法人 400,000円	そ	の	×	区	分	(単位 千円)	
	4号法人 150,000円	5号法人 160,000円	6号法人 400,000円	7号法人 410,000円				基準財政収入額	1,041,951		
	5号法人 160,000円	6号法人 400,000円	7号法人 410,000円	8号法人 1,750,000円				基準財政需要額	2,600,189		
	6号法人 400,000円	7号法人 410,000円	8号法人 1,750,000円	9号法人 3,000,000円				標準税収入額等	1,333,445		
	7号法人 410,000円	8号法人 1,750,000円	9号法人 3,000,000円					標準財政規模	2,888,667		
	8号法人 1,750,000円	9号法人 3,000,000円						財政力指数 (H17~19年度)	0.39		
	9号法人 3,000,000円							実質収支比率 (%)	8.2		
目的別歳出の状況 (単位 千円・%)											
区分	決算額(A)	構成比	増減率	(A)のうち普通建設	(A)の充当一財等	経	常	×	経常一般財源等比率 (%)	102.6	
議会費	65,645	1.7	△ 19.1		65,645	公	債	×	公債費比率 (%)	17.9	
総務費	552,979	14.0	36.1	5,666	504,516	起	債	×	起債制限比率 (%)	12.5	
民生費	849,998	21.5	△ 2.5	7,294	537,037	実	質	×	実質赤字比率 (%)	-	
衛生費	201,748	5.1	△ 45.6	730	185,421	連	結	×	連結実質赤字比率 (%)	-	
労働費	2,736	0.1	△ 7.5		736	実	質	×	実質公債費比率 (%)	18.4	
農林水産業費	198,423	5.0	△ 16.0	7,501	160,857	将	来	×	将来負担比率 (%)	80.6	
商工費	42,422	1.1	△ 6.5		35,660	積	立	×	積立金現在高	662,497	
土木費	568,194	14.4	△ 6.7	193,839	460,645	減	債	×	減債基金	246,884	
消防費	183,335	4.6	9.3	4,008	180,129	そ	の	×	その他特定目的基金	351,223	
教育費	523,915	13.2	7.0	8,527	456,549	地	方	×	地方債現在高	5,198,955	
災害復旧費			△ 100.0			う	ち	×	うち政府資金	3,039,297	
公債費	767,843	19.4	1.3		730,850	債	務	×	債務負担行為 (支出予定額)		
諸支出金						保	証	×	保証・補償		
前年度繰上充用金						そ	の	×	その他	196,087	
歳出合計	3,957,238	100.0	△ 4.5	227,565	3,318,045	取	益	×	収益事業収入		
へ公	水道事業	1,181			66,818	土	地	×	土地開発基金現在高	356,519	
の	下水道事業 (農集排含む)	278,000			9,732	徴	収	×	徴収率 (%)	98.5	
事	国民健康保険事業会計	68,439			2,152	市	町	×	市町村民税	98.5	
業	老人保健医療事業会計	69,259			4,632	純	固	×	純固定資産税	95.5	
出	介護保険事業会計	97,683			83.4	町	税	×	町税全体	95.7	
等	基金、その他	976			60.0						
(千円)	合計	515,538	(千円)		142.3						

※正式なものは数値確定後に総務省にて公表

## 5. 平成 19 年度重点施策の成果・概要

### 町民会議設立検討委員会「小布施まちづくり員会」設立を提案

平成17年度の第四次町総合計画・後期基本計画策定の「協働のまちづくり懇話会」から、「町民・行政・議会の情報共有の場、議論の場、連携の場が必要である」との提言をいただきました。それを受け、平成18年8月に32人の委員による「町民会議設立検討委員会」を設置し、これからの小布施のまちづくりをどう進め、そこに町民がどのように携わっていくかについて議論を重ねてきました。

平成19年度は、11回の全体会、4部会による模擬部会の開催、講演会等への参加など精力的に活動、議論を重ねました。そして、町民・議会・行政が情報を共有し議論する場、まちづくりに意欲的な人たちの連携の場となるような小布施らしい協働の仕組みとして、「小布施まちづくり委員会」の設立を提案しました。

これを受け、平成20年4月23日に「小布施まちづくり委員会」が発足、5月25日には町とのパートナーシップ協定が締結され、町民のみなさんの主体的・自立(律)的な活動がスタートしました。

⇒ 2.1.6 町民会議設立検討委員会費 P48



### 食を大切にすまちづくり

町では「食」の重要性を再認識し、豊かな人間性を育み、食を通じて生涯にわたり健全な心身を培い、そして食を大切にすまちづくりを進めるため、平成 18 年度に長野県下で最も早く「食育推進計画」を策定しました。

平成 19 年度は「食を通じた 心豊かで健康な 小布施人の暮らし」の基本目標のもと、① ライフステージにあわせた食と健康の知識習得と豊かな心の育成（人／生涯食育）② 健康的で心豊かな食生活が可能な地域づくり（環境／知識活用）を大きな二つの柱としてさまざまな施策・事業を展開しました。

⇒ 2.1.6 食育推進費 P49

⇒ 4.1.2 食育推進事業費 P106

⇒ 9.2.1 小学校管理費 P162 ほか



## 集い・学び・憩いの新しい図書館（交流センター）建設へ

県内でも早い時期に建設され、80年以上の歴史を持つ小布施町立図書館は、利便性の悪さから長い間その充実が求められてきました。平成18年度からの第四次総合計画後期基本計画には重点施策として「学習・情報拠点の整備」として図書館の整備が位置づけられ、図書館のあり方検討会や町政懇談会を通じて町民のみなさんから多くのご意見をいただきました。

平成19年度は、図書館のあり方検討会報告書等を踏まえ「新しい小布施町立図書館の基本構想（案）」を作成、8月に3回の基本構想（案）意見交換会を開催して町民のみなさんと検討を重ね、図書館の全体像をまとめました。

9月には設計者を選定する公募型プロポーザルを行い、全国から166人の応募をいただきました。10月29日には、第1次審査で選定された5人の設計者による公開プレゼンテーションを北斎ホールで開催し、その後の第2次審査会で設計者1名が選定されました。

11月16日からは50人以上のみなさんによる図書館建設運営委員会が発足し、3つの専門部会（建設・運営・電算化）が編成され、12月1日には図書館準備室をオープンしました。各専門部会の開催、視察、ワークショップなどにより検討を重ね、3月19日の運営委員会で基本設計（案）が確認されました。

⇒ 9.5.4 図書館整備事業費 P172



## 憩い・交流・市街地の渋滞緩和へ「森の駐車場」を建設

市街地からどんどん失われていく緑や農地に代わり「森」＝オアシスを育て、小布施に住む人も、訪れる人も、そこで憩い、交流の輪を広げる空間としての要素を備えた「森の駐車場」を整備しました。ケヤキやメタセコイヤなどの木々が至る所に植栽され、町民のみなさんの憩いの場となるよう設計されています。平成20年4月26日にオープンし、ゴールデンウィーク中は町内外から多くの来訪者が車を止め、町を散策されました。

⇒ 7.4.2 森の駐車場整備事業費 P148





## 多様な「交流」のまちづくり

古くは六斎市、また葛飾北斎、高井鴻山の出会いなど、小布施は人や物が行き交う「交流」の中で育まれてきました。「北斎と栗の町」、「うるおいのある町並み景観」、「花の町」はいつしか全国的なブランドとなり、外から刺激を受けて住む人の生活文化を向上させてきた小布施の“アイデンティティ”となり、このまちに暮らす人々の“誇り”になってきました。

平成19年度は、北斎の生誕地である墨田区のみなさんとの都市農村交流や、伝統工芸「技人展」の開催など、新たな交流を花開かせるとともに、音楽祭、映画祭、クラフト展など、町民のみなさんによる多種多様なまちづくりが、新たなにぎわいと交流を育みました。

⇒ 2.1.6 交流事業費 P46

⇒ 5.1.3 都市農村交流事業費 P122 ほか



## プラスチック製容器包装の再資源化を開始

私たちは戦後の高度経済成長の大量生産、大量消費、大量廃棄という仕組みの中で、便利で豊かな生活を送ってきました。しかし、その結果大量の廃棄物が排出され、それが環境に負荷を与え、資源の枯渇や温暖化など地球規模での環境問題を引き起こしています。ごみを含めた環境問題に対して、私たち一人ひとりが自覚を持って考え、行動しなければならなくなっています。

このような状況の中、町ではごみの減量化や再資源化を目指し、平成17年度に「ごみ減量化推進事業実施計画（アクションG30）」を策定し、平成19年度のごみの量を、平成16年度対比で「可燃ごみ30%減、資源物30%増」の目標をたて、町民のみなさんとさまざまな取り組みに挑戦してきました。平成18年度の生ごみの水切り、白色発泡トレイの分別収入、古紙類の資源回収に続き、平成19年度はプラスチック製容器包装の分別収集をスタートしました。町民の皆さんのご協力の下、可燃ごみは目標に届かなかったものの、資源物は目標を大きく上回る事ができ、ごみの減量化を図ることができました。

⇒ 4.2.3 ごみ処理費 P113 ほか





## 農村景観の中にのどかな癒しの空間「里道」が開通

畦道や路地裏といった地域や生活に根ざした「里道」が整備されました。平成19年度は、地元のみなさんや東京理科大学・小布施町まちづくり研究所との協働で、雁田の「馬場先中道通」と中条の「まちなか小路」が開通しました。

⇒ 7.5.3 小径整備事業費 P155



## 子育て支援へ エンゼルランドセンター利用料を無料に

より気軽に大勢のみなさんにご利用いただけるように、エンゼルランドセンターの利用料を無料にしました。無料化により、利用者数は前年度比約10%の割となりました。

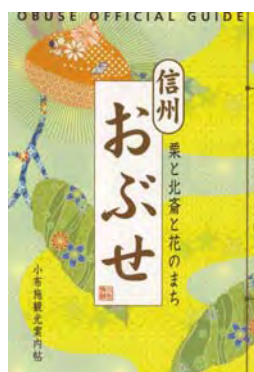
⇒ 3.2.5 エンゼルランドセンター管理費 P94



## 観光PRポスターを作成・観光パンフレットをリニューアル

町文化観光協会で「小布施ポスターコンテスト」を行い、全国から応募された210点の中から選定された最優秀作品をもとに、観光PRポスターを作成し、観光パンフレットをリニューアルしました。観光PRポスターは平成20年度日本観光ポスターコンクールで銀賞に輝きました。

⇒ 6.1.3 観光案内事業費 P130 ほか



## おぶせミュージアム・中島千波館 開館15周年で入館者100万人達成

平成4年に開館したおぶせミュージアム・中島千波館が開館15周年を迎え、5月には入館者100万人を達成しました。

⇒ 9.5.7 おぶせミュージアム企画展費 P176 ほか



## 小布施スマートIC利用台数100万台突破

平成17年4月の社会実験開始からの総利用台数が11月18日、100万台を突破しました。全国の常設スマートIC31カ所中7番目に利用が多くなっています。

⇒ 7.1.1 ETC専用インターチェンジ事業費 P138



## 長野県総合防災訓練を実施

10月28日、須高3市町村合同による長野県総合防災訓練が行われました。小布施町では栗ガ丘小学校一帯を会場に、ヘリコプターによる救出訓練のほか、町民のみなさんの安否確認、災害時要救助者の避難誘導訓練、ボランティアセンター立ち上げ訓練などが実施されました。

⇒ 2.1.9 総合防災訓練事業費 P53



## 6. 会計別決算概要

### I 一般会計

#### 1 決算規模及び収支

平成19年度の町財政は、制度改正による町税の増はあったものの依然として厳しい状況でしたが、「第四次小布施町総合計画・後期基本計画」に掲げた目標を達成するため、積極的かつ重点的な施策展開を図る一方、行財政運営の全般にわたり簡素効率化に留意し、町税をはじめあらゆる歳入の確保に努めた結果、一般会計の決算額は歳入総額42億4,491万7千円、歳出総額39億5,652万円で、形式収支額は2億8,839万7千円となり、翌年度に繰り越すべき財源5,256万5千円を控除した実質収支額は2億3,583万2千円となりました。

これを前年度と比較すると、歳入においては1億8,456万7千円(4.2%)の減、歳出においては1億8,065万1千円(4.4%)の減となり、実質収支においては4,692万9千円(16.6%)の減となりました。

#### 2 収支状況

##### (1) 形式収支

歳入決算額と歳出決算額の差、すなわち形式収支は、2億8,839万7千円の黒字(前年度2億9,231万3千円の黒字)となりました。

##### (2) 実質収支

形式収支から平成20年度への繰越事業に充当すべき財源5,256万5千円を差し引いた額、すなわち実質収支(剰余金)は、2億3,583万2千円の黒字(前年度2億8,276万1千円の黒字)となりました。

##### (3) 単年度収支

実質収支には、平成18年度からの剰余金が含まれているので、これを差し引いた平成19年度だけの収支、すなわち単年度収支は4,692万9千円の赤字(前年度1億5,090万4千円の黒字)となりました。

##### (4) 実質単年度収支

一般会計の年度間調整の役割を持つ財政調整基金への積立金と地方債の繰上償還金を黒字要因とみなし、財政調整基金の取崩額を赤字要因とみなして単年度収支に加えた額、すなわち実質単年度収支は、8,953万円の黒字(前年度1億5,116万8千円の黒字)となりました。

### 3 歳入

#### (1) 町税

町税収入は、11億3,772万6千円で、対前年度比14.2%（1億4,108万2千円）の増になりました。これは所得税から住民税への税源移譲や定率減税の廃止などの税制改正に伴う個人町民税の増等によるものです。

#### (2) 地方交付税

地方交付税収入は、16億7,255万5千円で対前年度比2.5%（4,077万4千円）の増になりました。これは特別交付税に算入された頑張る地方応援プログラムの増などによるものです。

#### (3) 国庫支出金

国庫支出金は2億244万円で、対前年度比33.4%（1億146万6千円）の減になりました。これは、災害復旧事業費の減などによるものです。

#### (4) 県支出金

県支出金は1億6,014万円で、対前年度比13.6%（1,917万円）の増になりました。これは、障害者自立支援給付負担金の増などによるものです。

#### (5) 町債

町債の発行額は、2億1,187万7千円で、対前年度比40.2%（1億4,232万3千円）の減になりました。これは、地域総合整備資金貸付事業債、災害復旧事業債の減などによるものです。

#### (6) その他

各種基金からの繰入金は、対前年度比80.4%（1億6,183万7千円）減の3,952万7千円になっており、前年度からの繰越金は、対前年度比94.0%（1億4,161万1千円）増の2億9,231万3千円になりました。

### 4 歳出

#### (1) 目的別経費

一般会計の増減の大きいものを目的別で見ると、衛生費は1億6,898万4千円の減、災害復旧費は1億466万8千円の皆減になりました。一方、総務費は1億3,831万9千円の増になりました。

#### (2) 性質別経費

一般会計の歳出で増減の大きいものを性質別に見ると、まず中核的医療施設整備事業などがあった平成18年度に比べ、普通建設事業費が2億9,162万5千円の減になりました。また、人件費は3,246万1千円の減になりました。

主要な施策の成果は、次のとおりです。

## 一般会計歳入歳出決算の状況

### 【歳 入】

(単位：千円)

区 分	平成19年度		平成18年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
町 税	1,137,726	26.8%	996,644	22.5%	141,082	14.2%
個人町民税	489,565	11.5%	367,298	8.3%	122,267	33.3%
法人町民税	46,510	1.1%	35,916	0.8%	10,594	29.5%
固定資産税	524,327	12.4%	517,424	11.7%	6,903	1.3%
軽自動車税	27,353	0.6%	26,734	0.6%	619	2.3%
町たばこ税	48,259	1.1%	48,761	1.1%	△ 502	△ 1.0%
入 湯 税	1,712	0.0%	511	0.0%	1,201	235.0%
地方譲与税	68,616	1.6%	156,120	3.5%	△ 87,504	△ 56.0%
利子割交付金	5,945	0.1%	4,465	0.1%	1,480	33.1%
配当割交付金	4,562	0.1%	4,163	0.1%	399	9.6%
株式等譲渡所得割交付金	2,689	0.1%	3,152	0.1%	△ 463	△ 14.7%
地方消費税交付金	96,543	2.3%	97,110	2.2%	△ 567	△ 0.6%
自動車取得税交付金	27,594	0.7%	29,922	0.7%	△ 2,328	△ 7.8%
地方特例交付金	7,189	0.2%	26,108	0.6%	△ 18,919	△ 72.5%
地方交付税	1,672,555	39.4%	1,631,781	36.8%	40,774	2.5%
交通安全対策特別交付金	1,838	0.0%	1,793	0.0%	45	2.5%
分担金及び負担金	82,051	1.9%	82,196	1.9%	△ 145	△ 0.2%
使用料及び手数料	76,547	1.8%	90,654	2.0%	△ 14,107	△ 15.6%
国庫支出金	202,440	4.8%	303,906	6.9%	△ 101,466	△ 33.4%
県支出金	160,140	3.8%	140,970	3.2%	19,170	13.6%
財産収入	9,041	0.2%	4,443	0.1%	4,598	103.5%
寄 付 金	1,750	0.0%	4,017	0.1%	△ 2,267	△ 56.4%
繰 入 金	39,527	0.9%	201,364	4.5%	△ 161,837	△ 80.4%
繰 越 金	292,313	6.9%	150,702	3.4%	141,611	94.0%
諸 収 入	143,974	3.4%	145,774	3.3%	△ 1,800	△ 1.2%
町 債	211,877	5.0%	354,200	8.0%	△ 142,323	△ 40.2%
うち臨時財政対策債	162,977	3.8%	179,600	4.1%	△ 16,623	△ 9.3%
合 計	4,244,917	100.0%	4,429,484	100.0%	△ 184,567	△ 4.2%

### 【歳 出】

(単位：千円)

区 分	平成19年度		平成18年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
議 会 費	67,119	1.7%	82,618	2.0%	△ 15,499	△ 18.8%
総 務 費	517,097	13.1%	378,778	9.2%	138,319	36.5%
民 生 費	852,807	21.6%	874,121	21.1%	△ 21,314	△ 2.4%
衛 生 費	217,121	5.5%	386,105	9.3%	△ 168,984	△ 43.8%
農林水産業費	202,556	5.1%	229,710	5.6%	△ 27,154	△ 11.8%
商 工 費	45,712	1.2%	48,973	1.2%	△ 3,261	△ 6.7%
土 木 費	574,777	14.5%	617,650	14.9%	△ 42,873	△ 6.9%
消 防 費	190,656	4.8%	174,725	4.2%	15,931	9.1%
教 育 費	524,272	13.3%	490,096	11.8%	34,176	7.0%
公 債 費	764,403	19.3%	749,727	18.1%	14,676	2.0%
災害復旧費			104,668	2.5%	△ 104,668	△ 100.0%
合 計	3,956,520	100.0%	4,137,171	100.0%	△ 180,651	△ 4.4%

歳入歳出差引額	288,397	292,313
(うち繰越明許費繰越額)	(52,565)	(9,552)

款	項	目	款名	決算額 (円)	款別歳入決算の説明及び実績
1			町税	1,137,726,112	

当初予算額 1,120,796,000 円 最終予算額 1,120,796,000 円 決算額 1,137,726,112 円

(1) 主な収入の内訳

- ・ 個人町民税 4億8,957 万円
- ・ 固定資産税 5億2,433 万円

(2) 活動指標

- ・ 町税の状況

1) 町税決算額の推移

(単位：万円)

税 目		平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
町個 民 税人	均 等 割	820	1,224	1,382	1,624	1,680
	所 得 割	34,347	31,695	32,185	35,106	47,277
	計	35,167	32,919	33,567	36,730	48,957
町法 民 税人	均 等 割	1,706	1,749	1,785	1,813	1,840
	法人税割	2,488	1,833	2,144	1,779	2,811
	計	4,194	3,582	3,929	3,592	4,651
固定資産税		50,893	51,904	53,202	51,742	52,433
軽自動車税		2,418	2,518	2,603	2,673	2,735
町たばこ税		4,840	4,943	4,700	4,876	4,826
特別土地保有税		—	—	—	—	—
入 湯 税		112	71	51	51	171
合 計		97,624	95,937	98,052	99,664	113,773

2) 個人町民税課税状況 (現年課税分)

(単位：万円)

区 分	普通徴収		特別徴収		計		構成比 (%)
	納税義務者数(人)	税 額	納税義務者数(人)	税 額	納税義務者数(人)	税 額	
所 得 割	2,619	18,377	2,439	29,367	5,058	47,744	96.6
均 等 割	3,315	930	2,494	750	5,809	1,680	3.4
計(実人数)	3,315	19,307	2,494	30,117	5,809	49,424	100.0

※ 特別徴収義務者数 898事業所

所得状況 (平成19年度所得種類別統計より)

(単位：万円)

所 得 区 分	所 得 額	人 数 (人)	1人当り所得額
給 与	1,118,232	3,906	286
営 業	79,037	225	351
農 業	27,486	130	211
そ の 他 所 得	119,643	679	176
譲 渡 等	69,314	42	1,650
計 (実人数)	1,413,712	4,982	284

※ 1. 所得額は、納税義務の有無に関わらず、課税台帳に登録されたすべての者の所得額である。

2. 人員は、複数の所得がある場合は、それぞれの所得区分にカウントされている。

## 3) 法人町民税課税状況（現年課税分）

（単位：万円）

区 分	法人数(社)	税 額	構 成 比 (%)
法 人 税 割	77	2,811	60.4
均 等 割	243	1,840	39.6
計 (実法人数)	243	4,651	100.0

## 法人数の内訳

1号法人	2号法人	3号法人	4号法人	5号法人	6号法人	7号法人	8号法人	9号法人	計
—	—	6	1	7	2	34	2	191	243

## 4) 固定資産税の課税状況等（現年課税分）

## ① 土地、家屋別課税の内容

## ・土地（非課税除く）

（単位：万円）

地 目	総評価地積 (㎡)	筆 数 (筆)	総評価額	課税標準額
田	2,014,704	1,459	24,315	24,315
畑	6,244,717	11,117	739,311	134,300
宅 地	1,982,545	12,204	3,765,622	1,180,558
鉱 泉 地	3	1	155	155
山 林	1,008,522	454	2,011	2,011
原 野	293,035	159	222	222
雑 種 地	230,655	533	217,513	142,855
計	11,774,181	25,927	4,749,149	1,484,416

## ・家 屋（非課税除く）

（単位：㎡）

区 分	在 来 分		新 增 築 分		計	
	棟 数	床面積	棟 数	床面積	棟 数	床面積
木 造	6,947	639,264	41	4,437	6,988	643,701
非 木 造	1,856	242,658	15	7,100	1,871	249,758
計	8,803	881,922	56	11,537	8,859	893,459

## ② 課税状況

（単位：万円）

区 分	納税義務者数 (人)	固定資産税額 (賦課決定)
土 地	3,380	20,690
家 屋	3,613	26,433
償 却 資 産	138	6,012
計 (実人数)	4,552	53,135

## ③ 新增築分家屋評価状況

（単位：万円）

区 分	棟 数	床 面 積 (㎡)	総評価額	㎡当り単価
木 造	41	4,437	22,454	5.1
非 木 造	15	7,100	92,938	13.1
計	56	11,537	115,392	10.0

## 5) 国有資産等所在市町村交付金及び納付金2件

61 万円

## 6) 軽自動車税の課税状況（現年課税分）

（単位：万円）

車 種		台 数 (台)	税 額	
原動機付自転車	50cc以下	752	75	
	90cc以下	71	8	
	125cc以下	22	4	
	ミニカー	11	3	
軽自動車	二輪小型 (125cc超250cc以下)	139	33	
	四輪貨物	営業用	11	3
		自家用	2,004	802
四輪乗用	自家用	2,213	1,593	
小型特殊自動車	農耕用	999	160	
	その他	36	17	
二輪小型 (250cc超)		135	54	
計		6,393	2,752	

## 7) たばこ税の課税状況

（単位：万円）

特別徴収義務者数	税 額	消 費 本 数 (千本)		
		旧3級品以外	旧3級品	計
3	4,826	14,398	496	14,894

## 8) 入湯税の課税状況（現年課税分）

（単位：万円）

特別徴収義務者数	税 率	入湯客数 (人)	税 額
2	日帰り 50円、宿泊 100円	272,008	1,365

## 9) 収入未済額の推移

（単位：万円）

税 目		平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
町個人 税人	現年課税分	130	102	122	142	527
	滞納繰越分	109	96	148	195	263
	計	239	198	270	337	790
町法 民 税人	現年課税分	4	0	13	17	10
	滞納繰越分	0	0	0	0	7
	計	4	0	13	17	17
資 産 税 定	現年課税分	858	698	798	793	1,056
	滞納繰越分	258	679	960	895	1,394
	交付金等	0	0	0	0	0
	計	1,116	1,377	1,758	1,688	2,450
軽 自 動 車 税	現年課税分	7	13	11	11	22
	滞納繰越分	6	8	15	18	22
	計	13	21	26	29	44
町たばこ税		0	0	0	0	0
特別土地保有税		—	—	—	—	—
入 湯 税	現年課税分	623	0	0	0	1,248
	滞納繰越分	0	623	623	623	569
	計	623	623	623	623	1,817
合 計		1,995	2,219	2,690	2,694	5,118
徴収率		98.0%	97.7%	97.3%	97.4%	95.7%

款 項 目	款 名	決算額 (円)	款別歳入決算の説明及び実績		
2	地方譲与税	68,616,000			
当初予算額			68,000,000 円	最終予算額	68,000,000 円
			決算額	68,616,000 円	
(1) 主な収入の内訳					
・ 自動車重量譲与税 5,100 万円					
・ 地方道路譲与税 1,762 万円					
(2) 活動指標					
・ 地方譲与税の状況 (単位：万円)					
区 分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
自動車重量譲与税	5,045	5,281	5,227	5,160	5,100
地方道路譲与税	1,732	1,887	1,825	1,776	1,762
所得譲与税	-	1,918	4,030	8,676	-
合 計	6,777	9,086	11,082	15,612	6,862
※ 国に納めた税金のうちから、特別の理由により町が譲り受けるもの					
自動車重量譲与税 … 国に納めた自動車重量税の一部を譲り受けるもので、道路の維持管理に要する経費などに充てます。					
地方道路譲与税 … ガソリンなどの購入時に国に納めた地方道路税の一部を譲り受けるものです。					
所得譲与税 … 児童手当に充てるための経費などの国からの補助金が、減額や廃止になったものの代わりとして、所得税の一部を譲り受けるものです。税制改正までの一時的なもので、平成18年度で終了しました。					
款 項 目	款 名	決算額 (円)	款別歳入決算の説明及び実績		
3	利子割交付金	5,945,000			
当初予算額			3,600,000 円	最終予算額	3,600,000 円
			決算額	5,945,000 円	
(1) 主な収入の内訳					
・ 利子割交付金 595 万円					
(2) 活動指標					
・ 利子割交付金の状況 (単位：万円)					
区 分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
利子割交付金	1,174	1,221	737	447	595
※ 預金利子などの収入があったときに納めていただく県税の一部を譲り受けるものです。					
款 項 目	款 名	決算額 (円)	款別歳入決算の説明及び実績		
4	配当割交付金	4,562,000			
当初予算額			3,000,000 円	最終予算額	3,000,000 円
			決算額	4,562,000 円	
(1) 主な収入の内訳					
・ 配当割交付金 456 万円					
(2) 活動指標					
・ 配当割交付金の状況 (単位：万円)					
区 分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
配当割交付金	-	143	231	416	456
※ 株式の配当があった方に納めていただく県税の一部を譲り受けるものです。					



款項目	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績															
5	株式等譲渡所得割交付金	2,689,000																
当初予算額			4,000,000円	最終予算額	4,000,000円	決算額	2,689,000円											
<p>(1) 主な収入の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>株式等譲渡所得割交付金 269万円</li> </ul> <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>株式等譲与取得割交付金の状況 (単位：万円)</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>平成15年度</th> <th>平成16年度</th> <th>平成17年度</th> <th>平成18年度</th> <th>平成19年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>株式等譲渡所得割交付金</td> <td>-</td> <td>167</td> <td>384</td> <td>315</td> <td>269</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 株式などの譲渡所得があった方に納めていただく県税の一部を譲り受けるものです。</p>							区 分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	株式等譲渡所得割交付金	-	167	384	315	269
区 分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度													
株式等譲渡所得割交付金	-	167	384	315	269													
款項目	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績															
6	地方消費税交付金	96,534,000																
当初予算額			95,000,000円	最終予算額	95,000,000円	決算額	96,534,000円											
<p>(1) 主な収入の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地方消費税交付金 9,653万円</li> </ul> <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地方消費税交付金の状況 (単位：万円)</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>平成15年度</th> <th>平成16年度</th> <th>平成17年度</th> <th>平成18年度</th> <th>平成19年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地方消費税交付金</td> <td>9,615</td> <td>10,697</td> <td>9,738</td> <td>9,711</td> <td>9,653</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 5%の消費税のうち、地方分の1%の一部を譲り受けるものです。</p>							区 分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	地方消費税交付金	9,615	10,697	9,738	9,711	9,653
区 分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度													
地方消費税交付金	9,615	10,697	9,738	9,711	9,653													
款項目	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績															
7	自動車取得税交付金	27,594,000																
当初予算額			28,000,000円	最終予算額	28,000,000円	決算額	27,594,000円											
<p>(1) 主な収入の内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自動車取得税交付金 2,759万円</li> </ul> <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自動車取得税交付金の状況 (単位：万円)</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>平成15年度</th> <th>平成16年度</th> <th>平成17年度</th> <th>平成18年度</th> <th>平成19年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自動車取得税交付金</td> <td>2,980</td> <td>3,142</td> <td>2,938</td> <td>2,992</td> <td>2,759</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 自動車を取得したときに納めていただく県税の一部を譲り受けるもので、道路の維持管理などに要する経費に充てます。</p>							区 分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	自動車取得税交付金	2,980	3,142	2,938	2,992	2,759
区 分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度													
自動車取得税交付金	2,980	3,142	2,938	2,992	2,759													

款項目	款名	決算額(円)	款別歳入決算の説明及び実績				
8	地方特例交付金	7,189,000					
当初予算額 10,000,000円 最終予算額 7,189,000円 決算額 7,189,000円							
(1) 主な収入の内訳							
<ul style="list-style-type: none"> <li>地方特例交付金 541万円</li> <li>特別交付金 178万円</li> </ul>							
(2) 活動指標							
<ul style="list-style-type: none"> <li>地方特例交付金の状況 (単位：万円)</li> </ul>							
区分		平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	
地方特例交付金		39,712	3,921	3,485	2,611	541	
うち減税補てん特例交付金		39,712	3,921	3,485	2,274	-	
うち児童手当特例交付金		-	-	-	337	541	
特別交付金		-	-	-	-	178	
合計		39,712	3,921	3,485	2,611	719	
<p>※ 国の政策により町に納めていただく町民税が減税されているので、町の収入が減った分を国が補てんするものと、児童手当の支給要件が変更になったため、その経費に充てるためのお金として交付されます。減収を補てんする部分については定率減税の廃止によりなくなりましたが、平成21年度までは特例として交付金が交付されます。</p>							
款項目	款名	決算額(円)	款別歳入決算の説明及び実績				
9	地方交付税	1,672,555,000					
当初予算額 1,480,000,000円 最終予算額 1,625,222,000円 決算額 1,672,555,000円							
(1) 主な収入の内訳							
<ul style="list-style-type: none"> <li>普通交付税 15億5,522万円</li> <li>特別交付税 1億1,734万円</li> </ul>							
(2) 活動指標							
<ul style="list-style-type: none"> <li>地方交付税等の状況 (単位：千円)</li> </ul>							
区分		平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	
A	基準財政需要額(算定額)	2,926,844	2,761,003	2,745,596	2,743,406	2,763,166	
B	臨時財政対策債発行可能額	368,176	253,165	196,350	179,637	162,977	
C	錯誤措置額(※1)	-	7	-	-	5	
D	基準財政需要額	A-B+C	2,558,668	2,507,845	2,549,246	2,563,769	2,600,194
E	基準財政収入額(算定額)	943,147	969,708	973,753	1,024,954	1,041,951	
F	錯誤措置額(※1)	-	△496	-	-	△1,426	
G	基準財政収入額	E+F	943,147	969,212	973,753	1,024,954	1,040,525
H	普通交付税交付基準額	D-G	1,615,521	1,538,633	1,575,493	1,538,815	1,559,669
I	調整額(※2)	4,863				4,447	
J	普通交付税決定額	H-I	1,610,658	1,538,633	1,575,493	1,538,815	1,555,222
K	(普通交付税+臨財債発行額)	J+B	1,978,834	1,791,798	1,771,843	1,718,452	1,718,199
L	特別交付税	76,781	81,512	76,564	92,966	117,333	
M	地方交付税相当額	K+L	2,055,615	1,873,310	1,848,407	1,811,418	1,835,532
N	地方特例交付金	39,712	39,213	34,854	26,108	7,189	
O	減税補てん債発行額	14,100	13,500	13,300	9,100	-	
P	財政力指数(3カ年平均)	0.357	0.371	0.379	0.390	0.394	
<p>※1 地方交付税法第17条の3第2項等に基づき3年に一度行われる地方交付税等検査による修正額</p> <p>※2 普通交付税の算定上、各地方団体の財源不足額の合算額が普通交付税の総額を超える場合、財源不足額の合算額を普通交付税の総額にあわせるために減額した額</p>							

款項目	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績		
10	交通安全対策特別交付金	1,838,000			
当初予算額 1,500,000円 最終予算額 1,500,000円 決算額 1,838,000円					
(1) 主な収入の内訳					
・交通安全対策特別交付金 184万円					
(2) 活動指標					
・交通安全対策特別交付金の状況 (単位：万円)					
区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
交通安全対策特別交付金	164	166	170	179	184
※ 交通反則金が町に交付されるもので、交通安全施設の設置費などに要する経費に充てます。					
款項目	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績		
11	分担金及び負担金	82,051,073			
当初予算額 85,530,000円 最終予算額 85,530,000円 決算額 82,051,073円					
(1) 主な収入の内訳					
・保育料負担金 6,442万円					
・高齢者施設入所負担金 263万円					
・教育費負担金 1,500万円					
(2) 活動指標					
・分担金及び負担金の状況 (単位：万円)					
区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
農林水産業費分担金	2,730	4,750	-	-	-
民生費負担金	6,291	6,597	7,428	6,862	6,705
観光費負担金	111	191	133	-	-
教育費負担金	1,608	1,819	1,691	1,358	1,500
合計	10,740	13,357	9,252	8,220	8,205
・保育料負担金の状況 (単位：万円・%)					
区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
調定	6,129	6,347	7,301	6,752	6,657
収入	6,048	6,307	7,140	6,578	6,442
徴収率	98.7	99.4	97.8	97.4	96.8
・教育費負担金（幼稚園入園料、授業料）の状況 (単位：万円・%)					
区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
調定	1,608	1,820	1,691	1,368	1,508
収入	1,608	1,820	1,691	1,358	1,500
徴収率	100.0	100.0	100.0	99.3	99.5

款項目	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績			
12	使用料及び手数料	76,547,061				
当初予算額 106,376,000 円 最終予算額 106,376,000 円 決算額 76,547,061 円						
(1) 主な収入の内訳						
・ 社会教育使用料 3,198 万円						
・ 公営住宅使用料 1,843 万円						
・ 戸籍手数料 244 万円						
(2) 活動指標						
・ 使用料及び手数料の状況 (単位：万円)						
区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	
民生使用料	368	348	195	233	160	
農業使用料	122	122	147	147	147	
観光使用料	777	801	764	794	515	
労働使用料	107	-	-	-	-	
土木使用料	1,845	2,115	2,509	2,580	2,455	
教育使用料	5,127	4,868	4,868	4,629	3,676	
総務手数料	605	624	647	604	624	
衛生手数料	71	74	74	73	75	
農林水産業手数料	1	2	1	1	1	
土木使用料	5	3	3	4	2	
合 計	9,028	8,957	9,208	9,065	7,655	
・ 公営住宅使用料（町営住宅駐車場使用料含む）の状況 (単位：万円・%)						
区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	
調 定	1,458	1,784	1,991	2,117	2,094	
収 入	1,435	1,717	1,882	1,957	1,843	
徴 収 率	98.4	96.2	94.5	92.4	88.0	
13	国庫支出金	202,439,894	款別歳入決算の説明及び実績			
当初予算額 213,791,000 円 最終予算額 226,300,000 円 決算額 202,439,894 円						
(1) 主な収入の内訳						
・ 障害者自立支援給付費負担金 6,276 万円						
・ 地方道路交付金 4,645 万円						
・ まちづくり交付金 3,000 万円						
(2) 活動指標						
・ 国庫支出金の状況 (単位：万円)						
区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	
民生費国庫負担金	5,437	4,744	4,539	6,449	10,260	
衛生費国庫負担金	411	503	422	360	352	
保険基盤安定国庫負担金	971	1,744	392	368	375	
災害復旧国庫負担金	-	219	-	6,220	-	
民生費国庫補助金	4,275	4,425	5,069	5,678	648	
土木費国庫補助金	8,207	3,053	2,592	8,955	7,697	
教育費国庫補助金	403	10,406	18	1,498	19	
災害復旧国庫補助金	-	1,085	2,210	501	-	
総務費委託金	516	523	539	17	538	
民生費委託金	448	379	359	344	355	
土木費委託金	-	598	-	1	-	
合 計	20,668	27,679	16,140	30,391	20,244	

款項目	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績																																																																																																								
14	県支出金	160,139,896																																																																																																									
当初予算額 163,032,000円 最終予算額 167,251,000円 決算額 160,139,896円																																																																																																											
(1) 主な収入の内訳																																																																																																											
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害者自立支援給付費負担金 3,047万円</li> <li>・ 社会福祉費補助金 2,863万円</li> <li>・ 徴税费委託金 2,507万円</li> </ul>																																																																																																											
(2) 活動指標																																																																																																											
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県支出金の状況 (単位：万円)</li> </ul>																																																																																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成15年度</th> <th>平成16年度</th> <th>平成17年度</th> <th>平成18年度</th> <th>平成19年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>民生費県負担金</td> <td>2,221</td> <td>1,621</td> <td>1,589</td> <td>3,753</td> <td>5,468</td> </tr> <tr> <td>衛生費県負担金</td> <td>443</td> <td>496</td> <td>491</td> <td>322</td> <td>292</td> </tr> <tr> <td>保険基盤安定県負担金</td> <td>486</td> <td>872</td> <td>2,600</td> <td>2,476</td> <td>2,843</td> </tr> <tr> <td>総務費県補助金</td> <td>465</td> <td>279</td> <td>1,327</td> <td>545</td> <td>172</td> </tr> <tr> <td>民生費県補助金</td> <td>17,768</td> <td>9,853</td> <td>6,906</td> <td>4,298</td> <td>3,564</td> </tr> <tr> <td>衛生費県補助金</td> <td>243</td> <td>252</td> <td>194</td> <td>200</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>農林水産業費県補助金</td> <td>1,833</td> <td>1,666</td> <td>1,503</td> <td>545</td> <td>501</td> </tr> <tr> <td>土木費県補助金</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>30</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>緊急地域雇用特別事業県補助金</td> <td>746</td> <td>776</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>教育費県補助金</td> <td>107</td> <td>52</td> <td>38</td> <td>30</td> <td>158</td> </tr> <tr> <td>総務費委託金</td> <td>1,433</td> <td>1,242</td> <td>1,558</td> <td>1,767</td> <td>2,858</td> </tr> <tr> <td>民生費委託金</td> <td>139</td> <td>121</td> <td>86</td> <td>85</td> <td>96</td> </tr> <tr> <td>農林水産業費委託金</td> <td>93</td> <td>44</td> <td>40</td> <td>46</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>教育費委託金</td> <td>16</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>土木費委託金</td> <td>-</td> <td>94</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>25,993</td> <td>17,368</td> <td>16,332</td> <td>14,097</td> <td>16,014</td> </tr> </tbody> </table>						区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	民生費県負担金	2,221	1,621	1,589	3,753	5,468	衛生費県負担金	443	496	491	322	292	保険基盤安定県負担金	486	872	2,600	2,476	2,843	総務費県補助金	465	279	1,327	545	172	民生費県補助金	17,768	9,853	6,906	4,298	3,564	衛生費県補助金	243	252	194	200	-	農林水産業費県補助金	1,833	1,666	1,503	545	501	土木費県補助金	-	-	-	30	21	緊急地域雇用特別事業県補助金	746	776	-	-	-	教育費県補助金	107	52	38	30	158	総務費委託金	1,433	1,242	1,558	1,767	2,858	民生費委託金	139	121	86	85	96	農林水産業費委託金	93	44	40	46	41	教育費委託金	16	-	-	-	-	土木費委託金	-	94	-	-	-	合計	25,993	17,368	16,332	14,097	16,014
区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度																																																																																																						
民生費県負担金	2,221	1,621	1,589	3,753	5,468																																																																																																						
衛生費県負担金	443	496	491	322	292																																																																																																						
保険基盤安定県負担金	486	872	2,600	2,476	2,843																																																																																																						
総務費県補助金	465	279	1,327	545	172																																																																																																						
民生費県補助金	17,768	9,853	6,906	4,298	3,564																																																																																																						
衛生費県補助金	243	252	194	200	-																																																																																																						
農林水産業費県補助金	1,833	1,666	1,503	545	501																																																																																																						
土木費県補助金	-	-	-	30	21																																																																																																						
緊急地域雇用特別事業県補助金	746	776	-	-	-																																																																																																						
教育費県補助金	107	52	38	30	158																																																																																																						
総務費委託金	1,433	1,242	1,558	1,767	2,858																																																																																																						
民生費委託金	139	121	86	85	96																																																																																																						
農林水産業費委託金	93	44	40	46	41																																																																																																						
教育費委託金	16	-	-	-	-																																																																																																						
土木費委託金	-	94	-	-	-																																																																																																						
合計	25,993	17,368	16,332	14,097	16,014																																																																																																						
款項目	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績																																																																																																								
15	財産収入	9,041,224																																																																																																									
当初予算額 55,648,000円 最終予算額 10,757,000円 決算額 9,041,224円																																																																																																											
(1) 主な収入の内訳																																																																																																											
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利子及び配当金 542万円</li> <li>・ 土地建物貸付収入 362万円</li> </ul>																																																																																																											
(2) 活動指標																																																																																																											
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 財産収入の状況 (単位：万円)</li> </ul>																																																																																																											
<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成15年度</th> <th>平成16年度</th> <th>平成17年度</th> <th>平成18年度</th> <th>平成19年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>財産貸付収入</td> <td>477</td> <td>379</td> <td>302</td> <td>365</td> <td>362</td> </tr> <tr> <td>利子及び配当金</td> <td>59</td> <td>129</td> <td>124</td> <td>73</td> <td>542</td> </tr> <tr> <td>不動産売却収入</td> <td>5,000</td> <td>5,107</td> <td>1,500</td> <td>6</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>物品売却収入</td> <td>47</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>5,583</td> <td>5,615</td> <td>1,926</td> <td>444</td> <td>904</td> </tr> </tbody> </table>						区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	財産貸付収入	477	379	302	365	362	利子及び配当金	59	129	124	73	542	不動産売却収入	5,000	5,107	1,500	6	-	物品売却収入	47	-	-	-	-	合計	5,583	5,615	1,926	444	904																																																																		
区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度																																																																																																						
財産貸付収入	477	379	302	365	362																																																																																																						
利子及び配当金	59	129	124	73	542																																																																																																						
不動産売却収入	5,000	5,107	1,500	6	-																																																																																																						
物品売却収入	47	-	-	-	-																																																																																																						
合計	5,583	5,615	1,926	444	904																																																																																																						

款項目	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績					
16	寄付金	1,750,035						
			当初予算額	1,969,000円	最終予算額	3,061,000円	決算額	1,750,035円
(1) 主な収入の内訳								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・水路事業寄付金 84万円</li> <li>・社会福祉事業寄付金 82万円</li> </ul>								
(2) 活動指標								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・寄付金の状況 (単位：万円)</li> </ul>								
区 分		平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度		
一般寄付金		2	17	-	305	-		
土木費寄付金		157	505	202	67	84		
消防費寄付金		11	15	19	11	7		
教育費寄付金		50	10	110	7	2		
民生費寄付金		114	25	4	11	82		
合 計		334	572	335	401	175		
款項目	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績					
17	繰入金	39,527,000						
			当初予算額	46,003,000円	最終予算額	39,530,000円	決算額	39,527,000円
(1) 主な収入の内訳								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・繰入金 3,953万円</li> </ul>								
(2) 活動指標								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・繰入金の状況 (単位：万円)</li> </ul>								
区 分		平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度		
老人保健特別会計繰入金		-	1,130	-	3,236	-		
介護保険特別会計繰入金		-	-	-	-	-		
霊園事業特別会計繰入金		120	180	180	-	-		
財政調整基金繰入金		-	-	-	-	-		
減債基金繰入金		5,000	10,000	-	-	1,553		
土地開発基金繰入金		-	2,500	3,442	3,000	1,900		
社会福祉積立基金繰入金		2,500	-	-	10,000	-		
公営住宅建設基金繰入金		-	1,344	-	-	-		
教育文化施設資金積立基金繰入金		2,000	-	-	-	-		
芸術文化振興基金繰入金		-	-	-	3,900	500		
合 計		9,620	15,154	3,622	20,136	3,953		

款項目	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績			
18	繰越金	292,313,338				
当初予算額 35,000,000 円 最終予算額 292,313,000 円 決算額 292,313,338 円						
(1) 主な収入の内訳						
・ 繰越金 2億9,231 万円 (うち955万円は繰越明許費繰越財源分)						
(2) 活動指標						
・ 繰越金の状況 (単位：万円)						
区 分		平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
繰越金		24,767	12,136	11,987	15,070	29,231
款項目	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績			
19	諸収入	143,973,435				
当初予算額 187,775,000 円 最終予算額 174,512,000 円 決算額 143,973,435 円						
(1) 主な収入の内訳						
・ 貸付金元利収入 2,707 万円						
・ 雑入 3,978 万円						
(2) 活動指標						
・ 諸収入の状況 (単位：万円)						
区 分		平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
延滞金		19	57	8	26	34
町預金利子		8	7	12	49	231
貸付金元利収入		1,560	2,217	1,899	2,459	2,707
弁償金		1	-	-	-	1
過年度収入		-	-	-	-	-
雑入		11,298	15,515	12,217	12,043	11,424
合 計		12,886	17,796	14,136	14,577	14,397

款項目	款名	決算額（円）	款別歳入決算の説明及び実績		
20	町債	211,877,000			

当初予算額 230,000,000 円 最終予算額 219,877,000 円 決算額 211,877,000 円

(1) 主な収入の内訳 (単位：万円)

起債名	借入額	年利率	償還（据置） 期間	交付税算入率	資金区分
臨時地方道整備事業債	930	1.45%	10(3)年	30%	長野信用金庫
まちづくり交付金事業債	2,150	1.45%	10(3)年	10%	長野信用金庫
防災対策事業債	210	1.45%	10(3)年	30%	長野信用金庫
市町村振興資金	1,600	1.00%	10(2)年	—	長野県
臨時財政対策債	12,197	1.50%	20(3)年	100%	財政融資資金
	4,101	1.45%	20(3)年	100%	長野信用金庫
合計	21,188				

(2) 活動指標

・町債の年度別借入の状況

(単位：万円)

区 分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
総務債	1,410	14,350	1,330	910	-
民生債	15,480	-	-	-	-
衛生債	-	8,200	18,800	3,000	-
商工債	14,100	-	-	-	-
土木債	8,910	3,200	3,800	6,480	4,680
教育債	-	7,620	-	3,940	-
消防債	530	250	300	-	210
臨時財政対策債	36,810	25,310	19,630	17,960	16,298
災害復旧債	-	180	30	3,130	-
合計	77,240	59,110	43,890	35,420	21,188



款	項	目	款項目名	決算額 (円)	主要な施策の成果説明及び実績
1			議会費	67,119,109	
	1		議会費	67,119,109	
		1	議会費	67,119,109	

決算事項別明細書 P32～

**議会の運営(議会事務局)**

予算事業名：議会運営費

当初予算額 2,246,000 円 最終予算額 2,246,000 円 決算額 1,586,135 円

定例会が年4回(6、9、12、3月)、臨時会4回(5、9、1、3月)開催しました。定例会会期は約2週間で本会議や委員会等を開催しました。

(1) 主な支出

- ・ 議会会議録筆耕料 57 万円

(2) 活動指標

・ 本会議

定例会 4回 6月定例会 会期：6月11日～6月21日の11日間  
 9月定例会 会期：9月10日～9月27日の18日間  
 12月定例会 会期：12月3日～12月13日の11日間  
 3月定例会 会期：3月3日～3月19日の17日間

臨時会 4回 5月臨時会 会期：5月8日 9月臨時会 会期：9月3日

1月臨時会 会期：1月8日 3月臨時会 会期：3月27日

・ 委員会、その他の主な会議の実施

(単位：回)

	総務産業	社会文教	議会運営	決 算	予 算	議会全協	議会だより	議会活性化
4月								
5月			1			2		
6月	1	1	1			2	1	
7月						1	2	
8月								
9月	1	1	1	4		3	2	
10月			1			1	3	
11月			2					
12月	1	1				2	2	1
1月						2	1	1
2月			1			1		1
3月	1	1	1		4	3	2	1
合計	4	4	8	4	4	17	13	4

・ 議決件数

(単位：件)

区 分	提出件数	原案可決	否 決	認 定	承 認	同 意	適 任
条 例	30	30					
予 算	24	24					
決 算	9			9			
専決処分	5				5		
意見書及び発議	1	1					
そ の 他	7	4				2	1
合 計	76	59		9	5	2	1

・ 請願、陳情等審議

請 願 5件 (採択5件)

陳 情 10件 (採択8件、継続審査2件)

・ 一般質問 (単位：人)

	6月	9月	12月	3月	合計
質問者数	9	13	9	13	延44

・ 議傍聴者数 (単位：人)

	4月	6月	9月	12月	3月	合計
議傍聴者数	2	43	32	6	47	延130

(3) 活動指標の推移

- ・ 議会のお知らせを商工会、銀行等に数箇所掲示したことにより、議会について関心が高まり、小学校授業の一環の傍聴を含め、傍聴者が多くなりました。

議会傍聴者数の推移 (単位：人)

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
議傍聴者数	52	70	64	119	130

**「議会だより」の発行(議会事務局)**

予算事業名：議会報発行事業費

当初予算額 867,000 円 最終予算額 867,000 円 決算額 652,216 円

「議会だより」を年4回(4月、7月、11月、1月)町内全戸に配布しました。定例会、臨時会での審議内容についてお知らせしました。

(1) 主な支出

- ・ 議会だより印刷 58 万円

(2) 活動指標

- ・ 年4回発行(議会開催月の翌月)
  - ・ 無償配布(団体) 4団体
  - ・ 無償配布(個人) 27人
- 3,550部印刷/回
- (参考)平成20年3月号の町内全戸配布数 3,459件

議会での常任委員会の審議、一般質問の内容などについて広く町民の皆さんに知らせることができました。

**議員視察研修の実施(議会事務局)**

予算事業名：議会研修費

当初予算額 329,000 円 最終予算額 329,000 円 決算額 198,911 円

行財政の運営、教育行政、健康福祉、環境対策、地域活性化、活力あるまちづくり等をテーマに、各常任委員会で先進地の視察を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 視察の旅費 18 万円

(2) 活動指標

- ・ 総務産業委員会 (10月23日、24日)
  - 飯田市 (自治基本条例、農業振興施策について)
  - はびろ農業公園みはらしファーム(伊那市) (組織及び運営形態、生産と販売について)
  - 農業法人今田平(飯田市) (組織及び運営形態、オーナー制度について)
  - 下條村(職員の意識改革と職員数の削減、少子化対策等について、歳出削減と財政指標について)
- ・ 社会文教委員会 (11月1日、2日)
  - 株式会社G・フレンドリー(松川村) (ごみの減量化とリサイクルについて)
  - 北小学校(泰阜村) (学校美術館について)

泰阜村役場（在宅福祉施策について、介護保険利用料の町負担等財政援助、  
福祉バスの運行について）  
木曾広域連合（上松町）（生ゴミのリサイクルと堆肥化について）  
茅野市子ども館（子育て支援について、こども館の運営と施設概要について）

それぞれの委員会で研修目的を持ち、先進地を視察することによって、今後の小布施町のまちづくり、政策等の参考にしていきます。

**議員人件費(議会事務局)**

当初予算額 48,315,000 円      最終予算額 48,315,000 円

予算事業名：議員人件費

決算額 46,129,879 円

(1) 主な支出

・ 議員人件費                      4,613 万円

**職員人件費(議会事務局)**

当初予算額 18,379,000 円      最終予算額 18,848,000 円

予算事業名：一般職人件費

決算額 18,551,968 円

(1) 主な支出

・ 職員人件費                      1,855 万円

款	項目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績													
2		総務費	517,096,730														
	1	総務管理費	418,633,284														
		1	一般管理費			222,794,267	決算事項別明細書 P32～										
<b>行政相談委員活動の支援(総務グループ)</b>				予算事業名：一般行政管理費													
当初予算額		25,000 円	最終予算額	25,000 円	決算額 25,000 円												
<p>国や独立行政法人等の行政に対する苦情や相談に応じ、その問題解決を図る行政相談委員の活動に対し支援を行いました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行政相談委員活動助成金 1.5 万円</li> <li>行政相談委員研修会負担 0.6 万円</li> </ul> <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行政相談委員活動           <ul style="list-style-type: none"> <li>相談日：毎月第3金曜日（年12回 うち4回は総合相談と共催）及び随時</li> <li>相談場所：北斎ホールほか</li> <li>相談件数：15件</li> </ul> </li> </ul> <p>(3) 活動指標の推移</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>行政相談受付件数</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成15年度</th> <th>平成16年度</th> <th>平成17年度</th> <th>平成18年度</th> <th>平成19年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受付件数</td> <td>19</td> <td>14</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table>							平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	受付件数	19	14	19	20	15
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度												
受付件数	19	14	19	20	15												
<b>役場の共通経費(総務グループ)</b>				予算事業名：一般行政管理費													
当初予算額		37,368,000 円	最終予算額	39,368,000 円	決算額 35,091,407 円												
<p>役場庁舎内で使用する消耗品や図書の購入、例規集の印刷、コピー機の使用料、郵便や電話料などです。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文化の日表彰式の開催 23 万円</li> <li>町例規集の追録（印刷）と書籍の購入 607 万円</li> <li>郵便、宅配、コピー、電話料 1,052 万円</li> <li>職員給与計算の委託、採用試験の実施 76 万円</li> <li>その他の経費 1,762 万円</li> </ul> <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 文化の日表彰式の開催           <ul style="list-style-type: none"> <li>期日及び会場 11月3日 公民館講堂</li> <li>平成19年度受章者               <ul style="list-style-type: none"> <li>鶴田・演氏（産業の開発振興）</li> <li>涌井喜久氏（地方自治の振興）</li> <li>呉羽幸吉氏（地方自治の振興）</li> <li>浅岡修一氏（教育行政に著しい功績）</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>● 町例規集の追録（印刷）と法規等の追録回数           <ul style="list-style-type: none"> <li>例規集追録回数 2 回</li> <li>現行法規等追録回数 20 回</li> </ul> </li> <li>● 郵便、宅配、コピー、電話料           <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">コピー枚数</th> <th colspan="2">参考：平成18年度</th> </tr> <tr> <th>白黒</th> <th>カラー</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>855,536 枚</td> <td>716,618 枚</td> </tr> <tr> <td></td> <td>94,008 枚</td> <td>57,489 枚</td> </tr> </tbody> </table> </li> </ul>						コピー枚数	参考：平成18年度		白黒	カラー		855,536 枚	716,618 枚		94,008 枚	57,489 枚	
コピー枚数	参考：平成18年度																
	白黒	カラー															
	855,536 枚	716,618 枚															
	94,008 枚	57,489 枚															

● 職員給与計算の委託、職員採用試験の実施

- ・職員給与計算の委託回数 14回
- ・職員採用試験の実施
  - ・受験者数
    - 一般事務職の募集 31人受験
    - 保健師の募集 4人受験
    - 図書館長の募集 25人受験
    - 保育士・幼稚園教諭の募集 10人受験
    - 学芸員（任期付）の募集 10人受験
  - ・合格・採用者数
    - 一般事務職 2人採用
    - 保健師 2人採用
    - 図書館長 1人採用（平成19年12月採用）
    - 保育士・幼稚園教諭 2人採用
    - 学芸員（任期付職員） 1人採用

(3) 活動指標の推移

● 文化の日表彰式の開催

- ・表彰者の累計（昭和56年度～平成19年度）
  - 産業の発展 32人
  - 地方自治功労 34人
  - 教育振興 14人
  - 文化の向上 6人、3団体
  - 社会福祉増進 8人
  - 消防・水防功労 8人
  - 保健衛生向上 7人
  - 多年勤続 1人
  - 優れた善行 23人
- ・感謝状の累計（昭和56年度～平成19年度） 46人、5団体

● 郵便、宅配、コピー、電話料

区 分		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
コピー	白黒	196万円	271万円	132万円	154万円
	カラー	87万円	102万円	131万円	166万円
郵便	料金	529万円	447万円	456万円	400万円
	通数		57,848通	59,794通	52,805通
メール便	料金	—	21万円	33万円	41万円
	通数	—	2,092通	3,654通	5,003通
宅配	料金	29万円	33万円	12万円	22万円
職員配達件数		15,088件	22,150件	14,965件	9,622件

※平成18年度よりコピー単価変更 白黒：4円→1.7円/1枚 カラー：40円→16円/1枚

※郵便・宅配料金は、役場全体分として算出。

※平成17年度からメール便を利用。

● 職員給与計算の委託、採用試験の実施

- ・職員数の推移

年 度	採用	職員数 (4月1日現在)	退職
平成15年度	0人	111人	11人
平成16年度	1人	101人	3人

平成17年度	2人	100人	9人
平成18年度	4人	95人	5人
平成19年度	3人	92人	5人

(※平成19年度採用数は、年度途中採用の1人を含む)

- ・類似団体職員数の状況 (平成19年4月1日現在)

類似団体区分 (Ⅲ-0 類型)

人口10,000人以上15,000人未満、産業構造Ⅱ次・Ⅲ次80%未満の団体 (全国57団体)

団体名	普通会計 職員数	人口1万人 当たり職員数	*参考 住基人口 (H19.3.31)
長野県高森町	80人	59.80人	13,378人
長野県松川町	92人	64.21人	14,328人
長野県小布施町	83人	70.92人	11,704人
⋮			
愛媛県久万高原町	294人	264.20人	11,128人

\*類似団体：全国の地方公共団体を人口規模、産業構造の類似している団体ごとに分類したもの

#### 基金(貯金)利子の積立て(総務グループ)

予算事業名：一般行政管理費

当初予算額 39,000円 最終予算額 87,000円 決算額 87,000円

職員の退職特別措置と財政の健全な運営を図るため、基金に積み立てを行いました。

- (1) 主な支出

- ・ 職員の退職特別措置積立基金利子積立金 9万円

#### 職員の健康管理と福利厚生(総務グループ)

予算事業名：職員福利厚生費

当初予算額 3,096,000円 最終予算額 3,096,000円 決算額 2,191,296円

職員の健康管理のため、健康診断や人間ドックの実施や福利厚生のため職員互助会へ助成しました。

- (1) 主な支出

- ・ 職員の健康診断の委託 94万円
- ・ 職員団体生命保険料 36万円
- ・ 職員への福利厚生への交付金 21万円
- ・ 人間ドック検診の委託 68万円

- (2) 活動指標

- ・ 受診者数
  - 健康診断 102人
  - 人間ドック 59人

- (3) 活動指標の推移

- ・ 受診者数の推移 (単位：人)

区分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
健康診断	106	106	85	102
人間ドック	1泊	10	8	7
	日帰り	39	39	55

**町長の交際費(総務グループ)** 予算事業名：町長交際費  
 当初予算額 1,300,000円 最終予算額 1,300,000円 決算額 1,114,808円

町長に案内のあった各種会議やイベント等の会費や祝儀などを支出しました。

- (1) 主な支出
- ・ 祝儀、香典、会費 75万円
  - ・ 土産(菓子・りんご等) 28万円
- (2) 活動指標
- ・ 祝儀、香典、会費 189件
  - ・ 土産用菓子 68個

**庁内LANの運用(総務グループ)** 予算事業名：庁内LAN管理費  
 当初予算額 21,508,000円 最終予算額 21,508,000円 決算額 20,006,717円

窓口を含む全ての住民サービスを適切、安定的に実施するため、庁内LAN機器の運用に必要な管理を行いました。また、庁内LANの活用や情報セキュリティ対策を検討・実施しました。

- (1) 主な支出
- ・ セキュリティ用品の購入 103万円
  - ・ システム使用料 101万円
  - ・ 機器保守等の委託 269万円
  - ・ 機器のリース 729万円
  - ・ パソコンの購入(51台) 663万円
- (2) 活動指標
- ・ グループウェア機器のリース(リース期間 平成19年4月1日から平成20年3月31日まで延長)
  - ・ 住民記録システム機器のリース(リース期間 平成21年3月31日まで)
  - ・ 端末機器(パソコン)の購入 51台
  - ・ 情報セキュリティ対策等、会議の実施
- (3) 活動指標の推移
- ・ 機器保有状況(平成20年3月現在)
    - 端末機(パソコン) 庁内LAN用：106台(職員1人に1台配置)
    - (出先機関含) インターネットLAN用：11台
    - LGWAN用：3台
    - プリンタ(出先機関含) レーザープリンタ：18台
    - カラーレーザープリンタ：1台

**LGWANの運用(総務グループ)** 予算事業名：LGWAN管理費  
 当初予算額 3,442,000円 最終予算額 3,442,000円 決算額 2,798,461円

LGWAN等の通信回線統合やシステムの共同化を目的に、長野県電子自治体協議会で準備を進めました。

- (1) 主な支出
- ・ 通信、回線使用料 19万円
  - ・ 機器保守等の委託 75万円
  - ・ 機器のリース 55万円
  - ・ セキュアデータセンター利用料 53万円

(2) 活動指標

- ・ 協議会総会 4/25、10/27開催  
ワーキンググループ（電子入札・GIS・セキュリティ、文書管理システム、県WAN）、協議会のあり方、電子申請サービス、公的個人認証サービス、LGWAN、eL-TAXなどを協議
- ・ 同幹事会 4/19、6/4、9/26、10/19、2/15開催
- ・ LGWANサービス設備共同化検討代表幹事会への参加
- ・ 平成20年4月より、住基ネット、LGWAN、電子申請・届出サービス、積算システム、森林GIS、データセンター利用、介護ネットワーク、後期高齢者医療システム、国保レセプト管理システム、特定検診等データ管理システムについて県WANを利用することにより通信回線を一本化しました。
- ・ LGWANサービス設備の共同化に向けた検討会の実施。

**職員の研修(総務グループ)**

予算事業名：職員研修費

当初予算額 2,709,000円 最終予算額 2,709,000円 決算額 1,681,709円

幅広い知識を持ち町民の皆さんから親しまれる職員を目指すため、研修を積極的に実施しました。あらたに導入する人事評価制度の研修をはじめ行政情報やイベント等の効果的なPR方法についての研修を行うなど、諸課題に対する知識や技法の習得に向けた研修を実施しました。また、市町村職員研修センターや民間が主催する各種研修会を活用し、職員の資質向上とスキルアップを図りました。

(1) 主な支出

- |         |       |           |      |
|---------|-------|-----------|------|
| ・ 研修旅費  | 128万円 | ・ 講師への謝礼  | 12万円 |
| ・ 研修負担金 | 10万円  | ・ 職員研修委託料 | 18万円 |

(2) 活動指標

● 役場内研修（町民参加研修含）

- ・ 「報道現場から学ぶ効果的なPR方法」 参加者：42人  
期日：平成19年10月12日 講師：信濃毎日新聞社須坂支局長
- ・ 「人事評価制度」 参加者：41人  
期日：平成19年12月19日 講師：第一法規株式会社嘱託研究員 松崎光宏氏
- ・ 「PR活動による経営戦略」 参加者：55人  
期日：平成20年3月13日 講師：(有)m-cramp代表 南大樹氏

● 役場外研修

① 長野県市町村職員研修センター

- |                  |    |              |    |
|------------------|----|--------------|----|
| ・ 新規採用職員研修(前・後期) | 2人 | ・ 財務会計事務研修   | 2人 |
| ・ 研修担当者研修        | 1人 | ・ 監査事務研修     | 1人 |
| ・ 税務職員初任者研修      | 1人 | ・ 財務事務研修     | 3人 |
| ・ 中堅行政職員研修       | 2人 | ・ 法制執務(基礎)研修 | 2人 |
| ・ コーチング研修        | 1人 | ・ 法制執務(応用)研修 | 2人 |
| ・ 係長研修           | 2人 | ・ 部課長研修      | 4人 |
| ・ 政策法務研修         | 2人 | ・ 住民税事務研修    | 2人 |
| ・ 人事・給与管理事務研修    | 2人 |              |    |

② 長野広域連合

- ・ 公会計制度改革に関する共同研修 5人
- ・ 管理職員共同研修 5人

③ 長野県

- ・ 元気な地域づくり研修 3人

④ その他

- ・ 先進地視察(各種団体視察研修同行含) 14人
- ・ 行政手続制度の運用と課題 1人
- ・ 一般廃棄物担当者研修 1人



- ・ 一般廃棄物処理 3 R 化ガイドライン研修 1 人
- ・ 悪臭を出さない生ゴミの処理とまちづくりセミナー 2 人

### 防犯活動の推進(総務グループ)

予算事業名：防犯活動費

当初予算額 596,000 円 最終予算額 596,000 円 決算額 558,166 円

### 防犯指導員会の運営

各種イベント時のパトロールや年末年始に防犯診断などを行い、町民の防犯意識の高揚を図りました。

公用車を、青色回転灯を装備したそっくりパトカーに改装しました。

#### (1) 主な支出

- ・ 防犯指導員会交付金 14 万円
- ・ 防犯指導員活動保険料 1 万円

#### (2) 活動指標

- ・ ゴールデンウィーク巡回 5/3～5 指導員理事 12人
- ・ 登校児童の見守り(小学校) 5/30 指導員理事 4人
- ・ 春の町内防犯巡回 6/24 防犯指導員 70人
- ・ くりんこ祭り警戒 7/28 指導員理事 9人
- ・ お盆防犯巡回 8/14～16 指導員理事 12人
- ・ 登校生徒の見守り(中学校) 8/21 指導員理事 4人
- ・ 秋の町内防犯巡回 10/14 防犯指導員 70人
- ・ 登校児童の見守り(小学校) 11/8 指導員理事 4人
- ・ 年末防犯診断 12/28～30 28自治会実施 防犯指導員 70人
- ・ 安市警戒 1/14～15 指導員理事 12人

#### (3) 成果指標

- ・ 防犯指導員のパトロール、啓発活動により犯罪発生の抑止力となり、刑法犯の発生を年々減少させることができました。

#### 【刑法犯の須高地区発生状況】 (単位：件)

年度	小布施町	須坂市	高山村	須高地区計
平成17年度	99	496	39	634
平成18年度	66	513	26	605
平成19年度	54	424	27	505

### 須高防犯協会の運営

須高地区の犯罪のない安全な地域づくりを目的に、須高3市町村と須坂警察署が連携を取り防犯活動を実施しました。

#### (1) 主な支出

- ・ 須高防犯協会連合会分担金 40 万円

#### (2) 活動指標

- ・ 平成19年度定期総会開催 5/29 (須坂市古城荘)
- ・ 須高防犯チラシの隣組回覧 4回実施
- ・ 須高防犯協会表彰 受賞者(町関係) 赤井今朝喜氏(防犯功労者)  
永井節治氏(防犯功労者)
- ・ 長野県防犯協会表彰 受賞者(町関係) 久保修子氏(防犯功労者)

## 犯罪発生の周知

町内で犯罪が発生した場合、すみやかに同報無線等を通じ町民の皆さんに周知し、注意を促しました。

(1) 主な支出

・なし

(2) 活動指標

・振り込め詐欺、不審者、悪質な訪問販売等に対し、同報無線により注意を促しました。

## 特別職人件費

予算事業名：特別職人件費

当初予算額 30,020,000 円 最終予算額 30,020,000 円 決算額 29,967,321 円

(1) 主な支出

特別職人件費 2,997 万円

## 職員人件費

予算事業名：一般職人件費

当初予算額 113,528,000 円 最終予算額 132,521,000 円 決算額 129,272,382 円

(1) 主な支出

職員人件費 1億2,927 万円

2 広報広聴費 17,264,427 決算事項別明細書 P33～

## 町政懇談会の開催(企画グループ)

予算事業名：広報広聴活動費

当初予算額 0 円 最終予算額 0 円 決算額 0 円

町民の皆さんとの情報共有を進め、町政への参画・提案をいただき協働のまちづくりをとともに進めるため、町政に関する懇談会を自治会やコミュニティ単位で開催しました。

(1) 主な支出

・なし

(2) 活動指標

- 【懇談会テーマ】
- ・平成19年度事業の進捗状況について
  - ・町の財政状況について
  - ・後期高齢者医療制度について

開催日	自治会・コミュニティ名	会場	参加人数 (職員含む)
10月23日(火)	北部コミュニティ(北岡・押羽・羽場)	北部コミュニティセンター	33人
11月4日(日)	第1コミュニティ(東町・上町)	東町公会堂	42人
11月9日(金)	第5コミュニティ(林・山王島)	林公会堂	37人
11月14日(水)	第3コミュニティ(福原・横町・栗ガ丘)	第3コミュニティセンター	25人
11月15日(木)	東部コミュニティ(中条・松村・雁田)	東部コミュニティセンター	36人
11月17日(土)	西部コミュニティ(大島・飯田)	大島公会堂	32人
11月18日(日)	中町	中町公会堂	27人
11月20日(火)	伊勢町・中央・中扇	伊勢町公会堂	30人
11月22日(木)	都住コミュニティ(六川・中子塚・矢島・清水)	六川公会堂	36人

11月25日（日）	上松川コミュニティ（水上・松の実・千両・松川・クリトピア）	上松川コミュニティセンター	46人
合計	10会場		344人

(3) 活動指標の推移

- ・ 町政懇談会参加者の推移

年度	平成17年度前期	平成17年度後期	平成18年度	平成19年度
開催回数	26	9	13	10
参加人数	920	394	429	344
1会場平均参加数	35.4	43.8	33.0	34.4

平成19年度事業、財政状況、後期高齢者医療制度などについてご説明し、町政に関するさまざまなご意見・ご提言を頂きました。懇談会での意見をもとに今後の行財政運営を行っていくとともに、今後も町民の皆さんとの情報共有の機会として実施していきます。

**私の意見箱（企画グループ）**

予算事業名：広報広聴活動費

当初予算額 0 円 最終予算額 0 円 決算額 0 円

町内各所（31カ所）に「私の意見箱」を設置し、町民の皆さんから町政やまちづくりなどについて広くご意見やご提言をいただき、町報等でお答えしました。また、それらのご意見を事業の見直し等に反映しました。

(1) 主な支出

なし

(2) 活動指標

- ・ 「私の意見箱」設置箇所 町内31カ所（各公会堂、保健センター前、高井鴻山記念館）
- ・ 投書数 55 通（うち観光客36通）
- ・ 町報5月号、6月号、11月号に回答を掲載

(3) 活動指標の推移

- ・ 「私の意見箱」投書数（ただし平成15～16年度は、高井鴻山記念館内の意見は除く）

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
投書数	12	12	62	46	55

「私の意見箱」は、町政に対して広く、また気軽に意見をいただけるよう設置しています。平成19年度も毎月コンスタントに投書がありました。

投書は、高井鴻山記念館に設置している意見箱への投書が多く、小布施町を訪れての感想が多くありましたが、いただいた感想・意見は、担当部門で検討するとともに、施策への反映を検討しました。

**カメラ・ビデオの撮影、写真・映像のデータ保存（企画グループ）**

予算事業名：広報広聴活動費

当初予算額 372,000 円 最終予算額 372,000 円 決算額 243,445 円

今の小布施町を後世に伝えるため、写真やビデオなどの撮影を行い、映像の記録等の保存に努めました。また、今年で15周年を迎えたおぶせミュージアム・中島千波館の記念式典などの各種記念イベントをビデオリポーターの皆さんに撮影していただきました。

(1) 主な支出

- ・ 撮影用ビデオテープ等購入 3 万円
- ・ 日本広報協会会費 2 万円
- ・ カメラ・ビデオリポーターの報酬 19 万円

(2) 活動指標

【リポーターの人数】

- ・ カメラリポーター 4人
- ・ ビデオリポーター 4人

【撮影内容】

- ・ 中島千波館開館15周年記念展（前期・後期）・式典（10/20）
- ・ 第30回 くりんこ祭り（7/28）
- ・ 長野県総合防災訓練・町総合防災訓練（合同・10/28）
- ・ 小布施見にマラソン、安市など町内の各種イベント など

後からでも見返せて、生き生きとした町民の活動の様子や町で起きた事象を視覚的に伝える写真やビデオの撮影を、カメラ・ビデオリポーターの皆さんにご協力いただきながら行い、また皆さんに広く視聴できるよう図書館にビデオを収めました。

広報で撮影した写真や映像は、後世の貴重な資料として保存・活用していきます。

**「町報おぶせ」の発行(企画グループ)**

予算事業名：町報発行事業費

当初予算額 7,130,000 円 最終予算額 7,368,000 円 決算額 7,354,055 円

町民の皆さんに町政に関する話題や生活情報、行事などをお知らせするため、広報員やカメラ・ビデオリポーターの皆さんにご協力いただきながら、毎月1回町報の発行を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 町報の印刷 718 万円
- ・ 広報員、カメラ・ビデオリポーター謝礼 11 万円

(2) 活動指標

- ・ 毎月1回発行 4,000部/回
- ・ 町内全戸配布 3,459世帯（平成20年3月号）
- ・ 有償配布（個人・団体） 74部
- ・ 無償配布（団体） 76団体（87部）
- ・ 無償配布（個人・寄稿者） 15部
- ・ 無償配布（施設・職員等） 329部

(3) 活動指標の推移

- ・ 町報発行の推移

年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
印刷費	610万円	622万円	599万円	720万円	718万円
総ページ数	218	224	212	274	272
月平均ページ数	18.2	18.7	17.7	22.8	22.7

※平成15年4月から、毎月1回（10日）発行に変更

※平成19年1月から、発行日を20日に変更

(4) 成果指標

- ・ 平成18年長野県広報コンクール「1枚写真の部」 優秀賞/平成18年6月号 表紙
- ・ 平成18年全国広報コンクール「1枚写真の部」 9席入選/同上
- ・ 平成19年長野県広報コンクール「1枚写真の部」 最優秀賞/平成19年5月号 表紙

- ・ まちづくりアンケート（H17.10.1現在）

問：小布施町の町政に関する情報をどのようにして得ていますか。

- |         |        |              |        |
|---------|--------|--------------|--------|
| ① 町報おぶせ | 89.6 % | ④ 新聞記事や折込チラシ | 29.9 % |
| ② 広報おぶせ | 57.6 % | ⑤ 自治会などの会合   | 19.5 % |
| ③ 回覧板   | 47.2 % | ⑥ 新しい仲間を通じて  | 17.1 % |

町民が町政に関する情報を得る手段として、町報おぶせが最も身近な媒体となっています。これからも町民の皆さんに親しんでいただける町報づくりに一層努めていきます。

**同報無線(防災行政無線)の運用・整備 (企画グループ)**

予算事業名：同報無線事業費

当初予算額 7,692,000 円 最終予算額 7,692,000 円 決算額 7,628,877 円

町民の皆さんに町のさまざまな情報をお知らせしたり、災害時に情報を伝達する手段として、同報無線の放送を行いました。また、屋外放送施設等の保守点検や自治会単位での戸別受信機の交換を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 戸別受信機の購入 704 万円
- ・ 保守点検の委託 40 万円

(2) 活動指標

- ・ 1日4回の定時放送（朝・昼・夜（2回））と2回のチャイムの実施
- ・ 小学校下校時の見守りの放送 平日
- ・ 夕焼け小焼けの音楽放送 18時：6月1日～9月9日、17時30分：9月10日～10月31日
- ・ アナウンス研修会の実施 … 10月24・25日（8人参加）
- ・ 戸別受信機の更新（中町・中央・転入者） 200台
  - ※ 一斉交換日 中町 … 8月28日（火）、中央 … 8月29日（水）
- ・ 保守点検の実施（8・3月の2回）～同報無線親局装置一式、屋外子局一式（7カ所）
  - ※ 子局設置箇所 … 役場屋上、羽場、都住、雁田、吉島、中松、大島の計7カ所
  - 8月点検（期間：平成19年8月21日～22日）
  - 3月点検（期間：平成20年3月26日～31日） ※羽場の子局のバッテリー交換も実施
- ・ 無線局免許の再免許申請
  - ※ 現在の無線局免許の有効期間が平成19年11月30日で満了するため、再免許申請を行う
  - 5月28日 再申請事務を委託⇒11月27日 信越総合通信局から再免許状が届く
  - 今回更新した再免許の有効期限：平成24年11月30日まで（免許の番号：信第22592号）

(3) 活動指標の推移

- ・ 戸別受信機の交換

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
交換自治会	大島	松村	六川	上町・福原	中町・中央
交換台数	200台	200台	200台	200台	200台
交換率	—	—	61.2%	66.1%	70.8%

戸別受信機の交換率（平成19年度末） 70.8 %

毎日の放送を確実に行うことができ、町の情報を町民の皆さんにお知らせできました。

**ホームページの充実(総務グループ)**

予算事業名：ホームページ管理費

当初予算額 1,665,000 円 最終予算額 1,665,000 円 決算額 680,400 円

より多くの人に、より多彩な情報を伝達する手段として町ホームページの充実に努めました。

(1) 主な支出

- ・ W e b サーバ等管理委託料 68 万円

(2) 活動指標

- ・ ホームページの更新（随時）
- ・ ホームページ累計アクセス件数 1,034,734件
- ・ 生活、観光情報のメール配信者数 352人

**「ここに使います ことしの予算！」の発行（企画グループ）** 予算事業名：予算事業説明書作成事業費  
 当初予算額 1,596,000 円 最終予算額 1,358,000 円 決算額 1,357,650 円

その年の予算の使い道や事業などを、なるべく分かりやすくまとめた「ここに使います ことしの予算！」を発行し、全戸にお配りしました。

- (1) 主な支出
- ・ 「ここに使います ことしの予算！」の印刷製本 136 万円
- (2) 活動指標
- ・ 「ここに使います ことしの予算！」印刷部数 3,800 部（全戸配布）

(3) 活動指標の推移

	平成17年度	平成18年度	平成19年度
印刷費	117万円	145万円	136万円
作成部数	4,000部	3,800部	3,800部

※ 予算事業説明書の作成は、平成17年度から行っています。

「自分たちが納めている税金の使い方が分かるようになった」「まちづくりに興味を持つようになった」など、多くの意見をいただいています。今後も小布施のまちづくりにご理解をいただくための一つの方法として、より見やすく、分かりやすい冊子となるよう努めていきます。

**3 財政管理費 4,062,472 決算事項別明細書 P33～**

**財務会計システムの運用など(企画グループ)** 予算事業名：財政管理費  
 当初予算額 4,084,000 円 最終予算額 4,084,000 円 決算額 4,062,472 円

予算の作成、収入支出伝票の処理などを行う財務会計システムの運用を行いました。この財務会計システムは、収入や支出の情報を一元的に管理することにより各種財政資料の作成にも活用しています。

- (1) 主な支出
- ・ 財務会計システムの保守委託 158 万円
  - ・ 財務会計システムの使用料 184 万円
  - ・ 水道事業会計繰出金 41 万円
- (2) 活動指標
- ・ 財務会計システム システム名  
 財務会計システム  
 バランスシートシステム  
 起債システム
  - ・ 財務会計システム使用端末 全端末（131台）
  - ・ 機能等 予算編成、予算管理、決算統計、執行管理、決算管理、各科管理、データ活用等
  - ・ 財務会計システム保守 バージョンアップ、制度改正等による機能の変更等に対応

**4 会計管理費 2,162,653 決算事項別明細書 P33～**

**会計事務(税務グループ)** 予算事業名：会計管理費  
 当初予算額 2,343,000 円 最終予算額 2,343,000 円 決算額 2,162,653 円

町に入金されたお金や物品の管理と、町からのお金の支払い手続きを行いました。また、決算書を作成しました。

- (1) 主な支出
- ・ 口座振替などの手数料 90 万円
  - ・ 決算書などの印刷 22 万円
  - ・ 役場全体で使うコピー用紙など 101 万円
  - ・ その他の経費 3 万円

(2) 活動指標

【会計事務の概要】

- ・現金、有価証券、担保物件の出納及び保管
- ・収入及び支出、証拠書類の整理及び保管
- ・給与の支払事務及び給与簿の保管
- ・物品の出納及び保管
- ・決算の調製

5	財産管理費	148,652,314	決算事項別明細書	P34～	
<b>町有財産の維持管理(企画グループ)</b>		予算事業名：町有財産管理費			
当初予算額	4,449,000 円	最終予算額	4,449,000 円	決算額	4,447,970 円

来庁者の駐車スペースの確保のため、役場西側駐車場等の土地を借りました。

(1) 主な支出

- ・土地借上料 440 万円

(2) 活動指標

- ・役場西側駐車場の借り上げ 800 m<sup>2</sup>
- ・旧丸林倉庫の敷地の借り上げ 5,330 m<sup>2</sup>

役場前駐車場、西側駐車場とあわせ95台の駐車可能台数を確保  
旧丸林倉庫 役場倉庫として活用

<b>基金(貯金)利子の積立て(企画グループ)</b>		予算事業名：町有財産管理費			
当初予算額	2,637,000 円	最終予算額	114,414,000 円	決算額	114,414,000 円

将来にわたり安定的な財政運営を行うため、昨年度の余剰金を活用し財政調整基金の積立てを行いました。また、財政調整基金、減債基金等への利子の積立て、土地開発基金への利子繰出しを行いました。

(1) 主な支出

- ・財政調整基金への積立て 1億1,233 万円
- ・減債基金への積立て 116 万円
- ・土地開発基金への繰出し 75 万円

<b>役場庁舎の維持管理(総務グループ)</b>		予算事業名：庁舎管理費			
当初予算額	15,698,000 円	最終予算額	18,604,000 円	決算額	18,239,586 円

光熱水費や灯油代など省エネに努めながら、役場庁舎の適正な維持管理を行いました。

(1) 主な支出

- |                |        |               |        |
|----------------|--------|---------------|--------|
| ・庁舎の光熱水費       | 650 万円 | ・灯油代          | 288 万円 |
| ・庁舎の修繕料        | 293 万円 | ・清掃業務委託料      | 179 万円 |
| ・エレベーター保守管理の委託 | 63 万円  | ・消防用設備保守点検委託料 | 54 万円  |
| ・トイレ洗浄器の借り上げ   | 25 万円  | ・電気保安業務委託料    | 39 万円  |
| ・アスベスト検査委託料    | 102 万円 | ・清掃用具の使用料     | 14 万円  |
| ・自動ドア保守管理委託料   | 20 万円  | ・庁舎用消耗品費      | 17 万円  |

(2) 活動指標

- ・アスベスト含有検査 平成20年1月、3月 10施設12検体実施 検体不検出
- ・エレベーター保守管理 3施設 毎月実施 故障箇所なし

- ・消防用設備保守点検 31施設 年1回実施 指摘施設23施設（改修済）
- ・自動ドア保守点検（うち庁舎分支出） 8施設 年4回実施 故障箇所なし

### 庁用車の維持管理(総務グループ)

予算事業名：庁用車管理費

当初予算額 10,407,000 円 最終予算額 10,407,000 円 決算額 8,774,138 円

役場の業務等で使用する庁用車の維持管理を行いました。

#### (1) 主な支出

- ・ガソリン代 193 万円
- ・自動車損害保険料 150 万円
- ・車検、定期点検代 221 万円
- ・庁用車のリース料 142 万円
- ・高速道路利用料 71 万円
- ・タイヤ等消耗品費 22 万円

#### (2) 活動指標

保有台数

- ・中型車両 1台 ・普通車両 14台 ・軽車両 12台
- ・小型ポンプ付積載車 9台
- ・車検 17台 ・12カ月点検 7台
- ・6カ月点検 6台 ・3カ月点検 2台

### 多目的トイレの改修(総務グループ)

予算事業名：庁舎等整備事業費

当初予算額 1,599,000 円 最終予算額 3,213,000 円 決算額 2,776,620 円

役場一階のトイレを改修しました。小さなお子さんと一緒に利用できるように、ベビーチェアやオムツ換えができるベビーシートを設置し、また人工肛門・人工膀胱をつけている人も安心して利用していただけるよう設備を備えました。

#### (1) 主な支出

- ・工事の設計監理の委託料 12 万円
- ・トイレ改修工事費 266 万円

#### (2) 活動指標

- ・洋式タイプ ・ベビーチェア、ベビーシート設置
- ・人工肛門、人工膀胱対応

6 企画費 5,862,361 決算事項別明細書 P34～

### 広域行政の推進(企画グループ)

予算事業名：広域行政推進費

当初予算額 3,555,000 円 最終予算額 3,492,000 円 決算額 3,452,000 円

近隣市町村と協力し、広域的に取り組むべき情報化・少子高齢化・環境問題・地方分権・教育などの諸施策を行うため、長野広域連合での調査研究に取り組み、ふるさと市町村圏だより「AREAながの」の発行やふれあい探訪ツアーなどの事業を実施しました。また、まちづくりや地域の課題について方向性を探るため、地域活性化センターやスロータウン連盟に加入して情報の収集、交換を行いました。

#### (1) 主な支出

- ・長野広域連合負担金 333 万円
- ・地域活性化センター会費 7 万円
- ・スロータウン連盟会費 5 万円



(2) 活動指標

【長野広域連合】（総務管理費に係るもの）

- ・ 広域的課題の調査研究
- ・ 長野地域ふるさと市町村圏だより「AREAながの」を4月と9月に発行（全戸配布）
- ・ ふるさとフォトコンテストの作品募集と入賞作品の展示
- ・ ふれあい探訪事業（圏内の名所を巡り、体験や交流を行うツアーの開催 7月28日、10月13日）

【地域活性化センター】

- ・ 地域活性化情報の提供（機関紙「地域づくり」「地域活性化情報ファイル」などの発行）
- ・ 地域活性化フォーラム、地域再生実践塾、地域づくりコーディネータ研修会の開催
- ・ 地域イベントへの助成・支援、地域イベントの表彰など

【スロータウン連盟】

- ・ 平成14年発足/北海道由仁町、埼玉県深谷市、栄村、小布施町など全国60市町村で構成
- ・ 地産地消 日本の秋大収穫祭の開催（町/緑のかけ橋まつりが参加）
- ・ ふるさとパックの提供（全国特産品のプレゼントへの協力 町/りんご酢、りんごジュース）

【北信濃スロータウン協議会】

- ・ 平成15年発足/中野市、山ノ内町、高山村、小布施町により構成

**国際交流(企画グループ)**

予算事業名：交流事業費

当初予算額 120,000 円 最終予算額 100,000 円 決算額 100,000 円

町民の皆さんががさまざまな国の人との交流を通して、国際感覚を身につけることを目的に行う「国際ボランティアワークキャンプ」事業へ支援を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 小布施国際交流クラブ 国際ボランティアワークキャンプ交付金 10 万円

(2) 活動指標

- ・ 小布施国際交流クラブ（平成10年発足）が実施している海外の若者を受け入れ、交流を行う「国際ボランティアワークキャンプ」の活動を支援

- ・ 町報6月号でホームステイ家庭の募集

- ・ キャンプ参加者7人（日本人リーダー1人含）

（内訳・・・男3人、女性4人／ロシア2人、韓国・スペイン・メキシコ・トルコ・日本各1人）

- ・ 8月19日～9月2日 小布施町内に滞在（14日間）

8月19日 小布施到着

8月21日 わかば保育園、在宅支援センターへ訪問、交流活動

8月22日 小学校訪問、交流活動

8月23日 東京理科大学まちづくり研究所ワークショップへ参加

8月24日 中学校訪問、交流活動

8月25日 休み（自由行動）

8月26日 長野県内観光

8月27日 ボランティアセンター、子ども教室へ訪問、交流活動

8月28日 エンゼルランドセンター、在宅介護支援センターへ訪問、交流活動

8月29日 栗ガ丘幼稚園訪問、交流活動

8月30日 つすみ保育園、児童クラブ訪問、交流活動

8月31日 総合公園、高井鴻山記念館へ訪問

9月1日 ホストファミリーとの交流会

9月2日 解散

- ・ 宿泊・・・8月19日～25日 町内5家庭でホームステイ 8月26日～9月1日 桃源荘宿泊

(3) 活動指標の推移

- ・ ホームステイ受入家庭数の推移 (単位：軒)

年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
受入家庭数	8	9	8	6	5
受入家庭の実数	8	12	17	20	20

※受入家庭の実数は平成15年度からの累計

キャンプ期間中は、ホストファミリーとの交流だけでなく、小中学校や保育園、エンゼ  
ルランドセンター、いきいきサロン等を訪問し、多くの町民の皆さんと交流を図ることが  
できました。また、キャンプ参加者も町民の皆さんの「もてなし」を感じることができ、  
良い経験になりました。

**墨田区伝統工芸保存会職人展の開催(企画グループ)**

予算事業名：交流事業費

当初予算額 450,000 円 最終予算額 535,000 円 決算額 532,039 円

平成18年秋に開催した「おぶせ六斎市」の熱もそのままに、北斎を通じてゆかりのある東京都墨  
田区から職人を迎え、すみだ伝統工芸「技人展」を開催しました。人・物の往来を密にすること  
で、教育・産業など多分野での交流・連携を深めました。

(1) 主な支出

- ・ 会場設営、製作実演等謝礼 22 万円
- ・ 打合せ等旅費 13 万円
- ・ 歓迎交流会 9 万円

(2) 活動指標

- ・ 開催期日 5月1日(火)～7日(月)
- ・ 開催場所 おぶせミュージアム・中島千波館 木造館
- ・ 主催 墨田区伝統工芸保存会

【作品展示】

押絵羽子板、鼈甲工芸、鋳金具、江戸表具、江戸木目込人形、市松人形、鋳かんざし、建  
築漆工など、20職種50点余の作品の展示。

【製作実演】

期間中毎日、市松人形の製作実演を実施。

(3) 成果指標

2,000人を超える来場者を迎えるとともに、期間中、幾度となく足を運んでくれた地域  
住民と職人との間に暖かい交流も生まれました。

今回の技人展の開催により墨田区との交流の機運が更に高まり、翌年以降の継続はもち  
ろん、都市農村交流事業や墨田での物産展への出展、保存会の皆さんによる栗ガ丘小学校  
修学旅行の受け入れなどに繋がっています。

- ・ 参加者数  
職人 延42人  
来場者 2,041人

**基金(貯金)利子の積立て(企画グループ)**

予算事業名：交流事業費

当初予算額 18,000 円 最終予算額 42,000 円 決算額 42,000 円

教育、文化、産業および社会福祉制度等の国外研修を行う者に対して貸し付けを行うため、国外  
研修資金貸付基金へ利子の繰り出しを行いました。

(1) 主な支出

- ・ 国外研修資金貸付基金への利子繰出金 4 万円

**イベントガイドブックの作成(企画グループ)**

予算事業名：イベント調整費

当初予算額 1,050,000円 最終予算額 1,132,000円 決算額 1,131,375円

春と秋の行楽期のイベントや町営・民間美術館等の企画展の情報等を掲載したガイドブックを作成しました。町内の全世帯と、ホテル・旅館・駅等の観光客の出入りする施設や、報道機関等にも配りました。

また、より早く発行するため、今年度予算で2008春のイベントガイドブックを作成、発行しました。

## (1) 主な支出

- ・ イベントガイドブックの作成 113万円

## (2) 活動指標

- ・ 2007春のイベントガイドブック 印刷部数 50,000部 (4月作成)
- ・ 2007秋のイベントガイドブック 印刷部数 50,000部 (9月作成)
- ・ 2008春のイベントガイドブック 印刷部数 30,000部 (平成20年3月作成)
- ・ 配布箇所/部数

町内世帯3,424/部 町営・民営施設(24カ所)/25,800部 高山温泉郷(11カ所)/1,900部

山ノ内旅館・ホテル(10カ所)/2,000部 長野市内等ホテル(10カ所)/2,000部

観光情報センター・観光協会等(6カ所)/1,200部 旅行者(14カ所)/70部

報道関係(16カ所)/80部

春と秋の行楽期のイベント・企画展情報を一覧でご覧いただけるため、効果的に町の魅力をPRでき、町内外の観光客のみならず、視察対応時の町PRにも使用しました。また、紙面のスペースの部分で町報等に掲載できない民間施設の取り組みも積極的に取り上げ、幅広い情報を掲載することができました。

**町民会議の設立に向けた検討(企画グループ)**

予算事業名：町民会議設立検討委員会費

当初予算額 1,435,000円 最終予算額 1,405,000円 決算額 171,188円

より住みよいまちをつくるためには、そこに暮らす人と行政との協働が欠かせません。平成17年に150人の町民の皆さんが参加して原案をつくった「第四次町総合計画・後期基本計画」策定の際にも協働の重要性が議論され、住民参加と町民相互のコミュニケーションの場「町民会議」の創設をとの提言がなされました。

これを受け、平成18年8月に発足した「町民会議設立検討委員会」では、これからの小布施のまちづくりをどう進め、そこに町民がどのように携わっていくかについて議論を重ねてきました。この結果、町民・議会・行政が情報を共有し議論する場、まちづくりに意欲的な人たちの連携の場となるような小布施らしい協働の仕組みとして、いわゆる町民会議「小布施まちづくり委員会」の設立を提案し、その活動を終わりました。

## (1) 主な支出

- ・ 委員会事務用品 9万円
- ・ 会議時お茶など 8万円

## (2) 活動指標

委員数 32人

	期 日	場 所	出席者数 (職員含む)	内 容
第5回検討委員会	平成19年4月13日(金)	公民館講堂	27人	地方自治学習会の報告、町民会議規約の骨格づくり①
地方自治学習会	平成19年5月16日(水)	公民館講堂	39人	住民参加と地方自治について 信濃毎日新聞社 論説委員 増田正昭 氏
第6回検討委員会	平成19年6月15日(金)	公民館講堂	28人	地方自治学習会の報告、町民会議規約の骨格づくり②
講演会参加	平成19年7月13日(金)	メルパルク NAGANO	10人	パートナーシップのまちづくりと行政経営 前茅野市長 矢崎和広 氏

第7回検討委員会	平成19年7月20日(金)	公民館講堂	23人	講演会の報告、町民会議規約の骨格案について
第8回検討委員会	平成19年8月23日(木)	公民館講堂	34人	模擬町民会議全体会、部会(※)検討テーマの決定、部会の編成(4部会)、検討スケジュールの決定
第9回検討委員会	平成19年9月27日(木)	公民館講堂	29人	模擬町民会議全体会 模擬部会の途中経過、模擬部会運営上の反省点について
第10回検討委員会	平成19年10月31日(水)	公民館講堂	24人	模擬町民会議全体会 各部会の提言と決議、模擬会議運営上の反省点について
第11回検討委員会	平成19年11月21日(水)	公民館講堂	24人	町民会議の位置付けとその取り決めについて
意見交換会	平成19年12月2日(日)	六次産業センター	12人	魚沼市まちづくり委員会設立準備会との意見交換会
第12回検討委員会	平成19年12月11日(火)	公民館講堂	31人	町長との意見交換
第13回検討委員会	平成20年1月30日(水)	公民館講堂	22人	議員(議会)との関係構築に係る今後の進め方について
シンポジウム参加	平成20年2月23日(土)	魚沼市地域振興センター	16人	魚沼市まちづくり委員会設立記念講演&シンポジウム
第14回検討委員会	平成20年2月29日(金)	公民館講堂	22人	町民会議設立に向けた課題と対応について
第15回検討委員会	平成20年3月12日(水)	公民館講堂	24人	会則(案)等について、小布施まちづくり委員会設立に向けたスケジュールについて

※ 8月から10月にかけて、4部会に分かれて模擬部会をそれぞれ5～6回開催。

協働とは、お互いに役割と責任を自覚し、尊重しあって信頼関係を築き、それぞれの長所を活かしながら、共通の目標に向けて協力し合うことです。町民会議設立検討委員会では、32人の委員に加え役場職員も参加し、議員や自治会長の皆さんにも参加を呼びかけながら、15回の全体会議のほかワークショップや学習会、ルールづくりのための模擬会議などを行い、検討を深めてきました。この手法は、新図書館(交流センター)建設などに活かされています。

平成20年4月には、公募による88人の委員の参加により「小布施まちづくり委員会」が発足し、テーマを定めて5つの部会を編成し、活動をスタートしています。

#### 郷土料理研究フォーラムの開催(企画グループ)

予算事業名：食育推進費

当初予算額 500,000 円 最終予算額 446,000 円 決算額 433,759 円

小布施町食育推進計画の基本計画に沿い、郷土の伝統料理や食文化を再認識し、特色ある食文化を次世代へ継承していくため「郷土料理研究フォーラム」を開催しました。

#### (1) 主な支出

- ・ 講演会講師・事例発表団体謝礼 38 万円
- ・ 研究発表、試食コーナーの経費 5 万円

#### (2) 活動指標

- ・ 開催期日 7月1日(日)
- ・ 開催場所 北斎ホール
- ・ 参加者数 約230人

【第1部】岸朝子先生の講演会「おいしく食べて健康長寿」

【第2部】各団体の事例研究発表「おらが村のおやき自慢」

飯田市食生活改善推進協議会、塩尻市食生活改善推進協議会ほか5団体

県内の特色ある「おやき」をテーマに、試食をまじえて行ったことにより、多くの方に参加をしていただき、郷土料理の食文化の再発見をする良い機会となりました。「小布施町食育推進計画」に従い、地元の農産物などをテーマに取り上げ今後も実施していきます。

7 地域づくり事業費 14,964,314 決算事項別明細書 P34～

**自治会運営活動の支援(企画グループ)** 予算事業名：自治会活動費

当初予算額 6,437,000 円 最終予算額 6,437,000 円 決算額 6,254,140 円

自治会や自治会連合会、衛生組合の活動をサポートするとともに、町報や各種通知の配布事務に対する委託料を支払いました。

(1) 主な支出

- ・ 自治会事務委託料 379 万円
- ・ 自治会連合会、衛生組合連合会交付金 162 万円
- ・ 自治会活動保険掛金 61 万円

(2) 活動指標

- ・ 自治会長会議の開催（4月12日、6月14日、2月8日）
- ・ 研修視察の実施（自治会連合会事業）平成19年5月24日～26日/14人参加  
北海道白老町、栗山町：官民協働のまちづくりについて
- ・ 議会傍聴（6月14日） 24人
- ・ 自治会消防施設点検（連合会事業） 20か所（自治会で実施分を除く）

自治の最小単位である自治会を単位にした活動は幅広く、「顔が見える地域運営」として、協働のまちづくりに向けて重要な役割を担っています。

**コミュニティ地区活動の活性化(企画グループ)** 予算事業名：コミュニティ推進事業費

当初予算額 8,730,000 円 最終予算額 8,537,000 円 決算額 7,517,174 円

行政の効率的な運営と自治会事務などの合理化を図りながら、自治会の枠を超えた地域の支えあいの場となるよう、各コミュニティ地区が行うさまざまな活動を支援しました。

(1) 主な支出

- ・ 地域づくり活動事業補助金（9事業、4地区） 24 万円
- ・ コミュニティ地区職員設置交付金（7地区） 420 万円
- ・ コミュニティ施設整備事業補助金 250 万円
- ・ 上松川コミュニティ公園用地借地料 37 万円

(2) 活動指標

【地域づくり活動事業】

- ・ 納涼盆踊り大会ほか（北部コミュニティ地区）
- ・ マレットゴルフ大会ほか（東部コミュニティ地区）
- ・ マレットゴルフ大会（西部コミュニティ地区）
- ・ 千曲川ふれあい公園花祭りほか（第5コミュニティ地区）

【コミュニティ地区職員】

- ・ 町報などの配達、推進協議会の事務、地区内団体経費等の徴収、通知等の作成・印刷など

【コミュニティ施設整備事業】

- ・ ごみステーションの設置（都住コミュニティ（矢島）地区）

自治会で共通している事務の共同化など、コミュニティの役割について町民の皆さんと相談しながらそれぞれの地区の実情に合った運営を行っていきます。

コミュニティ活動及び自治会活動を活性化させるため、地域づくり活動事業補助金等の見直しを行いました。

**まちづくり活動の補助(企画グループ)**

予算事業名：まちづくり活動推進事業費

当初予算額 1,000,000 円 最終予算額 1,193,000 円 決算額 1,193,000 円

「自分のまちは自らの手でつくる」という意欲をもったグループの皆さんが、独自のテーマで取り組むまちづくり活動の支援を行いました。

## (1) 主な支出

- ・ まちづくり活動補助金 119 万円

## (2) 活動指標

- ・ 第3回北信濃小布施演劇フェスティバルへの補助  
(平成20年3月2日/北斎ホール/主催：北信濃小布施演劇フェスティバル実行委員会)
- ・ 60秒シネマコンペティション・クロアチアとの交流事業費の補助  
(平成19年5月22日～30日/クワチア・ホジェカ/主催：北信濃小布施映画祭実行委員会)

## (3) 活動指標の推移

まちづくり活動事業補助金の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
事業数	4件	2件	2件	1件	2件
補助金額	366万円	160万円	65万円	30万円	119万円

過去に支援を行ってきた小布施国際音楽祭や東町きつね祭り、中町ギヤマン祭りなどは地域に根ざしたイベントとして今も継続して行われています。それらのイベントには多くの人が集い、さまざまな交流をもたらした町の活性化の一翼を担っており、意欲ある人たちが行うまちづくり活動への補助は町の活性化に大きな効果を持つものと思われまます。

また、新たなまちづくり活動が生まれ、町づくり活動が波及的に推進されています。

**8 消費生活対策費 109,200 決算事項別明細書 P35～****消費者の会の活動支援(生活環境グループ)**

予算事業名：消費生活対策費

当初予算額 68,000 円 最終予算額 68,000 円 決算額 68,000 円

消費生活に対する意識を高めるため、悪徳商法の被害に遭わないための情報提供や相談活動を実施しました。

## (1) 主な支出

- ・ 消費者の会活動交付金 7 万円

## (2) 活動指標

- ・ 消費者の会総会 4月10日 公民館
- ・ 視察研修 新潟県上越市 市環境情報センター、  
同上 (株)ウエステックエネルギー資源リサイクルセンター
- ・ 消費生活展の開催 11月14日
- ・ 消費生活教室参加 5 回
- ・ 消費生活大学参加 4 人

## (3) 活動指標の推移

- ・ 消費生活相談件数の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
相談件数	11件	60件	81件	34件	15件

**消費生活展の開催など(生活環境グループ)**

予算事業名：消費生活対策費

当初予算額 46,000 円 最終予算額 46,000 円 決算額 41,200 円

消費者が自らの判断により安全な消費生活を営むため、消費生活展を開催し情報の提供に努めました。また、「消費者の会」の活動紹介を通し、生ごみの資源化に向けた情報の提供に努めました。

(1) 主な支出

- ・消費生活展事務用品 3万円

(2) 活動指標

- ・消費生活展の開催 平成19年10月14日 健康福祉センター  
千年樹の里まつりと併せパネルの展示等を行いました。
- ・消費者問題地域懇談会の開催 平成19年10月20日 長野県主催、町共催  
公民館講堂で、各種団体から37名が参加し意見交換を行いました。

9	防災対策費	2,600,834	決算事項別明細書	P35～
<b>防災対策の推進(総務グループ)</b>			予算事業名：防災対策費	
当初予算額	1,316,000円	最終予算額	1,284,000円	決算額 879,306円

**県消防防災ヘリコプターの運営補助**

県消防防災ヘリコプター（アルプス）の運営にかかる経費の一部を負担しました。

(1) 主な支出

- ・県消防防災航空隊負担金 24万円

(2) 活動指標

- ・消防体制の強化・航空機による広域応援体制整備を目的に平成9年に運行開始
- ・防災ヘリコプター運航協議会会則に定められた運営委員会（会長＝協議会長で県危機管理局長、委員＝市町村の消防防災担当課長等）が事業計画・予算などを定める
- ・活動内容（平成19年）  
救急活動（負傷者等の搬送） 45件 救助活動 83件 火災防ぎょ活動 12件  
災害応急活動 1件 広域航空消防防災応援活動（応援協定による） 5件  
災害予防活動（訓練参加等）36件 自隊訓練 61件

**防災行政無線設備の保守**

災害発生時に備え、防災行政無線設備の保守点検を行いました。また、自然災害等に備え、千曲川水位の観測データや衛星情報網による県防災無線を活用しました。

(1) 主な支出

- ・防災行政無線設備保守の委託 16万円
- ・県防災無線負担金 3万円

(2) 活動指標

- ・災害時における情報連絡体制の確保のための機材の保守

総合防災訓練の避難伝達訓練、火災や水防時の災害出動時に無線機を利用して適切な情報伝達ができました。また、千曲川の増水状況の把握、水防活動の情報の早期取得が図れました。

**災害時用食糧等の備蓄**

大規模地震の発生など緊急時において被災者の生活を確保するため、食料品及び避難所で使用する寝具の備蓄を進めました。

(1) 主な支出

- ・災害時用食糧（カロリーメイト 1,000食分） 12万円
- ・毛布（30枚） 13万円

(2) 活動指標

- ・購入したカロリーメイト1,000食分を小学校体育館に、毛布30枚を消防本部詰所に保管
- ・期限切れとなる乾パンについてはPRを兼ね試食用に総合防災訓練参加者に提供

(3) 活動指標の推移

- ・小学校・中学校・健康福祉センターでの乾パン、カロリーメイト備蓄数（平成19年度末） 3,000食
- ・小学校・中学校・消防本部詰所・健康福祉センターでの毛布備蓄数（平成19年度末） 169枚

**自主防災組織の充実**

地域の防災力を高め、災害時の被害を最小限に抑えるため、自主防災組織の運営に対し支援を行いました。

(1) 主な支出

- ・自主防災組織交付金 18万円

(2) 活動指標

- ・災害時の資材備蓄のため各自治会に交付金を支出  
(均等割 1自治会1,500円 世帯割 1世帯40円)
- ・町総合防災訓練に参加し、公会堂、訓練会場への避難誘導訓練、対策本部との災害情報伝達訓練などを実施

自主防災会ヘルメット、腕章等備品を整備しました。

**第29回総合防災訓練の実施(総務グループ)**

予算事業名：総合防災訓練事業費

当初予算額	1,051,000円	最終予算額	1,083,000円	決算額	881,528円
-------	------------	-------	------------	-----	----------

「長野県総合防災訓練」が須高地区で開催されるのにあわせ、毎年実施している町総合防災訓練を実施しました。

自然災害や火災などがもたらす被害に対し即応できる体制を確立するとともに、広く防災意識の普及高揚を図るため各種訓練を実施しました。

(1) 主な支出

- ・初期消火訓練用消火器の詰替え 15万円
- ・消耗品費 39万円

(2) 活動指標

- ・開催月日 10月28日
- ・会場 栗ガ丘小学校グラウンド一帯
- ・参加者等 (町関係)町民、消防団員、女性防災クラブ員、自治会自主防災会、消防署小布施分署、社会福祉協議会ほか 958人
- ・訓練内容 災害情報等伝達訓練、避難誘導訓練、避難所設営・ボランティアセンター立ち上げ訓練  
水防訓練、救援物資調達・輸送訓練、救急救命・心肺蘇生訓練  
初期消火訓練、災害体験訓練、炊き出し訓練、災害パネル・災害対策車両の展示

(3) 活動指標の推移

- ・参加者の防災意識の高揚と、防災に関する知識の習得が図れました。

年度	参加者数	訓練内容等
平成17年度	955人	より多くの町民が参加できるよう会場を9カ所に設営
平成18年度	950人	地域住民の連携した訓練実施のため会場を9カ所に設営
平成19年度	958人 (町関係)	例年になく訓練内容は拡充しました。主な訓練は須坂市会場での実施になりましたが、それぞれの市町村の特色を考慮し、3市町村で訓練種目を配分して実施。



**住宅の「耐震診断」の実施(総務グループ)** 予算事業名：すまいの安全「とうかい」防止対策事業  
 当初予算額 450,000 円 最終予算額 840,000 円 決算額 840,000 円

**耐震診断の実施**

大地震により倒壊の恐れがある建築基準法改正前（S56）に着工され一般木造住宅28戸の「精密耐震診断」を実施しました。

(1) 主な支出

- ・精密耐震診断委託料 84 万円

(2) 活動指標

- ・平成17年度より町報等で周知を行い、240戸の申し込み
- ・調査対象となる昭和55年前建築の一般住宅で木造在来工法の200戸の簡易診断を実施
- ・200戸の簡易診断の結果、総合評点1.0未満が109戸、うち、28戸が精密診断を実施

**小布施町耐震改修促進計画の策定**

町内の既存建築物の耐震性を確保するため、耐震診断とその結果に基づく耐震改修を促進することにより、既存建築物の耐震性能の向上を図り、今後予想される地震災害に対して町民の生命、財産を守ることを目的に策定しました。平成20年度からの耐震改修事業は、本計画が策定されたことにより事業実施可能となりました。

(1) 主な支出

- ・なし

(2) 活動指標

- ・小布施町耐震改修促進計画の作成時にホームページでパブリックコメントを募集しましたが、ご意見はありませんでした。

10	男女共同参画社会づくり費	160,442	決算事項別明細書	P35～
----	--------------	---------	----------	------

**男女共同参画社会づくり(企画グループ)** 予算事業名：男女共同参画社会づくり費  
 当初予算額 329,000 円 最終予算額 329,000 円 決算額 160,442 円

男女が性別にとらわれることなく、互いに人権を尊重し、一人ひとりが自分らしく生きることができる社会の実現を目指し、意識の啓発を行いました。

(1) 主な支出

- ・男女共同参画社会推進委員の報酬（6人） 8 万円
- ・男女共同参画社会講演会 4 万円

(2) 活動指標

- ・男女共同参画社会推進委員会の開催 9回（5、6、7、8、9、10、11（2回）、12月）
- ・県男女共同参画センター（あいとぴあ）研修会参加（11月17日/参加者1人）
- ・男女共同参画社会推進会議・佐々木都先生講演会（11月29日/参加者80人）  
（構成員：各種団体・委員会の正副長、一部企業、町民に参加呼びかけ）
- ・男女共同参画社会に関するアンケートの実施（8月）
- ・国立女性教育会館（ヌエック：埼玉県）研修会（11月7～8日/参加者15人）
- ・第2次推進委員会の総括として町長への提言

(3) 成果指標

- ・自治会活動などについて、自治会、女性団体の皆さんを中心に、男女共同参画社会に関するアンケートを実施し、554人の方から回答をいただきました。

男女別回答率

男性	29%	女性	71%
----	-----	----	-----

年齢

20代	2%	30代	7%	40代	11%	50代	30%	60代	34%	70代	13%	80代	3%
-----	----	-----	----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----

「男女の地位は、平等になっていると思いますか」の問いには、家庭生活では、68%の人が男性優位または、どちらかと言えば男性優位と答えています。職場においても、55%の人が男性優位または、どちらかと言えば男性優位と答えています。

「女性の登用促進のためには、どのようなことが必要だと思いますか」の問いには、男性の意識啓発が319人（58%）と最も多く、次いで、女性の意識啓発が317人（57%）となっています。また、保育サービスの充実など家庭責任の負担軽減を挙げる人も289人（52%）いました。

多くの方が、男女共同参画社会に高い関心を示していますので、今後も若い年代や男性も参加しやすい取り組みに一層努めていきます。

2	徴税费	59,816,112		
1	税務総務費	36,714,787	決算事項別明細書	P35～

**町税の課税と納税(税務グループ)**

予算事業名：税務総務費

当初予算額	400,000円	最終予算額	400,000円	決算額	246,588円
-------	----------	-------	----------	-----	----------

町民税や固定資産税等の課税を行うため、固定資産の評価情報等を収集したり、評価審査委員会を開催しました。

(1) 主な支出

- ・ 固定資産評価審査委員報酬 1万円
- ・ 図書購入費 13万円
- ・ 資産評価システム研究センター等負担金 6万円

(2) 活動指標

- ・ 固定資産評価審査委員会  
委員数：3名  
委員会の開催状況：平成19年10月26日開催（審査申出件数：0件）
- ・ 実務提要、税情報誌等の図書購入
- ・ 資産評価システム研究センターによる固定資産評価に関する情報提供や研修会への参加

(3) 成果指標

- ・ 固定資産評価審査委員会の審議案件：過去に審査申出なし

**職員人件費**

予算事業名：一般職人件費

当初予算額	39,462,000円	最終予算額	36,869,000円	決算額	36,468,199円
-------	-------------	-------	-------------	-----	-------------

(1) 主な支出

職員人件費 3,648万円

2	賦課徴収費	23,101,325	決算事項別明細書	P36～
---	-------	------------	----------	------

**町税の課税と納税(税務グループ)**

予算事業名：賦課徴収費

当初予算額	23,566,000円	最終予算額	24,662,000円	決算額	23,101,325円
-------	-------------	-------	-------------	-----	-------------

町民税や固定資産税など町税の課税と徴収を行い、自主財源の確保を図りました。

(1) 主な支出

- ・ 町税の電算処理や土地の鑑定評価業務などの委託料 1,516万円
- ・ 電算システムや地理情報システムなどの使用料 523万円
- ・ 申告書などの印刷 47万円
- ・ 前年度以前に納付した町税の還付金 88万円
- ・ 弁護士報酬 95万円

(2) 活動指標

- ・ リームス.NETシステム、申告相談システム、家屋評価システム、固定資産管理システム
- ・ システム使用端末 税務グループ及び確定申告用端末
- ・ 機能等 町民税・固定資産税・軽自動車税・口座振替業務等の管理
- ・ システムの保守 バージョンアップ、法改正等による機能の変更に対応

3	戸籍住民基本台帳費	24,232,566
---	-----------	------------

1	戸籍住民基本台帳費	24,232,566
---	-----------	------------

決算事項別明細書 P36～

**戸籍・住民票に関する事務(生活環境グループ)** 予算事業名：戸籍事務費・住民基本台帳事務費  
 当初予算額 10,267,000 円 最終予算額 10,267,000 円 決算額 10,131,148 円

戸籍関係の証明書の発行や届出の受付を行いました。住民票の発行や転入・転出の届出、外国人登録などを円滑に行い、住民サービスの向上に努めました。

**戸籍に関する事務**

(1) 主な支出

- ・ 戸籍システム保守委託料 156 万円
- ・ 戸籍システム使用料 176 万円
- ・ 戸籍ハードウェア等リース料 425 万円
- ・ 戸籍複写機賃借料 19 万円

(2) 活動指標

① 本籍数と本籍人口（平成20年3月31日現在）

- ・ 本籍数 5,331 戸籍（前年比 12 戸籍減）
- ・ 本籍人口 14,263 人（前年比 105 人減）

② 戸籍事務の処理件数

種別	本籍人届出数	非本籍人届出数	他市町村から送付	計	種別	件数
出生	60	32	60	152	新戸籍編成	83
死亡	98	15	20	133	戸籍全部削除	95
婚姻	46	8	126	180		
離婚	12	4	13	29		
転籍	25	0	26	51		
その他	42	6	29	77		
計	283	65	274	622		

③ 戸籍謄抄本及び証明書の交付状況

- ・ 有料 4,443 件 242万円
  - 戸籍全部事項証明書 1,625 件 (@450)
  - 戸籍個人事項証明書 693 件 (@450)
  - 除籍謄本 1,644 件 (@750)
  - その他証明書
    - 68 件 (@350)
    - 413 件 (@300)
- ・ 無料 668 件

④ 犯罪人名簿処理件数 15 件

⑤ 人口動態調査（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

種別	出生	死亡	婚姻	離婚	死産	計
件数	92	113	55	16	3	279

⑥ 相続法第58条報告件数 113 件

⑦ 埋火葬許可件数（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

種 別	死体埋葬	死体火葬	死胎埋葬	死胎火葬	胞衣焼却	計
件 数		113		3		116

**住民票に関する事務**

(1) 主な支出

- ・住民情報記録ソフトウェア使用料 173 万円

(2) 活動指標

① 住民基本台帳世帯数及び人口（平成20年3月31日現在）

- ・世 帯 数 3,557 世帯（前年比 25 世帯増）
- ・人 口 11,629 人（前年比 75 人減） 男 5,619 人、女 6,010 人

② 住民基本台帳関係届出処理件数

種 別	出生	死亡	転入	転出	転居	世帯主 変 更	職権 修正	職権 消除	附票 記載	附票 消除	計
件 数	87	111	330	387	142	240	70	2	397	514	2,280

③ 住民票（広域交付住民票含む）の写し及び証明書の交付状況等

- ・住民基本台帳閲覧 1万円 36 件（@300円）
- ・交付件数 有 料 143万円 4,762 件（@300円）  
無 料 245 件
- ・住基カード発行手数料 2万円 42 件（@500円）

④ 印鑑登録証明書等交付状況

- ・交付件数 有 料 134万円 4,461 件（@300円）  
無 料 20 件
- ・登録件数 有 料 12万円 389 件（@300円）

⑤ 印鑑登録状況

- ・平成19年度中新規登録者（再登録含む） 389 人
- ・印鑑登録者総数（平成20年3月31日現在） 7,549 人

**外国人登録に関する事務(生活環境グループ)**

予算事業名：住民基本台帳費

当初予算額 79,000 円 最終予算額 79,000 円 決算額 79,000 円

(1) 主な支出

- ・事務経費 8 万円

(2) 活動指標

① 外国人登録状況（平成20年3月31日現在）

（単位：人）

国 別	カナダ	ネパール	インド ネシア	中国	米 国	タ イ	ブラジル	英国	朝 鮮	フィリピン	韓国	計
男	1		4	1	5	11	4			2		28
女		1		6	2	10	3	1	1	3	2	29
計	1	1	4	7	7	21	7	1	1	5	2	57

② 外国人登録事務取扱件数

(単位：人)

種別	新規登録	再交付	確認(切替交付)	居住地変更登録	原票送付請求	在留期間	在留資格	勤務先変更	パスポート変更	通称名変更	氏名変更	計
件数	7	1	14	9	8	19	2	0	5	1	1	67

**住基ネットに関する事務(生活環境グループ)** 予算事業名：住民基本台帳ネットワーク費  
 当初予算額 3,382,000円 最終予算額 3,382,000円 決算額 2,800,375円

住民基本台帳カード(住基カード)の発行と住基ネットシステムの保守管理を行いました。

(1) 主な支出

・住基ネットシステム保守委託料	130万円	・住基ネットシステムハード使用料	33万円
・住民記録県報告委託料	25万円	・字ファイル更新委託料	25万円
・公的個人認証サービス委託料	18万円		

(2) 活動指標

・住基カード発行件数	42件(@500円)
・広域交付住民票発行件数	6件(@300円)
・電子証明書発行件数	37件(@500円)

(3) 成果指標

・住基台帳等発行数の推移

種別	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
住基カード	5	7	8	16	42
広域交付住民票	—	5	2	1	6
電子証明書	—	1	1	13	37

**職員人件費**

予算事業名：一般職人件費

当初予算額 11,298,000円 最終予算額 11,683,000円 決算額 11,222,043円

(1) 主な支出

職員人件費	1,122万円
-------	---------

4	選挙費	13,154,384
1	選挙管理委員会費	756,065
2	選挙啓発費	26,600

決算事項別明細書 P37～

**選挙管理委員会の運営と啓発活動(総務グループ)** 予算事業名：選挙管理委員会運営費、選挙啓発費  
 当初予算額 1,045,000円 最終予算額 1,045,000円 決算額 782,665円

選挙管理委員会を開催し4回の定時登録を行いました。また、選挙に対する啓発を行いました。

(1) 主な支出

・選挙管理委員報酬	49万円
・システム使用料	20万円
・新成人向選挙啓発冊子の購入	3万円

(2) 活動指標

- ・長野県選管連合会総会及び明るい選挙推進県大会(上田市) 11月28日 5人参加
- ・新成人に対し、選挙啓発の実施(成人式で、選挙啓発冊子の配布及び委員長の祝辞)
- ・選挙人名簿登録者数 年4回(定時登録) (単位：人)

	男	女	計
平成19年6月2日 現在	4,544	4,979	9,523
平成19年9月2日 現在	4,546	4,988	9,534

平成19年12月2日 現在	4,545	4,993	9,538
平成20年3月2日 現在	4,540	4,980	9,520

3	長野県議会議員一般選挙費	2,837,505	決算事項別明細書 P37～
<b>県議会議員一般選挙(総務グループ)</b> 予算事業名：県議会議員一般選挙費			
当初予算額	2,962,000 円	最終予算額	2,861,000 円
		決算額	2,837,505 円

県議会議員一般選挙が執行されました。

(1) 主な支出

・事務従事者手当	171 万円
・立会人報酬	44 万円
・選挙用品	57 万円
・投票所の暖房等	11 万円

(2) 活動指標

- ・選挙期日：平成19年4月8日
- ・投票状況

	当日の有権者数(人)	投票者数(人)	棄権者数(人)	投票率(%)	前回投票率(%)
男	4,502	2,422	2,080	53.80	58.58
女	4,938	2,502	2,436	50.67	56.70
計	9,440	4,924	4,516	52.16	57.60

(3) 成果指標

候補者別得票数

候補者氏名	永井 一雄	竹内 つとむ	村石 正郎
得票数	1,604	671	2,509

4	町議会議員一般選挙費	4,401,261	決算事項別明細書 P37～
<b>町議会議員一般選挙(総務グループ)</b> 予算事業名：町議会議員一般選挙費			
当初予算額	5,032,000 円	最終予算額	5,032,000 円
		決算額	4,401,261 円

町議会議員一般選挙が執行されました。

(1) 主な支出

・事務従事者手当	177 万円
・立会人報酬	39 万円
・電算委託料	26 万円
・選挙用品、選挙ポスター掲示板	121 万円
・候補者用通常葉書	63 万円
・投票所の暖房等	10 万円

(2) 活動指標

- ・選挙期日：平成19年4月22日
- ・投票状況

	当日の有権者数(人)	投票者数(人)	棄権者数(人)	投票率(%)	前回投票率(%)
男	4,496	3,429	1,067	76.27	75.68
女	4,924	3,836	1,088	77.90	77.12
計	9,420	7,265	2,155	77.12	76.44

(3) 成果指標

・候補者別得票数（得票順）

候補者氏名	関谷明生	関悦子	小淵晃	越將俊	本間卓夫	渡辺建次
得票数	697	658	657	639	607	500
富岡義仁	大島孝司	小林正子	碓井亮一	吉田高栄	竹内宏美	金田茂
469	455	438	355	332	282	276
中村信行	宮崎まゆみ	福山敏幸	吉田省吾			
275	217	170	161			

5	参議院議員通常選挙費	5,132,953	決算事項別明細書	P38～	
<b>参議院議員通常選挙（総務グループ）</b>		予算事業名：参議院議員通常選挙費			
当初予算額	5,042,000 円	最終予算額	5,143,000 円	決算額	5,132,953 円

参議院議員通常選挙が執行されました。

(1) 主な支出

・事務従事者手当	222 万円
・立会人報酬	75 万円
・電算委託料	26 万円
・選挙用品、選挙ポスター掲示板	97 万円
・選挙用機器の点検	29 万円
・選挙用機器の購入	60 万円

(2) 活動指標

- ・選挙期日：平成19年7月29日
- ・投票状況

	当日の有権者数(人)	投票者数(人)	棄権者数(人)	投票率(%)	前回投票率(%)
男	4,541	3,139	1,402	69.13	64.99
女	4,978	3,236	1,742	65.01	61.75
計	9,519	6,375	3,144	66.97	63.29

(3) 成果指標

・候補者別得票数（選挙区）

候補者氏名	自由民主党	民主党	日本共産党	社会民主党
	吉田ひろみ	羽田雄一郎	中野さなえ	中川博司
得票数	1,737	3,080	1,001	419

・政党等別得票数（比例代表）

候補者氏名	維新政党・新風	社会民主党	公明党	9条ネット	共生新党	日本共産党
得票数	11	342	391	35	24	461
国民新党	自由民主党	民主党	新党日本	女性党		
70	1,615,750	2,571,250	554	51		

5	統計調査費	574,784	決算事項別明細書	P38～		
1	統計調査費	574,784	<b>統計調査の実施（企画グループ）</b>			
当初予算額		613,000 円	最終予算額	580,000 円	決算額	574,784 円

統計法に基づき、平成19年度は「商業統計調査」、「就業構造基本調査」、「住宅・土地統計調査単位区設定」「輸出生産実態調査」、「工業統計調査」、「学校基本調査」を実施しました。

(1) 主な支出

- ・ 調査員報酬 44 万円
- ・ 統計調査消耗品 9 万円
- ・ 通信運搬費 1 万円
- ・ 県農林統計協会会費 2 万円

(2) 活動指標

- ・ 学校基本調査
  - 調査期日 平成19年5月1日
  - 調査対象 小中学校及び幼稚園
  - 調査員数 なし（各施設で調査）
- ・ 商業統計調査
  - 調査期日 平成19年6月1日
  - 調査対象 152事業所
  - 調査員数 6人
- ・ 就業構造基本調査
  - 調査期日 平成19年10月1日
  - 調査対象 45世帯
  - 調査員数 3人
- ・ 工業統計調査
  - 調査期日 平成19年12月31日
  - 調査対象 64事業所
  - 調査員数 4人

(3) 活動指標の推移

- ・ 児童・生徒数と教職員数（学校基本調査より） (単位：人)

区分	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
小学校児童数	675	673	663	681	712	698
小学校教職員数	32	34	37	37	41	40
中学校生徒数	395	373	367	332	313	319
中学校教職員数	34	29	29	29	30	30

- ・ 事業所数と従業員数の推移（商業統計調査より）

区分	平成14年度	平成16年度	平成19年度
事業所数（カ所）	155	150	141
従業員数（人）	719	757	772

※ 平成19年は速報値

※ 就業構造基本調査結果（H19）は未公表

※ 工業統計調査結果（H19）は未公表

6	監査委員費	685,600
1	監査委員費	685,600

決算事項別明細書 P38～

**監査委員報酬など(監査委員事務局)**

予算事業名：監査委員費

当初予算額	749,000 円	最終予算額	749,000 円	決算額	685,600 円
-------	-----------	-------	-----------	-----	-----------

「毎月の歳入、歳出事務が正確におこなわれているか」、「予算の使い方や事業の進め方が、法律に従って正しくかつ効率的に使われているか」などチェックしました。

(1) 主な支出

- ・ 監査委員報酬（2名） 54 万円



(2) 活動指標

- ・ 例月出納検査 12日 (毎月原則 27日)
- ・ 定期監査 11日 (5月28日、7月18日、7月20日、8月1日、8月2日、8月3日、8月6日、8月7日、8月8日、8月9日、8月17日)
- ・ 決算審査 11日 (5月28日、7月18日、7月20日、8月1日、8月2日、8月3日、8月6日、8月7日、8月8日、8月9日、8月17日)

(3) 成果指標

- ・ 定期監査講評

財政の厳しいおりではありましたが、事務の執行は行政の効率化と健全性を念頭に置き執行され、処理も法令・規則により正確に実施されています。また、現物も帳簿と完全突合され、事務の管理・事業の執行は総じて良好であります。

款	項目	款項目名	決算額 (円)	主要な施策の成果説明及び実績		
3		民生費	852,807,072			
	1	社会福祉費	597,301,744			
	1	社会福祉総務費	216,896,705			決算事項別明細書 P39~
<b>社会福祉協議会の運営補助など(福祉グループ)</b>				予算事業名：社会福祉総務費		
当初予算額 18,441,000 円 最終予算額 18,441,000 円				決算額 13,711,777 円		
地域の福祉活動を担う社会福祉協議会の運営(介護保険事業に関わるものを除く人件費)に対する補助を行いました。						
(1) 主な支出						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉協議会の運営補助 1,371 万円</li> <li>・福祉診断書料給付金 1 万円</li> </ul>						
(2) 活動指標						
地域の福祉活動を担う社会福祉協議会の運営(介護保険事業に関わるものを除く)に対して補助を行いました。主な活動内容は、3.1.3「その他の社会福祉協議会委託事業」及び3.1.7「介護予防・地域支え合い事業」などを参照						
また、福祉診断書料給付金として、身体障害者手帳の交付等の申請に必要な診断書の作成費用に補助を行いました。						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉協議会運営補助金の推移 (単位：万円)</li> </ul>						
	年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
	補助金額	553	1,500	1,296	1,553	1,371
<b>基金(貯金)利子の積立て(福祉グループ)</b>				予算事業名：社会福祉総務費		
当初予算額 21,000 円 最終予算額 862,000 円				決算額 862,000 円		
社会福祉事業に充てるため、またボランティア事業に充てるための財政の健全な運営を図るため、基金積立てと利子の積立てを行いました。						
(1) 主な支出						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会福祉積立基金積立金 82 万円</li> <li>・社会福祉積立基金利子積立金 1 万円</li> <li>・ボランティア事業積立基金利子積立金 3 万円</li> <li>・高齢者福祉積立基金利子積立金 0.1 万円</li> </ul>						
<b>国民健康保険特別会計への繰出金(福祉グループ)</b>				予算事業名：社会福祉総務費		
当初予算額 65,484,000 円 最終予算額 63,297,000 円				決算額 56,872,761 円		
国民健康保険事業を行う上で一般会計で負担するべきものについて繰り出しました。						
(1) 主な支出						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・基盤安定繰出金 4,292 万円</li> <li>・出産育児一時金等繰出金 303 万円</li> <li>・財政安定化支援事業繰出金 448 万円</li> <li>・事務費等繰出金 644 万円</li> </ul>						
(2) 活動指標						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・年度別推移 (単位：万円)</li> </ul>						
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	
	基盤安定	3,488	3,989	3,792	4,292	
	出産育児一時金等	360	200	257	303	
	財政安定化支援事業	583	450	511	448	
	事務費等	598	552	666	644	
	計	5,029	5,191	5,226	5,687	

**総合相談所の開設(福祉グループ)**

予算事業名：民生児童委員等活動費

当初予算額 186,000 円 最終予算額 186,000 円 決算額 139,159 円

町民の皆さんから寄せられる専門的な相談に応じるため、総合相談所を開設しました。

## (1) 主な支出

- ・相談員謝礼 13 万円

## (2) 活動指標

- ・弁護士、司法書士、人権擁護委員、行政相談委員、民生児童委員による総合相談所の開設年4回

開設日	平成19年6月22日	平成19年8月24日	平成19年10月26日	平成20年2月22日
受付件数	8	4	8	2

## (3) 活動指標の推移

- ・相談件数の推移

年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
件数	15	24	27	36	22

相談内容・・・相続、離婚、土地問題等

**民生児童委員活動と生活保護(福祉グループ)**

予算事業名：民生児童委員等活動費

当初予算額 1,012,000 円 最終予算額 1,096,000 円 決算額 1,077,977 円

民生児童委員活動を積極的に展開し、要保護者のケース検討、障害者、老人、母子等の福祉をはじめ住民福祉の向上に努めました。

## (1) 主な支出

- ・活動のための交付金・負担金 99 万円

## (2) 活動指標

- ・民生児童委員数： 4月～11月：12名 12月：16名 1月～3月：17名
- ・定例会の実施 月1回
- ・独居老人等要援護世帯への支援、相談
- ・心配ごと相談の実施 月2回、(第1・第3火曜日) 年間相談件数9件
- ・生活保護19年度新規認定者 2世帯2人 (年度末総数 13世帯16人)

## (3) 活動指標の推移

- ・民生児童委員への相談、支援件数

年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
件数	324	259	140	132	192

12月の民生児童委員一斉改選にあたり、定数を13人から17人に増員し、町民の皆さんからの相談等に、きめ細かい対応ができるような態勢を整えました。

- ・心配ごと相談件数

年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
件数	6	9	5	6	9

- ・生活保護の認定者数の推移

年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
認定者数	1	3	2	4	2
年度末総数	6世帯8人	7世帯11人	9世帯13人	11世帯15人	13世帯16人

**福祉医療費(福祉グループ)**

予算事業名：福祉医療費給付事業費

当初予算額 50,906,000円 最終予算額 50,908,000円 決算額 49,728,401円

一定の条件に当てはまる乳幼児や障害者、高齢者、母子・父子家庭にかかる医療費の負担を軽くするため、福祉医療費の給付を行いました。

(1) 主な支出

- ・システム保守・使用料 52万円
- ・福祉医療費給付金 4,555万円

(2) 活動指標

平成20年3月31日現在の資格別受給者数 (単位：人)

資格名称		受給者数
乳幼児福祉医療費		647
重度心身障害者福祉医療費給付金		271
	身障手帳1級	26
	身障手帳2級	15
	身障手帳3級	10
	療育手帳A1	13
	療育手帳A2	0
	療育手帳B1	17
	65歳以上国民年金施行令別表該当	190
	精神保健福祉手帳1級(通院のみ)	1
父子福祉医療費給付金		11
	父子の父	4
	父子の子	7
母子福祉医療費給付金		178
	母子の母	68
	母子の子	105
	父母のいない児童	5
65歳以上独り暮らし老人福祉医療費給付金		1
68歳以上低所得老人福祉医療費給付金		15
計		1124

(3) 活動指標の推移

・支給件数の推移

(単位：万円)

	平成17年度		平成18年度		平成19年度		
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
乳幼児	8,280	1,603	7,767	1,469	8,499	1,493	
町単分(再掲)	4歳以上外来	3,377	584	791	162	-	-
	入院時食費	135	39	110	23	84	18
重度心身障害者	4,682	2,384	4,399	2,505	5,100	2,713	
町単分(再掲)	入院時食費	326	471	334	489	359	540
父子家庭	10	12	9	6	28	5	
町単分(再掲)	入院時食費	1	1	0	0	0	0
母子家庭	1,312	228	1,252	292	1,556	281	
町単分(再掲)	入院時食費	6	2	13	7	2	1
65歳以上独り暮らし老人	145	42	97	28	39	12	
68歳以上低所得老人	973	218	572	139	219	50	
合計	15,402	4,487	14,096	4,439	15,441	4,556	

**ひとり親家庭等児童福祉手当など(福祉グループ)**

予算事業名：ひとり親家庭福祉事業費

当初予算額 1,421,000円 最終予算額 1,421,000円 決算額 1,194,000円

ひとり親家庭等の経済負担を軽くするため、手当や年金を支給しました。

## (1) 主な支出

- ・母子・父子家庭児童福祉年金 63万円
- ・母子・父子家庭児童福祉手当 54万円
- ・交通、災害遺児等年金 2万円

## (2) 活動指標

(単位：万円)

項目	支給件数(件)	支給金額
母子父子家庭児童福祉年金	76	63
母子父子家庭児童福祉手当	37	54
計	113	117

## (3) 活動指標の推移

(単位：万円)

年度	母子父子家庭児童福祉年金		母子父子家庭児童福祉手当	
	件数	金額	件数	金額
平成16年度	74	56	56	65
平成17年度	75	59	56	69
平成18年度	72	58	34	49
平成19年度	76	63	37	54

**福祉灯油購入への助成(福祉グループ)**

予算事業名：福祉灯油購入費助成事業費

当初予算額 0円 最終予算額 2,168,000円 決算額 1,015,000円

灯油価格の高騰により、冬期間の生活に深刻な影響がある低所得者世帯に対し、灯油購入費の助成を行いました。

## (1) 主な支出

- ・福祉灯油購入費助成事業補助金 102万円

## (2) 活動指標

- ・福祉灯油購入費助成(一世帯あたり5,000円) 203世帯
- 対象世帯・生活保護世帯
  - ・世帯全員が住民税非課税で次のいずれかに該当する世帯
    - 高齢者世帯 障害者世帯 特定疾患等認定世帯
    - 要介護世帯 ひとり親世帯

**職員人件費**

予算事業名：一般職人件費

当初予算額 88,678,000円 最終予算額 93,597,000円 決算額 92,295,630円

## (1) 主な支出

職員人件費 9,230万円

2 国民年金事務費 772,668 決算事項別明細書 P39～

**国民年金の加入等の手続き(生活環境グループ)**

予算事業名：国民年金事務費

当初予算額 747,000円 最終予算額 780,000円 決算額 772,668円

国民年金は、すべての国民が加入する制度で、年金制度の中でも基本となるものです。国民年金の財源は、国民の皆さんが納めた年金の保険料と国に納められた税金で賄われています。

町では、自営業や農業などの1号被保険者のみなさんの加入の届出・保険料免除申請とサラリーマンに扶養されている配偶者である3号被保険者の住所や氏名の変更の窓口となっています。

- (1) 主な支出  
 ・ 社会保険事務所との連絡にかかる経費 77 万円

- (2) 活動指標
- ・ 国民年金加入状況
    - ・ 強制加入被保険者 1,829 人
    - ・ 任意加入被保険者 15 人
    - ・ 第3号被保険者 731 人
    - 計 2,575 人
  - ・ 保険料免除者数
    - ・ 法定免除 60 人
    - ・ 申請免除（全額） 162 人
    - ・ 申請免除（3/4） 2 人
    - ・ 申請免除（半額） 0 人
    - ・ 申請免除（1/4） 0 人
    - ・ 学生納付特例 89 人
    - ・ 若年者猶予 13 人
    - 計 326 人

<b>3</b>	<b>高齢者福祉費</b>	218,868,566	<b>決算事項別明細書</b>	P40～
<b>ファミリーサポートセンター事業(福祉グループ)</b>				
<b>発達教室～ほっぶすきっぶじゃんぶの運営(福祉グループ)</b>				
予算事業名：高齢者福祉事業費				
当初予算額	947,000 円	最終予算額	947,000 円	決算額 390,467 円

育児と仕事・社会活動等を両立して、子育てがしやすい環境をつくるために、「子育ての手助けをしてほしい人」と「子育ての手助けをしたい人」が会員として登録し、有償で相互に助けあうファミリーサポートセンター（子育ての相互援助活動）を運営しました。  
 毎月第4月曜日には、健康福祉センターで子どもたちの発達、成長を社会福祉士・音楽療法士・理学療法士等の専門スタッフが遊びや運動、音楽を通じてサポートする発達教室を開催しました。

- (1) 主な支出  
 ・ 事業委託料 11 万円

- (2) 活動指標
- ファミリーサポートセンター事業
- ・ 平成18年6月 事業開始（小布施町社会福祉協議会委託）
  - ・ サービス内容 子どもの預かり、送迎等
  - ・ 対象者 0～概ね12歳までの児童
  - ・ 報酬 500円～700円/h（子どもの年齢、援助実施日時により単価に差あり）
  - ・ 会員数
    - 1) 依頼会員（援助依頼者であって0歳から概ね12歳までの児童を現に養育しているn人）・・・ 26人
    - 2) 提供会員（援助提供者であって原則として自宅において援助を提供できる人）・・・ 11人
    - 3) 両方会員（依頼会員、援助会員ともに該当する人）・・・ 11人
  - ・ 利用件数 30件
- 発達教室
- ・ 参加人数105組（親子）

開催月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
参加数	15 組	15 組	12 組	4 組	8 組	5 組	9 組	8 組	9 組	9 組	4 組	7 組

- ・ 主な開催内容  
季節に合った歌や手あそび、手作り楽器や鈴を持ってリズム、会場全体を使って音楽に合わせて走ったり、毎回親子が集中して楽しみながら参加できるような教室を開催。

(3) 活動指標の推移

会員数は、昨年度の登録会員17人、利用件数17件からそれぞれ倍増し、事業が広まってきています。

**高齢者等の生活支援サービスとその他の高齢者福祉サービス(福祉グループ)**

予算事業名：高齢者福祉事業費

当初予算額 11,936,000 円 最終予算額 12,146,000 円 決算額 9,235,993 円

家に閉じこもりがちな独り暮らし等の高齢者が、寝たきりや認知症にならないよう、趣味の活動や仲間づくりの場を提供する「いきいきサロン」や、介護が必要な高齢者の皆さんが、安心して自分の家で生活できるための住宅改修に対する補助、また、独り暮らしや二人暮らし高齢者等へ、牛乳等をお届けする栄養補給サービスを実施しました。

(1) 主な支出

- ・ 福祉バス運行サービス 361 万円
- ・ 軽度生活支援サービス 134 万円
- ・ 寝具類洗濯乾燥消毒サービス 0.9 万円
- ・ 生きがい活動支援通所事業(いきいきサロン) 352 万円  
(社会福祉協議会・NPO法人しなのぐらしに委託)
- ・ 高齢者等にやさしい住宅改良事業給付金 9 万円
- ・ 要援護高齢者等栄養補給サービス事業 9 万円
- ・ 緊急通報体制等整備事業(自動消火器の購入) 16 万円
- ・ 訪問・通所理美容サービス 6 万円
- ・ 福祉用具貸与サービス 9 万円

(2) 活動指標

- ・ 高齢者等介護予防・生活支援事業の申請受付と状況

項目	利用実人員 延利用回数	対象者・利用状況等
1 生きがい福祉バス運行サービス事業	70人 452人	入浴サービス、通院、入退院等の送迎(社会福祉協議会へ委託)
2 軽度生活支援サービス事業	12人 39回	自立の判定、独居、身障等の理由で日常生活上支援が必要な者へのヘルパー派遣(社会福祉協議会へ委託)
3 寝具類洗濯乾燥消毒サービス事業	2人 2回	独居、高齢者世帯等で常時在宅で臥床している者で、寝具の衛生管理が困難な者(社会福祉協議会へ委託)
4 訪問・通所理美容サービス事業	41人 77回	常時臥床している者等で、訪問による理美容でなければ散髪ができない者(社会福祉協議会へ委託)
5 福祉用具貸与サービス事業	28人 29品目	入院中の外泊、自立の判定、認定の対象外等で日常生活に福祉用具が必要な者(社会福祉協議会へ委託)

- ・ 生きがい活動支援通所事業 62 人
- ・ 高齢者等にやさしい住宅改良事業給付金 1 件
- ・ 要援護高齢者等栄養補給サービス事業  
(一人暮らし高齢者、二人暮らし高齢者、寝たきり高齢者等) 13 人
- ・ 緊急通報体制等整備事業 自動消火器(新規) 3 件

(3) 活動指標の推移

在宅での介護を補完する意味での重要な生活支援サービスで特に福祉バス、福祉用具貸与は、在宅での介護に大きな役割を果たしています。

・利用者数の推移

項 目		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
1	生きがい福祉バス運行サービス事業	利用実人員 75人	58人	68人	70人
		延利用回数 690回	618回	469回	452回
2	軽度生活支援サービス事業	利用実人員 6人	3人	2人	12人
		延利用回数 155回	159回	64回	39回
3	寝具類洗濯乾燥消毒サービス事業	利用実人員 1人	1人	1人	2人
		延利用回数 1回	5回	2回	2回
4	訪問・通所理美容サービス事業	利用実人員 20人	20人	30人	41人
		延利用回数 56回	58回	57回	77回
5	福祉用具貸与サービス事業	利用実人員 22人	27人	34人	28人
		延利用回数 31品目	30品目	40品目	29品目

項 目		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
生きがい活動支援通所事業(いきいきサロン)	人数	46人	50人	57人	62人
	利用延回数	3,288回	3,781回	4,322回	3,967回
高齢者等にやさしい住宅改良事業給付金	件数	1件	1件	5件	1件
	金額	70万円	70万円	275万円	9万円
要援護高齢者等栄養補給サービス事業	人数	18人	19人	19人	13人
	金額	23万円	17万円	17万円	9万円
緊急通報体制等整備事業 新規設置数	件数	3件	1件	1件	3件
	金額	16万円	5万円	12万円	16万円

※平成20年3月31日現在の65歳以上独り暮らし高齢者は157人で、在宅での高齢者の生活支援に大きな役割を果たしています。

**その他の社会福祉協議会委託事業(福祉グループ)**

予算事業名：高齢者福祉事業費

当初予算額 2,230,000 円 最終予算額 2,230,000 円 決算額 2,015,208 円

障害者希望の旅、母と子の集いや行政浮浪人援護などの福祉事業を実施しました。

(1) 主な支出

・心配ごと相談事業	8万円	・ホームヘルパー養成研修	59万円
・障害者希望の旅	76万円	・結婚相談	52万円
・母子福祉事業	6万円	・援護事業	4万円

(社会福祉協議会へ委託)

(2) 活動指標

- ・心配ごと相談事業 毎月第1・第3火曜日に開設 場所/北斎ホール 相談員/民生児童委員
- ・ホームヘルパー養成研修 6/5～8/30(20日間)
- ・障害者希望の旅 (富士サファリパーク) 1泊2日
- ・母子福祉 母と子の集い
- ・援護事業 行路浮浪人援護 10人
- ・くらしの資金貸付等 2件
- ・結婚相談 毎週 火・水・木曜日 場所/結婚改善委員会事務室

(3) 活動指標の推移

- ・相談、参加者数等の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
心配ごと相談 相談件数	5件	8件	6件	6件	9件
ホームヘルパー養成研修 受講数	22人	21人	12人	19人	10人



障害者希望の旅 参加者数	23人	21人	19人	14人	13人
援護事業					
浮浪人 援護数	30人	26人	13人	4人	10人
くらしの資金 貸付数	5件	6件	4件	2件	2件
結婚相談 相談件数	21件	12件	9件	64件	24件

### 老人ホームへの入所措置(福祉グループ)

予算事業名：高齢者福祉事業費

当初予算額 12,827,000 円 最終予算額 12,827,000 円 決算額 12,345,525 円

家庭内や経済的な事情により養護老人ホームに入所している人の入所費用を補助しました。

(1) 主な支出

施設入所措置費 1,235 万円

(2) 活動指標

・養護老人ホーム措置費

施設名	入所者数(人) (平成20年3月31日現在)	措置費(万円)
長野広域連合 はにしな寮	3	558
長野広域連合 松寿荘	3	426
社会福祉法人睦会 寿楽園	1	251
計	7	1,235

(3) 活動指標の推移

・入所者と措置費の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
入所者数(人)	7	7	7	7	7
措置費(万円)	1,401	1,762	1,583	1,445	1,235

長野広域連合養護老人ホームに係る入所者 はにしな寮3人、松寿荘3人措置

### 介護保険利用者の負担軽減(福祉グループ)

予算事業名：高齢者福祉事業費

当初予算額 150,000 円 最終予算額 150,000 円 決算額 18,890 円

介護保険を利用している低所得者の方の負担を軽減するため、介護保険サービスの利用料の助成を行いました。

(1) 主な支出

・利用者負担軽減制度事業補助金 2 万円

(2) 活動指標

・介護サービス等で社会福祉法人を利用している生活困窮者の利用者負担に対し補助を行いました。(社会福祉法人等減免補助金は、介護保険料徴収に係る第二段階までの所得区分に属している方で所得や資産の状況等により、特に生計が困難である方に対し利用料の1/4を減免します。)

(3) 活動指標の推移

・件数、金額の推移

(単位：万円)

	平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
社会福祉法人等減免補助金	0	0	1	5	1	1	1	2
社会福祉法人等軽減特例措置補助金	—	—	16	209	—	—	—	—

※ 社会福祉法人等軽減特例措置補助金は、平成17年度のみ措置

**シルバー人材センターの支援(福祉グループ)**

予算事業名：高齢者福祉事業費

当初予算額 3,084,000 円 最終予算額 3,084,000 円 決算額 2,994,000 円

知識や技術を生かし、地域社会に貢献したい働く意欲のある高齢者に就業の機会を提供しているシルバー人材センターへ負担金を支出しました。

## (1) 主な支出

- ・須高広域シルバー人材センター負担金 299 万円
- ・長野県シルバー人材センター会費 0.5 万円

## (2) 活動指標

高齢者の皆さんに社会貢献の場と就業の機会を提供しているシルバー人材センターの主な活動は次のとおりです。

- ・ 植木剪定、大工修繕、塗装、障子襖貼りなど
- ・ 賞状、宛名筆耕、毛筆書、看板書など
- ・ 施設管理、駐車場管理など
- ・ 外交、文書配達、集金など
- ・ 草取り、草刈り、清掃、調理、農作業など
- ・ 食事介護、家事など

## (3) 活動指標の推移

- ・ 須高シルバー人材センターの会員の推移 (単位：人)

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
会員数	639	680	678	668	646
うち小布施町の会員	85	91	102	88	89

**後期高齢者医療制度の創設準備(健康グループ)**

予算事業名：高齢者福祉事業費

当初予算額 16,996,000 円 最終予算額 16,996,000 円 決算額 16,603,363 円

75歳以上の皆さんを対象とした新たな医療制度開始に伴い、医療保険者として長野県後期高齢者医療広域連合を設置し、広域連合と市町村との事務分担の明確化と県下統一された事務処理体制を整備しました。

## (1) 主な支出

- ・ 後期高齢者医療制度電算システム開発・改修業務委託 1,359 万円
- ・ 県後期高齢者医療広域連合負担金 301 万円

## (2) 活動指標

平成20年4月に開始される後期高齢者医療制度の事務を処理するため、町が行う業務に対応する電算システムを導入しました。

- ・ 主なシステム
  - 1 住民情報提供システム
  - 2 後期高齢者医療制度保険料徴収・収納システム
  - 3 後期高齢者医療制度システム

新たな医療制度が開始される平成20年4月以降の円滑な運営を図るため、広域連合と市町村における業務に対応する電算システムの構築やオンライン化が図れました。

**老人保健特別会計への繰出金(福祉グループ)**

予算事業名：高齢者福祉事業費

当初予算額 83,741,000 円 最終予算額 83,425,000 円 決算額 69,259,000 円

老人保健事業を行う上で一般会計で負担するべきものについて繰り出しました。

- (1) 主な支出  
 ・ 繰出金 6,926 万円

- (2) 活動指標  
 ・ 繰出金の内容  
     医療給付費等 6,926 万円

- (3) 活動指標の推移 (単位：万円)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
繰出金	5,960	9,308	10,766	6,926

**介護保険特別会計への繰出金(福祉グループ)**

予算事業名：高齢者福祉事業費

当初予算額 101,445,000 円 最終予算額 102,091,000 円 決算額 89,244,000 円

介護保険事業を行う上で一般会計で負担するべきものについて繰り出しました。

- (1) 主な支出  
 ・ 繰出金 8,924 万円

- (2) 活動指標  
 ・ 繰出金の内容  
     介護給付費 7,804 万円  
     地域支援事業 289 万円  
     その他 831 万円

- (3) 活動指標の推移 (単位：万円)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
繰出金	8,287	8,556	8,911	8,924

**老人クラブの支援(福祉グループ)**

予算事業名：高齢者生きがい対策事業費

当初予算額 1,497,000 円 最終予算額 1,497,000 円 決算額 1,451,700 円

高齢者が豊かで元気に暮らすための活動を行っている老人クラブ連合会や各支部のクラブ活動を支援するため、補助金を交付しました。

- (1) 主な支出  
 ・ 老人クラブ連合会補助金 72 万円  
 ・ 各支部老人クラブ補助金 74 万円

- (2) 活動指標  
 ・ 老人クラブ連合会員 846人  
     小布施荘への慰問  
     独り暮らし、2人暮らし高齢者宅訪問や生活支援活動  
     花いっぱい運動  
     神社境内の清掃などの奉仕活動  
     老人スポーツ大会（囲碁ボール、マレットゴルフ、ゲートボール）への参加  
     健康づくり事業  
     学習活動の実施

(3) 活動指標の推移

- ・会員数と補助金の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
会員数（人）	1,009	970	911	814	846
補助金（万円）	159	155	149	139	145

**しめ縄づくり教室の開催(福祉グループ)**

予算事業名：高齢者生きがい対策事業費

当初予算額 33,000 円 最終予算額 34,000 円 決算額 33,900 円

高齢者の豊かな経験と知識・技能を活かしていただくとともに、昔ながらの伝統を後世へ継承するため、しめ縄づくり教室を開催しました。

(1) 主な支出

- ・材料費（松、わら代）等 3 万円
- ・講師の昼食代 0.4 万円

(2) 活動指標

- ・12月22日（土）健康福祉センターで実施
- ・参加者 41人

(3) 活動指標の推移

- ・高齢者の豊かな経験と知識・技能を活かし、生きがいづくりを進めるとともに交流の場を広げました。自身で作ったしめ縄は持ち帰り、玄関や神棚に飾るなどしました。

- ・参加者数の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
参加者数（人）	33	33	31	54	41

**長寿祝品の贈呈(福祉グループ)**

予算事業名：高齢者生きがい対策事業費

当初予算額 378,000 円 最終予算額 377,000 円 決算額 366,564 円

長寿の節目を迎えた皆さんを祝福し、祝い品をお贈りしました。

(1) 主な支出

- ・記念品（湯飲み茶碗） 34 万円
- ・色紙・たとう紙等 4 万円

(2) 活動指標

- ・対象者 米寿 56人、白寿1人、百賀以上 6人
- ・町長が訪問して記念品を贈呈(9月5日～9月6日)

(3) 活動指標の推移

- ・対象者の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
対象者数（人）	50	53	62	47	63

**生活支援ハウスの管理運営(福祉グループ)**

予算事業名：生活支援ハウス管理費

当初予算額 8,104,000 円 最終予算額 8,104,000 円 決算額 7,617,400 円

生活支援ハウス利用者に対する各種相談や助言、緊急の対応他、利用者の虚弱化に伴う通所、訪問介護サービス、保健福祉サービスを必要とする場合は、必要に応じて利用手続きの援助を実施しました。

(1) 主な支出

- ・生活支援ハウス居住部門の管理運営委託料 447 万円
  - 内訳 人件費(生活援助員、宿直手当) 414 万円
  - 光熱水費、電話料、消耗品 32 万円
  - その他の経費 1 万円
- ・土地借上料 309 万円
- ・火災保険料 4 万円
- ・特殊建築物定期調査委託料 4 万円

(2) 活動指標

- ・指定管理者：J A須高
  - ・入居者に対する各種相談や助言
  - ・緊急時の対応
  - ・デイサービスセンターへの通所や訪問介護サービス、その他の保健福祉サービスを必要とする場合の利用手続きの援助

(3) 活動指標の推移

- ・利用者数の推移 (単位：人)

生活支援ハウス	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
デイサービスセンター 利用者数	4,525	7,738	8,414	9,142
居住部門 入居者数	5	5	5	4
参考 65歳以上の独り暮らし数	145	146	159	157

60歳以上の独り暮らしで、独立して生活することに不安のある方に住居を提供することで、安心して生活を送っていただいています。

**デイサービスセンターの管理(福祉グループ)**

予算事業名:デイサービスセンター管理費

当初予算額 1,666,000 円 最終予算額 1,666,000 円 決算額 1,665,141 円

デイサービスセンター運営のための土地の借上料などを支払いました。

(1) 主な支出

- ・福祉施設用地借上料 161 万円
- ・火災保険料 6 万円

(2) 活動指標

- ・デイサービス (通所介護)

介護している家族の身体的、精神的な負担の軽減と、利用者の心身機能の維持回復や、趣味生きがいがづくりとして、日帰りでご利用いただく施設で、送迎、入浴、昼食等のサービスが受けられます。

(3) 活動指標の推移

- ・利用者数の推移 (単位：人)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
延利用者数	8,938	8,213	8,225	9,127

※ 小布施荘の改築工事を平成16年度まで実施していたため、利用者の受け入れが制限されていましたが、平成17年度当初に完成し通常の受け入れとなりました。

**小布施荘の用地の借上げなど(福祉サービス)**

予算事業名：広域連合高齢者福祉施設管理費

当初予算額 4,789,000 円 最終予算額 4,789,000 円 決算額 4,665,615 円

長野広域連合が管理運営する養護老人ホームに関する施設の管理運営に係る費用、また特別養護老人ホーム小布施荘に関する土地の借上料などを支払いました。

- (1) 主な支出
- ・施設管理費負担金 57 万円
  - ・入所判定委員会負担金 0.1 万円
  - ・福祉施設用地借上料 411 万円

- (2) 活動指標
- ・長野広域連合養護老人ホームに係る負担金
  - ・長野広域連合特別養護老人ホームの土地借上料

- (3) 活動指標の推移
- ・小布施荘利用者数の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
小布施荘利用者数（小布施町分）（人）	13	16	13	15
ショートステイ利用延べ日数（日）	322	2,698	2,881	2,977

**千年樹の里共同通路の整備(福祉グループ)**

予算事業名：高齢者福祉施設整備事業費

当初予算額 1,030,000 円 最終予算額 1,030,000 円 決算額 961,800 円

小布施荘や健康福祉センター、新生病院の共同通路が老朽化しているため、千年樹の里共同通路として整備するための測量と設計を行いました。

- (1) 主な支出
- ・千年樹の里共同通路整備測量業務委託料 9 万円
  - ・千年樹の里共同通路測量業務委託料 6 万円
  - ・共同通路整備土地分筆登記委託料 5 万円
  - ・共同通路測量業務委託料 45 万円
  - ・共同通路設計業務委託料 34 万円

- (2) 活動指標
- ・共同通路整備測量業務(分筆登記のための道路敷部分の測量、分筆に必要な図面作成)
  - ・共同通路測量業務・共同通路設計業務(L=80m)

4 | 人権・同和政策費 | 6,788,922 |

決算事項別明細書 P40～

**人権擁護委員の活動支援(教育文化グループ)**

予算事業名：人権・同和政策費

当初予算額 49,000 円 最終予算額 49,000 円 決算額 30,000 円

人権擁護委員の活動を支援するため、助成金を交付しました。

- (1) 主な支出
- ・人権擁護委員活動助成金 3 万円

- (2) 活動指標
- ・人権相談 毎月1回第1水曜日実施
  - ・場所 北斎ホール相談室
  - ・相談件数 0 件

- (3) 活動指標の推移
- ・相談件数の推移

	平成17年度	平成18年度	平成19年度
相談件数	0件	0件	0件

※人権に関する相談はありませんでした。

**人権同和生活相談(教育文化グループ)**

予算事業名：人権・同和政策費

当初予算額 50,000 円 最終予算額 50,000 円 決算額 50,000 円

対象となる地域の人たちの、生活上の不安や悩みなどの相談事業を実施しました。

## (1) 主な支出

- 生活相談委託料 5 万円

## (2) 活動指標

- 同和地区の人たちの生活相談を随時受付・地区を巡回指導

## (3) 活動指標の推移

相談件数の推移 (件)				
平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
8	7	0	3	2

**差別のない明るい社会の推進(教育文化グループ)**

予算事業名：人権・同和政策費

当初予算額 49,000 円 最終予算額 49,000 円 決算額 43,316 円

差別のない明るい社会の実現に向けて活動している協議会へ負担金を支出しました。

## (1) 主な支出

- 県人権擁護委員協議会負担金 4 万円

## (2) 活動指標

- 県人権擁護委員協議会の活動内容  
人権擁護委員研修、人権啓発講演会の開催、街頭人権啓発、特設人権相談、機関紙（ヒューマン）発行

研修会や講演会の開催、機関紙（ヒューマン）の発行などの活動により、人権に関する意識を高めています。

**部落解放関係団体の支援(教育文化グループ)**

予算事業名：人権・同和政策費

当初予算額 5,252,000 円 最終予算額 5,252,000 円 決算額 4,713,000 円

差別のない明るい社会の実現のため、地域で活動している部落解放関係団体に補助金を交付しました。

## (1) 主な支出

- 部落解放同盟 小布施町協議会 452 万円
- 部落解放同盟 須高地区協議会 18 万円

## (2) 活動指標

部落解放同盟 小布施町協議会	人権救済法制定運動・狭山事件再審闘争・人権のまちづくり・部落差別実態把握・雇用対策・部落解放運動・後継者育成
部落解放同盟 須高地区協議会	

## (3) 成果指標

- ここ数年、町内での差別事象等の発生の報告はありません。

<b>差別撤廃・人権擁護審議委員会(教育文化グループ)</b>			予算事業名：人権・同和政策費		
当初予算額	119,000 円	最終予算額	84,000 円	決算額	35,000 円
小布施町におけるあらゆる差別撤廃・人権擁護に関する条例に基づき、差別撤廃・人権擁護審議委員会を委嘱し、町人権教育計画について審議しました。					
(1) 主な支出					
・ 委員への報酬		3 万円			
・ 審議会の開催		5月14日			
・ 今年度の町人権教育計画について審議されました。					
<b>集会所・作業所・厚生住宅の維持管理(教育文化グループ)</b>			予算事業名：人権・同和政策費		
当初予算額	554,000 円	最終予算額	589,000 円	決算額	567,606 円
同和对策集会所・作業所の屋根の修繕等を行いました。					
(1) 主な支出					
・ 施設修繕費		31 万円			
・ 火災保険料等		23 万円			
(2) 活動指標					
・ 厚生住宅浴槽取替え					
・ 雁中集会所フェンス取替え					
・ 集会所では周辺住民による人権問題講座等を開催し、作業所については、主に農機具等の保管に使われています。					
<b>住宅新築資金等貸付事業特別会計への繰出金(教育文化グループ)</b>			予算事業名：人権・同和政策費		
当初予算額	1,377,000 円	最終予算額	1,368,000 円	決算額	1,350,000 円
住宅新築資金等貸付事業特別会計へ繰出金を支出しました。					
(1) 主な支出					
・ 繰出金		135 万円			
5	障害者福祉費	136,497,097	決算事項別明細書		P40～
<b>障害福祉サービスの利用(福祉グループ)</b>			予算事業名：障害者福祉事業費		
当初予算額	785,000 円	最終予算額	975,000 円	決算額	910,932 円
自立支援法の障害福祉サービスの利用希望者に対し、認定調査を行いました。また介護給付サービスは長野広域連合に設置した審査会の二次判定結果を基に、障害程度区分の認定を行いました。					
(1) 主な支出					
・ 調査員賃金と調査を委託した場合の費用		2 万円			
・ 審査会の運営のための負担金		29 万円			
・ 受給者証作成システムの使用料		46 万円			
・ 主治医意見書作成		10 万円			
・ 受給者証作成、発行のための事務費		2 万円			
(2) 活動指標					
・ 認定調査件数		36 件 (児童 1件)			
・ 医師意見書作成依頼件数		19 件			
・ 長野広域連合審査判定依頼件数		19 件			
・ 新たに介護給付サービス等の利用希望者の他に、みすみ草が訓練等給付サービスの就労継続支援B型事業を実施することになり、通所者(11名)に対し認定調査を行いました。					



**障害福祉サービスの給付(自立支援給付事業)(福祉グループ)**

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 122,467,000 円

最終予算額 132,430,000 円

決算額 119,752,689 円

平成18年より障害種別にかかわらず、生活を支援する福祉サービス利用の仕組みが一つとなりました。主に在宅や施設入所での生活支援サービスである介護給付と、施設へ通所して作業や一般就労を目指すサービスの訓練等給付があります。

(1) 主な支出（負担割合 国1/2、県1/4、町1/4）

- ・ ホームヘルプなどの介護給付費 2,926 万円
- ・ 支援費 旧法施設支援費 7,200 万円
- ・ 就労移行支援などの訓練等給付費 1,841 万円

(2) 活動指標

- ・ 事業別の給付費の状況

事業種別		事業名	利用者数 (人)	給付費 (万円)
介護給付費等	在宅	居宅介護等	5	1,684
		短期入所	6	160
		住グループホーム、ケアホーム	6	450
		通所生活介護	1	192
		通所基準該当生活介護	1	77
	入所	療養介護	1	286
		療養介護医療費	1	77
		旧身体障害者施設支援	7	2,054
		旧知的障害者施設支援	11	2,922
		特定障害者特別給付費	17	277
訓練等給付	通所	旧知的障害者施設支援	13	1,947
		自立訓練	1	21
		就労移行支援	7	820
		就労継続支援A	3	233
		就労継続支援B	16	767
計			96	11,967

(3) 活動指標の推移

- ・ 支援費、自立支援給付費の給付状況 (単位：万円)

支援費		平成15年度		平成16年度		平成17年度	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額
施設	入所	22	8,087	25	8,195	22	7,969
	通所	7		10		12	
居宅生活支援		14	362	24	645	32	1,224

平成18年度						
支援費		件数	金額	自立支援給付費	件数	金額
施設 3月～9月	入所	22	4,405	訓練等給付費10月～2月	10	277
	通所	16		旧法施設支援10月～2月	31	2,926
居宅生活支援 3月		20	209	介護給付費4月～2月	29	2,361

平成19年度		
自立支援給付費	件数	金額
訓練等給付費	27	1,841

旧法施設支援	31	7,200
介護給付費	21	2,926

・ 総事業費対前年比

年度	事業費	前年比
15	8,449	—
16	8,840	104.6%
17	9,193	104.0%
18	10,178	110.7%
19	11,967	117.6%

- ・ 平成19年10月よりみすみ草が就労継続支援事業B型の事業所指定を受けました。これによりみすみ草は、どなたでも利用できる社会交流促進の場としての地域活動支援センターと、作業を中心とする事業所の2つの機能を持ち、利用者の状態に応じた選択肢が広がりました。
- ・ 総事業費で比較すると、障害福祉サービス費は毎年伸びています。3障害が対象となり利用希望者が増えたこと、提供事業者が増えてきたことが理由として考えられます。今後は自立支援法の福祉サービス以外のインフォーマル・地域サービスの提供を充実させたり、一般就労などを目指す事業の強化を進めていく必要があると考えます。

**障害福祉サービスの給付(地域生活支援事業)(福祉グループ)**

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 1,446,000 円 最終予算額 1,546,000 円 決算額 1,545,141 円

外出のため支援を行う「移動支援事業」と、日中に介護する人がいないなどの理由で見守りが必要な障害のある人を支援する「日中一時支援サービス事業」を実施しました。この事業は、障害のある人のニーズや施設、支援機関などの社会資源など地域の実情に合った、必要な事業を町が実施します。(平成18年10月より実施)

(1) 主な支出

- ・ 移動支援事業 142 万円
- ・ 日中一時支援サービス事業 11 万円

(2) 活動指標

- ・ 実施状況
  - 移動支援事業利用者数(個別支援) 4人
  - 移動支援事業利用者数(グループ支援) 1人
  - 日中一時支援サービス事業利用者数 1人

(3) 活動指標の推移

- ・ 給付状況の推移 (単位：万円)

		平成18年度		平成19年度	
		人数	金額	人数	金額
移動支援	個別	2	48	4	142
	グループ	0	0	1	0.9
日中一時支援		2	38	1	11

- ・ 今後は利用者、関係機関との連携や自立支援協議会を通じ、ニーズに合った事業へと充実させていくことに努めます。
- ・ 平成19年度、移動支援事業のグループ支援について、利用者サービス従事者の比率を従来の2対1、3対2に3対1を追加しサービス利用や余暇活動に利用しやすくなるよう変更しました。

**補装具費の補助(福祉グループ)**

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 4,241,000 円 最終予算額 4,241,000 円 決算額 1,567,130 円

身体障害者の身体部分の機能を補う用具の購入・修理に対し補助を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 補装具の購入・修理費 149 万円
- ・ 自己負担金への援助 6 万円

(2) 活動指標

- ・ 補装具の交付・修理費内訳
 

障害者	交付	9 件	102 万円	修理	12 件	31 万円
障害児	交付	0 件	0 万円	修理	2 件	16 万円
- ・ 自己負担金への援助
 

交付	9 件	5 万円
----	-----	------

(3) 活動指標の推移

- ・ 補装具の給付状況 (単位：万円)

		平成15年度		平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度	
		件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
補装具	交付	76	260	81	394	81	332	67	304	9	102
	修理	10	18	10	24	9	24	17	43	14	47
自己負担金への援助		39	60	15	20	17	39	20	29	9	6

**日常生活用具の給付(福祉グループ)**

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 2,388,000 円 最終予算額 2,388,000 円 決算額 1,763,108 円

在宅で過ごす障害者の生活を支援するため、視覚障害者用ポータブルレコーダー、たん吸引器など日常生活用具の購入に対し補助を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 日常生活用具の購入 176 万円

(2) 活動指標

- ・ 日常生活用具の購入 198 件
  - 内訳
    - ・ 特殊マット 1 件
    - ・ 聴覚障害者用屋内信号装置 1 件
    - ・ ネブライザー(吸引器) 1 件
    - ・ 電気式たん吸引器 2 件
    - ・ 聴覚障害者用通信装置 2 件
    - ・ ストーマ装具 191 件 (1か月分を1件とカウント)

(3) 活動指標の推移

- ・ 日常生活用具の給付状況

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
件数	5件	4件	5件	44件	198件
給付金額	28万円	37万円	50万円	121万円	176万円

※ 平成18年10月から排せつ管理支援用具が補装具から日常生活用具の対象品目へと移行したため給付金額が伸びています。

**自立支援医療費への補助(福祉グループ)**

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 1,765,000 円 最終予算額 1,765,000 円 決算額 611,442 円

障害の程度を軽くするために行う手術に対し補助を行いました。これまでの障害に係る公費負担医療であった更生医療が平成18年4月より自立支援医療と変わりました。

## (1) 主な支出

- ・ 旧更生医療への助成 60 万円
- ・ 審査支払の手数料 0.2 万円

## (2) 活動指標

- ・ 自立支援医療給付（旧更生医療） 4 人  
（腎臓機能障害 - 人工透析、肢体不自由 - 人工関節置換術 等）

## (3) 活動指標の推移

- ・ 医療給付の状況

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
レセプト枚数	24枚	25枚	27枚	37枚	29枚
金額	63万円	91万円	108万円	175万円	60万円

**タイムケア事業(福祉グループ)**

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 1,426,000 円 最終予算額 1,426,000 円 決算額 1,380,940 円

障害者と家族の支援のため、社会福祉法人などへ介護を依頼するためにかかる費用を時間単位で援助しました。

## (1) 主な支出

- ・ 社会福祉法人等の介護費用への支出 138 万円

## (2) 活動指標

- ・ 利用登録者実数 24 人  
（決められた時間内（300時間）の中で、家族などが一時的に家庭において介護できないとき、施設や近隣等で介護を受けます。）

## (3) 活動指標の推移

- ・ タイムケアの利用状況

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
人 数	10人	12人	21人	29人	24人
金 額	37万円	78万円	49万円	122万円	138万円

**通所・通園等の援助(福祉グループ)**

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 193,000 円 最終予算額 193,000 円 決算額 77,936 円

心身障害児を持つ家庭への経済的支援のため、通所・通園にかかる交通費を援助しました。

## (1) 主な支出

- ・ 通所・通園等にかかる交通費の援助 7 万円

## (2) 活動指標

- ・ 援助件数 3 件

(3) 活動指標の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
件数	11件	6件	4件	4件	3件
金額	18万円	14万円	8万円	8万円	7万円

**重度心身障害児福祉年金の給付(福祉グループ)**

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 280,000 円 最終予算額 280,000 円 決算額 229,999 円

重度の心身障害児に対して、障害の程度に応じて福祉年金を支払いました。

(1) 主な支出

- ・ 重度心身障害児への福祉年金 22 万円

(2) 活動指標

- ・ 給付人数 18 人

(3) 活動指標の推移

- ・ 給付件数の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
人数	18人	22人	19人	18人	18人
金額	23万円	25万円	24万円	22万円	22万円

**自立支援協議会検討懇話会(福祉グループ)**

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 98,000 円 最終予算額 98,000 円 決算額 48,750 円

自立支援協議会検討懇話会（仮称）を障害福祉計画策定委員会として、障害者基本法に基づいた小布施町の障害者施策に関する基本的な事項を定めた計画を策定しました。計画期間は平成19年度から23年度までの5年間です。

(1) 主な支出

- ・ 障害福祉計画策定委員（15人）の報酬 4 万円

(2) 活動指標

平成20年2月29日 第1回障害福祉計画等策定懇話会 出席者 11名  
概要の説明、障害福祉計画との関係、障害者関連施策の動向説明  
平成20年3月21日 第2回障害福祉計画等策定懇話会 出席者 9名  
計画について  
策定 ページ数 47ページ  
町ホームページに掲載

**その他の給付(福祉グループ)**

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 1,600,000 円 最終予算額 2,806,000 円 決算額 2,393,927 円

平成18年度の実績額が確定したことにより、身体障害者保護費等国庫負担金返還金などを支払いました。

(1) 主な支出

- ・ 児童福祉施設入所の援護 11 万円
- ・ 身体障害者保護費等国庫負担金返還金 120 万円
- ・ 臨時職員賃金 93 万円
- ・ 障害者スポーツ大会参加負担金 3 万円
- ・ その他の経費 11 万円

(2) 活動指標の推移

- ・ 児童福祉施設への援護件数の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
件数	6件	2件	4件	4件	2件
金額	12万円	6万円	12万円	13万円	11万円

**相談支援事業・ケアマネジメント事業**

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 1,412,000 円 最終予算額 1,412,000 円 決算額 1,361,802 円

障害者自立支援法により須坂市、高山村と共同で須高地域障害者支援センターを設置し、障害のある人の権利や総合的なケアマネジメントの実現、相談支援事業の充実を目指しています。町と相談窓口であるみすみ草や関係機関との連携をとり、生活上の相談から必要に応じ家庭訪問やケア会議の開催を行い、社会資源を活用した社会生活力を高めるための支援を続けています。

(1) 主な支出

- ・ 相談支援事業の委託 133 万円
- ・ 自立支援協議会の事務局経費 3 万円

(2) 活動指標

- ・ 平成19年度須高地域障害者支援センターケア会議開催件数（内小布施町）

	全体	小布施町
知的	101回	6回
精神	18回	6回
身体	23回	2回
その他	3回	0回
合計	145回	14回

- ・ 須高地域自立支援協議会事務局（平成19年8月設立）
- ・ 自立支援協議会専門部会開催（5部会） 延べ開催回数 30回
- ・ 小布施町障害者計画策定懇話会 開催回数 3回
- ・ 長野圏域障害者総合支援センター会議等の開催

窓口として須高地域障害者支援センターの認知度も上がり、多様な役割を担う機関となってきました。支援センターがあることにより地域の支援者間の横のつながりができ、支援者個人の視野の拡大や意識の向上にも繋がっています。今後の相談支援事業は利用される方のニーズに基づく支援を軸に、地域課題の共有と解決するための中核の事業となるよう充実を目指します。

**身体障害者の住宅整備への補助(福祉グループ)**

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 900,000 円 最終予算額 900,000 円 決算額 0 円

身体障害者の方の住宅改修に対し補助を行います。今年度は申請がありませんでした。

(1) 主な支出

- ・ なし

(2) 活動指標の推移

- ・ 過去の給付実績

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
件数	1件	0件	1件	1件	0件
金額	90万円	0万円	70万円	70万円	0万円

**身体障害者の自動車改造への補助(福祉グループ)**

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 100,000 円 最終予算額 100,000 円 決算額 26,500 円

身体障害者の方の社会生活への参加を支援するため、自動車改造に対する補助を行いました。

## (1) 主な支出

- 身体障害者用自動車改造への補助 2 万円

## (2) 活動指標

1 件（自動車の改造に要する費用の一部（10万円まで）を補助）

## (3) 活動指標の推移

- 過去の助成実績

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
件数	0件	0件	0件	2件	1件
金額	0万円	0万円	0万円	20万円	2万円

**手話通訳者などの派遣(福祉グループ)**

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 139,000 円 最終予算額 139,000 円 決算額 76,500 円

聴覚障害者のコミュニケーションを円滑にするため、手話通訳者、要約筆記奉仕員を派遣しました。

## (1) 主な支出

- 手話通訳者の派遣 6 万円
- 要約筆記奉仕員の派遣 0.8 万円

## (2) 活動指標

- 手話通訳派遣事業 11件
- 要約筆記奉仕員派遣事業 1件

## (派遣理由)

病院の診察、授業参観等

## (3) 活動指標の推移

- 手話通訳派遣事業

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
件数	17件	6件	7件	7件	11件
金額	5万円	2万円	3万円	5万円	6万円

- 要約筆記奉仕員派遣事業(平成16年度からの事業)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
件数	1件	1件	1件	1件
金額	3万円	2万円	1万円	1万円

- 利用する方の立場に合ったコミュニケーションの方法として講演会や会議等で手話通訳や要約筆記奉仕員などを派遣する機会を増やしていく必要があると考えます。

**障害者自立支援対策特別対策事業(福祉グループ)**

予算事業名：障害者福祉事業費

当初予算額 0 円 最終予算額 2,272,000 円 決算額 2,264,301 円

平成19、20年度の2年間に限り、法の施行に伴う激変緩和と新たな事業に直ちには移行できない事業者の経過的な支援等、自立支援法への移行の促進を図るため県に造成された基金を活用して行われる特別対策事業です。

## (1) 主な支出

- 携帯型拡大読書器の購入 28 万円

- ・ 就労意欲促進事業 39 万円
- ・ 進行性筋委縮症に対する激変緩和 29 万円
- ・ 通所サービス利用促進事業 85 万円
- ・ 事業運営円滑化事業 43 万円

(2) 活動指標

- ・ 携帯型読書器 2台
- ・ 就労意欲促進事業 対象者6名
- ・ 通所サービス利用促進事業 対象事業者 5事業者
- ・ 事業運営円滑化事業 対象事業者 6事業者
- ・ 平成19、20年度の2年間の特別対策ですが、活用できる事業については計画的に20年度も引き続き支援を続けます。

**長野若槻園の建設への補助(福祉グループ)**

予算事業名：障害者福祉整備事業費

当初予算額 2,486,000 円 最終予算額 2,486,000 円 決算額 2,486,000 円

社会福祉法人長野若槻園が経営する身体障害者授産施設「長野若槻園コロニー訓練部」と「長野若槻園重度授産部」は、建設から37年を経過し、それぞれの建物は著しい老朽化により利用者の就労・生活等の環境で著しい支障が生じていました。このため若槻園が長野市篠ノ井地区に施設を移転・改築を行いました。障害者の就労・生活支援のため補助を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 社会福祉施設等整備事業補助金 249 万円

(2) 活動指標

- ・ 長野市篠ノ井布施五明にコロニー訓練部と重度授産部が完成し、平成19年7月から運営しています。

6 健康福祉センター費 12,321,302 決算事項別明細書 P41～

**ボランティア活動の支援(福祉グループ)**

予算事業名：健康福祉センター管理費

当初予算額 1,245,000円 最終予算額 1,245,000円 決算額 943,000円

ボランティアセンターとしての機能の充実を図り、地域住民の皆さんのボランティア活動を支援しました。

(1) 主な支出

- ・ ボランティア活動育成事業委託料 94 万円

(2) 活動指標

- ・ ボランティア活動育成事業(社協委託)
  - ボランティア保険の助成 10団体 260人分
  - みなさんよっといで!!サロン [おもちゃ図書館 参加者延779人]
  - [発達教室 参加親子延105組]
  - 連絡会議の開催 全2回
  - 音訳ボランティア養成講座 全10回 参加者19人
  - 夏休みミニ講座 全2回

(3) 活動指標の推移

- ・ ボランティア登録団体数の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
登録団体数	15団体	18団体	20団体	24団体

在宅介護支援センターが実施する事業とともに、転倒予防教室やダンスで脳元気教室のOB会として、自ら介護予防に取り組もうと自主的に活動する団体もできました。また、新たにボランティア登録された団体による定期的な利用も増え、センターが徐々に地域住民の皆さんに有効に利用されています。



**健康福祉センターの管理運営(福祉グループ)**

予算事業名：健康福祉センター管理費

当初予算額 12,144,000円

最終予算額 12,144,000円

決算額 10,929,706円

保健・福祉・医療のネットワークづくりの拠点としての役割に加え、ボランティア団体の会議や障害者、高齢者の介護予防事業などの教室、研修会等さまざまな活動の場として管理運営をしました。

## (1) 主な支出

・燃料費	78万円	・光熱水費	368万円
・修繕料	44万円	・電話等通信運搬費	62万円
・清掃委託料	11万円	・エレベータ保守管理委託料	74万円
・自動ドア保守点検委託料	8万円	・施設安全管理業務委託料	40万円
・電気保安業務委託料	17万円	・冷暖房空調機器保守点検委託料	10万円
・清掃用具借上料	21万円	・施設用地借上料	320万円
・機器借上料	20万円	・特殊建築物定期調査委託料	6万円

## (2) 活動指標

・主な健康福祉センター利用の状況

町、社協事業による利用・・・833回 延約13,776人

ボランティア団体の自主活動による利用・・・521回 延約8,545人

## (3) 活動指標の推移

・健康福祉センター利用者数の推移

(単位：人)

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
利用人数	11,641	14,675	16,498	17,992	24,759

**千年樹の里まつりの開催(福祉グループ)**

予算事業名：千年樹の里まつり事業費

当初予算額 518,000円

最終予算額 518,000円

決算額 448,596円

町民の健康の増進や、地域住民と保健・福祉・医療のネットワークの構築を図り、「元気な人づくり」を進めるため、第7回千年樹の里まつりを開催しました。

## (1) 主な支出

・出演者等謝礼	14万円	・イベントチラシ、ポスター等	11万円
・会場設営委託料	13万円	・スタッフ等昼食及び反省会	3万円

## (2) 活動指標

・千年樹の里まつり

開催月日：10月13～14日

会場：千年樹の里周辺

参加ボランティア 37団体、約300人

頭と体の健康づくり体験コーナー 延約90人

スタンプラリー 172人参加

フリーマーケット 小中学生 17組41人 一般1組1人が出店

アトラクション(和太鼓演奏・フラメンコ・大道芸等) 観客延約700人

社協ふれあい広場(模擬店等) 出店数12店

その他消防ふれあい広場、人力車周遊等

第7回を迎え、町民の皆さんの認知度も増しています。おもちゃ図書館、エコ広場等新たなボランティア団体の新企画のコーナーもあり、小さな子どもやその親の参加が増え、いっそう賑やかな祭りとなっています。37ものボランティア団体(約300人)の参加を得て、ボランティア活動に対する取り組みも活発になってきています。

7	老人福祉センター費	3,176,284	決算事項別明細書	P41～
---	-----------	-----------	----------	------

**老人福祉センター(桃源荘)の管理運営(福祉グループ)** 予算事業名：老人福祉センター管理費

当初予算額 3,843,000 円 最終予算額 3,843,000 円 決算額 3,176,284 円

高齢者の生きがいと健康づくりを推進する施設として、また、高齢者のさまざまな活動の場として管理運営をしました。

(1) 主な支出

・ 光熱水費	93 万円	・ 火災保険料	11 万円
・ 駐車場土地借上料 (385.43㎡)	18 万円	・ 設備の保守点検の委託	8 万円
・ 複写機使用料	9 万円	・ 臨時職員賃金	135 万円
・ 特殊建築物定期調査委託料	4 万円	・ 電話等通信運搬費	6 万円
・ 修繕料	28 万円	・ その他の経費	10 万円
・	10 万円		

(2) 活動指標

- ・ 桃源荘利用状況  
老人クラブ支部長会、各種クラブ活動 延利用者数 2,297人  
いきいきサロン（日常動作訓練から趣味の活動）毎週 月・水・金  
延利用者数 3,261人（登録者 50人）

(3) 活動指標の推移

- ・ 桃源荘利用者数の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
利用者延人数	4,158人	4,083人	5,617人	6,115人	5,558人

※各年度とも、いきいきサロンを含む

8	介護予防支援事業費	1,980,200	決算事項別明細書	P42～
---	-----------	-----------	----------	------

**介護予防プラン作成(福祉グループ)** 予算事業名：介護予防支援事業費

当初予算額 3,942,000 円 最終予算額 3,942,000 円 決算額 1,980,200 円

在宅介護支援センターが地域包括支援センターとして、要支援1又は2と認定された方の介護予防のケアプラン作成（新予防給付のマネジメント）を行っていますが、その一部を居宅介護支援事業所に委託して実施しました。

(1) 主な支出

・ 居宅介護支援事業所への委託料	174 万円
・ 在宅保健師等賃金	24 万円

(2) 活動指標

- ・ 介護予防支援事業 委託箇所数 4箇所  
社会福祉協議会、新生病院、J A須高、朝日ホームおんせん
- ・ 要支援(1または2) 認定者数(H20.3.31現在) 87人  
うち介護予防ケアマネジメント数 78人  
うち介護予防プラン作成委託件数 39人 (件)  
社会福祉協議会 (18件)、新生病院 (16件)、J A須高 (3件)  
朝日ホームおんせん (2件)

2 児童福祉費 255,498,328

1 児童福祉総務費 767,339

決算事項別明細書 P42～

**保育園の入園手続きなど(福祉グループ)**

予算事業名：児童福祉総務費

当初予算額 868,000円 最終予算額 868,000円 決算額 767,339円

保育を必要とする保護者の希望に応じた保育園への受入れを進めるため、必要な保育園の情報提供を行い、保育を実施しました。

(1) 主な支出

- ・保育料システムの委託料・使用料 63万円

(2) 活動指標(福祉行政報告例値)

- ・入園児童数 248人

0歳児	11人	1・2歳児	62人
3歳児	61人	4歳児以上	114人

※年度末。町外保育園への委託児童含む。町立保育園への町外からの受託児童は含まない。

- ・階層(国基準)別入園状況(年度末。委託児童含む。受託児童含まない。)

階層	定義	児童数
1	生活保護法による被保護世帯	0人
2	町民税非課税世帯	24人
3	町民税課税世帯	29人
4	所得税72,000円未満	55人
5	所得税180,000円未満	60人
6	所得税459,000円未満	63人
7	所得税459,000円以上	17人

※第4～6階層(所得税17,000円以上～408,000円未満)世帯が全体の7割強を占めている。

(3) 活動指標の推移

- ・平成19年度入園状況実績(委託児童含む。受託児童含まない。)

(単位：人)

		0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
わかば	平成19年4月	0	4	19	37	29	25	114
	平成20年3月	2	8	20	38	29	26	123
つすみ	平成19年4月	1	6	18	18	14	38	95
	平成20年3月	6	10	18	20	14	40	108
2園計	平成19年4月	1	10	37	55	43	63	209
	平成20年3月	8	18	38	58	43	66	231
委託	平成19年4月	1	3	3	3	1	5	16
	平成20年3月	3	4	2	3	1	4	17

2 児童措置費 82,011,144

決算事項別明細書 P42～

**児童手当(福祉グループ)**

予算事業名：児童手当給付事業費

当初予算額 90,791,000円 最終予算額 90,791,000円 決算額 82,011,144円

子育て支援として、小学校修了前までのお子さんを養育する人に児童手当を支給しました。

(1) 主な支出

- ・児童手当の支払い 8,138万円
- ・電算システム委託料 42万円

(2) 活動指標

区分	手当月額	延児童数	支出額	備考	
児童手当	被用者※2	5,000円	人	万円	3歳未満の児童を養育しているサラリーマンなど厚生年金等加入者
	非被用者※3	10,000円	人	万円	
	計	0人	0万円		
特例給付	被用者※1	5,000円	人	万円	3歳未満の児童を養育しているサラリーマンなど厚生年金等加入者で、一定額以上の所得がある者
	非被用者※3	10,000円	人	万円	
	計	0人	0万円		
小学校修了前特例給付	被用者※4	5,000円	人	万円	3歳から小6修了前の児童を養育しているサラリーマンなど厚生年金等加入者
	非被用者※5	10,000円	人	万円	
	計	0人	0万円		
小学校修了前特例給付	被用者※4	5,000円	人	万円	3歳から小6修了前の児童を養育している自営業者などの国民年金加入者
	非被用者※5	10,000円	人	万円	
	計	0人	0万円		

※ 第1子・第2子 5,000円、第3子 10,000円

・上記区分の負担割合

特例給付 ※1	事業主						
	10/10						
被用者 ※2	事業主	国	県	町	非被用者 ※3	非被用者 ※4	非被用者 ※5
	7/10	1/10	1/10	1/10			
					国	県	町
					1/3	1/3	1/3

(3) 活動指標の推移

・支給額・支給件数の推移

	平成17年度		平成18年度		平成19年度	
	延児童数(人)	金額(万円)	延児童数(人)	金額(万円)	延児童数(人)	金額(万円)
3歳未満						
被用者	1,621	953	1,954	1,146	2,034	1,893
非被用者	803	497	803	500	690	643
特例給付	289	158	97	56	55	45
※3歳以上						
被用者	4,828	2,750	6,818	3,858	7,369	4,162
非被用者	1,828	1,045	2,362	1,353	2,451	1,395

※平成16年4月から、制度改正により対象範囲が小学校就学前から3年生まで拡大

※平成18年4月から、制度改正により対象範囲が小学校3年生から6年生まで拡大

※平成19年4月から、3歳未満は支給額一律10,000円に拡大

3	青少年対策費	5,509,854	決算事項別明細書	P42~
<b>青少年問題協議会委員の活動(教育文化グループ)</b>				
当初予算額		77,000円	最終予算額	77,000円
			決算額	0円

青少年の問題等が発生した場合に調査・審議を行います。

- (1) 主な支出
  - ・なし
- (2) 活動指標
  - ・平成19年度は審議案件がなく開催しませんでした。
- (3) 成果指標
  - ・平成17～19年度 開催なし

**青少年育成自主活動事業への補助(教育文化グループ)**

予算事業名：青少年対策費

当初予算額 300,000 円 最終予算額 300,000 円 決算額 294,000 円

各育成会を支援するため、その活動に対し補助を行いました。

- (1) 主な支出
  - ・育成会活動交付金の交付 28育成会 30 万円
- (2) 活動指標
  - ・予算の範囲内で、育成会の自主的活動に対し交付 1事業 1,500円
- (3) 活動指標の推移
  - ・補助額等の推移

	平成17年度	平成18年度	平成19年度
育成会数	28育成会	28育成会	28育成会
補助金額	26万円	26万円	30万円

**子ども会安全会費の助成(教育文化グループ)**

予算事業名：青少年対策費

当初予算額 155,000 円 最終予算額 155,000 円 決算額 144,160 円

育成会事業に参加する子ども会の安全会費（保険掛金）と長野地方子ども会育成連絡協議会の会費を補助しました。

- (1) 主な支出
  - ・子ども会安全会費の補助 11 万円
- (2) 活動指標
  - ・保険内容 育成会活動の安全思想の普及に努め、活動中に生じた傷害、疾病、後遺障害または死亡に対して見舞金を支給
- (3) 活動指標の推移
  - ・近年、給付対象の傷害等はなし

**小山田杯少年少女球技大会の開催(教育文化グループ)**

予算事業名：青少年育成事業費

当初予算額 340,000 円 最終予算額 340,000 円 決算額 198,038 円

青少年の心身の健全な育成を図り、地域でのふれあい交流と連帯意識を育成するため、球技大会（種目・キンボール）を開催しました。

- (1) 主な支出
  - ・入賞メダル等 4 万円
  - ・参加賞（蛍光ペン）10 万円
- (2) 活動指標
  - 平成19年7月29日開催 会場：栗ガ丘小学校体育館、文化体育館、鳳凰アリーナ
  - ・小学生の部 26育成会 41チーム参加
  - 小学生の部 優勝 横町育成会 準優勝 栗ガ丘育成会 3位 林育成会

- ・中学生の部 23育成会 26チーム参加  
中学生の部 優勝 中条育成会 準優勝 大島育成会 3位 矢島育成会

(3) 活動指標の推移

- ・参加チーム数の推移

	平成17年度	平成18年度	平成19年度
参加チーム数	61チーム	69チーム	67チーム
(内訳) 小学校	25育成会 (40チーム)	25育成会 (44チーム)	26育成会 (41チーム)
(内訳) 中学校	20育成会 (21チーム)	23育成会 (25チーム)	23育成会 (26チーム)

**子どもみこし大会の開催(教育文化グループ)**

予算事業名：青少年育成事業費

当初予算額 24,000 円 最終予算額 24,000 円 決算額 5,298 円

夏のイベント「くりんこ祭り」に合わせて、子どもみこし大会を開催しました。

(1) 主な支出

- ・消耗品など 1万円

(2) 活動指標

- ・平成19年7月28日開催

(3) 活動指標の推移

- ・参加チーム数の推移

	平成17年度	平成18年度	平成19年度
参加チーム数	雨天中止	27育成会	28育成会

**子ども教室の管理運営(教育文化グループ)**

予算事業名：子ども教室放課後児童クラブ費

当初予算額 6,119,000 円 最終予算額 6,119,000 円 決算額 4,868,358 円

就労等により放課後留守になる家庭の児童（小学生低学年）を対象に、家庭にかわる適切な遊び及び生活の場を与えて、その健全な育成を図りました。

(1) 主な支出

- ・嘱託職員人件費 217 万円
- ・臨時職員の賃金 163 万円
- ・傷害保険料 15 万円
- ・おやつ代 33 万円

(2) 活動指標

- ・子ども教室（放課後児童クラブ） 登録人数 68名  
受入時間 学校終了時～午後6時（延長時間 午後6時30分）  
土曜日 午前8時30分～午後3時（延長時間 午後6時30分）  
学校休業日・長期休業日 午前8時30分～午後6時（延長時間 午後6時30分）

入所基準を明確化することで、事業趣旨の基本を理解された。また、登録にあたり保護者との懇談を行い、個々の家庭との連携に努めた。

4 保育園費 155,420,273

決算事項別明細書 P43～

**保育園の管理運営・保育園の食育(福祉グループ)**

予算事業名：保育園管理費

当初予算額 150,573,000 円 最終予算額 150,626,000 円 決算額 144,434,825 円

仕事などにより昼間家庭で保育できない保護者に代わり、0歳（生後8カ月）から5歳までの乳幼児を預かり保育しました。

(1) 主な支出

・保育にかかる各種材料費	102 万円
・光熱水費	362 万円
・幼稚園や小学校との交流教育	13 万円
・臨時保育士等の賃金	2,518 万円
・園児の給食材料費	1,446 万円
・保育環境の整備	17 万円
・町外への保育の委託 (17)	1,626 万円
・保育士人件費	7,651 万円
・保育園での食育	18 万円

(2) 活動指標

・主な行事 (園児)

入・卒園式 春・秋の遠足 端午の節句 カレーパーティー(つすみ) プール活動 七夕まつり 運動会 ひんのべ汁大会 演劇教室 やきいも大会 ゆうぎ会 もちつき大会 クリスマス会 おみせやさんごっこ まめまき ひなまつり会 やしょうまひき

・その他

保育参観・懇談会 (年2回) 健康診断 歯科保健講話 土曜参観 保健師園訪問 栄養士園訪問 特老慰問 エンゼル交流 幼・保・小連携交流教育 プール参観 交通安全教室 (年2回) 祖父母参観 避難訓練 (年12回) 英語講師との交流

・保育園での食育の推進

回	内 容	わかば保育園	つすみ保育園
1	紙芝居 「うんちの話」	6月20日 (水) 対象園児38人	6月6日 (水) 対象園児18人
2	ペープサート 「何を食べたら元気になれる!？」	8月28日 (火) 対象園児31人	8月23日 (木) 対象園児16人
3	エプロンシアター 「元気なまあちゃん」	10月10日 (水) 対象園児24人	10月3日 (水) 対象園児41人
4	紙芝居 「やさいのおしゃべり」	12月14日 (金) 対象園児21人	12月7日 (金) 対象園児17人

栄養士・保育士が紙芝居などにより、元気な身体づくりに向けた園児教育を実施しました。また、給食の食材の皮むきやひんのべ大会を通し、食物の大切さを学びました。

・保育園の入所児童数

(単位:人)

月	わかば保育園 定員 120人			つすみ保育園 定員120人			町外保育園			合 計		
	3歳 未満	3歳 以上	計	3歳 未満	3歳 以上	計	3歳 未満	3歳 以上	計	3歳 未満	3歳 以上	計
4月	23	94	117	26	73	99	7	9	16	56	176	232
5月	25	94	119	27	74	101	7	9	16	59	177	236
6月	25	93	118	27	74	101	7	9	16	59	176	235
7月	28	93	121	26	74	100	7	8	15	61	175	236
8月	29	93	122	27	76	104	7	8	15	63	177	240
9月	31	93	124	29	74	103	9	8	17	69	175	244
10月	31	93	124	30	74	104	9	6	15	70	173	243
11月	33	93	126	32	74	106	9	6	15	74	173	247
12月	33	93	126	31	74	105	9	6	15	42	173	215
1月	32	93	125	32	74	106	9	6	15	73	173	246
2月	31	93	124	34	74	108	10	7	17	75	174	249
3月	31	93	124	36	74	110	10	7	17	77	174	251
平均	29.3	93.2	122.5	29.8	74.1	103.9	8.3	7.4	15.8	67.4	174.7	242.1

・ クラス数及び保育士数

① わかば保育園

	クラス数	保育士数	(園児数： 保育士数)
5歳	1	嘱 1	30:1
4歳	2	正・嘱 2	30:1
3歳	2	正・嘱 2	20:1
2歳	1	正2・臨2 4	6:1
1歳	1	臨・臨・臨 3	4:1
0歳	0	(1歳と混合)	3:1
計	7	12	
給食員 嘱1・臨2、事務員 臨1 フリー保育士 1			

② つすみ保育園

	クラス数	保育士数	(園児数： 保育士数)
5歳	2	正・嘱 2	30:1
4歳	1	嘱 1	30:1
3歳	1	正・臨(加配) 2	20:1
2歳	1	正1嘱1臨2 4	6:1
1歳	1	臨・臨 2	4:1
0歳	1	臨・臨・臨 3	3:1
計	7	14	
給食員 正1・臨 2			

子どもたちが家庭で経験することが少なくなった伝統的な行事を取り入れたり、家庭や地域の皆さんとの連携を大切にした運営を行いました。また重点目標として「自然に親しみ豊かな情操を養う」ことを掲げ、園外保育を積極的に行いました。「食育」では、その日の給食に使う食材を展示し、興味・関心を持たせたり、一品お手伝い(枝豆をもぐ・もろこしの皮をむく)や、きゅうり・なす・ピーマンなど野菜づくりの体験などを通して食物に関心を持つ子どもたちに成長しました。また、保護者向けにその日の献立サンプルを展示し、食への関心が高まりました。入園の申し込みは随時受け付けし、年間17人の途中入園がありました。現在保育待機児童はいません。

**特別保育事業(長時間保育・障害児保育・一時的保育)(福祉グループ)** 予算事業名：特別保育事業費  
当初予算額 9,648,000 円 最終予算額 9,648,000 円 決算額 7,139,298 円

働く保護者の子育てを支援するため、早朝・夕刻の長時間保育を行いました。また、保育園に入園していない乳幼児(生後8カ月以上)で、一時的・断続的に家庭で育児が困難となった場合、お預かりして保育を行いました。

(1) 主な支出

- ・園児の給食材料費 57 万円
- ・一時的保育にかかる保険料 5 万円
- ・臨時保育士賃金 652 万円

(2) 活動指標

- ・長時間保育

<延長保育時間 午前7時30分～午後6時30分>

(通常保育は、午前8時30分～午後4時30分)

① わかば保育園 (年間平均値) (単位：人)

利用者数	3歳未満	3歳以上	計
月契約	20	26	46
日利用	4	10	14

② つすみ保育園 (年間平均値) (単位：人)

利用者数	3歳未満	3歳以上	計
月契約	20	17	37
日利用	5	12	17

・障害児保育

加配保育士の配置

つすみ保育園 1 名

3 歳児 障害名：アスペルガー症候群



・一時的保育

利用者数（わかば保育園・つすみ保育園）

（単位：人）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
3歳未満	4	5	6	9	11	11	5	1	2	2	2	2	60
3歳以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延日数	25.5	31.0	37.0	34.5	41.5	43.5	32.0	11.0	9.0	8.5	11.0	11.0	295.5

(3) 活動指標の推移

・長時間保育・一時的保育利用者数の推移（単位：人）

		平成17年度	平成18年度	平成19年度
長時間保育 (年間平均値)	月契約	84	83	83
	日利用	30	27	31
一時保育（年間利用者数）		75	78	60

**保育園の環境整備（福祉グループ）**

予算事業名：保育園環境整備事業費

当初予算額 3,877,000 円 最終予算額 3,877,000 円 決算額 3,846,150 円

子どもたちが快適な環境で園生活を送れるよう、園舎等の環境整備を行いました。

(1) 主な支出

- ・つすみ保育園舎屋根改修工事 318 万円
- ・わかば保育園電話機設置工事 8 万円
- ・つすみ保育園電話機設置工事 8 万円
- ・わかば保育園廊下床、壁修繕工事 50 万円

(2) 活動指標

- ・老朽化により雨漏りのする屋根の野地板の張替、トタンの葺き替え

5 エンゼルランドセンター事業費 11,789,718

決算事項別明細書 P43～

**エンゼルランドセンターの管理運営（福祉グループ）**

予算事業名：エンゼルランドセンター管理費

当初予算額 12,566,000 円 最終予算額 12,593,000 円 決算額 11,789,718 円

就学前の親子がふれあい、交流を行う場として、さまざまな遊びや催しの企画を行いました。また保育園・幼稚園児との交流や、子育て相談（ほのぼのカンファレンス）などを行い、子育てを支援しました。「あそびの広場」を地域において開催し、地域との交流を行いました。

(1) 主な支出

- ・光熱水費・燃料費 63 万円
- ・各種講座の講師への謝礼 19 万円
- ・臨時保育士などの賃金 170 万円
- ・施設の修繕整備 51 万円
- ・保育士人件費 763 万円
- ・備品購入費 19 万円

(2) 活動指標

・事業の内容

施設利用時間 月曜日から金曜日 午前9時30分～午後4時30分

土曜日 午前9時30分～午後3時

プール開放7月～9月上旬（閉館日：日曜日・祝日及び12月29日～1月3日）

平成19年10月から利用料を無料化しました。

あそびのひろは0～2歳児年齢別の企画あそび(各年層月2回) 手作りおもちゃの日(毎月1回)

おはなしの日(毎月1回) 在園児との交流(年10回) 自然の中で遊ぼう(年2回)

地域で開催する「あそびの広場」(年3回)

つどい事業 講演会(2回)各種講習会(4回)演劇教室(1回)子育てセミナー(6回)子育てなんでも教室(2回)ママカレッジ(6回)ミニコンサート(2回)お父さんと一緒(5回)やきいも大会(1回)折り紙教室(2回)

相談事業 ほのぼのカンファレンス(隔月開催年間6回)

情報提供事業 センターだより(毎月1回発行)ワンポイントアドバイス(年間17回)

・エンゼルランドセンター事業における食育

① エンゼルあそびのひろば

- ・0歳児～2歳児まで、各年齢に合わせた食事のワンポイントアドバイス・親子クッキング
- ・各年齢に応じた手作りおやつ提供(調理は食生活改善推進協議会に依頼)

② 子育てセミナー

- ・親子でおやつ作り

③ やしろうま作り講習会

2月29日開催 参加者数22組

・エンゼルランドセンター利用者数

(単位：人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用者数	724	702	985	1,150	1,079	1,202	1,062	1,079	840	782	902	1,061	11,568
開設日	24	24	26	25	27	23	26	24	23	23	24	25	294

※登録乳幼児数 2歳児43人、1歳児41人、0歳児82人、合計166人

(3) 活動指標の推移

・エンゼルランドセンターの利用状況の推移

(単位：人)

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
利用者数	8,016	7,764	10,645	11,431	11,568
開設延日数	298	294	295	295	294

- ・さまざまな企画を行う中で楽しみに来館し、お母さん同士・子ども同士の関わりが深まってきました。そして、誘い合ってセンターに集まるようになり、利用者が増えています。また、10月から利用料が無料になったため、後半の登録者数が例年より増えています。
- ・おむつをしている乳幼児はプールに入れられない施設がほとんどであるため、センターのプール利用は好評で、利用者が大勢います。(延べ利用数1,174人・一日平均26,7人)
- ・父親が企画に参加できるように土・日曜日の開催を増やしています。(お父さんと一緒・コンサート・演劇鑑賞など)参加者は年々増加傾向にあります。更に多くの父親が企画に参加し易くするための工夫を、今後も考えていきたいと思えます。

3 災害救助費 7,000

1 災害救助費 7,000

決算事項別明細書 P44～

**基金(貯金)利子の積立て(企画グループ)**

予算事業名：災害援助費

当初予算額 3,000円 最終予算額 7,000円 決算額 7,000円

非常災害にそなえ、財政の健全な運営を図るため、基金に積み立てを行いました。

(1) 主な支出

- ・非常災害積立基金利子積立金 0.7万円

款	項目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績																						
4		衛生費	217,121,096																							
	1	保健衛生費	86,335,648																							
	1	保健衛生総務費	28,740,145																							
				決算事項別明細書	P44～																					
<b>保健福祉委員会の活動支援(健康グループ)</b>				予算事業名：保健衛生総務費																						
当初予算額		880,000 円	最終予算額	880,000 円	決算額	880,000 円																				
<p>「自分の健康は自分でつくり守る」を活動テーマに、ウォーキング教室やストレッチ教室など健康づくり講習会などを通じて家庭や地域の健康づくりを推進している保健福祉委員会の活動を支援しました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保健福祉委員会への活動補助金 88 万円</li> </ul> <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保健福祉委員会の活動内容 成人保健関係各種検診希望の取りまとめ、受診票の配布、はつらつ結核検診の受付業務 総会、役員会、理事連絡員会等開催 4回 須高分会、長野支部総会等への出席 2回 ウォーキング、健康講座等の開催</li> <li>主な事業内容</li> </ul>																										
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>実施場所</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>町内施設めぐりウォーキング</td> <td>町内</td> <td>50人</td> </tr> <tr> <td>介護保険制度研修会</td> <td>グリーンアルム（須坂市） 朝日ホーム温泉リハビリセンター（高山村）</td> <td>42人</td> </tr> <tr> <td>ゴミ分別リサイクル推進研修</td> <td>飯山市</td> <td>35人</td> </tr> <tr> <td>ウォーキング基礎研修会</td> <td>妙高高原町</td> <td>27人</td> </tr> <tr> <td>須高地区歯の健康を守る住民の集い</td> <td>公民館講堂</td> <td>32人</td> </tr> <tr> <td>各種健康研修会（6回）</td> <td>保健センター等</td> <td>延べ226人</td> </tr> </tbody> </table>						事業名	実施場所	参加者数	町内施設めぐりウォーキング	町内	50人	介護保険制度研修会	グリーンアルム（須坂市） 朝日ホーム温泉リハビリセンター（高山村）	42人	ゴミ分別リサイクル推進研修	飯山市	35人	ウォーキング基礎研修会	妙高高原町	27人	須高地区歯の健康を守る住民の集い	公民館講堂	32人	各種健康研修会（6回）	保健センター等	延べ226人
事業名	実施場所	参加者数																								
町内施設めぐりウォーキング	町内	50人																								
介護保険制度研修会	グリーンアルム（須坂市） 朝日ホーム温泉リハビリセンター（高山村）	42人																								
ゴミ分別リサイクル推進研修	飯山市	35人																								
ウォーキング基礎研修会	妙高高原町	27人																								
須高地区歯の健康を守る住民の集い	公民館講堂	32人																								
各種健康研修会（6回）	保健センター等	延べ226人																								
<p>地域の健康づくりの担い手として、家庭や地域に対して知識や技術の伝達を図るため、町や関係機関等が行う各種研修会・講習会へ参加するとともに、自ら企画する中で知識や技術等の習得に努められました。</p>																										
<b>健診・医療体制の整備など(健康グループ)</b>				予算事業名：保健衛生総務費																						
当初予算額		3,919,000 円	最終予算額	3,888,000 円	決算額	3,790,809 円																				
<p>地域住民が安心して日常生活を送れるよう、休日・夜間等緊急時医療体制の整備や精神保健福祉の充実など、医療・保健衛生環境の向上を推進するため、各関係機関が行う事業に参加しました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>須高行政事務組合負担金 84 万円</li> <li>長野広域連合負担金 10 万円</li> <li>須高包括医療推進協議会負担金 12 万円</li> <li>須高精神保健福祉連絡協議会負担金 3 万円</li> <li>須高食品衛生協会交付金 1 万円</li> <li>長野精神保健福祉協議会負担金 3 万円</li> <li>病院群輪番制病院運営事業負担金 13 万円</li> <li>保健師職能研修会負担金 0.2 万円</li> <li>臨時職員・看護師賃金 249 万円</li> </ul> <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>夜間・休日等における緊急医療体制の確保</li> </ul>																										

- 須高休日緊急診療所事業・・・第1次緊急医療（軽症患者の初期診療）体制を整備
- 病院群輪番制病院運営事業・・・第2次緊急医療（手術・入院治療を必要）体制を整備
- ・地域医療の向上
  - 包括医療協議会・・・医師、歯科医師、薬剤師による健康管理体制を整備
  - 学校保健事業、健康教育等の充実
- ・心の健康の推進

(3) 活動指標の推移

- ・須高休日緊急診療所

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
開所日数	74日	73日	73日	71日	72日
受診者数	1,066人	1,016人	1,021人	4,090人	4,029人
内小布施分	88人	88人	90人	237人	297人

※ 休日の診療機関として運営を行っています。平成18年度からは県立須坂病院にも参加をいただき、2次救急及び外科救急への体制も整えています。

- ・病院群輪番制病院運営事業（小布施町利用者数）

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
長野赤十字病院	34人 260日	17人 259日	30人 259日	21人 259日	34人 261日
篠ノ井総合病院	6人 87日	3人 87日	1人 87日	6人 87日	1人 87日
松代病院	0人 45日	0人 45日	1人 45日	0人 45日	0人 45日
千曲中央病院					0人 45日
総受診者数	11,027人	11,345人	10,659人	11,110人	10,693人

町民の皆さんが夜間や休日などにおいて、緊急医療が必要となったときに、適切な医療が受けられるよう、広域による緊急医療受診体制を行う広域連合等へ加入しています。

**保健センターの維持管理(健康グループ)**

予算事業名：保健センター管理費

当初予算額 259,000 円 最終予算額 259,000 円 決算額 246,513 円

乳幼児健診をはじめ、各種ガン検診、健康相談事業など、町民の健康管理の拠点として保健センターを運営しました。

(1) 主な支出

- ・火災保険料 2万円
- ・自動ドア保守点検 6万円
- ・カーテッククリーニング 6万円
- ・乳幼児身長計購入 2万円

(2) 活動指標（保健センター利用事業）

- ・母子保健事業
  - 両親学級 3～4カ月児健診 10～11カ月児健診 1歳6カ月児健診
  - すくすく教室 3歳児健康診査 子育て教室（6・7カ月児） 子育て教室（2歳児）
  - すこやか相談 乳幼児相談
- ・成人保健事業
  - 胸部レントゲン（結核予防） 骨健診（骨粗鬆症予防） 胃検診 大腸がん検診
  - 乳房検診（視触診） 子宮がん検診 肺がん検診 定期健康相談

※ 成果については「お母さんと子どもの健康診査」「お母さんと子どもの子育て教室・相談事業」「成人の各種健康診査」(4.1.2)に記載。

**共同作業所(地域活動支援センター)みすみ草の管理運営(健康グループ)**

予算事業名：共同作業所管理費

当初予算額 8,761,000 円 最終予算額 7,661,000 円 決算額 7,502,543 円

身体・知的・精神に障害のある方の共同作業所「みすみ草」について、社会福祉法人夢工房福祉会を指定管理とし、指定管理者が持つ豊かな福祉ノウハウを取り入れた運営を通じ、社会生活への適応性を高めるための作業訓練や生活指導を行いました。

(1) 主な支出

- ・共同作業所指定管理委託料 640 万円
- ・自動計量・充填機購入補助 100 万円
- ・火災保険料 10 万円

(2) 活動指標

- ・通所者数 19人(平成20年3月末現在)
- ・所長 1人、補助職員 2人
- ・事業内容

障害者自立支援法により、共同作業所を地域活動支援センターに変更し、利用者が地域において自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう創作的活動、生産活動の機会提供及び社会との交流の促進を図るため機能訓練を行うとともに、施設利用者やその家族の皆さんからの相談等に応じています。

施設指定管理者において地域活動支援センター事業に加え、同施設を利用し自立支援給付事業(就労継続支援B型)を導入し、利用者の社会参加機会の拡大や昼間の居場所作りを積極的に実施しました。

**職員人件費**

予算事業名：一般職人件費

当初予算額 18,919,000 円 最終予算額 16,852,000 円 決算額 16,320,280 円

(1) 主な支出

- ・職員人件費 1,632 万円

2 予防費 41,577,569 決算事項別明細書 P44～

**お母さんと子どもの健康診査(健康グループ)**

予算事業名：母子保健事業費

当初予算額 3,459,000 円 最終予算額 3,089,000 円 決算額 2,725,113 円

妊娠中の母子から就学期前の幼児を対象に、疾病・障害等の早期発見、早期対応を図り健全育成を支援するため各種健康診査を行いました。

(1) 主な支出

- ・医師、歯科医師、看護師等賃金 118 万円
- ・妊婦、乳児健康診査委託料 142 万円
- ・母子手帳購入等 8 万円

(2) 活動指標

事業名	検診等名	実施回数	場所
健康診査	3・4カ月児健康診査	6	保健センター
	10・11カ月児健康診査	6	保健センター
	1歳6カ月児健康診査	5	保健センター
	3歳児健康診査	4	保健センター
	妊婦一般健康診査	随時	病医院
	乳児一般健康診査	随時	病医院

(3) 活動指標の推移

・健康診査の指導内容

生活リズム、ムラ食い、口腔衛生、おやつ指導、スキンケア、内科医療についての経過観察や要精検等に関すること。

検診等名	平成15年度		平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度	
	延受診者数(人)	受診率(%)	延受診者数(人)	受診率(%)	延受診者数(人)	受診率(%)	延受診者数(人)	受診率(%)	延受診者数(人)	受診率(%)
3・4カ月児健康診査	86	97.7	102	94.4	80	98.7	83	95.4	85	95.5
10・11カ月児健康診査	55	94.8	111	85.6	82	88.0	79	91.9	98	94.2
1歳6カ月児健康診査	68	87.2	84	96.6	101	88.5	76	90.5	87	91.6
3歳児健康診査	95	94.1	89	88.1	63	92.6	83	82.2	95	85.0
妊婦一般健康診査	155	-	155	-	173	-	162	-	169	-
乳児一般健康診査	40	-	51	-	61	-	52	-	43	-

(4) 成果指標

平成19年度健診結果として発育課程に何らかの異常が認められた数として

・1歳6ヶ月児 延20名 ・3歳児 延21名 が見つかри、経過観察或いは医療機関受診など適切な対応を図るよう指導がされました。

**お母さんと子どもの子育て教室・相談事業(健康グループ)**

予算事業名：母子保健事業費

当初予算額 577,000 円 最終予算額 577,000 円 決算額 319,871 円

出産や子育てを支援する各種教室や相談を行いました。

(1) 主な支出

- ・看護師、保健師、栄養士等賃金 19 万円
- ・相談事業講師謝礼 4 万円
- ・各種健康教室資料印刷製本 3 万円
- ・在宅保健師賃金(新生児訪問) 2 万円

(2) 活動指標

事業名	検診等名	実施回数	場所
健康教育	こっこ塾(6・7カ月児)	6	保健センター
	げんきっこ塾(2歳児)	4	保健センター
	たんぼぼくらぶ(両親学級)	9	保健センター
	すくすく(虫歯予防)教室	5	保健センター
	母子健康手帳交付	随時	役場窓口
	父親向け資料等配付	随時	役場窓口
	小児生活習慣病予防教室	2	小中学校
健康相談	すこやか(心理)相談	7	保健センター
	乳幼児健康相談	12	保健センター
	赤ちゃん訪問	随時	各家庭

(3) 活動指標の推移

- ・ほとんどの教室・相談事業において受診率が高く、子どもの健康管理や父親の子育ての参加について意識の向上を図ることができました。

教室等名	平成15年度		平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度	
	延受診者数(人)	受診率(%)	延受診者数(人)	受診率(%)	延受診者数(人)	受診率(%)	延受診者数(人)	受診率(%)	延受診者数(人)	受診率(%)
こっこ塾	67	87.0	67	87.0	74	81.5	88	90.7	85	95.5
げんきっこ塾	80	83.3	80	83.3	72	79.5	82	76.6	66	80.5
たんぼぼくらぶ	46	-	53	-	35	-	53	-	79	-
すくすく教室	60	76.0	70	80.5	101	76.0	76	90.5	87	91.6
母子健康手帳交付	105	-	79	-	91	-	85	-	82	-
父親向け資料等配付	105	-	79	-	91	-	85	-	82	-
すこやか相談	29	-	11	-	13	-	6	-	10	-
乳幼児健康相談	129	-	161	-	143	-	151	-	191	-
赤ちゃん訪問	79	-	69	-	52	-	42	-	43	-
小児生活習慣病予防	280	-	340	-	316	-	323	-	321	-

### 不妊治療費に対する補助(健康グループ)

予算事業名：母子保健事業費

当初予算額 300,000 円 最終予算額 300,000 円 決算額 170,455 円

不妊治療を受けている夫婦の治療費の一部を助成しました。

(1) 主な支出

- ・不妊治療費補助金 17 万円

(2) 活動指標

- ・不妊治療を行っている夫婦に対する助成 3 件

(3) 活動指標の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
補助件数	4件	7件	3件	4件	3件
補助額	34万円	53万円	16万円	27万円	17万円
出産確認	0件	4件	1件	1件	0件

平成19年度における出産はありませんでしたが、2件が妊娠成立に結びついています。

### 健康づくりの啓発・訪問相談事業、リレー講座の開講(健康グループ)

予算事業名：成人保健事業費

当初予算額 178,000 円 最終予算額 178,000 円 決算額 44,444 円

町民の皆さんの健康増進のため、各分野の専門家を招き健康教室リレー講座を開催しました。また、健康診査の結果に基づき家庭訪問などによる個別相談など、きめ細かな支援を行いました。

(1) 主な支出

- ・健康リレー講座講師謝金 4 万円

(2) 活動指標

- ・健康教室の実施

教室等名	実施回数	場 所	参加者数	内容など
MAma カレッジ	6回	エンゼルランドセンター	延べ82人	健診結果についての学習、リラクゼーションと運動、調理実習等
血液サラサラ教室卒業生のつどい	12回	保健センター他	93人	ウォーキング、ダンベル体操、ストレッチ、水中運動、調理実習等
ヘルシー教室OB会	11回	保健センター他	48人	ウォーキング、ダンベル体操、水中運動、調理実習等

地域学習会	各1回	各公会堂他	233人	婦人会（山王島・羽場・福原）、おぶせセミナー、健診結果学習会、耕人舎の会、高齢者学級ほか
健康リレー講座	2回	公民館 健康福祉センター	延べ 43人	メタボリックシンドロームについての講演、運動実技ほか

・健康相談、家庭訪問の実施

定期健康相談	各 12回	保健センター	43人	血圧測定、体脂肪測定、療養生活相談、健康づくり相談
乳幼児健康相談			191人	育児相談等
随時健康相談	随時	庁舎他	1,356人	電話相談、その他
家庭訪問	随時	各家庭	114人	母子・成人・精神保健等

※平成18年度から定期健康相談と乳幼児健康相談を分離

(3) 活動指標の推移

・定期健康相談者、乳幼児健康相談数の推移 (単位：人)

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
定期健康相談	144	184	142	10	43
乳幼児健康相談	-	-	-	206	191

**サンサン食教室（健康グループ）**

予算事業名：成人保健事業費

当初予算額 71,000 円 最終予算額 71,000 円 決算額 37,320 円

メタボリックシンドロームの恐れのある人に対し、「3食」きちんと食べて体重「3kg」、ウエスト「3cm」減らすことを目標に、希望者を募り実践いただきました。

実践に当たっては、個人の生活習慣に合わせ、カロリーバランスを考えた食事の指導や、ウォーキング指導などを行いました。

(1) 主な支出

- ・健康教室講師謝金 3万円
- ・食材費 0.4万円

(2) 活動指標

教室参加者数 5名

実施内容：6ヵ月間の期間を設定し、期間中における個人の生活に合わせた食事プログラム、運動指導、医師講話などを実施。また、その成果を確認するため、教室初回時と終了時に腹部CT、頸部エコー、血液検査を実施し、数値的、視覚的な効果を確認しました。

(4) 成果指標

サンサン食運動の理念を全町的に広める手段として教室を開催し、メタボリックシンドローム解消に向け、三食きちんと食べること、日常生活の活動量を増加させることの効果を確認できました。

**成人の各種健康診査（健康グループ）**

予算事業名：成人保健事業費

当初予算額 23,529,000 円 最終予算額 23,529,000 円 決算額 20,773,501 円

町民の皆さんの健康の維持、病気の早期発見・治療のため各種健康診査を実施しました。

(1) 主な支出

- ・看護師、保健師賃金 6万円
- ・各種検診委託料 1,719万円



・データ管理用ファイル他	26万円	・人間ドック補助金(43人)	79万円
・検診、問診表等印刷代	28万円	・総合健康診査補助金(28人)	45万円
・電算委託料	91万円		

(2) 活動指標

- ・結核予防

	種別	実施日数	説明
胸部レントゲン	間接撮影	15日間	はつらつ健診と同時実施(15会場)
	直接撮影	1日間	保健センター

- ・基本健康診査

種 類	実施期間	委託先
町民健診	平成19年6月1日～10月31日	須高医師会(29医療機関)
J Aヘルス	平成19年11月6日、9日	北信総合病院

- ・人間ドック

種 類	対 象	補助金単価 (万円)
半日・1日ドック	一 般	1.5
	節目(一般)	3.0
1泊2日ドック	一 般	2.5
	節目(一般)	4.0

※ 節目は40歳・50歳

- ・骨健診

委託先/長野県健康づくり事業団 実施日数/2日間(6月実施)

- ・がん検診

(単位:人)

種 類	項 目	平成19年度	実施日数	委託先等
胃 検 診	受診者数	614	10日間	委託先 長野県健康 づくり事業団  会 場 保健センター
	がん発見数	0		
大腸がん検診	受診者数	817	10日間	
	がん発見数	0		
乳房検診	受診者数	286	4日間	
	がん発見数	0		
子宮がん検診 (集 団)	受診者数	195	4日間	
	がん発見数	0		
肺がん検診	受診者数	507	9日間	新生病院
	がん発見数	2		
乳房検診 (マンモグラ フィ)	受診者数	211	6日間	
	がん発見数	0		
子宮がん検診 (施 設)	受診者数	139	2カ月間	須高医師会
	がん発見数	0		
J Aがん セット検診	胃	93	2日間	北信総合病院
	大 腸	119		
	肺	108		
	乳 房	48		
	子 宮	41		

・前立腺がん  
町民健診、JAヘルス、はつらつ健診にて実施

・肝炎検査  
町民健診、JAヘルス、はつらつ健診で過去に調べたことのない人で希望者に対し実施

(3) 活動指標の推移

【各検診等受診推移】

・結核予防 (単位：人)

種別	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
間接撮影	2,945	3,070	1,261	1,105	827
直接撮影	303	355	198	184	140

・基本健診 (単位：人)

項 目		平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
町民健診	希望者数	2,468	2,428	2,541	1,518	1,434
	受診者数	1,449	1,713	1,757	690	701
	受診率 (%)	58.7	70.6	69.1	45.5	48.9
	異常あり	1,188	1,395	1,408	135	290
JAヘルス	希望者数	228	244	273	142	148
	受診者数	175	159	185	120	123
	受診率 (%)	76.8	65.2	67.8	84.5	83.1
	異常あり	156	142	117	71	33
総合健診	希望者数	104	90	72	53	/
	受診者数	44	52	42	28	
	受診率 (%)	42.3	57.8	58.3	52.8	
	異常あり	43	52	41	-	

※ 異常あり者の数は延べ人数

・人間ドック (単位：人)

種類	対 象	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
半・1日	一 般	26	31	33	30	42
	節 目 (一般)	1	3	5	2	9
1泊2日	一 般	16	10	10	11	12
	節 目 (一般)	0	0	0	0	0

・骨健診 (単位：人)

種別	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
受診者数	228	220	231	203	281
要フォロー	62	58	53	45	13

・ガン検診 (単位：人)

種類	項 目	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
----	-----	--------	--------	--------	--------	--------

胃	受診者数	913	887	622	586	614	
	がん発見数	0	0	0	1	0	
大腸	受診者数	1,021	1,011	771	780	817	
	がん発見数	1	1	1	1	0	
肺	受診者数	586	564	436	530	507	
	がん発見数	1	0	0	0	2	
乳房	視触	受診者数	612	477	302	339	286
	マンモ	がん発見数	0	1	1	0	0
子宮(集団)	集団	受診者数	408	388	210	183	195
	施設	がん発見数	0	0	0	0	0
セツJ ットA がん 検診	胃	108	98	100	86	93	
	大腸	104	103	111	107	119	
	肺	87	84	95	91	108	
	乳房	40	35	44	29	48	
	子宮	47	37	42	124	41	

・前立腺がん (単位：人)

種別	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
受診者数	—	—	260	268	220

・肝炎検査 (単位：人)

種別	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
受診者数	66	46	91	66	314

### はつらつ健康診査(健康グループ)

予算事業名：成人保健事業費

当初予算額 11,793,000 円 最終予算額 11,793,000 円 決算額 8,780,610 円

老人保健法に基づき実施していた基本健診のうち、65歳以上の人には介護予防事業へつなげるための生活機能チェック項目が追加されたため、受診者の利用の便を考慮して、地域の公会堂やコミュニティセンターを会場にはつらつ健診を実施しました。

(1) 主な支出

・健診委託料 864 万円

(2) 活動指標

・受診者数 (単位：人)

期日	会場	人数	期日	会場	人数	期日	会場	人数
7月10日	北岡公会堂	64	8月21日	六川公会堂	67	10月15日	保健センター	75
7月13日	押羽公会堂	74	9月18日	東部コミュニティ	71	10月16日	保健センター	76
8月6日	大島公会堂	75	10月9日	松村公会堂	52	10月19日	上町公会堂	73
8月7日	山王島公会堂	59	10月10日	矢島公民館	59	10月22日	上松川コミュニティ	58
8月17日	林公会堂	63	10月12日	福原コミュニティ	43	10月24日	健康福祉センター	58
							合計	15会場 968人

・結果報告会参加者数 803人 (参加率83.0%)

(3) 活動指標の推移

	平成18年度	平成19年度
受診者数	1,127人	968人

(4) 成果指標

- ・生活機能評価による特定高齢者の把握者数 124人  
 ※特定高齢者：介護予防による転倒予防教室、訪問指導等の対象者

**子どもと高齢者の予防接種(健康グループ)**

予算事業名：予防接種事業費

当初予算額 7,811,000 円 最終予算額 8,181,000 円 決算額 7,928,962 円

子どもや高齢者の疾病や感染症予防のため、予防接種を行いました。

(1) 主な支出

- ・医師、看護師賃金 49 万円
- ・ワクチン代等 19 万円
- ・説明書等印刷代他 10 万円
- ・予防接種業務委託料 708 万円

(2) 活動指標

種 別	接種の種類	回 数	会 場
ポ リ オ	集 団	4	保健センター
三種混合	個 別	通年	医療機関委託
二種混合	集 団	2	小 学 校
麻しん風しん混合(乳幼児)	個 別	通年	医療機関委託
日本脳炎(幼児)	個 別	-	医療機関委託
日本脳炎(小学生)	集 団	-	小 学 校
B C G接種	集 団	6	保健センター
インフルエンザ	個 別	通年	医療機関委託

(3) 活動指標の推移

(単位：人)

種 別	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
ポリオ	157	196	191	172	214
三混	358	334	373	373	331
二混	116	100	98	123	120
麻しん	116	111	111	164 (混合)	204 (混合)
風しん	65	90	165		
日本 脳炎	幼児	304	308	43	—
	小学生	92	125	中止	中止
	中学生	119	130	113	廃止
B C G接種 (乳児)	79	147	82	84	86

インフルエンザ	60～64歳	1	0	2	2	-
	65歳以上	1,157	1,329	1,464	1,493	1,658

学生を主とした年代層における麻しんが全国的に流行した中で、町内では特に大きな流行はみられませんでした。

また、高齢者のインフルエンザ予防を進めることにより、町内での大きな流行はみられませんでした。

### 食生活改善事業(健康グループ)

予算事業名：食育推進事業費

当初予算額 483,000 円 最終予算額 483,000 円 決算額 442,050 円

乳幼児から高齢者まで、より良い食生活を送るための支援を行うため、栄養価計算ソフト及びパソコンを購入し、献立の栄養価計算を元に個別の栄養計算、保育園の給食管理等に役立てています。

#### (1) 主な支出

- ・栄養価計算ソフト 27 万円
- ・パソコン 13 万円
- ・システム保守 3 万円

#### (2) 活動指標

- ・食生活改善事業での実習献立等の栄養価計算 30回
- ・保育園給食の栄養価計算 通年

ソフト導入により、献立の栄養価評価がより詳細に行うことができるようになったため、病態など個人に合わせた対応も可能になりました。また、作業の迅速化が図れたことで、関係者が実践に取り組む時間の確保が図られました。

### チャレンジ・クッキング(健康グループ)

予算事業名：食育推進事業費

当初予算額 410,000 円 最終予算額 410,000 円 決算額 292,219 円

調理体験や味覚体験を通じて、子どもたちの食に関する感受性(五味・五感)を育むとともに、体と食を結びつけて考えることで、健康な身体づくりのための食の必要性を学ぶ場としてチャレンジ・クッキングを開催しました。

#### (1) 主な支出

- ・栄養士賃金 18 万円
- ・調理用食材 5 万円
- ・子ども用調理器具 6 万円

#### (2) 活動指標

- ・実施状況

回	開催日	学習内容・実施献立	参加者数
1	7月28日(土) 9:30～13:00	テーマ：おにぎりを作ろう 献立：おにぎり、豆腐とわかめの味噌汁、スティック野菜	子ども13人(3) 親10人
2	8月11日(土) 9:30～13:00	テーマ：鶏の照り焼きを作ろう 献立：鶏の照り焼き、かきたま汁	子ども15人(1) 親11人
3	9月8日(土) 9:30～13:00	テーマ：サンマのかぼやきを作ろう 献立：サンマの蒲焼、ほうれん草のゴマ和え、トン汁	子ども15人(2) 親11人
4	10月27日(土) 9:30～13:00	テーマ：ハンバーグを作ろう 献立：ハンバーグ、ポテトサラダ 白菜とハムのスープ	子ども13人(0) 親10人

5	11月17日(土) 9:30~13:00	テーマ: 子供達の希望メニューから 献立: チキンカレー 大根とツナのサラダ	子ども16人(0) 親10人
---	-------------------------	--	-------------------

※参加者数の( )は、子どものうち幼児の再掲

(3) 活動指標の推移

参加児童数	平成18年度	平成19年度
	延べ48人(5回)	延べ72人(5回)

5回にわたり、基礎編として調理体験を中心に行いました。継続した実施により調理技術の習得が図られ、家庭でも進んで手伝いや調理を行う児童が増えるなど、子どもたちの意識変化が伺えました。

**食生活改善推進協議会の活動支援(健康グループ)**

予算事業名: 食育推進事業費

当初予算額 95,000 円 最終予算額 95,000 円 決算額 63,024 円

食による健康づくりを目指し、調理実習や講習会など学習活動を行い、自らの食生活の見直しを行うとともに、学習の成果を地域に広めるための活動を行っている食生活改善推進協議会に対し支援を行いました。

(1) 主な支出

・推進協議会活動補助金 2万円 ・調理実習材料費 4万円

(2) 活動指標

・講習会 (会場はいずれも保健センター)

とき	内 容	参加者
7月11日	学習会 野菜ジュースは野菜の替わりになれる!?	11人
	実 習 夏野菜を使った料理	
8月10日	学習会 ジュースのあれこれ比べ どっちを選ぶ?	9人
	実 習 いつもの夏野菜にひと工夫	
11月21日	学習会 牛乳の替わりになる飲み物は	8人
	実 習 乳製品を使った料理	
12月5日	学習会 医療制度改革について	14人
	実 習 お正月料理	
2月21日	学習会 体をほぐしてリフレッシュ	14人
	実 習 やしろうま作り	

・出前講座

とき	ところ	内 容	参加者
8月14日	健康福祉センター	丸なすのおやきづくり	大人14人 小学生12人
12月21日	保健センター	学習会「野菜ジュースは野菜の替わりになれる!」 実習「お正月料理」	女性団体連絡協議会 38名
1月23日	保健センター	学習会「ごはんとおやき、間食の関係は」 実習「お正月料理」	大島すずらん会 8名

・視察研修

とき	ところ	内 容	参加者
3月25日	飯山陸送 ハサマ処分場	プラ製容器包装中間処理施設見学	18名

・町及び関係団体事業等への参加

期日	事業名	内容	参加者
通年	エンゼルランドセンター事業	エンゼル遊びの広場	延べ30名
10月14日	千年樹の里まつり	模擬店出展	延べ19名
12月8日	須高地区歯の健康を守る住民の集い	栄養学習コーナー担当	3名
3月8日	親子わんぱく教室	やしょうまづくり	9名

自主活動に加え、各種団体やグループ活動などへ積極的に参加いただき、食による健康づくりの理念の普及に努められました。

<b>3</b>	<b>保健師設置費</b>	<b>16,017,934</b>	<b>決算事項別明細書</b>	<b>P45～</b>
<b>職員人件費</b> 予算事業名：一般職人件費				
当初予算額		24,620,000 円	最終予算額	16,299,000 円
			決算額	16,017,934 円
(1) 主な支出				
		・職員人件費	1,602 万円	

<b>2</b>	<b>環境保全費</b>	<b>130,785,448</b>	<b>決算事項別明細書</b>	<b>P45～</b>
<b>1</b>	<b>環境保全総務費</b>	<b>6,502,070</b>	<b>決算事項別明細書</b>	<b>P45～</b>
<b>犬猫の管理(生活環境グループ)</b> 予算事業名：環境保全総務費				
当初予算額		321,000 円	最終予算額	321,000 円
			決算額	220,738 円
狂犬病を予防し、犬の飼育マナーの啓発に努め、公衆衛生の向上を図りました。				
(1) 主な支出				
		・狂犬病予防注射・原簿管理業務委託料等	16 万円	
		・犬、猫繁殖制限手術補助金	6 万円	
		不妊 犬 4 頭、猫 4 匹、計 8 頭		
		去勢 犬 4 頭、猫 2 匹、計 6 頭		
(2) 活動指標				
		・集合注射、登録	3回実施 (4月24日、5月12日、6月24日)	
		・注射頭数(集合実施)	640 頭	
(3) 活動指標の推移				
		・犬・猫の繁殖制限手術実施頭数の推移	(単位：頭)	
平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
24	16	30	17	14

<b>公衆トイレの管理(生活環境グループ)</b> 予算事業名：環境保全総務費				
当初予算額		1,020,000 円	最終予算額	1,020,000 円
			決算額	847,599 円
駅を利用する町民の皆さんや、町を訪れた人が気持ちよく使用できるよう、トイレの清掃・管理を行いました。				
(1) 主な支出				
		・公衆トイレ(駅前、皇大神社)清掃委託料	52 万円	
		・公衆トイレ光熱水費、修繕費等	32 万円	
(2) 活動指標				
		・駅前公衆トイレの清掃	毎日(勤務時間1時間)	
		・皇大神社公衆トイレの清掃	週2回(勤務時間1時間)	
私の意見箱からの要望を受け、女性用トイレに荷物置き棚とフックを設置しました。				

**生活灯の設置(生活環境グループ)** 予算事業名：生活灯管理費

当初予算額 442,000 円 最終予算額 773,000 円 決算額 771,185 円

住環境の向上を図るため、自治会等からの要望により通学路、生活道路を優先に生活灯の設置・修繕を行いました。

(1) 主な支出

- ・生活灯新設、修繕工事 73 万円
- ・町管理生活灯電気料 4 万円

(2) 活動指標

- ・新設5基、灯具替11基、修繕7基 合計 23基

(3) 活動指標の推移

- ・新設、修繕工事総数の推移 (単位：基)

平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
30	22	23	20	23

**衛生組合連合会活動(生活環境グループ)** 予算事業名：環境美化推進事業費

当初予算額 384,000 円 最終予算額 384,000 円 決算額 371,455 円

地域での衛生活動の推進リーダーとして、指導助言にあたっていただきました。

(1) 主な支出

- ・衛生組合活動交付金 34 万円
- 内 訳 均 等 割 (@1,900円×28自治会) 5 万円
- 戸 数 割 (@85円×3,427世帯) 29 万円
- ・その他の経費 3 万円

(2) 活動指標

- ・衛生組合長会議 3回開催 (平成18年2月8日、平成19年4月16日、平成19年12月2日)
- ・収集所の立会い、分別に関する指導、視察研修会等の実施

収集ステーションの維持管理、各自治会の資源分別の徹底が図られました。

**環境美化活動・環境基本計画の策定(生活環境グループ)** 予算事業名：環境美化推進事業費

当初予算額 655,000 円 最終予算額 655,000 円 決算額 295,113 円

自分たちの住む地域を自らきれいにするため「環境美化運動・よろずぶしんの日」として春と秋の年2回町民総参加により実施しました。また、「小布施町役場地球温暖化防止実行計画」を平成20年3月に策定しました。

(1) 主な支出

- ・ごみ袋の購入、アメシロ防除経費など 23 万円

(2) 活動指標

- ・環境美化運動の日(5月27日 参加者数2,411人、10月21日 参加者数2,293人)
  - 5月27日 空缶2,200個、ビン169本、埋立3,750kg、可燃ごみ1,280kg
  - 10月21日 空缶1,890個、ビン111本、埋立2,505kg、可燃ごみ855kg
- ・「小布施町役場地球温暖化防止実行計画」平成20年3月に策定

(3) 活動指標の推移

- ・環境美化運動、よろずぶしんの日 ごみ等の回収状況の推移

平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度



空き缶 (個)	4,475	2,818	3,850	3,100	4,090
ビン (本)	615	247	118	251	280
埋め立て (kg)	2,540	1,740	7,620	7,065	6,255
可燃ごみ (kg)	1,450	1,755	2,135	2,860	2,135
参加者数 (人)	1,919	3,753	4,537	4,863	4,704

- ・平成14年度から、年2回 (春・秋) の環境美化運動を実施
- ・平成16年度から新たに「よろずぶしんの日」として実施  
(庭や畑から道路に張り出した植木の枝切り、側溝、カーブミラーの掃除等も合わせて実施)

#### 不法投棄の防止(生活環境グループ)

予算事業名：環境美化推進事業費

当初予算額 587,000 円 最終予算額 587,000 円 決算額 522,980 円

不法投棄防止指導員が区域内を定期的に清掃、パトロールを実施し、不法投棄を未然に防ぐとともに、町報・同報無線によりマナーの向上を呼びかけました。

##### (1) 主な支出

- ・不法投棄防止指導員報酬 43 万円
- ・不法投棄廃棄物処理委託料 4 万円
- ・その他経費 5 万円

##### (2) 活動指標

- ・粗大ごみの回収 2回実施 (5月28日～6月3日、10月22日～28日)
- ・有害ごみの回収 2回実施 (5月27日役場駐車場、10月21日旧丸林倉庫)
- ・毎月第4日曜日に地区内巡回パトロール 12回実施
- ・不法投棄物の回収 不法投棄防止指導員の協力により随時
- ・放置車輛撤去のため、廃棄物の不法投棄の防止に関する条例の一部改正 (H19 10月施行)

##### (3) 成果指標

- ・不法投棄の発見・通報件数 (単位：件)

平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
200	195	152	97	29

- ・放置車輛の撤去件数 (単位：件)

勧告、警告	自主撤去	町撤去
19	16	3

#### 火葬場の管理運営(須高行政事務組合)(生活環境グループ)

予算事業名：火葬場管理費

当初予算額 3,667,000 円 最終予算額 3,473,000 円 決算額 3,473,000 円

火葬場「松川苑」の管理運営を、小布施町・須坂市・高山村で構成する須高行政事務組合で行いました。

##### (1) 主な支出

- ・須高行政事務組合負担金 (運営負担金) 347 万円

##### (2) 活動指標

- ・施設名 須高行政事務組合「松川苑」(平成18年3月改築工事完了)
- ・火葬数 小布施町分 120 体 (うち管轄外6体)

##### (3) 活動指標の推移

- ・火葬数の推移 (単位：体)

平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
107	103	125	106	120

2	公害対策費	69,500	決算事項別明細書	P45～
公害対策・河川の水質検査(生活環境グループ)			予算事業名：公害対策費	
当初予算額	98,000円	最終予算額	98,000円	決算額
				69,500円

豊かな自然を守り、公害のない町を目指して、公害の発生源となる施設や設備に対する指導・啓発を強化し、未然防止に努めました。

(1) 主な支出

- ・河川水質検査 6万円
- ・公害関係法令加徐 1万円

(2) 活動指標

- ・河川水質検査口 町内水路10カ所、年2回検査(8月、12月)実施
- ・公害等苦情処理

原因者が判明している場合は、直接改善指導、催告を実施し、原因者が特定できない場合は発生源等を現場確認し、状況について町報、同報無線や地区の衛生組合を通じ隣組回覧などで町民の皆さんへの周知を図るとともに、モラルに対する意識啓発に努めました。

主な内訳：大気汚染(野焼き)8件、生活環境(害鳥獣虫、消毒噴霧等)10件、飼犬のフン害・放し飼い5件、悪臭1件、騒音2件

・河川の水質検査の結果

測定地点	採取年月日	PH	BOD (mg/L)	SS (mg/L)	大腸菌群数 (MPN/100m <sup>l</sup> )	全りん (mg/L)
県営住宅前	8月21日	3.7	3.5	17.0	2,400	0.019
	12月12日	3.9	12.0	2.0	49	0.010
砂川 (矢島)	8月21日	3.9	0.9	2.0	13,000	0.009
	12月12日	4.0	1.2	3.0	17,000	0.010
深沢川 (押羽)	8月21日	3.8	0.9	13.0	330	0.029
	12月12日	3.9	1.2	2.0	4,600	0.015
山王島	8月21日	3.9	0.5	9.0	14,000	0.011
	12月12日	3.9	0.9	3.0	3,300	0.030
大島 公会堂	8月21日	3.8	0.5	15.0		
	12月12日	4.0	3.2	4.0		
大元神社	8月21日	3.8	2.1	8.0		
	12月12日	3.9	1.9	3.0		
わかば 保育園	8月21日	3.8	0.7	12.0		
	12月12日	4.0	1.7	2.0		
都住駅 西	8月21日	3.8	0.8	5.0		
	12月12日	4.0	1.6	4.0		
栗林前	8月21日	3.8	0.6	13.0		
	12月12日	3.9	1.6	3.0		
雁田 公会堂	8月21日	3.8	1.3	9.0		
	12月12日	7.5	1.7	2.0		
上記10カ所の平均値		4.1	1.9	6.6	6,835	0.017

(3) 活動指標の推移

検査した10カ所の平均値は、下水道などの普及から10年前よりBOD、SS値とも改善しています。

調査項目	環境基準に定める 標準値	平成9年検査時の 10カ所の平均値	平成19年検査時の 10カ所の平均値
p h 値	6.5～8.5	4.2	4.1
B O D	1mg/l～10mg/l	3.8	2.0

SS	25mg/l~100mg/l	7.3	6.9
----	----------------	-----	-----

p h 値：水素イオン濃度値。酸性 < p h 値7.0 < アルカリ性 となります。

B O D：生物化学的酸素要求量。河川などの有機物による汚濁の程度を表します。

S S：浮遊物質量。粒径2mm以下の水に溶けない懸濁性の物質の量を表します。

3	清掃費	124,213,878	決算事項別明細書	P45~
---	-----	-------------	----------	------

**ごみ減量化の推進（生活環境グループ）** 予算事業名：ごみ減量化推進事業費

当初予算額	987,000 円	最終予算額	987,000 円	決算額	434,237 円
-------	-----------	-------	-----------	-----	-----------

ごみ減量化推進事業実施計画により、地域説明会を通じて具体的なプラスチック製容器包装の分別とリサイクルに対する意識啓発に努めました。

(1) 主な支出

- ・ごみ減量化推進事業補助金等 21 万円
- ・分別収集カレンダー、警告シール 8 万円
- ・剪定枝処理専用車借上料 14 万円

(2) 活動指標

- ・電動生ごみ処理機設置補助金 11 台 18 万円
- ・資源回収補助金（中学校） 1 件 3 万円
- ・プラ等分別説明会の開催 総参加人員 827人 14団体（自治会、コミュニティ等14カ所）  
平成19年4月から12月まで公会堂等でサンプルを示し説明会実施
- ・剪定枝の回収 3回実施（9月1~7日、11月3~9日、12月1~7日町営グラウンド  
北側駐車場）  
回収実績18t

(3) 成果指標

- ・ごみ減量化推進事業実施計画（アクションG30）の結果  
可燃ごみ排出量：2,180t 16.7%削減（平成16年度対平成19年度比）  
資源物 収集量：781t 37.9%増（平成16年度対平成19年度比）

**ごみの収集（生活環境グループ）** 予算事業名：ごみ収集費

当初予算額	11,158,000 円	最終予算額	11,659,000 円	決算額	11,554,741 円
-------	--------------	-------	--------------	-----	--------------

廃棄物処理計画に基づき快適な生活環境を守るため、ごみの収集を行いました。収集は、分別区分に従い、可燃ごみ・埋立ごみとかん金属・びん・ペットボトル・白色発泡トレイ・古紙類などの別に収集しました。

(1) 主な支出

- ・ごみの収集委託 1,004 万円
- ・白色トレイ収集運搬委託料 13 万円
- ・白色トレイ回収車借上料 3 万円
- ・古紙類収集運搬委託料 135 万円

(2) 活動指標

- ・可燃ごみ 毎週火・金曜日（東地区）、水・土曜日（西地区）
- ・埋立ごみ 隔月最終水曜日（東西地区を1月おきに収集）
- ・かん金属 隔週木曜日（東西地区を1週おきに収集）
- ・プラ製容器包装 毎週月曜日（東西両地区）
- ・白色トレイの回収 12回実施（毎月第3金曜日 各自治会指定場所で集合回収）
- ・古紙類の回収 5回実施（上記のほか、有害の回収とあわせ5回、日曜回収を実施）

(3) 成果指標

・ごみ収集量の年度別推移

(単位：t)

(単位：%)

項目	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
可燃	2,678	2,616	2,528	2,340	2,180
埋立	53	51	56	53	42
資源物	584	566	572	703	781
合計	3,315	3,233	3,156	3,096	3,003

アクションG30	
成果値	達成率
△ 16.7	55.6
—	—
37.9	126.4

平成19年度、町から出る可燃ごみの量を平成16年度に対し30%減らし、資源物を30%増やすという目標を立てて取り組んだ「アクションG30（ごみ減量化推進計画）」の成果は、可燃ごみ16.7%の減、達成率55.6%、資源ごみ37.9%の増、達成率126.4%となりました。可燃ごみについては目標を達成できず課題を残しましたが、町のごみ全体の総量の減少にも成果が表れました。

**ごみの処理(北信保健衛生施設組合・プラ製容器包装処理)(生活環境グループ) 予算事業名：ごみ処理費**

当初予算額 96,466,000 円 最終予算額 94,524,000 円 決算額 94,004,900 円

ごみ処理(可燃、埋立、資源物(缶・金属、PET、ガラスビン、白色トレイ))は、小布施町・中野市・山ノ内町・飯綱町・長野市豊野町で構成する北信保健衛生施設組合(東山クリーンセンター、不燃物処理センター)で行い、プラスチック製容器包装については、民間の専門業者へ選別・リサイクル処理を委託しました。

(1) 主な支出

- ・北信保健衛生施設組合負担金 8,935 万円
- ・プラスチック製容器包装処理委託料 465 万円

(2) 活動指標

- ・北信保健衛生施設組合
  - 焼却処理稼働日数 344 日 (東山クリーンセンター)
  - 圧縮・破砕処理稼働日数 236 日 (不燃物処理センター)
- ・プラスチック製容器包装リサイクル処理 93 t

**し尿の処理(須高行政事務組合)(生活環境グループ)**

予算事業名：し尿処理費

当初予算額 19,360,000 円 最終予算額 18,220,000 円 決算額 18,220,000 円

し尿処理は、小布施町・須坂市・高山村で構成する須高行政事務組合(須高衛生センター)で行いました。

(1) 主な支出

- ・須高行政事務組合負担金(し尿処理費負担金) 1,587 万円
- ・須高行政事務組合負担金(議会総務費負担金) 235 万円

(2) 活動指標

須高行政事務組合須高衛生センター(小布施町処理分)

稼働日数	366 日	し尿収集量	851 kl	
焼却処理日数	100 日	浄化槽汚泥収集量	95 kl	総収集量 946 kl

(3) 活動指標の推移

- ・し尿処理量の推移 (単位：kl)

平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
1,594	1,352	1,097	971	851

款	項	目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績			
5			農林水産業費	202,556,556				
	1		農業費	196,473,609				
		1	農業委員会費	13,358,879				決算事項別明細書
<b>農業委員会の運営(産業振興グループ)</b>					予算事業名：農業委員会運営費			
当初予算額				4,523,000円	最終予算額	4,523,000円	決算額	4,422,323円
農地の適正利用や転用許可の審議等の農地法に基づく活動、農地の遊休荒廃化の防止や作物の適地適作の推進など、農業振興の推進及び町農業施策のあるべき方向について研究を行いました。								
(1) 主な支出								
・農業委員報酬				385万円				
・須高地区農業委員会協議会負担金				11万円				
・臨時職員賃金				40万円				
(2) 活動指標								
・農業委員 15人（公選12人、選任3人） 任期：平成18年5月13日～平成21年5月12日								
・定例総会の開催（毎月1回）								
・遊休荒廃農地対策								
町内一斉調査の実施 10月								
確認面積 約13.7ha								
遊休荒廃農地に係る農家意向調査（平成19年8月）								
・農協理事との懇談会（平成19年5月28日）								
・町議会総務産業委員との懇談会（平成20年3月26日）								
・委員研修事業								
須高地区農業委員会協議会研修会（平成20年2月27日）								
「りんごとぶどうの世界の動きと須高地区の産業振興について」								
・農地法等所管事務件数								
		案 件 名		件 数	面 積 (㎡)			
					田	畑	計	
		農地法第3条第1項（所有権移転）		25	6,970	9,660	16,630	
		（賃借権設定）		3	3,180	846	4,026	
		（使用貸借権設定）		2		3,711	3,711	
		農地法第4条第1項		1		381	381	
		農地法第5条第1項（所有権移転）		3		1,407	1,407	
		（賃借権設定）		2	522	100	622	
		（使用貸借権設定）		2		503	503	
		農地法第20条第6項（合意解約）		10	4,312	2,128	6,440	
		農地法第4条第1項第5号		8		2,757	2,757	
		農地法第5条第1項第3号		14		5,243	5,243	
(参考：振興地域整備促進事業)								
許可年月日		農振農用地編入		農振農用地除外		用途区分の変更		
平成19年7月5日		1件 417㎡						
平成19年7月6日				1件 381㎡		1件 199㎡		
平成19年12月17日				1件 183㎡				
農地調整事務処理事業								
・農用地利用集積計画（利用権設定）				23件	31,477㎡			
・農地保有合理化事業				3件	2,925㎡			

- ・特定法人貸付事業 22件 16,406㎡
- ・各種証明書の発行 31件

(3) 活動指標の推移

- ・農地法等所管事務

案 件 名	面 積(㎡)				
	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
農地法第3条第1項 (所有権移転)	20,726	21,986	14,782	33,178	16,630
(賃借権設定)	17,341	4,150	37,569	6,509	4,026
(使用貸借権設定)	35,939	38,490	1,388	9,806	3,711
農地法第4条第1項	531	570		1,204	381
農地法第5条第1項 (所有権移転)	753	2,314	5,601	5,527	1,407
(賃借権設定)	974	641	2,963	1,323	622
(使用貸借権設定)	1,370	1,408		1,047	503
農地法第20条第6項 (合意解約)	14,939	27,824	30,245	5,313	6,440
農地法第4条第1項第5号	2,452	908	352	74	2,757
農地法第5条第1項第3号	4,523	5,917	4,114	3,239	5,243

**農地情報の一元管理(産業振興グループ)**

予算事業名：農業委員会運営費

当初予算額 326,000円 最終予算額 326,000円 決算額 157,500円

農業経営の基盤となる農地の利活用について、営農意向データと地図情報を重ねて農地情報の一元化を図りました。

(1) 主な支出

- ・農用地GISシステム保守料 15万円

(2) 活動指標

- ・農地情報、地図情報の管理  
農用地GISシステムにより、農地や農家の経営状況などを把握することができ、農地の流動化につなげています。  
また、農地法許可書の発行や耕作証明などの窓口業務に活用しています。

**職員人件費**

予算事業名：一般職人件費

当初予算額 8,883,000円 最終予算額 8,792,000円 決算額 8,779,056円

(1) 主な支出

- 職員人件費 878万円

**2 農業総務費 28,903,256**

決算事項別明細書 P46～

**家庭菜園の充実(産業振興グループ)**

予算事業名：農業総務費

当初予算額 390,000円 最終予算額 390,000円 決算額 374,342円

遊休荒廃農地を家庭菜園として貸し出しを行いました。

(1) 主な支出

- ・土地借上料 15万円

(2) 活動指標

- ・家庭菜園の貸し出し 73区画×100㎡=7,300㎡  
六川沖東27区画、中条沖19区画、雁田沖20区画、北部7区画

(3) 活動指標の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
区画数	66 区画	66 区画	66 区画	66 区画	73 区画
利用者数	39 人	41 人	42 人	39 人	43 人

**農作物の有害鳥獣駆除(産業振興グループ)**

予算事業名：農業総務費

当初予算額 200,000 円 最終予算額 200,000 円 決算額 198,180 円

農作物に被害を与える野ねずみの駆除をする農家実行組合に補助を行いました。

(1) 主な支出

- ・農家実行組合活動交付金 19 万円

(2) 活動指標

- ・農家実行組合による野そ駆除
  - 平成19年11月25日 ヤソジオン 385.5kg
  - 平成20年3月16日 ヤソジオン 337kg

**有害鳥獣対策緩衝帯の整備(産業振興グループ)**

予算事業名：農業総務費

当初予算額 0 円 最終予算額 0 円 決算額 0 円

農作物に被害を与えるサルやイノシシの出没を抑えるため、雁田山麓で緩衝帯の整備を行いました。

(1) 主な支出 なし

(2) 活動指標

- ・下枝、草刈等による里山整備 9月22日(土)実施
  - 実施箇所：雁田沖北側200m
  - 参加者：地元農家、JA部会員、ボランティア、町職員、県職員 約100名

(3) 活動指標の推移

	平成17年度	平成18年度	平成19年度
実施場所	冒険の森北側	浄光寺北側	雁田沖北側
実施内容	L=350、W=30	L=250、W=20	L=200、W=20

※ L：延長、W：幅

地元の農家から、有害鳥獣の出没が減ったという話があり、継続して実施していきます。

**農業資金の利子への補助(産業振興グループ)**

予算事業名：農業総務費

当初予算額 2,535,000 円 最終予算額 2,535,000 円 決算額 2,071,298 円

農業者の経営改善や生産性の向上、合理化を目的に借り入れた資金に対し利子補給を行い、農家経営における経済負担の緩和を図りました。

(1) 主な支出

- ・農業経営基盤強化資金などの利子補給金 207 万円

(2) 活動指標

資金名	資金の内容
農業近代化資金	農業の近代化を図るための構築物、農機具資金
農業経営基盤強化資金	認定農業者が農業経営の改善を図るための資金
農業バックアップ資金	小規模農家等制度資金が利用できない方のための農業資金
認定農業者資金	認定農業者が必要とする農機具等の取得資金

(3) 活動指標の推移

	平成17年度		平成18年度		平成19年度	
	対象者	補給額	対象者	補給額	対象者	補給額
農業近代化資金等利子補給	10人	16万円	9人	14万円	8人	12万円
農業経営基盤強化資金利子補給	10人	114万円	8人	95万円	7人	78万円
農業バックアップ資金利子補給	7人	5万円	6人	3万円	4人	2万円
認定農業者資金利子補給	31人	134万円	31人	121万円	35人	96万円

**認定農業者の育成(産業振興グループ)**

予算事業名：農業総務費

当初予算額 0円 最終予算額 0円 決算額 0円

効率的で安定した農業経営を目指す「農業経営改善計画」について、関係団体と連携をとりながら認定に係る申請書の作成等、認定農業者の支援を行いました。

(1) 主な支出 なし

(2) 活動指標

- ・平成19年度中新規認定者 7人 更新 20人
- ・平成19年度末 認定農業者数 96人

(3) 活動指標の推移

(単位：人)

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
新規認定	3	1	3	8	7
更新	8	1	24	3	20
継続	120	125	76	100	69
年度末計	131	127	103	111	96

(4) 成果指標

- ・農家戸数に対する認定農業者の割合は10.5%であり、長野県平均の5.5%を大きく上回っています。また、長野地方事務所管内でも一番高い数値となっています。

**職員人件費**

予算事業名：一般職人件費

当初予算額 29,878,000円 最終予算額 27,072,000円 決算額 26,259,436円

(1) 主な支出

職員人件費 2,626万円

3 農業振興費 50,785,641

決算事項別明細書 P46～

**縁結びの会(労働力補完システム)の運営(産業振興グループ)**

予算事業名：農業振興費

当初予算額 0円 最終予算額 0円 決算額 0円

効率的で安定した農業経営体を目指す認定農業者を支援するため、農繁期における農業労働力を確保・提供する、「労働力補完システム」を、町、県農業改良普及センター、JAが連携し運営しました。

(1) 主な支出 なし

(2) 活動指標

- ・労働力補完システムの実施  
「縁結びの会」  
農繁期における労働力不足の解消と非農家の新規就農者育成を図るため、農家と非農家の橋渡し(農作業のお手伝い)を行いました。  
また、「ぶどう房切り等講習会」の開催による非農家の農業技術の向上を図りました。



## (3) 活動指標の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
お手伝い	29人	37人	30人	15人	17人
受入農家	29軒	27軒	26軒	15軒	25軒

農繁期に手伝いができ、適期作業につながりましたが、お手伝いさんの数が足りないのが実情です。

**農作物の有害鳥獣駆除(産業振興グループ)**

予算事業名：農業振興費

当初予算額 1,114,000 円 最終予算額 2,347,000 円 決算額 2,175,341 円

増加傾向にある野生鳥獣による農作物への被害を防ぐため、許可を受けた鳥やサル、イノシシ等の駆除を行いました。

## (1) 主な支出

- ・有害鳥獣駆除事業補助金 73 万円
- ・サル、イノシシ駆除謝礼 2 万円
- ・電気柵修繕補助 103 万円

## (2) 活動指標

- ・有害鳥獣駆除  
7月20日～10月21日（40日間）実施 駆除従事者（猟友会）12人  
5月27日～3月31日 サル、イノシシの箱ワナ設置
- ・野生獣追い払い犬（モンキー犬） 3頭巡回
- ・ムクドリ、スズメ、ドバト等 1,131羽駆除
- ・サル 1匹駆除
- ・イノシシ 1頭駆除

## (3) 活動指標の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
鳥類	1,367 羽	880 羽	880 羽	1,335 羽	1,131 羽
サル	2 匹	7 匹	7 匹	8 匹	1 匹
イノシシ	—	2 頭	—	7 頭	1 頭

## (4) 成果指標

- ・有害鳥獣による農作物の被害額 (単位：万円)

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
被害金額	326	—	300	292	300

**畜産の振興(産業振興グループ)**

予算事業名：農業振興費

当初予算額 754,000 円 最終予算額 554,000 円 決算額 489,100 円

畜産の振興と農業所得の向上を図るため、畜産農家が行う子牛の導入経費に対し補助を行いました。

## (1) 主な支出

- ・家畜導入事業補助金 33 万円
- ・須高家畜防疫協会負担金 11 万円

## (2) 活動指標

- ・導入農家数 3軒
- ・黒毛和種 24頭、ホルスタイン 4頭 計28頭

(3) 活動指標の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
導入農家数	4 軒	5 軒	4 軒	5 軒	3 軒
黒毛和種	82 頭	70 頭	68 頭	84 頭	24 頭
ホルスタイン	7 頭	4 頭	11 頭	6 頭	4 頭
計	89 頭	74 頭	79 頭	90 頭	28 頭

**6次産業センターの管理運営(産業振興グループ)**

予算事業名：6次産業センター管理運営費

当初予算額 5,770,000 円 最終予算額 5,770,000 円 決算額 5,769,086 円

6次産業センターを(財)小布施町振興公社に管理委託し、施設を訪れる観光客へのサービス向上に努めるとともに、花苗や農産物等の販売拡大を図りました。

(1) 主な支出

- ・施設管理委託料 400 万円
- ・土地借上料 173 万円

(2) 活動指標

- ・6次産業センター  
農産物の販売と地場産物を使った加工品販売  
ジャム、ジュース、菓子、アイスクリーム等の製造 小布施産りんご酢の販売

(3) 活動指標の推移

	平成18年度	平成19年度
販売会員数	80 軒	90 軒

**フローラルガーデンおぶせの管理運営(産業振興グループ)**

予算事業名：フローラルガーデンおぶせ管理運営費

当初予算額 23,082,000 円 最終予算額 23,927,000 円 決算額 23,925,819 円

フローラルガーデンおぶせを(財)小布施町振興公社に管理委託し、6次産業センターと連携し、施設を訪れる観光客へのサービス向上と、花苗の販売拡大や花に関する情報発信を図りました。

(1) 主な支出

- ・管理委託料 1,833 万円
- ・庭園改修工事費など 534 万円
- ・火災保険料 26 万円

(2) 活動指標

- ・花壇の維持管理  
4月 前年秋植栽のパンジー、ビオラ、葉ボタンの手入れ  
5月 夏花壇の植栽、マリーゴールド、ランタナ、コリウス等1年草を宿根草へ移行  
10月 パンジー、ビオラ、葉ボタンの植栽
- ・季節に応じたイベントの開催  
5月 春の山野草展 など  
6月 第13回サツキ展、第13回夏の洋ラン展  
7月 第12回富貴ラン展  
10月 秋の山野草展 など  
1月 新春洋ラン展  
3月 第15回おもと・春ラン展、クリスマスローズの世界展 など

## (3) 活動指標の推移

(単位：人)

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
入園者数	42,307	33,986	30,130	29,553	21,181

※平成18年度から中学生以下の入園料は無料のため、カウントされていません。

**ふるさと創造館の管理運営(産業振興グループ)**

予算事業名：ふるさと創造館管理運営費

当初予算額 1,298,000 円 最終予算額 1,405,000 円 決算額 1,402,815 円

ふるさと創造館を(財)小布施町振興公社に管理委託し、農産加工室の貸し出しや加工作業の指導などを行いました。

## (1) 主な支出

- ・土地借上料 93 万円
- ・火災保険料 8 万円
- ・給水設備修繕など 32 万円

## (2) 活動指標

- ・ジュース、ジャムづくりの指導 73件

## (3) 活動指標の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
指導件数	105 件	94 件	71 件	78 件	73 件

**売れる米づくりと地産地消の推進(産業振興グループ)**

予算事業名：数量調整円滑化推進事業費

当初予算額 261,000 円 最終予算額 261,000 円 決算額 176,779 円

地産地消として米の消費拡大を図るためイベント等を通じた地元産米のPR活動を行いました。また、主食である米の安定供給を目的に行われる生産調整の、生産者等に対する周知活動を行いました。

## (1) 主な支出

- ・消耗品費 11 万円
- ・郵送料 6 万円

## (2) 活動指標

- ・地産地消推進活動  
米の消費拡大に向けた小布施産米の学校給食への提供
- ・地元産米のPR  
緑のかけ橋まつりでの試食用おむすびの配布
- ・小布施町水田農業推進協議会の事務  
構成：町、JA、土地改良区、農業改良普及センター、消費者団体 等

## (3) 活動指標の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
水田面積	216ha	216ha	216ha	216ha
作付面積	98ha	120ha	121ha	118ha
生産数量	565 t	695 t	704 t	679 t
農業者数	899 人	676 人	649 人	677 人

**農業基本構想の推進(産業振興グループ)**

予算事業名：基本構想推進事業費

当初予算額 485,000 円 最終予算額 453,000 円 決算額 6,284 円

農家や農業団体との会議を開催し、意見交換を行いました。

- (1) 主な支出  
 ・ 消耗品費 0.6 万円
- (2) 活動指標  
 ・ 農家や農業団体との検討会の開催  
 ・ 参集範囲 議員、J A、農業委員会、商工会  
 女性 4 団体

**農業・農村サイトの運営(産業振興グループ)**

予算事業名：基本構想推進事業費

当初予算額 210,000 円 最終予算額 210,000 円 決算額 69,300 円

町内で生産される農作物などを登録し、消費者ニーズに応えられる産地として情報発信するサイトを立ち上げ、商品販売による起業を図りました。

- (1) 主な支出  
 ・ おぶせアグリモール運営 6 万円
- (2) 活動指標  
 ・ 農業農村紹介サイト登録農家数 81 軒  
 ・ 販売農家数 10 軒  
 ・ 販売農家と打合せ

**フィールドサーバー(気象ロボット)による情報収集(産業振興グループ)**

予算事業名：基本構想推進事業費

当初予算額 525,000 円 最終予算額 525,000 円 決算額 456,033 円

信州大学工学部、長野県農業総合試験場、J A 須高と連携し、町内 3 ヲ所に気象ロボットを設置しました。(合計 4 台) 気象データを活用し、農作物の安定生産や有利販売につなげていきます。

- (1) 主な支出  
 ・ 気象ロボット設置電線引込工事 45 万円
- (2) 活動指標  
 ・ 気象ロボット設置台数 3 台  
 6 次産業センター、六川沖地区野菜ハウス、林地区栗畑)  
 (平成18年度は中条地区ぶどう園)

(3) 活動指標の推移 (単位：台)

	平成18年度	平成19年度
設置台数	1	3

**環境にやさしい農業の推進(産業振興グループ)**

予算事業名：環境にやさしい農業推進事業費

当初予算額 1,250,000 円 最終予算額 1,250,000 円 決算額 853,542 円

減農薬栽培の実施により、消費者が求める安心・安全な農産物の産地としての確立を図りました。また、環境に配慮した農業生産を行うため、農業用ビニールなどの適切な処理に対し支援を行いました。

- (1) 主な支出  
 ・ 果樹園芸振興対策(環境保全型)事業補助金 62 万円  
 ・ 農業用プラスチック処理適正化推進事業補助金 24 万円
- (2) 活動指標  
 ・ 果樹園芸振興対策  
 エコファーマー資格を持つ認定農業者(40人)が行う性フェロモン使用に対する補助  
 (補助率2/10)

- ・農業用プラスチック処理適正化推進事業  
農業用廃プラスチック、ビニール類の適正処理(リサイクル)に対する補助(補助率1/3以内)  
事業主体 JA須高

(3) 活動指標の推移

【コンフューザ】

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
コンフューザA (りんご)	204,523本 (136.3ha)	18,860本 (13.2ha)	23,780本 (16.6ha)	27,450本 (27.7ha)
コンフューザP (もも)	74,305本 (49.5ha)	6,230本 (3.7ha)	6,040本 (3.6ha)	6,430本 (5.3ha)
コンフューザN (なし)	—	—	1,140本 (0.7ha)	5,850本 (3.0ha)

【農業用プラスチック処理】

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
塩化ビニールフィルム	2.3 t	2.6 t	1.8 t	1.9 t
ポリエチレンフィルム	16.7 t	15.5 t	18.5 t	15.8 t

※8月、11月回収実施

**都市農村交流事業(産業振興グループ)**

予算事業名：都市農村交流事業費

当初予算額 1,199,000 円 最終予算額 1,124,000 円 決算額 684,927 円

都市消費者との交流を深めるため、東京都墨田区民との交流事業を春と秋に開催しました。

(1) 主な支出

- ・バス借上料 (春秋2回) 32 万円
- ・事業実施消耗品費 20 万円
- ・農業体験指導謝礼 4 万円

(2) 活動指標

- ・春の巻  
5月19日(土)～20日(日) 墨田区民17名参加 受入農家6軒  
田植え、小布施丸なす定植、りんご摘果、町内散策
- ・秋の巻  
10月20日(土)～21日(日) 墨田区民16名参加 受入農家6軒  
稲刈り、ライスセンター見学、全体交流会、町内散策
- ・春と秋に2回訪れる人や、「おぶせ大好き倶楽部」に加入する人もありました。  
今後も継続し、参加者の増加と受入農家の確保を図り、交流によるまちづくりを進めます。

**新「小布施ブランド」戦略事業(新品種作物等の栽培・研究)(産業振興グループ)**

予算事業名：新「小布施ブランド」戦略事業費

当初予算額 12,073,000 円 最終予算額 11,333,000 円 決算額 10,632,178 円

多様化する消費者ニーズに応えるため、新たなブランド化を図りました。地域伝統野菜など“小布施でしか手にはいかない物”を新たに小布施ブランドとして確立するよう、(財)振興公社「小布施屋」と連携し情報発信と販売を行いました。

新品種野菜の栽培と販売を(財)振興公社に委託しました。

(1) 主な支出

- ・栽培研究委託料 966 万円
- ・政策顧問活動謝礼 52 万円
- ・旅費 22 万円

- ・ イベント出展負担金 11 万円
- ・ 消耗品 11 万円

(2) 活動指標

・ 物産展への参加

軽井沢駅「観光物産フェア」	平成19年8月1日～2日
(株)新宿高野「小布施フェア」	平成19年10月6日～7日
東京都墨田区「すみだまつり」	平成19年10月6日～7日
埼玉県戸田市「商工祭」	平成19年10月27日～28日
東京都墨田区「北斎通りイベント」	平成19年11月16日～18日

・ 小布施ブランド野菜テスト栽培

高糖度パプリカ	作付10a	908 本	収穫	4,659 kg
			販売額	276 万円
アナスタシア ブラック	作付3a	296 本	} 収穫	3,722 kg
レッド及びグリーン	作付6a	600 本		
			販売額	172 万円

※パプリカについては高品質栽培と安定出荷ができました。

※アナスタシアについて、収穫は良好で全量出荷ができました。

- ・ 小布施丸なす 150 本 収穫 1,800 kg  
販売額 54 万円
- ・ りんご酢の製造委託 200ml 6,600本 300ml 4,400本

**信州おぶせ緑のかけ橋まつりの開催(産業振興グループ)** 予算事業名：緑のかけ橋まつり事業費  
 当初予算額 4,250,000 円 最終予算額 4,250,000 円 決算額 3,542,439 円

秋の行楽期・収穫期にあわせ農業収穫祭を開催し、ステージを利用したにぎわいづくりや町内散策事業（ウォーキング・サイクリング）、クラシックカー展示など多彩なイベントを行い、楽しさの演出から農産物の販路拡大を図りました。

(1) 主な支出

- ・ ステージ出演者等謝礼 61 万円
- ・ 広告費等 66 万円
- ・ 会場設営費 213 万円

(2) 活動指標

- ・ 期日：11月17日（土）～18日（日）
- ・ 場所：小布施総合公園
- ・ 物産展出展者：25団体（J A、女性農業者団体、緑のかけ橋おぶせ他）
- ・ ステージ利用者：10団体
- ・ 同時開催：町内花巡りウォーク、サイクリングの実施

※平成19年度で4回目の開催となり、収穫祭だけでなくウォーキングやサイクリングなど多彩なイベントを行う中で、対外的にも知られるようになり、町内外から多くのお客様がお見えになっています。

(3) 活動指標の推移

(単位：団体)

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
物産展出展者数	11	15	12	25

**モンキードッグ育成事業(産業振興グループ)** 予算事業名：モンキードッグ育成事業費

当初予算額 832,000 円 最終予算額 832,000 円 決算額 551,998 円

雁田山麓に出没する猿による農作物被害を防ぐため、モンキードッグを育成し、地域巡回を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 訓練委託料 32 万円
- ・ 現地指導謝礼 16 万円

(2) 活動指標

- ・ 育成頭数：1 頭
- ・ 訓練場所：安曇野市 長野県警察犬訓練所
- ・ 訓練期間：6月～12月
- ・ 現地指導：12月、3月 3 頭指導

(3) 活動指標の推移 (単位：頭)

	平成17年度	平成18年度	平成19年度
育成頭数	2	0	1

現在、3 頭で巡回を行っており、農作物への被害の抑制効果があります。

**遊休荒廃農地情報の管理・活用(土地対策担当)** 予算事業名：土地対策事業費

当初予算額 214,000 円 最終予算額 214,000 円 決算額 50,000 円

「楽園信州」推進協議会へ加入し、情報の発信を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 負担金 5 万円

(2) 活動指標

- ・ 農業委員会活動の遊休荒廃農地調査と連携し、農地の有効活用を図りました。
- ・ 「楽園信州」推進協議会のホームページから情報収集をしました。

4 | フラワーセンター費 | 28,663,218 | 決算事項別明細書 P47～

**フラワーセンターの管理運営(産業振興グループ)** 予算事業名：フラワーセンター管理費

当初予算額 28,277,000 円 最終予算額 30,063,000 円 決算額 28,663,218 円

花産業の振興を図るため、フラワーセンターでプラグ苗の生産を行い、花き農家の育成と販路の拡大を図りました。

(1) 主な支出

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| ・ 嘱託職員報酬 512 万円 | ・ 燃料費 314 万円   |
| ・ 臨時職員賃金 423 万円 | ・ 光熱水費 122 万円  |
| ・ 消耗品 417 万円    | ・ 種、養土代 562 万円 |
| ・ 修繕費等 223 万円   | ・ 借地料 154 万円   |
| ・ 委託料 58 万円     | ・ その他 81 万円    |

(2) 活動指標

- ・ 花苗販売 89,179鉢、セル苗生産2,233,024本
- ・ マリーゴールド、サルビア、パンジー、ビオラ等花苗のほか、アスパラ等野菜苗の発芽・育苗
- ・ 地元イベントに合わせフラワーセンター祭を開催(4月15日)
- ・ 「花苗特売日」による販売促進(毎月第4土・日)

## (3) 活動指標の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
販売収入額（万円）	1,861	2,161	2,265	2,810
農家数（戸）	8	9	9	9
セル苗本数（本）	1,007,146	1,646,796	2,143,347	2,233,024
ポット苗本数（本）	132,405	108,580	89,962	89,179

※農家数は花苗生産者組合の会員数。

**5 農地費 21,664,745 決算事項別明細書 P47～**

**用排水路などの改修(産業振興グループ)** 予算事業名：農地対策費

当初予算額 21,032,000 円 最終予算額 21,032,000 円 決算額 20,732,066 円

農免道路などを整備した際の借入金に対し補助を行いました。また、平成20年度農地排水対策事業採択に向け、概要書を作成しました。

## (1) 主な支出

- ・農道等借入補助 27路線・事業 1,903 万円
- ・農地排水対策事業設計概要書作成委託 170 万円

**土地改良事業(産業振興グループ)** 予算事業名：農地対策費

当初予算額 1,146,000 円 最終予算額 1,146,000 円 決算額 932,679 円

土地改良区の運営費などの補助を行いました。

## (1) 主な支出

- ・日滝原土地改良区負担金 81 万円
- ・長野平土地改良区負担金 11 万円
- ・長野県土地改良事業団体連合会負担金 0.5 万円

## (2) 活動指標

- ・日滝原土地改良施設維持管理適正化事業  
団体営、県営で行った日滝原土地改良施設維持管理適正化事業のうち、市町村割合（小布施町24.51%）による助成
- ・長野平地区国営造成施設管理体制整備促進事業  
長野平土地改良区の施設強化事業に伴う市町村割合（0.9%）による助成
- ・長野県土地改良事業団体連合会負担金  
農地面積割に伴う負担金

**6 集落排水施設費 15,500,000 決算事項別明細書 P48～**

**農業集落排水事業特別会計への繰出金(建設水道グループ)** 予算事業名：農業集落排水施設費

当初予算額 18,500,000 円 最終予算額 18,610,000 円 決算額 15,500,000 円

農業集落排水事業特別会計へ、一般会計で負担すべき費用を支出しました。

## (1) 主な支出

- ・農業集落排水事業特別会計繰出金 1,550 万円

**7 農業共済費 37,597,870 決算事項別明細書 P48～**

**農業共済の促進(産業振興グループ)** 予算事業名：農業共済費

当初予算額 21,844,000 円 最終予算額 21,844,000 円 決算額 20,763,845 円

農業経営の安定を図るため果樹共済に加入した農家に対し、共済掛金の一部補助を行いました。

## (1) 主な支出



- ・果樹共済掛金一部負担金 327 万円
- ・家畜基幹診療センター運営負担金 108 万円
- ・事務費負担金 1,641 万円

(2) 活動指標

	りんご					
	総合短縮	半相特定 暴風雨	半相特定 2セット	樹園地 総合短縮	樹園地特定 暴風雨	樹園地特定 2セット
引受実績	184 戸	49 戸	18 戸	24 戸	1 戸	9 戸
	5,674 ㄱ	1,788 ㄱ	612 ㄱ	1,919 ㄱ	59 ㄱ	472 ㄱ
	ぶどう総合	なし総合	もも総合	合計		
	35 戸	29 戸	24 戸	337 戸		
	1,133 ㄱ	574 ㄱ	651 ㄱ	12,882 ㄱ		

※ 半相殺：農家単位に被害樹園地の減収分について損害を把握する方式

※ 樹園地：樹園地単位に被害樹園地の減収分について損害を把握する方式

(3) 活動指標の推移

		平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
りんご	加入戸数	235戸	235戸	238戸	244戸	249戸
	加入面積	8,293a	8,530a	9,039a	9,288a	10,524a
	引受金額	7,500,040円	7,921,941円	8,278,380円	9,233,379円	12,412,724円
	支払金額	254,730円	73,849,380円	29,136,020円	53,234,242円	0円
ぶどう	加入戸数	22戸	25戸	28戸	30戸	35戸
	加入面積	633a	706a	770a	862a	1,133a
	引受金額	548,320円	510,378円	549,865円	548,114円	711,938円
	支払金額	0円	2,135,950円	159,040円	0円	79,020円
なし	加入戸数	12戸	19戸	22戸	25戸	29戸
	加入面積	218a	345a	407a	465a	574a
	引受金額	213,949円	489,957円	501,257円	526,938円	622,788円
	支払金額	0円	3,309,070円	1,940,590円	155,250円	46,300円
もも	加入戸数	13戸	12戸	12戸	10戸	24戸
	加入面積	239a	239a	236a	196a	651a
	引受金額	185,289円	185,080円	187,768円	137,945円	435,596円
	支払金額	41,720円	95,670円	12,270円	2,673,520円	0円
合計	加入戸数	282戸	291戸	300戸	309戸	337戸
	加入面積	9,383a	9,820a	10,452a	10,811a	12,882a
	引受金額	8,447,598円	9,107,356円	9,517,278円	10,446,377円	14,183,046円
	支払金額	296,450円	79,390,070円	31,247,920円	56,063,012円	125,320円
	加入率	22.2%	22.1%	23.5%	23.7%	27.1%

**職員人件費**

予算事業名：一般職人件費

当初予算額 17,397,000 円

最終予算額 17,135,000 円

決算額 16,834,025 円

(1) 主な支出

職員人件費 1,683 万円

2	林業費	6,082,947
1	林業総務費	6,082,947

決算事項別明細書 P48～

**松くい虫の駆除(産業振興グループ)**

予算事業名：林業総務費

当初予算額 6,491,000 円 最終予算額 6,491,000 円

決算額 6,082,947 円

多発する松くい虫被害木の駆除、処理を行いました。

(1) 主な支出

- ・松くい虫被害木駆除委託料 552 万円

(2) 活動指標

- ・駆除活動の内容 第1次 5月22日～6月29日  
第2次 9月5日～9月28日

	第1次駆除		第2次駆除		合計	
	本	m <sup>3</sup>	本	m <sup>3</sup>	本	m <sup>3</sup>
燻蒸処理	247	123.00	109	40.77	356	163.77
破碎処理	16	10.13	7	3.94	23	14.07
合計	263	133.13	116	44.71	379	177.84

◆「燻蒸処理」は松くい虫が潜入している被害木を切断し、ビニールシートで覆い薬剤処理する方法。  
(主に被害木の搬出が困難な場所で行います。)

◆「破碎処理」は松を搬出し機械などで松を砕いて松くい虫を処理する方法。

※ 減少傾向にあった被害が平成17年度から再び増加しています。被害の拡大を防ぐため  
駆除の徹底に努めています。

(3) 活動指標の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
被害本数	50本	8本	304本	380本	379本
被害量	19.84m <sup>3</sup>	10.42m <sup>3</sup>	169.28m <sup>3</sup>	180.98m <sup>3</sup>	177.84m <sup>3</sup>

款	項目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績	
6		商工費	45,712,040		
	1	商工費	45,712,040		
		1 商工総務費	7,494,379	決算事項別明細書 P48～	
<b>商工会事業に対する補助など(産業振興グループ)</b>				予算事業名：商工総務費	
		当初予算額	673,000円	最終予算額	673,000円
		決算額	611,555円		
(1) 主な支出					
		・臨時職員賃金	61万円		
<b>職員人件費</b>				予算事業名：一般職人件費	
		当初予算額	8,671,000円	最終予算額	7,106,000円
		決算額	6,882,824円		
(1) 主な支出					
		・職員人件費	688万円		
	2	商工振興費	11,288,044	決算事項別明細書 P48～	
<b>商工会事業に対する補助など(産業振興グループ)</b>				予算事業名：商工振興費	
		当初予算額	7,739,000円	最終予算額	7,739,000円
		決算額	7,577,300円		
町の商工業の発展のため、商工会が行う事業や伝統行事などに対して補助を行いました。また、雇用の安定及び工場の特定地域への立地誘導を促進するため、奨励金を交付しました。					
(1) 主な支出					
		・商工会一般事業補助金	100万円		
		・商工会小規模事業補助金	350万円		
		・くりんこ祭り実行補助金	60万円		
		・安市行事補助金	150万円		
		・商工振興奨励補助金	97万円		
(2) 活動指標					
		・小布施町商工会 会員数	308人		
		商工会一般事業補助金	商工会事業に対して助成		
		商工会小規模事業補助金	経営指導員に対して助成		
		くりんこ祭り実行補助金	小布施町くりんこ祭り実行委員会を組織し運営 第30回くりんこ祭り 平成19年7月28日 駅前神宮通り 30連／約1,500人参加		
		安市行事補助金	安市 平成20年1月14日～15日 皇大神社ほか		
		・商工振興奨励補助金（工場用地等取得事業奨励金）	投下固定資産総額に対応する固定資産税相当額に奨励金を交付 新設 第1年度/100分の100 第2年度/100分の70 第3年度/100分の30 平成19年度 1事業所		
(3) 活動指標の推移					
		・商工振興奨励補助金（工場用地等取得事業奨励金）			
			平成15年度	平成16年度	平成17年度
		件数	-	-	-
		補助金額	-	-	-
					平成18年度
					平成19年度
					1件
					97万円
<b>中心市街地活性化計画の策定に向けた研究(産業振興グループ)</b>				予算事業名：商工振興費	
		当初予算額	0円	最終予算額	0円
		決算額	0円		
地域の特性を生かした商店街づくりを行うための資料収集を行いました。					

(1) 主な支出 なし

**空き店舗活用事業に対する補助(産業振興グループ)**

予算事業名：商工振興費

当初予算額 1,600,000円 最終予算額 900,000円 決算額 0円

空き店舗を借入れて改修する場合の補助を行う予定でしたが、該当案件がありませんでした。

(1) 主な支出 なし

**県制度資金融資保証料の補助(産業振興グループ)**

予算事業名：商工振興費

当初予算額 2,500,000円 最終予算額 3,200,000円 決算額 3,156,435円

商工業者が、経営の安定のため運用資金を金融機関から借りる場合の保証料を補給しました。

(1) 主な支出

- ・県制度資金融資保証料補給金 315万円

(2) 活動指標

- ・県中小企業融資制度資金のあっせん及び融資保証料補給(県 1/2、町 1/2)

制度資金名	件数 (単位：件)	融資総額 (単位：万円)	保証料補給額 (単位：万円)
経営健全化不況対策	18	23,740	315
創業支援資金	なし	なし	なし
計	18	23,740	315

(3) 活動指標の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
件数	63件	59件	31件	20件	18件
融資総額	4億7,050万円	4億448万円	2億9,895万円	2億3,400万円	2億3,740万円
保証料補給額	584万円	648万円	465万円	398万円	315万円

**町中小企業者等一般融資保証料の補助(産業振興グループ)**

予算事業名：商工振興費

当初予算額 50,000円 最終予算額 50,000円 決算額 50,000円

商工業者の経営の安定と発展のため、商工業者が金融機関から受けた一般融資に対し、保証料補給金を支給しました。

(1) 主な支出

- ・町中小企業者等一般融資保証料補給金 5万円

(2) 活動指標

- ・事業経営上必要とする設備資金及び運転資金にかかる保証料補給 補助率 3分の1 限度額5万円
- ・平成19年度対象件数 1店舗

(3) 活動指標の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
件数	0件	1件	1件	1件	1件
利子補給額	0万円	5万円	5万円	5万円	5万円

**町中小企業者等緊急支援融資保証料の補助(産業振興グループ)**

予算事業名：商工振興費

当初予算額 0円 最終予算額 1,000,000円 決算額 111,100円

原油高や原材料高騰に伴う中小企業緊急支援のため、金融機関から中小企業振興資金の融資を受けた企業に対し、保証料補給金を支給しました。

(1) 主な支出

- ・町中小企業者等緊急支援融資保証料補給金 11 万円

(2) 活動指標

- ・事業経営上必要とする設備資金及び運転資金にかかる保証料補給 補助率 3分の1 限度額5万円
- ・平成19年度対象件数 9社

**商工貯蓄共済融資利子の補給(産業振興グループ)**

予算事業名：商工振興費

当初予算額 500,000 円 最終予算額 500,000 円 決算額 393,209 円

商工業者が行う経営の改善に必要な資金の借入を円滑に受けられるよう、商工会が行う商工貯蓄還元融資に対し、利子補給金を支給しました。

(1) 主な支出

- ・商工貯蓄共済融資利子の補給 39 万円

(2) 活動指標

- ・商工貯蓄還元融資の利子補給 1000分の24以内
- ・平成19年度対象件数 7事業所

(3) 活動指標の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
件数	15件	14件	7件	8件	7件
利子補給額	56万円	47万円	40万円	36万円	39万円

3 観光費 24,194,060 決算事項別明細書 P49～

**観光案内、観光パンフレットの作成など(産業振興グループ)** 予算事業名：観光振興費・観光案内事業費

当初予算額 6,101,000 円 最終予算額 5,755,000 円 決算額 4,885,715 円

美術館など町の見どころを紹介する観光パンフレットを新たに作成しました。新しい観光パンフレットの表紙は全国からの公募により選出され、日本観光ポスターコンクールで銀賞を受賞した観光PRポスターのデザインを使用し、統一された町のイメージや観光情報を全国に向けて発信しました。また、町内散策に利用できる観光マップの印刷や案内看板の修理等を行いました。

(1) 主な支出

- ・観光パンフレットの印刷 266 万円
- ・観光マップの印刷 84 万円
- ・案内看板修繕等 8 万円
- ・案内看板用地の借上げ 56 万円
- ・駅前観光案内業務 29 万円
- ・町内観光写真撮影委託 30 万円

(2) 活動指標

- ・観光パンフレットの印刷 60,000部
- ・観光パンフレットダイジェスト版の印刷 60,000部
- ・観光マップの印刷 250,000枚
- ・案内看板設置、修繕 3箇所
- ・案内看板用地の借上げ 18箇所

(3) 活動指標の推移

・観光パンフレット、観光マップ印刷数

(単位：部)

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
パンフレット	30,000	50,000	50,000	20,000	60,000
観光マップ	300,000	330,000	350,000	250,000	250,000

**小布施文化観光協会などの活動支援(産業振興グループ)**

予算事業名：観光振興費

当初予算額 1,300,000円 最終予算額 1,300,000円

決算額 1,300,000円

町の観光資源保護及び観光事業の振興を図るため、小布施文化観光協会などの各種事業に対し補助を行いました。

(1) 主な支出

- ・小布施文化観光協会補助金 100万円
- ・ファイヤーフェスティバル補助金 30万円

(2) 活動指標

- ・小布施文化観光協会会員数 85会員

総会、理事会及び正副会長会 6回

- 主な事業
- ・県教育委員会子ども情報誌「ホリデー」情報提供
  - ・小布施文化観光協会ホームページ資料収集・編集・メンテナンス
  - ・新聞・各種観光情報誌等への情報提供・広告宣伝
  - ・パンフレット発送(県内外) 2,743件
  - ・おぶせ大好き倶楽部員への観光イベント情報等提供
  - ・「信州ブランドを海外へ」エージェント・マスコミ視察対応
  - ・県観光協会「大人の小径」事業
  - ・北信濃ひな祭り事業
  - ・小布施観光PRポスターの作成、掲出
  - ・小布施でのひら飯案内の作成
  - ・地域イベント協力事業

- 参加事業
- ・軽井沢・小布施リレー号(しなの鉄道・長野電鉄フリーパススキップ臨時列車)でPR(平成19年7月14日～11月4日)
  - ・軽井沢駅自由通路での「観光物産フェア」へ出展(平成19年8月1日～2日)

- 後援・共催等
- ・長野オリンピック記念長野マラソン(平成19年4月15日)
  - ・日本コリー犬イベント(平成19年6月3日、9月9日)
  - ・小布施音楽祭(平成19年7月14日～16日)
  - ・小布施見にマラソン(平成19年7月15日)
  - ・北信濃小布施映画祭(平成19年11月24日～25日)

- 広域観光の推進
- ・北信濃河東文化観光圏協議会へ参画
  - ・北信濃観光連盟へ参画
  - ・信州北回廊プロジェクト事業へ参画
  - ・信州フルーツ王国振興会へ参画

- その他
- ・春の連休中の駐車場対策(平成19年4月29日、5月3日～5日) 会員3人出席
  - ・東京小布施会への参加(平成19年11月8日) 会員2人出席

(3) 活動指標の推移

(単位：件)

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
パンフレット送付数	1,785	2,015	2,252	1,513	2,743

- ・個人、旅行会社、ホテル等へ送付(電話、メールでの問い合わせに対応)

**東京小布施会の活動支援(産業振興グループ)**

予算事業名：観光振興費

当初予算額 239,000 円 最終予算額 239,000 円 決算額 196,080 円

郷土愛を基調とし、会員相互の親睦を深め、町を語り情報を交換し、ふるさと小布施の発展に寄与するために活動している、小布施町出身で東京近郊在住者で組織する「東京小布施会」の活動を支援しました。

## (1) 主な支出

- ・総会記念品 13 万円
- ・旅費 6 万円

## (2) 活動指標

- ・東京小布施会会員数 621人
- ・交流会（総会）平成19年11月8日 東京グリーンパレス 出席者数 110人
  - 第1部 ミニ物産展、墨田伝統工芸保存会制作実演
  - 第2部 町長による講演会、水戸岡鋭治さん講演会、ソプラノ独唱
  - 第3部 ふるさと交流懇親会

## (3) 活動指標の推移

(単位：人)

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
会員数	553	664	654	636	621
総会出席者数	150	141	118	85	110

**小布施塾(ボランティアガイド)の活動支援(産業振興グループ)**

予算事業名：観光振興費

当初予算額 0 円 最終予算額 0 円 決算額 0 円

町民自らがおもてなしの心で町の観光案内を行う「小布施塾」の自主的な活動を支援しました。

## (1) 主な支出 なし

## (2) 活動指標

- ・発足日 平成16年6月21日
  - 小布施塾登録者数 塾生数20人、顧問2人、相談役2人
  - 観光案内ガイド数 延べ877人 観光案内回数47回
  - 研修会の開催 3回 内容：まちづくり、葛飾北斎、小林一茶等に関する研修

**広域観光の推進(産業振興グループ)**

予算事業名：観光振興費

当初予算額 688,000 円 最終予算額 688,000 円 決算額 680,406 円

観光振興を点から面へと広げ、地方文化の向上と観光事業の振興と繁栄を図るため、近隣市町村や観光協会で構成する協議会で観光PRなどを行いました。

## (1) 主な支出

- ・北信濃河東文化観光圏協議会負担金 1 万円
- ・上信越ふるさと街道協議会負担金 1 万円
- ・信州北回廊プロジェクト負担金 49 万円

## (2) 活動指標

- ・北信濃河東文化観光圏協議会
  - 小布施町、長野市、須坂市、高山村、中野市、山ノ内町および各観光協会幹事会等を開催し、今後のあり方について検討会を開催。（年2回開催）
  - 【誘客・宣伝事業】
    - ・会員相互の連携、観光客誘致活動
    - ・各美術館、公共施設等に圏内美術館等のパンフの展示

- 【観光宣伝資料の配布】 ・圏内市町村ガイドマップの配布
- ・上信越ふるさと街道協議会 22構成員（市町村、商工会議所、観光協会）  
商工会等の連携による加入路線市町村による広域PRの推進
- 【観光宣伝事業の推進】 ・観光宣伝事業への参加
- 【広域観光の推進と研究】 ・視察研修、講演会
- 【会員間の研修と交流】 ・パンフレット、ポスター配布  
・広域観光意見交換会
- ・信州北回廊プロジェクト  
小布施町、長野市、須坂市、飯山市、中野市、千曲市、妙高市、山ノ内町、信濃町  
飯綱町、信州新町、坂城町、野沢温泉村、高山村、小川村 15市町村  
地域内の隠れた魅力の再発見、掘り起こしを行い、エリア全体の観光競争力を高め、  
首都圏に向けた継続的なプロモーションを実施する。
- 【公共交通機関を活用した誘客事業】  
・信州北回廊パス販売、ふるさと手形割引
- 【広告宣伝及び誘客促進事業】  
・新幹線「あさま」車内へのスッテカー広告掲出  
・北回廊専用ホームページ開設  
・個別テーマ型プロモーション事業

#### 観光施設の管理(産業振興グループ)

予算事業名：観光振興費

当初予算額 524,000 円 最終予算額 524,000 円 決算額 455,074 円

地域の交流の拠点として、また生産者自らが新鮮な農産物等を販売する中で消費者と交流し、町の文化・産業のPRを行う場としてふるさと交流センターの管理運営を行いました。

##### (1) 主な支出

- ・光熱水費 9 万円 ・委託料 4 万円
- ・保険料 11 万円

##### (2) 活動指標

- ・「栗どっこの会」による栗どっこ市の開催（毎週日曜日）

「栗どっこの会」による栗どっこ市は平成7年から実施し、地元の農産品等を販売しています。朝市として定着し、地域住民、観光客等に親しまれています。

#### 町営駐車場の管理運営(産業振興グループ)

予算事業名：駐車場管理費

当初予算額 5,661,000 円 最終予算額 5,661,000 円 決算額 5,211,530 円

町に訪れる観光客が車を停めて町を散策するための拠点として、また行楽期の交通渋滞を解消するため、松村駐車場、小布施南駐車場の管理運営を行いました。

##### (1) 主な支出

- ・管理人賃金（2人） 143 万円
- ・駐車場整理委託料（シルバー人材） 18 万円
- ・駐車場清掃、樹木剪定委託料 3 万円
- ・駐車場用地借上料 336 万円

##### (2) 活動指標

- ・松村駐車場利用状況

自動車の種別	利用台数（台）	駐車場使用料収入（万円）	参考（平成18年度）（台）
大型車(4時間まで1,200円)	88	11	249
普通車(4時間まで300円)	8,005	240	15,052



二輪車(4時間まで100円)	98	1	119
計	8,191	252	15,420

松村駐車場 4,872.6 m<sup>2</sup> 南駐車場 1,479.0 m<sup>2</sup>

(3) 活動指標の推移

(単位：台)

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
松村駐車場	15,933	12,816	13,982	15,420	8,191
東町駐車場(参考)	28,444	34,985	33,721	30,542	22,286
北斎館駐車場(参考)	16,738	14,853	14,709	17,183	20,568
計	61,115	62,654	62,412	63,145	51,045

**シャトルバスの運行(産業振興グループ)**

予算事業名：シャトルバス運行事業費

当初予算額 8,476,000 円 最終予算額 8,822,000 円 決算額 8,442,220 円

町中心部の渋滞緩和やパークアンドウォーク(車は郊外に駐車し、町の中は歩いて移動する)推進のため、町内を周遊するシャトルバスの運行を行いました。

(1) 主な支出

- ・シャトルバス運行事業負担金 728 万円
- ・その他経費 117 万円

(2) 活動指標

- ・運行日数 174日(土・日、祝日、行楽期の平日運行)
- ・運行コース ハイウェイミュージアム⇒小布施駅⇒北斎館入口⇒おぶせミュージアム⇒松村駐車場⇒おぶせ中国美術館⇒フローラルガーデン⇒浄光寺⇒岩松院⇒フローラルガーデン⇒松村駐車場⇒おぶせミュージアム⇒北斎館入口⇒小布施駅⇒ハイウェイミュージアム 1日7往復
- ・利用者数 個人8,051人、団体680人

(3) 活動指標の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
利用者数	11,453人	10,355人	10,066人	9,437人	8,731人
運行日数	188日	180日	186日	189日	174日
便数	198便	187便	197便	205便	186便

**アートウォークの開催(産業振興グループ)**

予算事業名：アートウォーク事業費

当初予算額 1,423,000 円 最終予算額 1,423,000 円 決算額 912,761 円

町内をゆっくり散策し地域の良さを再発見するアートウォーク事業を開催しました。春は千曲川河川事務所、SBCと共催で「千曲川と花巡りウォーク」、秋には緑のかけ橋おぶせに合わせて「農村散策ウォーク」を開催しました。

(1) 主な支出

- ・千曲川と花巡りウォーク告知委託 70 万円
- ・需用費 20 万円
- ・その他 2 万円

(2) 活動指標

- ・千曲川と花巡りウォーク 平成19年5月12日 参加者 450人  
コース 10kmと6km 小布施総合公園～千曲川河川敷～桜堤～オープンガーデン～小布施総合公園
- ・農村散策ウォーク 平成19年11月18日 参加者 20人  
コース 6km 小布施総合公園～飯田・山王島オープンガーデン及び飯田・大島お庭拝見巡り

(3) 活動指標の推移

・アートウォークの経過

平成8年度から実施していますがコース、協力市町村等が変わってきています。

平成8年度～ 高山村と開催

平成13年度～ 山ノ内町、中野市と開催

平成17年度～ SBCと共催し、つれづれ健康ウォークと合わせて開催

・参加者の声：ウォーキングコースにオープンガーデンがあり、見るのができて良かった。

おもてなしがあって良かった。

**花のまちづくり事業(オープンガーデンの拡大)(産業振興グループ)** 予算事業名：花のまちづくり事業費

当初予算額 2,438,000円 最終予算額 2,611,000円 決算額 1,284,583円

町内の全域で花を介した交流が広がるよう、趣旨に賛同いただいたお宅などを来訪者に開放するオープンガーデン事業を実施しています。

(1) 主な支出

- ・チラシ作成、ガーデン紹介看板、シール作成等 107万円
- ・販売手数料、花の会会費 7万円

(2) 活動指標

- ・平成19年度登録件数 90軒

(3) 活動指標の推移

(単位：件)

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
個人	53	48	49	43	69
公共	2	2	2	2	2
店舗	12	14	16	16	19
登録軒数	67	64	67	61	90

**花仲間ガーデニング大楽校の開催(産業振興グループ)**

予算事業名：ガーデニング大楽校事業費

当初予算額 2,474,000円 最終予算額 2,301,000円 決算額 825,691円

楽しく学びながらガーデニング技術を向上させることを目的に、造園や花の分野で多角的に活動している講師を招き講習会や実技等を行うガーデニング大楽校を開催しました。

(1) 主な支出

- ・講師謝礼等 26万円
- ・花代等消耗品 56万円

(2) 活動指標

- ・講習会 (実習) 開催 3回 (4、7、11月) 受講者数 延べ50人
- ・善光寺花回廊「小布施コーナー」参加 (ミニガーデン作り) 参加者数 5人

(3) 活動指標の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
大楽校開催回数 (講座、実習)	8回	8回	8回	9回	4回
参加者数	244人	177人	192人	112人	55人

4 労働諸費 2,735,557 決算事項別明細書 P49～

**勤労者協議会の活動支援(産業振興グループ)**

予算事業名：勤労者対策費

当初予算額 500,000円 最終予算額 500,000円 決算額 500,000円

勤労者協議会が活動を行う地域のボランティア活動や、勤労者の福祉向上を目的に行う事業に補助を行いました。

(1) 主な支出

- ・勤労者協議会交付金 50万円

(2) 活動指標

- ・町勤労協駅前駐輪場の管理（毎月第2日曜日の早朝、清掃）
- ・魚のつかみどり大会（8月5日開催 総合公園）
- ・くりんこ祭りイベント参加（7月28日開催 商工会館前）
- ・勤労者の祭典及び「働く人・もの」絵画展（10月28日開催 文化体育館）
- ・町政懇談会（2月23日開催 魚ふさ）町長と勤労協会員の懇談

(3) 活動指標の推移

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
会員数	110世帯	110世帯	70世帯	75世帯
補助額	54万円	54万円	50万円	50万円

**県労働金庫への預託など(産業振興グループ)**

予算事業名：勤労者対策費

当初予算額 2,327,000円 最終予算額 2,327,000円 決算額 2,235,557円

勤労者に対する生活資金の融資をしている長野県労働金庫へ、その原資となる預託を行いました。また、勤労者生活資金融資利子補給金等の補助を行いました。

(1) 主な支出

- ・勤労者生活資金融資預託金 200万円
- ・勤労者生活資金融資利子補給金 3万円
- ・中小企業退職金共済加入奨励補助金 10万円

(2) 活動指標

- ・勤労者生活資金融資  
労働金庫 貸付限度額 100万円（5年以内） 借入者 5人
- ・中小企業退職金共済加入奨励補助金 5社で23人

(3) 活動指標の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
預託金額	300万円	200万円	200万円	200万円	200万円
新規借入者	0人	0人	0人	4人	1人

**駅前駐輪場の管理(産業振興グループ)**

予算事業名：勤労者対策費

当初予算額 167,000円 最終予算額 167,000円 決算額 0円

町民の駅利用にかかる便宜を図るため、勤労者協議会で駅前駐輪場の管理を行いました。

- (1) 主な支出 なし

款	項目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績	
7		土木費	574,777,006		
	1	土木管理費	41,839,740		
	1	土木総務費	41,839,740		
				決算事項別明細書	P49～
<b>未登記物件の処理・赤線の有効活用(土地対策担当)</b>				予算事業名：登記事務費	
		当初予算額	272,000円	最終予算額	272,000円
				決算額	10,926円
町の事業により買収した用地等について、登記を行いました。					
(1) 主な支出					
・関連事務費等 1万円					
(2) 活動指標					
・関連書籍の購入等					
事業関連に伴い嘱託登記を行い、適正事務に務めました。					
<b>高速交通網の推進(地域整備グループ)</b>				予算事業名：高速道新幹線対策費	
		当初予算額	115,000円	最終予算額	115,000円
				決算額	86,100円
上信越自動車道飯山上越間の早期4車線化、北陸新幹線長野以北の整備促進などを図るため、各期成同盟会で要望活動等を行いました。					
(1) 主な支出					
・北陸新幹線長野県沿線市町村連絡協議会負担金 1万円					
・中部日本横断自動車道建設促進期成同盟会会費 1万円					
・上信越自動車道須坂・上越間建設促進期成同盟会負担金 4万円					
(2) 活動指標					
・上信越自動車道建設促進期成同盟会定期総会					
5月23日開催 東京都「グランドプリンスホテル赤坂」下記項目について決議					
1 平成20年度予算の大幅確保により、豊田飯山IC～信濃町IC間4車線化工事の建設促進を図ること					
2 豪雪地域の輸送の確保と安全走行の環境整備策を考慮し、信濃町IC～上越JCT間の4車線化整備計画の早期決定を図ること					
・上信越自動車道須坂・上越間建設促進期成同盟会定期総会					
7月9日開催 黒姫ライジングホテル下記項目について決議					
1 平成20年度予算の大幅確保により、豊田飯山IC～信濃町IC間4車線化工事の建設促進を図ること					
2 豪雪地域の輸送の確保と安全走行の環境整備策を考慮し、信濃町IC～上越JCT間の4車線化整備計画の早期決定を図ること					
・北陸新幹線長野県沿線広域市町村連絡協議会定期総会					
5月18日開催 長野市「サンパルテ山王」					
下記項目について決議					
1 長野・白山車両基地間の建設を促進し、工期の短縮を図ること					
2 金沢・敦賀間については、工事実施計画を一括認可し、フル規格での早期整備を図ること					
3 平成20年度予算を大幅確保し、建設促進を図ること					
4 建設費の地域負担に対し適切な財源措置を講じること					
5 将来の運行ダイヤに支障がないよう大宮～東京間の改善を図ること					
6 並行在来線の健全な経営の確保が図られるよう適切な財源措置を講じること					
7 JRから譲渡される鉄道資産の価格設定については、JRの簿価ではなく、収益性に基づいた価格設定がされるようルール化されること					
・中部日本横断自動車道建設促進期成同盟会通常総会					
11月12日開催 東京都「砂防会館別館シェーンバッハ・サボー」					

上記決議項目について、関係機関に働きかけ、早期実現を図っていきます。

**ETC専用インターチェンジの環境整備(地域整備グループ)** 予算事業名： ETC専用インターチェンジ事業費  
 当初予算額 1,170,000 円 最終予算額 1,170,000 円 決算額 142,209 円

平成18年10月にスマートIC（ETC専用インター）が本格導入され、利用は順調に伸びています。引き続き利用促進を図るため、関係機関と調整を図りました。

(1) 主な支出

- ・関連事務費等 14 万円

(2) 活動指標

- ・10月18日 小布施スマートIC地区協議会の開催
- ・国道道の標識案内設置のため管理機関と調整
- ・県道交差点工事を県の直轄事業で実施（平成19年度～平成20年度）

(3) 活動指標の推移

利用台数（平成17年4月開所）

	平成18年3月	平成19年3月	平成20年3月
日平均利用台数	916	1,285	1,521
利用台数累計	236,075	658,300	1,239,585

11月18日（日）には累計利用台数が100万台を突破し、利用実績は順調に伸びています。県事業として利用車の利便性を図るため周辺整備を行いました。（交差点工事等）

**職員人件費** 予算事業名：一般職人件費  
 当初予算額 46,773,000 円 最終予算額 42,486,000 円 決算額 41,600,505 円

(1) 主な支出

- 職員人件費 4,160 万円

2	道路橋梁費	73,545,518	決算事項別明細書 P50～
1	道路橋梁総務費	211,955	

**国・県道の整備促進(建設水道グループ)** 予算事業名：道路橋梁総務費  
 当初予算額 3,910,000 円 最終予算額 3,910,000 円 決算額 211,955 円

国・県道の整備促進のため、関係自治体と期成同盟会を構成し、各種行事や要望活動に参加しました。

(1) 主な支出

- ・国道403号(中野千曲間)整備促進期成同盟会負担金 1 万円
- ・(主)豊野南志賀公園線改良促進期成同盟会負担金 1 万円
- ・須高土木振興会負担金 13 万円
- ・村山橋建設促進期成同盟会負担金 2 万円
- ・千曲大橋建設促進期成同盟会負担金 1 万円

(2) 活動指標

- ・須高土木振興会 平成19年7月 長野県議会要望  
 平成19年7月 土木職員研修会  
 平成19年11月 理事者研修会
- ・国道403号(中野千曲間)整備促進期成同盟会他3同盟会  
 年1回の総会、年1回(11月頃)国・県への要望活動

- ・ 国道403号（中野千曲間）整備促進期成同盟会  
中野市～千曲市の4市1町の構成であり、今後も要望を中心に活動
- ・ （主）豊野南志賀公園線改良促進期成同盟会  
長野市～山ノ内町の2市2町1村で構成され、今後も要望を中心に活動
- ・ 村山橋建設促進期成同盟会  
平成16年8月に片側2車線（長野市方面）完成。平成20年に完成予定
- ・ 千曲大橋建設促進期成同盟会  
架橋促進、県道編入のための陳情・請願。平成19年度は道路建設計画を研究
- ・ 須高土木振興会は今後も同規模で継続

2	道路維持費	55,058,259	決算事項別明細書	P50～
---	-------	------------	----------	------

**町道の維持管理(建設水道グループ)** 予算事業名：道路維持管理費・道路補修事業費

当初予算額	4,916,000 円	最終予算額	6,513,000 円	決算額	6,512,319 円
-------	-------------	-------	-------------	-----	-------------

前年度に行った舗装工事、水路改良工事に係る道路台帳の補正を行いました。また、安全で安心して道路が利用できるように草刈り、小修繕を行いました。

(1) 主な支出

・ 道路台帳の補正委託	150 万円
・ 草刈り等の委託	90 万円
・ 土地の借上料	2 万円
・ 街路灯などの電気料	37 万円
・ 道路補修工事	275 万円
・ 道路補修用砕石	69 万円
・ 道路補修用資材	4 万円

(2) 活動指標

- ・ 道路台帳補正 L=3,006.6m
- ・ 補修箇所：中町、山王島、六川、大島地区等  
インターロッキング補修 L=350m 道路陥没 1箇所  
路肩修繕 L=19m ガードレール修繕 L=29.5m
- ・ 道路補修用砕石等の箇所  
山王島共有地、大島共有地、飯田共有地、北部土木振興会  
吉島耕作者組合、大正島耕作組合、台湾島耕作組合

道路法第28条に基づき道路台帳を整備、必要な平面図、調書等を作成し適正な道路管理を行っています。

雪捨場を千曲川右岸小布施橋上流側に確保しました。

道路補修工事は、町道の特に傷みが激しい箇所を優先的に実施しました。

道路補修用砕石及び資材の支給は、地域住民によるよろずぶしん事業として実施しました。

**除雪及び凍結防止剤の散布(建設水道グループ)** 予算事業名：道路除雪費

当初予算額	5,121,000 円	最終予算額	15,273,000 円	決算額	15,202,940 円
-------	-------------	-------	--------------	-----	--------------

通勤・通学路の除雪と凍結防止剤の散布を民間業者に委託して行いました。また、各コミュニティに小型除雪機を貸し出しました。

(1) 主な支出

・ 除雪等機械借上げ	1,255 万円
・ 凍結防止剤	227 万円
・ 小型除雪機保険料	9 万円

(2) 活動指標

- 除雪：通勤通学路を中心に77.0km、歩道4.3km、駐車場16箇所を除雪。4回出動。
- 凍結防止剤：生活幹線道路、路面凍結が著しい路線12.1kmに散布。2,440袋購入。24回出動。
- 小型除雪機配置  
28台  
第1コミュニティ 2台  
第2コミュニティ 4台  
第3コミュニティ 3台  
第4コミュニティ 2台  
第5コミュニティ 2台  
第6コミュニティ 3台  
第7コミュニティ 4台  
第8コミュニティ 3台  
第9コミュニティ 5台

除雪路線以外の町道については、地域住民が地域の除雪を行えるよう小型除雪機を各コミュニティに配置（貸出し）しています。（平成17年度11台、平成18年度17台、計28台を配置）また、凍結防止剤が必要な自治会には、要望に応じて凍結防止剤をお配りし、地域の皆さんに自主的な散布をお願いしました。

**町道の舗装修繕(建設水道グループ)**

予算事業名：道路補修事業費

当初予算額 35,000,000円 最終予算額 33,940,000円 決算額 33,343,000円

幅員5.5m以上の生活幹線道路で、路面の傷みが激しい路線の舗装修繕を行いました。

(1) 主な支出

- 工事請負費 3,325万円

(2) 活動指標

- 修繕工事の実施状況 (単位：万円)

路線名	内容	金額
町内一円舗装修繕(その1)工事	A = 3,706㎡	394
まちづくり交付金事業町道406号線舗装修繕(その1)工事	L = 60.0m A = 584㎡	347
まちづくり交付金事業町道406号線舗装修繕(その2)工事	L = 60.0m A = 611㎡	313
まちづくり交付金事業町道406号線舗装修繕(その3)工事	L = 60.0m A = 577㎡	341
まちづくり交付金事業町道406号線舗装修繕(その4)工事	L = 70.3m A = 526㎡	315
まちづくり交付金事業町道671号線舗装修繕(その1)工事	L = 181.8m A = 858㎡	287
まちづくり交付金事業町道671号線舗装修繕(その2)工事	L = 171.25m A = 1,000㎡	446
町道258号線舗装修繕(その1)工事	L = 182.9m A = 953㎡	354
町道258号線舗装修繕(その2)工事	L = 221.5m A = 1,412㎡	436
町道35・37号線舗装修繕工事	L = 45.0m A = 272㎡	92
計		3,325

※ L：延長、A：面積です。

(3) 活動指標の推移

- 5年間の実施状況 (単位：万円)

年度	箇所数	内容	金額
15	22	L = 2,110.9m A = 16,952㎡	4,094
16	14	L = 1,852.1m A = 14,838㎡	3,118
17	16	L = 1,917.6m A = 13,358㎡	3,721
18	27	L = 2,539.96m A = 19,680.4㎡	7,364
19	10	L = 1,052.75m A = 10,499㎡	3,325

※ L：延長、A：面積です。

3	道路新設改良費	992,840	決算事項別明細書	P50～	
<b>町道の改良工事(建設水道グループ)</b>			予算事業名：道路新設改良事業費		
当初予算額	1,907,000円	最終予算額	3,587,000円	決算額	992,840円

北岡交差点（町道163号線）の改良を行いました。

(1) 主な支出

・測量設計業務委託	27万円
・用地購入	11万円
・電柱移転補償	61万円

(2) 活動指標

・改良事業の実施状況 (単位：万円)

路線名	工種	内 容	金 額
北岡交差点改良工事	土地	A = 18.94㎡	11
電柱移転補償	補償	電柱 1本	61
計			72

※ A：面積です。

(3) 活動指標の推移

・5年間の実施状況 (単位：万円)

年度	箇所数	内 容	金 額
15	5	L = 584m A = 814㎡	1,801
16	3	L = 78.3m	890
17	3	L = 475.3m A = 3,853㎡	391
18	1	L = 10.3m A = 12.3㎡	67
19	1	工事は、平成20年度へ繰越	

※ L：延長、A：面積です。

(4) 成果指標

・町道の状況

年度	実延長 (m)	改良済延長 (m)	改良率 (%)	舗装延長 (m)	舗装率 (%)
15	185,966.1	117,026.7	62.9	163,370.1	87.8
16	185,960.8	119,080.4	64.0	165,685.6	89.1
17	186,458.8	120,702.6	64.7	166,411.4	89.2
18	186,462.6	122,325.6	65.6	167,005.4	89.6
19	187,969.8	124,728.6	66.4	168,794.1	89.8

4	橋梁維持費	11,624,612	決算事項別明細書	P50～	
<b>橋梁の維持管理(建設水道グループ)</b>			予算事業名：橋梁維持管理費		
当初予算額	178,000円	最終予算額	178,000円	決算額	90,362円

橋梁の機能を維持するため、必要な管理を行いました。

(1) 主な支出

・街路灯の電気料	9万円
----------	-----

<b>横断暗渠(地下水路)の修繕(建設水道グループ)</b>			予算事業名：橋梁補修事業費		
当初予算額	8,000,000円	最終予算額	11,539,000円	決算額	11,534,250円

老朽化した横断暗渠（地下水路）の修繕を行いました。



(1) 主な支出

- ・ 橋梁暗渠等修繕工事 1,153 万円

(2) 活動指標

- ・ 橋梁暗渠修繕工事の実施状況 (単位：万円)

路線名	内 容	金 額
町道586号線横断暗渠修繕工事	横断VS500 L=10m	81
町道354号線横断暗渠修繕工事	横断VS400 L=11.2m	63
上荒町橋高欄緊急修繕工事	高欄 L=10m	9
町道550号線横断暗渠修繕工事	横断VS250 L=22m	124
町道671号線横断暗渠修繕（大島）工事	横断VS700 L=4.5m	80
町内一円暗渠修繕（その1）工事	グレーチング 3箇所	66
町道546号線横断暗渠修繕工事	横断VS250 L=13m	93
町道508号線暗渠修繕工事	横断VS300 L=7.4m	38
町道258号線横断暗渠修繕工事	横断VS300 L=6.8m	80
町道519号線横断暗渠修繕工事	横断VS250 L=6m	53
町道671号線横断暗渠修繕（福原）工事	横断VS400 L=6.3m	47
町道534-イ号線横断暗渠修繕工事	横断VS300 L=7.8m	58
下松川橋伸縮装置取替工事	伸縮装置 L=6.7m	262
町道512号線横断暗渠修繕工事	横断VS300 L=10m	52
町内一円暗渠修繕（その2）工事	甲蓋 25枚 グレーチング 3枚	19
雁田暗渠修繕工事	VS400 L=2m グレーチング 3組	28
計		1,153

(3) 活動指標の推移

- ・ 5年間の実施状況 (単位：万円)

年度	箇所数	内 容	金 額
15	15	L=43.8m	533
16	9	L=108.7m	739
17	16	L=174.9m グレーチング等	890
18	10	L=91.8m 地覆修繕 グレーチング等	739
19	16	L=113.7m 高欄修繕 グレーチング 甲蓋等	1,153

5 交通安全対策費 5,657,852 決算事項別明細書 P51～

**交通災害共催の推進（地域整備グループ）** 予算事業名：交通安全対策一般経費

当初予算額 395,000 円 最終予算額 395,000 円 決算額 374,465 円

交通事故に遭ってしまった人を救済するため、北信地域町村交通災害共済への加入促進を行い、取りまとめに協力いただいた各自治会に交付金を支払いました。

(1) 主な支出

- ・ 交通災害共済推進交付金（28自治会） 28 万円
- ・ 交通災害共済業務電算処理委託 10 万円

(2) 活動指標

- ・ 加入人数 9,445人（加入率81.3%）

(3) 活動指標の推移

- ・ 加入者数

	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
加入者数	10,120人	9,920人	9,704人	9,445人
加入率	89.1%	87.0%	82.7%	81.3%

**交通安全の啓発と推進(地域整備グループ)**

予算事業名：交通安全対策一般経費

当初予算額 411,000 円 最終予算額 411,000 円 決算額 347,722 円

町民みんなの願いである「事故のない明るいまちづくり」を呼びかけ、活発な活動を行っている交通安全協会を支援しました。

## (1) 主な支出

- ・町交通安全協会補助金 10 万円
- ・諸行事街頭警備委託 10 万円

## (2) 活動指標

- ・年末年始等、年4回の交通安全運動に合わせた啓発活動
- ・町交通安全協会 会員数：2,919世帯  
活動状況：毎月5のつく日（5日、15日、25日）における全町一斉街頭啓発  
年間延出役者数：約1,800人 街頭啓発箇所数：29箇所 年間日数：32日
- ・高齢者または子どもへの交通安全啓発等の交通安全協会活動
- ・町主催行事等での交通安全警戒活動 4行事（安市、くりんこ祭り、ロードレース大会、小布施見にマラソン、元旦歩き走り初め会）延べ46人出動

## (3) 成果指標

- ・町内交通事故発生件数

- ・町内交通事故発生件数の推移 (単位：件)

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
発生件数	59	51	55	55	59
死亡事故件数	0	0	1	2	0

- ・シートベルト着用率（7月調査）の推移 (単位：%)

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
総合着用率	85.4	85.6	92.9	89.7	97.7
県下平均	87.9	91.0	93.7	95.5	96.1
順位	90位/118市町村	109位/117市町村	66位/102市町村	76位/81市町村	23位/81市町村

- ・町交通安全協会会員数の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
会員数（世帯）	2,898	2,860	3,028	2,987	2,919

**安全な交通環境の維持と交通事故防止(地域整備グループ)**

予算事業名：交通安全施設設置費

当初予算額 4,881,000 円 最終予算額 4,881,000 円 決算額 4,814,250 円

道路反射鏡などの交通安全施設の設置や修繕など維持管理を行い、安全に通行できる環境を整えました。

## (1) 主な支出

- ・反射鏡等の設置・修繕 481 万円

## (2) 活動指標

- ・反射鏡等設置 13箇所
- ・デリネータ等修繕 2箇所

(3) 活動指標の推移

- 交通安全施設の設置、修繕の状況

(単位：箇所)

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
反射鏡等設置	17	12	24	13	13
デリネータ等の修繕	1	2	4	2	2

自治会からの設置要望箇所、老朽化の著しい箇所を中心に設置し、交差点等の見通しを改善するなど、交通事故防止を図りました。

**違法駐車に対する指導(地域整備グループ)**

予算事業名：違法駐車指導事業費

当初予算額 164,000 円 最終予算額 164,000 円 決算額 121,415 円

行楽期に、北斎館周辺に駐車指導員を配置し、違法駐車指導や駐車場の案内をすることで、より安全に通行できる環境にしました。また、観光案内としての役割も担いました。

(1) 主な支出

- 駐車指導員の謝礼 12 万円

(2) 活動指標

- 駐車指導員数 9名
- ゴールデンウィーク 5日実施 延べ18人出動 駐車指導件数：0件
- 秋の観光シーズン中 6日実施 延べ16人出動 駐車指導件数：0件

(3) 活動指標の推移

- 違法駐車指導の状況

(単位：件数)

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
駐車指導件数	14	18	3	1	0

駐車場が整備され違法駐車は減ってきており、駐車指導員の活動内容は駐車場の案内、観光案内が主業務となってきています。

3	河川費	45,060,898
1	河川総務費	516,750

決算事項別明細書 P51～

**河川の整備促進(建設水道グループ)**

予算事業名：河川総務費

当初予算額 663,000 円 最終予算額 663,000 円 決算額 516,750 円

国・県が管理する一級河川の整備を促進するため、関係自治体と期成同盟会を構成し、各種行事や要望活動に参加しました。

(1) 主な支出

- 浅川改修期成同盟会負担金 1 万円
- 千曲川改修期成同盟会負担金 14 万円
- 篠井川改修促進期成同盟会負担金 5 万円
- 須高地区治水砂防事業促進期成同盟会負担金 22 万円

(2) 活動指標

- 浅川改修期成同盟会  
平成19年5月 総会 長野県へ要望活動
- 千曲川改修期成同盟会  
平成19年7月 総会 北陸地方整備局へ要望活動  
平成19年7月 国土交通省、財務省、国会議員へ要望活動  
平成19年10月 長野県意見交換会へ参加
- 篠井川改修促進期成同盟会  
平成19年6月 千曲川河川事務所へ要望活動

平成19年6月 北陸地方整備局へ要望活動  
 平成19年6月 国土交通省、財務省、国会議員へ要望活動  
 平成19年7月 総会  
 ・須高地区治水砂防事業促進期成同盟会  
 平成19年6月 全国治水大会へ参加  
 平成19年7月 総会  
 平成19年11月 全国大会に併せ国会議員へ要望活動

- ・浅川改修期成同盟会  
改修計画が再び動きだしており、未改修箇所の整備促進、内水対策ができるよう要望しています。
- ・千曲川改修期成同盟会  
百々川樋門改修事業について、平成20年3月竣工しました。
- ・篠井川改修促進期成同盟会  
ポンプの増設については、継続して要望しています。
- ・須高地区治水砂防事業促進期成同盟会  
深沢川、松川の河川改修を要望しています。

2	河川水路維持費	3,536,776	決算事項別明細書	P51～
<b>河川の維持管理(建設水道グループ)</b>			予算事業名：河川維持管理費	
当初予算額	668,000円	最終予算額	668,000円	決算額
				406,907円

県が管理する一級河川深沢川の愛護活動を行っている団体に対し、助成を行いました。

- (1) 主な支出
- ・深沢川維持管理組合交付金 15万円
- (2) 活動指標
- ・深沢川維持管理組合  
7月8日 藻払い及び草刈り 250人出労

地域住民の皆さんのご協力により良好な河川環境が維持されています。

<b>水路の維持管理(建設水道グループ)</b>			予算事業名：水路維持管理費	
当初予算額	2,303,000円	最終予算額	2,578,000円	決算額
				2,504,741円

水路の機能を維持するため必要な管理を行いました。

- (1) 主な支出
- ・清掃業務の委託 133万円
  - ・土砂等除去機械の借上げ 19万円
  - ・水路の修繕 96万円
- (2) 活動指標
- ・飯田横断暗渠、伊勢町暗渠、中町暗渠、北部東西線横断暗渠、大島大排水路、北岡水路、逢瀬調整池、雁田横断暗渠、雁田水路、横町暗渠、二ノ口水門等の清掃
  - ・松川水門ピット、横町水路の土砂撤去
  - ・中央水路、大島水路、横町水路、千両水路、松の実水路、栗が丘水路、東町水路等の修繕

**水路の改良と蓋かけ(建設水道グループ)** 予算事業名：水路維持管理費  
 当初予算額 672,000 円 最終予算額 672,000 円 決算額 625,128 円

よろずぶしん事業で自治会の皆さんに水路の蓋かけにご協力いただきました。

(1) 主な支出

- ・ よろずぶしん事業資材購入 62 万円

(2) 活動指標

- ・ 六川自治会、飯田自治会、松の実自治会、中央自治会によろずぶしん資材を提供しました。

**3 水路新設改良費 38,658,585** 決算事項別明細書 P51～

**水路の改良と蓋かけ(建設水道グループ)** 予算事業名：水路新設改良事業費  
 当初予算額 52,619,000 円 最終予算額 52,619,000 円 決算額 35,130,585 円

緊急度・優先度に応じて、町内の水路の改良と蓋かけ工事を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 測量設計委託 21 万円
- ・ 工事請負費 3,304 万円
- ・ 立木等補償費 172 万円

(2) 活動指標

- ・ 水路改良工事の実施状況 (単位：万円)

路線名	工種	内容	金額
大島水路	改良	VS300布設 L = 36.3m	96
中条水路	改良	VS400布設 L = 143.2m	338
松村水路	改良	VS300布設 L = 165.2m	459
福原水路	改良	VS300布設 L = 63.2m	262
矢島水路	改良	甲蓋設置工 L = 131.5m	165
赤川	改良	法面ブロック張工 L = 69.16m	1,984
計			3,304

(3) 活動指標の推移

- ・ 5年間の実施状況 (単位：万円)

年度	箇所数	内容	金額
15	16	L=1,069.5m	2,369
16	11	L=688.1m	2,070
17	12	L=966.7m	2,326
18	14	L=649.6m	1,458
19	6	L=608.56m	3,304

**水路の改良と蓋かけ(建設水道グループ)(繰越分)** 予算事業名：水路新設改良事業費(明許繰越)  
 当初予算額 0 円 最終予算額 3,600,000 円 決算額 3,528,000 円

水路の改良工事を平成18年度から繰越して実施しました。

(1) 主な支出

- ・ 工事請負費 352 万円

(2) 活動指標

- 水路改良工事の実施状況

(単位：万円)

路線名	工種	内容	金額
雁田水路	改良	VS300布設 L = 66m VS400布設 L = 58m	352
計			352

4	河川公園費	2,348,787	決算事項別明細書 P52～
---	-------	-----------	---------------

**千曲川河川公園の維持管理(地域整備グループ)** 予算事業名：河川公園管理費

当初予算額 3,220,000 円 最終予算額 3,220,000 円 決算額 2,348,787 円

全長4km、600本余の八重桜「一葉」の桜堤と、広大な菜の花畑の千曲川河川公園を良好な状態で利用していただけるよう維持管理を行いました。

(1) 主な支出

- ・菜種代(景観用菜種) 8万円
- ・仮設トイレ借上げ(9基) 13万円
- ・千曲川右岸堤防除草業務委託 139万円
- ・千曲川河川公園維持管理委託(山王島黄金島の会) 10万円
- ・千曲川桜堤ライトアップ委託 21万円

(2) 活動指標

- ・菜の花畑の拡大と地域住民で組織する「山王島黄金島の会」による委託管理
- ・千曲川河川公園の緑の管理人等による良好な維持管理
- ・4月下旬から5月上旬にかけて桜堤の一部をライトアップ

菜の花畑は地域住民で組織する「山王島黄金島の会」で管理を行っており、地域の公園という意識が定着してきています。

毎年4月29日に開催される地域住民による「千曲川ふれあい公園まつり」の期間にあわせ夜桜も楽しんでもらうため桜堤のライトアップを実施しました。また、地域住民により管理された菜の花畑には町民はもちろん、町外からも多くの方々が訪れています。

4	都市計画費	367,363,981	決算事項別明細書 P52～
1	都市計画総務費	111,410	決算事項別明細書 P52～

**良好な都市景観・都市計画の推進(地域整備グループ)** 予算事業名：都市計画総務費

当初予算額 297,000 円 最終予算額 297,000 円 決算額 111,410 円

市街化調整区域内での一部開発行為の緩和をしていますが、景観に配慮した秩序ある土地利用の推進を図るとともに、市街化区域との均衡を図りながら施策の推進をしました。

(1) 主な支出

- ・都市計画協会会費 3万円
- ・全国街路事業促進協議会・長野県街路事業促進協議会負担金 1万円
- ・県都市施設協会会費及び負担金 2万円

(2) 活動指標

- ・都市計画協会等では、市町村担当者及び関係機関の職員を対象とした研修会の開催や情報の提供を行い、秩序正しい都市計画の推進を図っています。

市街化を促進する「市街化区域」、良好な景観(農村風景など)を保全するため市街化を抑制する「市街化調整区域」の均衡ある土地利用(開発指導)を進めています。

<b>2</b>	<b>駐車場整備費</b>	<b>86,651,483</b>	<b>決算事項別明細書</b>	<b>P52～</b>
<b>森の駐車場整備(地域整備グループ)</b>			予算事業名：森の駐車場整備事業費	
当初予算額		100,000,000円	最終予算額	107,651,000円
			決算額	75,646,483円
<p>単なる駐車場でなく、交流の拠点となり、住民の憩いの場となる駐車場として、「森」のイメージを持つ景観に配慮した駐車場整備を実施しました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設計監理業務委託料 68万円</li> <li>・駐車場整備工事 3,127万円</li> <li>・駐車場用地購入 4,329万円 (3,199万円は翌年度へ繰り越し)</li> </ul> <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理棟、駐車場本体、電気設備等工事</li> <li>・土地開発公社用地買戻し 787.05㎡ (公社代行買収 1,605.74㎡の内)</li> </ul>				
<b>森の駐車場の整備(繰越分)(地域整備グループ)</b>			予算事業名：森の駐車場整備事業費(明許繰越)	
当初予算額		0円	最終予算額	11,005,000円
			決算額	11,005,000円
<p>森の駐車場整備のため、購入した用地の繰越分について、区画整理組合の換地終了後に支払いを行いました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場用地購入 2件 1,100万円</li> </ul> <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用地購入 所有権登記完了時支払分(持分割合残支払い分)</li> </ul> <p>事業の推進のため、適切に事務を行いました。</p>				
<b>3</b>	<b>公共下水道費</b>	<b>262,500,000</b>	<b>決算事項別明細書</b>	<b>P52～</b>
<b>下水道事業特別会計への繰出金(建設水道グループ)</b>			予算事業名：公共下水道費	
当初予算額		281,500,000円	最終予算額	283,433,000円
			決算額	262,500,000円
<p>公共下水道事業の運営を行ううえで一般会計で負担するべきものについて繰り出しました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共下水道事業特別会計繰出金 2億6,250万円</li> </ul> <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雨水経費分 1億6,360万円</li> <li>・汚水経費分 9,890万円</li> </ul>				
<b>4</b>	<b>公園費</b>	<b>18,101,088</b>	<b>決算事項別明細書</b>	<b>P52～</b>
<b>冒険の森など街区公園の維持管理(地域整備グループ)</b>			予算事業名：都市公園管理費	
当初予算額		1,194,000円	最終予算額	1,194,000円
			決算額	1,063,600円
<p>地域住民の憩いの場として整備された都市公園(街区公園)の冒険の森、逢瀬公園や福原公園などを良好な状態で利用できるよう維持管理を行いました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・光熱水費 10万円</li> <li>・街区公園遊具等修繕 28万円</li> <li>・街区公園草取り・トイレ清掃委託(シルバー人材センター) 7万円</li> <li>・岩松院ふるさとゾーン清掃・除草委託 24万円</li> </ul>				

・公園用地借上料 23 万円

(2) 活動指標

・街区公園の維持管理（冒険の森公園、逢瀬公園、小布施児童公園、福原公園、大日堂公園、岩松院公園 等）  
街区公園内の草取り及びトイレ掃除等により、利用しやすい管理に努めました。

**小布施総合公園の維持管理(地域整備グループ)** 予算事業名：総合公園管理費・総合公園整備事業費  
当初予算額 23,117,000 円 最終予算額 23,117,000 円 決算額 17,037,488 円

町民及び来訪者の憩いの場として多くの方々にご利用いただいている小布施総合公園の除草等、維持管理を行いました。

(1) 主な支出

・緑の管理人賃金（7人）	594 万円
・光熱水費	238 万円
・公園内施設及び管理用機材修繕	331 万円
・小布施総合公園ポンプ整備点検委託料	210 万円
・小布施総合公園草取り・トイレ清掃委託（シルバー人材センター）	33 万円
・ハイウェイオアシス管理委託（東日本高速道路㈱）	45 万円
・土地借上料（デイキャンプ場）	33 万円
・都市緑化技術開発機構賛助会員会費	3 万円
・全国ハイウェイオアシス推進協議会負担金	1 万円

(2) 活動指標

・小布施総合公園の維持管理  
・公園内施設の業者委託及び修繕  
・総合公園一般駐車場への車止設置

(3) 活動指標の推移

・公園施設利用状況

施設区分	単位	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
野外ステージ（有償利用）	件	2	6	6	4
マレットゴルフ場	人	3,827	6,166	8,826	4,321
（うち有償利用者）	人	931	1,132	3,840	1,148
パターゴルフ場	人	211	256	84	-

5 まちづくり費 46,520,525

1 まちづくり総務費 4,496,436

決算事項別明細書 P53～

**雨水貯留タンクの設置に対する助成(地域整備グループ)**

予算事業名：まちづくり総務費

当初予算額 100,000 円 最終予算額 100,000 円 決算額 60,000 円

水資源の保全や水路の氾濫防止を図りながら快適な住環境を創造することを目的に、雨水貯留タンクの設置費用の一部を助成しました。

(1) 主な支出

・雨水貯留タンク設置助成金 6 万円

(2) 活動指標

・助成件数 3件

助成対象

次のすべてに該当するもの

- ・住宅用地（事業用地）内に設置するもの
- ・貯留量が150リットル以上で、雨どいに接続されているもの



- ・雨水貯留以外の目的に使用しないこと

助成額

雨水貯留タンク購入に要する経費の1/2以内で限度額2万円  
ただし、1戸（事業所）につき1回。

(3) 活動指標の推移

- ・助成実績

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
助成件数	7件	4件	5件	3件	3件
助成金額	12.6万円	5.3万円	10万円	4.1万円	6万円

**まちづくりデザイン委員会活動(地域整備グループ)**

予算事業名：まちづくり総務費

当初予算額 973,000 円 最終予算額 973,000 円 決算額 170,814 円

条例に基づき、まちづくりデザイン委員会の機能を充実させる中で良好な景観づくりを推進するために委員会を開催しました。

(1) 主な支出

- ・委員報酬 4万円
- ・特別委員謝礼 12万円
- ・その他経費 2万円

(2) 活動指標

- ・まちづくりデザイン委員会開催 平成19年8月24日開催

認定建築物及び景観基準等について意見を聞き、今後の施策の推進方策を決定しました。

**まちづくり講演会の開催(地域整備グループ)**

予算事業名：まちづくり総務費

当初予算額 1,417,000 円 最終予算額 1,184,000 円 決算額 1,180,000 円

「わたしのすきなふるさとのけしき絵画コンクール」への参加や、地域での講習会として有識者を招いてのシンポジウムを共催で開催しました。

(1) 主な支出

- ・嘱託職員報酬 84万円
- ・講師謝礼 34万円
- ・絵画コンクール景品 0.2万円

(2) 活動指標

- ・「わたしのすきなふるさとのけしき絵画コンクール」への参加
- ・まちづくりシンポジウムの共催（まちづくり研究所との共催）
- ・嘱託職員 1名

景観への取り組みは、これからの小布施町を支えていく子どもたちの段階から必要です。絵画コンクールを通して、自分たちの住む町を再認識することにより景観教育へとつながり、また、保護者も共に景観について関心を持つことが期待されます。

東京理科大学・小布施町まちづくり研究所と共催で実施したまちづくりシンポジウムでは、地域の団体等との連携を図り、景観についてのまちづくりの認識を深めました。

**景観に配慮した建築物などへの助成(地域整備グループ)**

予算事業名：まちづくり総務費

当初予算額 720,000 円 最終予算額 470,000 円 決算額 205,900 円

町で進める景観形成に協力（配慮）していると認められる建物の新築や、生け垣の設置に対して、助成金を交付しました。

## (1) 主な支出

- ・まちづくり事業補助金 21 万円

## (2) 活動指標

- ・住宅・店舗等の新築 2件
- ・生け垣の設置 1件
- ・広告物の撤去・改修 0件

## (3) 活動指標の推移

- ・助成金実績

助成区分		平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
住宅、店舗等の 新築・増改築	件	4	3	2	2	2
	万円	35	30	20	20	20
広告物の撤 去・改修	件	0	0	0	0	0
	万円	0	0	0	0	0
生け垣の設置	件	2	3	1	0	1
	万円	10	18	5	0	1
沿道景観	件	0	0	0	1	—
	万円	0	0	0	20	—

**住まいづくり相談の実施(地域整備グループ)**

予算事業名：まちづくり総務費

当初予算額 266,000 円 最終予算額 466,000 円 決算額 453,442 円

景観形成に配慮した住まいづくりを進めるため、住宅の新築・増改築等の相談を受ける「住まいづくり相談所」を引き続き開設しました。また、インターネット等による相談も受け付けています。

## (1) 主な支出

- ・住まいづくり相談員謝礼（2人分） 17 万円
- ・政策顧問活動謝礼 29 万円

## (2) 活動指標

- ・住まいづくり相談所開設 毎月第3水曜日 午後2時～4時  
 住まいづくり相談員：宮本忠長、久保田三代  
 相談内容：住宅の新・増改築に関する事（間取り、下水の接続、段差解消 など）。広告物に関する事（色彩、設置箇所 など）。まちづくり助成金に関する事等
- ・インターネット、FAXによる相談受け付け（相談件数：なし）

## (3) 活動指標の推移

- ・相談件数

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
相談件数	14件	16件	12件	38件	24件

住まいづくり相談は、平成元年度より実施しており、建物の形態や配置など、景観づくりの指針「住まいづくりマニュアル」で定める基準に沿ったものに近づくなど、一定の成果が得られています。また、住まいづくり相談以外でも、開発許可申請や建築確認申請などに際して指導を実施しています。

**小布施地域型住宅地整備事業の推進(地域整備グループ)** 予算事業名：まちづくり総務費

当初予算額 0 円 最終予算額 1,337,000 円 決算額 1,335,455 円

小布施らしい景観・住環境を創造する思いを、地元工務店、住宅メーカー、建築主が協力し、住む人たちが「住んで良かった」「誇りに思う」住環境を創り出す事業を行っています。

(1) 主な支出

- ・起訴代理委任契約に基づく弁護士報酬 105 万円

(2) 活動指標

- ・小布施地域型住宅地整備事業に関する基本協定の変更締結
- ・「小布施地域型住宅地整備事業基本計画」策定業務委託契約（繰越明許）
- ・展示パネル製作（基本プラン用）

事業を変更して在来工法及びハウスメーカーが協力し、景観に対する理解を求める事業推進を行いました。

参加事業者が作成した基本プランを景観に広く理解を求めるため展示用として作成しました。

**優良景観建築物等の認定(地域整備グループ)** 予算事業名：景観事業費

当初予算額 186,000 円 最終予算額 186,000 円 決算額 90,825 円

「小布施町うるおいのある美しいまちづくり条例」により、総合的に景観に優れている建物等を「景観優良建築物等」として認定を行いました。

(1) 主な支出

- ・認定証等 9 万円

(2) 活動指標

- ・平成19年度 建築部門：第1回優良な景観建築物等の認定 3件

(3) 活動指標の推移

・地域の自然、歴史、文化等からみて、当該建築物等の外観が景観上の特徴を有し、かつ、地域の良好な景観の形成に資するものと町長が認めるものを「優良な景観建築物等」として認定（条例28条）を行い、良好な景観づくりに努めました。

※参考 条例改正以前の表彰実績

- 平成14年度 建築部門：小布施景観賞 1件、小布施景観奨励賞 該当なし  
 広告物部門：小布施景観賞・小布施景観奨励賞ともに該当なし  
 生け垣・緑化部門：小布施景観賞 1件、小布施景観奨励賞 1件
- 平成15年度 建築部門：小布施景観賞 2件、小布施景観奨励賞 1件  
 広告物部門：小布施景観賞・小布施景観奨励賞ともに該当なし  
 生け垣・緑化部門：小布施景観賞 該当なし、小布施景観奨励賞 2件
- 平成16年度 建築部門：小布施景観賞 該当なし、小布施景観奨励賞 2件  
 広告物部門：小布施景観賞 1件、小布施景観奨励賞 該当なし  
 生け垣・緑化部門：小布施景観賞・小布施景観奨励賞ともに該当なし
- 平成17年度 表彰なし

**小布施景観モデル住宅基本計画の策定(繰越分)(地域整備グループ)**

予算事業名：まちづくり総務費(明許繰越)

当初予算額 0 円 最終予算額 1,000,000 円 決算額 1,000,000 円

事業の見直しにより、事業のコーディネート及び事業計画の策定の委託を行いました。

## (1) 主な支出

- ・コーディネート及び策定委託料 100 万円

## (2) 活動指標

- ・「住まい・まちなみ事業」として、事業全体のコーディネート及び事業計画の策定を委託しました。

**2 | まちづくり事業費 | 12,415,965 |****決算事項別明細書 P53~****栗の木歩道の維持管理(地域整備グループ)**

予算事業名：栗木歩道維持管理費

当初予算額 592,000 円 最終予算額 592,000 円 決算額 137,340 円

町のシンボルでもある「栗木歩道」を安心・安全に利用できるよう、冬期間に滑り止めマットを敷くとともに、凍結防止剤の散布を定期的に行いました。

## (1) 主な支出

- ・栗木歩道修繕等 14 万円

## (2) 活動指標

- ・滑り止め用マット設置箇所 栗の小径・駅前通り南側歩道
- ・凍結防止剤の散布 平均週2回
- ・修繕箇所(国道403号周辺、大日通り等、栗の小径看板サイン)

滑り止めマットの設置や凍結防止剤の散布、また、老朽化した栗木歩道の張替修理により、歩行者の安全(転倒防止)が図られています。

**沿道花壇の管理(地域整備グループ)**

予算事業名：沿道花壇維持管理費

当初予算額 10,308,000 円 最終予算額 10,308,000 円 決算額 8,778,625 円

町民や来訪者、道路利用者に潤いと安らぎの空間を提供するため、主要道路の沿道に花壇を設け、良好な花壇の維持管理を行いました。また、町内のボランティア団体が行う沿道花壇整備に対し花苗を提供するとともに、街路町組松村線花壇の管理を昨年に引き続き「花壇の里親」により実施し、町民と協働による管理を行いました。

## (1) 主な支出

- ・花壇用花苗及び資材等 488 万円
- ・国道403号及び県道村山小布施停車場線沿道花壇維持管理委託 389 万円

## (2) 活動指標

- ・沿道花壇ボランティア団体(13団体)への花苗の提供
- ・フラワーハンギングバスケットの設置：駅前~町中・4月下旬~5月上旬
- ・県道村山小布施停車場線花壇の業者委託：591㎡
- ・国道403号花壇の業者委託：1,110㎡
- ・沿道花壇への宿根草の導入
- ・街路町組松村線花壇の「花壇の里親」との協働による維持管理：区画花壇45カ所(6団体)

沿道花壇及び街路町組松村線花壇はボランティアグループ、「花壇の里親」との協働による管理を行うことにより、花づくりに対する更なる意識の高揚が図られました。

- ※ 沿道花壇業者委託料の推移（参考）
- 平成15年度 5,775,000円（3工区）
- 平成16年度 5,754,000円（3工区）
- 平成17年度 4,200,000円（2工区）
- 平成18年度 4,030,000円（2工区）
- 平成19年度 3,885,000円（2工区）

### 東京理科大学・小布施町まちづくり研究所の活動支援(地域整備グループ)

予算事業名：官学協働のまちづくり事業費

当初予算額 3,500,000円 最終予算額 3,500,000円 決算額 3,500,000円

第2ステージに向けたまちづくり・景観整備を進めるため、地域の特性を生かした景観の研究に優れた実績を持つ東京理科大学と協働による「東京理科大学・小布施町まちづくり研究所」による研究を昨年度に引き続き実施しました。

#### (1) 主な支出

- ・東京理科大学・小布施町まちづくり研究所共同研究委託料 350万円

#### (2) 活動指標

- ・平成19年8月23日に栗ガ丘小学校児童と「瓦灯をつくろう！」ワークショップの開催

3年生全クラス100人余参加

11月10日シンポジウムに瓦灯の灯火

- ・平成19年11月10日：シンポジウム開催 15グループ参加

展示・研究報告・シンポジウム 「小布施まちづくりの第2ステージへ」  
「身近な場所からの景観づくり～住宅・道空間を中心に」

##### 第1部 研究報告

- ・「地瓦」「日本のあかり」「景観条例」「海外の小さな町」「近代蚕室と小布施」  
「道空間などのテーマ」

##### 第2部 シンポジウム「おらほは、こうしたい。それは、いいね。」

- ・小布施の15の住民グループが交流 ～住民が主役：連携と協働が新しい小布施ブランドを創る。

パネラー 片岡 寛 氏（諏訪東京理科大学学長）、中島 聞多 氏（信州大学教授）  
市村 良三（小布施町長）

進行役 川向 正人 氏（まちづくり研究所長）

- ・地瓦の研究

地域性の強い地瓦に着目して製造場所・材料・技術などを明らかにする。

- ・日本のあかりの研究

灯あかりが空間にもたらす効果・良さを探る。「日本のあかり博物館」と連携して伝統的な照明器具を研究する。

- ・景観条例の研究

北斎館オープンから町の条例が改正されるまでの経緯を探り、景観づくりに現れた課題について考察する。

- ・近代化に伴う酒造空間の複合化

小布施町の4軒の造り酒屋について、実測と聞き取り調査をもとに、伝統的な酒造空間が近代化によって迎った変化を明らかにする。

- ・その他研究

近代蚕室と小布施  
輝く小さな町～海外との比較研究～  
森の駐車場

小布施町における地域特有の素材の研究及び小学校との協働によるワークショップにより、子どもたちを交えた研究をすることにより、あらためて小布施町の建築物の歴史的な部分の掘り起こしができ、研究データの蓄積により、今後のまちづくりの推進に寄与することができる。

3	安らぎと交流の空間整備事業費	29,608,124	決算事項別明細書	P53～
---	----------------	------------	----------	------

<b>無電線化の調査・研究(地域整備グループ)</b>		予算事業名：無電線化推進事業費			
当初予算額	92,000 円	最終予算額	92,000 円	決算額	19,800 円

電柱・電線についての無電線化の調査・研究をしました。

- (1) 主な支出
- ・旅費 2 万円
- (2) 活動指標
- ・近隣の無電線化の調査
  - ・問題点と課題の検討（歩道拡幅、片側電柱の検討等）

<b>里道の整備(土地対策担当)</b>		予算事業名：小径整備事業費			
当初予算額	2,840,000 円	最終予算額	2,840,000 円	決算額	566,943 円

町内外周部の農村風景や、地域の魅力をゆっくり味わい散策できる小路となるよう愛称を付け整備を図りました。

- (1) 主な支出
- ・標柱デザインサイン看板作成料 24 万円
  - ・小路整備工事 18 万円
- (2) 活動指標
- ・馬場先中通（雁田・L=289m）、まちなか小路（中条・L=280m）
  - ・標柱設置 8箇所

景観に配慮した小路整備が実施され、今後、地域住民による農産物の直売など交流の場として期待されます。

<b>サイクルツアー施設の整備・事業の推進(地域整備グループ)</b>		予算事業名：サイクルツアー推進事業費			
当初予算額	29,564,000 円	最終予算額	29,564,000 円	決算額	29,021,381 円

手軽な移動手段である自転車を活用し、サイクリングを楽しみながら、町の魅力を堪能してもらおうツーリズム（サイクルツアー）の普及を図るため、イベントの開催やルートの整備を行いました。

- (1) 主な支出
- ・せせらぎ緑道舗装工事（まちづくり交付金事業） 2,865 万円
- (2) 活動指標
- ※ 小布施町は、平成16年に国土交通省から「長野県千曲川地区」としてサイクルツアー推進モデル地区に指定されました。
  - ・サイクルイベント 11月17日 参加者：20名
  - ・サイクルツアーコース（緑道）整備舗装の実施（乗光寺～岩松院） 延長663.7m、平均幅員4.25m

環境に優しく、また、手軽な移動手段として注目されている自転車を活用し、サイクルツアー（自転車を利用した新たなツーリズムの普及）を推進し、町外周部を周遊するルートの確立、整備により、誰もが楽しめる憩いの空間整備が図られるとともに、町内の移動手段としての自転車の普及により環境浄化への波及効果が期待されます。

6 住宅費 446,344

1 住宅管理費 446,344

決算事項別明細書 P54～

**町営住宅の維持管理(地域整備グループ)**

予算事業名：町営住宅管理費

当初予算額 538,000 円 最終予算額 538,000 円 決算額 446,344 円

修繕など町営住宅の維持に必要な管理を行いました。

(1) 主な支出

- ・火災保険料 31 万円
- ・住宅の修繕 10 万円

(2) 活動指標

- ・適切な管理を管理組合と協力して実施しました。

(3) 成果指標

- ・町営住宅管理状況（平成19年度末）  
木造14棟 50戸（全戸入居）

- ・町営住宅の家賃収納状況 (単位：万円)

	調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	徴収率 (%)
住宅使用料（現年度分）	1,796	1,667		129	92.8
住宅使用料（過年度分）	144	45		99	31.3
計	1,940	1,712	0	228	88.2

- ・町営住宅駐車場使用料収納状況 (単位：万円)

	調 定 額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	徴収率 (%)
駐車場使用料（現年度分）	137	125		12	91.2
駐車場使用料（過年度分）	17	6		11	35.3
計	154	131	0	23	85.1

款	項	目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績	
8			消防費	190,655,604		
	1		消防費	190,655,604		
		1	常備消防費	158,155,000	決算事項別明細書	P54～
<b>須坂市消防署小布施分署の運営(総務グループ)</b> 予算事業名：消防分署運営費						
当初予算額 156,708,000円 最終予算額 158,155,000円 決算額 158,155,000円						
消防組織法に基づいて町に設置される常備消防（消防本部）業務・救急業務を須坂市に委託して運営しました。						
(1) 主な支出						
・消防業務の委託 1億5,816万円						
主な内容						
人件費 1億3,650万円						
運営事業費 866万円						
通信指令台・通信備品 714万円						
公債費 586万円						
(2) 活動指標						
・小布施分署 6人/3交代制（計18人）						
①火災出動						
		出動件数	住宅火災件数	損害見積額		
		6	3	3,835万円		
②救急車出動件数						
		交通	急病	一般負傷	転院ほか	計
件数		35	207	41	74	357
③広報、予防活動						
・家庭の防火診断（伊勢町 158戸）、独居老人家庭の防火診断（全町 163戸）						
・消防ふれあい広場（10/14 第18回 350人来場）						
・保育園、幼稚園巡回指導（11/5 わかば保育園、11/6 つすみ保育園、11/13 栗ガ丘幼稚園）						
・普通救命講習（3回 59人参加）						
・救急講習（7回 130人参加）						
(3) 成果指標						
・火災出動件数						
		平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
小布施管内		8	6	14	3	6
・救急出動件数						
		平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
小布施管内		304	347	364	298	357
2			非常備消防費	26,794,087	決算事項別明細書	P54～
<b>消防団・女性防災クラブの運営(総務グループ)</b> 予算事業名：消防団運営費						
当初予算額 20,136,000円 最終予算額 20,998,000円 決算額 19,456,598円						
<b>女性防災クラブの運営</b>						
地域での火災予防思想の普及徹底を図り、火災の未然防止と初期消火による人命・財産の保護を目的として活動する女性クラブの運営に対し支援を行いました。						
(1) 主な支出						
・運営交付金 50万円						



(2) 活動指標

- ・女性防災クラブ総会（4/26 事業計画、視察研修打合せ）
- ・研修視察（6/27 県消防防災航空センターほか視察 32人参加）
- ・合同防災訓練（9/2 郷原神社 9人参加）
- ・県総合防災訓練（10/28 小学校グラウンド 58人参加）
- ・にこにこ赤十字健康教室（2/1 千年樹の里健康福祉センター 12人参加）
- ・消防出初式参加（1/20 松村駐車場～北斎ホール 55人参加）
- ・普通救命講習会（2/25、26、27 消防団と合同開催 25人参加）

救急法、初期消火技術、炊出しの実践等防災意識の高揚と技術の習得を図ることができました。

**消防団の運営**

住民の生命、身体及び財産を守るため、消防車両（タンク車・ポンプ車）やその施設及び人員を活用して、火災などの災害時に出勤し、消火・防災活動に従事する非常備消防の消防団活動を実施しました。

(1) 主な支出

・消防団員の報酬	749 万円
・団員特殊勤務手当	310 万円
・団員退職報償金掛金	352 万円
・団員福祉共済掛金	57 万円
・公務災害補償等共済掛金	39 万円
・須高消防協会研修会等負担金	248 万円
・分団運営交付金	37 万円
・消火栓維持管理負担金	60 万円
・消防無線保守管理委託料	19 万円
・県ラッパ吹奏大会参加交付金	10 万円
・技術大会、出初式等の経費	102 万円

(2) 活動指標

① 訓練・演習

・月例定期巡回	(毎月第1水曜、年7回実施)	延べ	550人
・水防工法実技講習会	平成19年5月13日	参加者数	30人
・礼式、部隊幹部研修会	平成19年5月27日	参加者数	30人
・消防技術大会	平成19年6月10日	参加者数	180人
・須高ポンプ操法・ラッパ吹奏大会	平成19年6月24日	参加者数	50人
・合同防災訓練	平成19年9月2日	参加者数	60人
・県総合防災訓練	平成19年10月28日	参加者数	107人
・出初式	平成20年1月20日	参加者数	140人
・救急救命講習会	平成20年2月25日、26日、27日	参加者数	34人

② 災害出勤等	3回	延べ	234人
---------	----	----	------

町民の生命・財産を守るため、予防活動の強化を図っています。災害や住宅火災時には、小布施分署と協力し、災害被害を最小限に抑えています。

**基金(預金)利子の積立て(総務グループ)** 予算事業名：消防団運営費

当初予算額	7,000 円	最終予算額	14,000 円	決算額	14,000 円
-------	---------	-------	----------	-----	----------

消防賞じゅつ金を授与するについて財政の健全な運営を図るため、基金の利子の積み立てを行いました。

(1) 主な支出		・消防賞じゅつ金基金利子積立金		1 万円
<b>職員人件費</b>			予算事業名：一般職人件費	
当初予算額	7,413,000 円	最終予算額	7,585,000 円	決算額 7,323,489 円
(1) 主な支出		職員人件費 732 万円		
<b>3</b>	消防施設費	5,706,517	決算事項別明細書 P54～	
<b>消防施設などの維持管理(総務グループ)</b>			予算事業名：消防施設管理費	
当初予算額	2,346,000 円	最終予算額	3,223,000 円	決算額 1,698,917 円
火災や災害時に常時万全の体制で出動等ができるように、消防用指令車、積載車、話所等の維持管理、修繕等を実施しました。				
(1) 主な支出		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホース格納庫の購入等 12 万円</li> <li>・庁舎火災保険料 13 万円</li> <li>・積載車車検、保険料等 27 万円</li> <li>・D-1級軽可搬ポンプ 63 万円</li> <li>・AEDトレーナー 18 万円</li> </ul>		
(2) 活動指標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホース格納庫 3台、給水管等入れ替え</li> <li>・各分団詰所の建物災害共済分担金 9箇所</li> <li>・小型ポンプ付積載車車検 5台 (第2分団第2部・第3部、第3分団第1部・第2部・第3部)</li> <li>・D-1級軽可搬ポンプ (女性防災クラブ用) 購入 1台</li> <li>・AEDトレーナー購入 3台</li> </ul>		
<b>防火水槽の新設(総務グループ)</b>			予算事業名：消防施設整備事業費	
当初予算額	5,642,000 円	最終予算額	4,107,000 円	決算額 4,007,600 円
消防・防災力の向上を図るため、中条地区に40㎡級防火水槽1基を新設しました。				
(1) 主な支出		<ul style="list-style-type: none"> <li>・防火水槽設計監理委託料 15 万円</li> <li>・防火水槽建設工事費 284 万円</li> <li>・防火水槽解体工事費 74 万円</li> </ul>		
(2) 活動指標		<ul style="list-style-type: none"> <li>・40㎡級防火水槽1基設置(中条地区)</li> </ul> <p>平成20年3月末時点で、61基の防火水槽が設置されており、今後も計画的な整備により地域の消防・防災力の向上を図ります。</p>		
<b>4</b>	水防費	0	決算事項別明細書 P55～	
<b>水害対策(総務グループ)</b>			予算事業名：水防費	
当初予算額	120,000 円	最終予算額	120,000 円	決算額 0 円
大規模な水害が発生しなかったため、水防活動に必要な資材の購入はありませんでした。				
(1) 主な支出		なし		

款	項	目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績
9			教育費	524,272,193	
	1		教育総務費	62,302,441	
		1	教育委員会費	8,109,346	決算事項別明細書 P55～
<b>教育委員会の運営（教育文化グループ）</b>					予算事業名：教育委員会運営費
当初予算額			1,800,000 円	最終予算額	1,800,000 円
				決算額	1,626,866 円
町の教育方針の決定や教育委員会規則等の制定など、教育に関する重要な事項を決定しました。					
(1) 主な支出					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育委員の報酬（4人） 129 万円</li> <li>・ 就学指導委員の報酬など 7 万円</li> <li>・ 委員長交際費 3 万円</li> <li>・ 各種負担金 10 万円</li> </ul>					
(2) 活動指標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教育委員会 定例会12回、臨時会1回（議案16件、協議8件、報告41件）</li> <li>・ 教育委員会人事 10月1日開催の臨時会で、教育委員長職務代理者に小林孝幸氏を選任、任命。</li> <li>・ 心身障害児就学指導委員会 3回開催（うち1回は就学判定会）、判定件数4件（小学校3件、幼稚園・保育園1件）</li> <li>・ いじめ・不登校問題に関する対策委員会 3回開催、小中学校のいじめ、不登校の現状及び対策について</li> </ul>					
<b>外国人英語教師の配置（教育文化グループ）</b>					予算事業名：外国人英語教師設置費
当初予算額			6,483,000 円	最終予算額	6,483,000 円
				決算額	6,482,480 円
英語でコミュニケーションが出来る能力を育成するとともに、外国の生活や文化に関心を深めて国際感覚を高めるため、保育園、幼稚園、小学校、中学校に外国人英語教師を配置しました。また、成人を対象に英語教室を開催しました。					
(1) 主な支出					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 人件費（2人） 648 万円</li> </ul>					
(2) 活動指標					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中学校での英語指導及び英語教室の講師（年2講座開催）</li> <li>・ 保育園、幼稚園、小学校での英語指導</li> <li>・ 英語教室の講師 初級クラス（12回）、中級クラス（12回）を、それぞれ年2回開催</li> </ul>					
中学校生徒が英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする姿勢が見られ、英語力の向上にもつながっています。					
園児や小学校児童が、歌遊び等に喜んで取り組んだり、友達同士や英語教師との会話活動をしたりして、コミュニケーション能力を高めようとする姿勢が見られます。					
公民館の英語教室受講生の皆さんの国際感覚の涵養と英語力の向上が継続的に図られています。					

2	事務局費	53,835,656	決算事項別明細書	P55～	
<b>教育委員会の運営（教育文化グループ）</b>			予算事業名：教育委員会事務局費		
当初予算額	1,327,000円	最終予算額	1,327,000円	決算額	1,288,422円

町の教育方針の決定や教育委員会規則等の制定など、教育に関する重要な事項を決定しました。

(1) 主な支出

- ・ 学校評議員への謝礼（12人） 12万円
- ・ 通信運搬費 60万円
- ・ 各種負担金 9万円

(2) 活動指標

- ・ 学校評議員会

学校運営等に関して、学校教職員以外で、教育に理解や見識をもつ人から意見をいただくため、学校評議員を委嘱しました。

小学校、中学校で2回ずつ評議員会を開催し、学校運営に関して検討いただいたほか、授業参観に参加していただきました。

<b>育英金の貸付け(教育文化グループ)</b>			予算事業名：教育委員会事務局費	
この事業は、育英金貸付基金を運用して行っているため、予算額は0円です。				

教育の機会均等を図るため、高校生・専門学校生・短期大学生・大学生に対して育英金の貸付けを行いました。

(1) 活動指標

- ・ 新規2人貸付け
- ・ 対象者及び貸付内訳
 

大学生（公立）	3人	月額	25,000円
大学生（私立）	4人	月額	35,000円
専門学校生（私立）	1人	月額	35,000円
高等学校生（私立）	1人	月額	15,000円
- ・ 育英金貸付基金額（平成20年3月31日現在） 45,429万円

(2) 活動指標の推移

	平成17年度	平成18年度	平成19年度
累積貸付者数	32人	34人	38人
新規貸付金対象者数	18人	11人	9人
新規貸付金合計	6,684,000円	4,260,000円	3,180,000円

<b>児童生徒の見守り体制の充実（教育文化グループ）</b>			予算事業名：教育委員会事務局費		
当初予算額	48,000円	最終予算額	48,000円	決算額	31,500円

地域ぐるみで犯罪から子どもたちを守るため、地域住民、自治会、育成会、保護者、学校、警察署、防犯協会などと連携して、不審者が子どもたちに近づきにくい地域づくりを進めました。

(1) 主な支出

- ・ メール配信システム使用料 3万円

(2) 活動指標

- ・ 見守り隊（平成18年6月24日発足）登録者 245人
- ・ こどもを守る安心の家登録軒数 84軒
- ・ 防犯パトロールの実施（防犯指導員やPTAなど）
- ・ 同報無線による毎日の下校時間の周知

- ・ 学校での安全教育の充実

(3) 活動指標の推移

	平成18年度	平成19年度
不審者メールの配信希望登録者数	200人	318人
不審者メールの配信数	11件	15件

**基金（貯金）利子の積立て（教育文化グループ）**

予算事業名：教育委員会事務局費

当初予算額 282,000 円 最終予算額 237,000 円 決算額 237,000 円

(1) 主な支出

- ・ 教育文化施設基金利子積立金 5 万円
- ・ 芸術文化振興基金利子繰出金 15 万円
- ・ 育英金貸付基金利子繰出金 3 万円

**特別職人件費**

予算事業名：特別職人件費

当初予算額 12,066,000 円 最終予算額 12,066,000 円 決算額 12,063,958 円

(1) 主な支出

- ・ 特別職人件費 1,206 万円

**一般職人件費**

予算事業名：一般職人件費

当初予算額 40,453,000 円 最終予算額 41,320,000 円 決算額 40,214,776 円

(1) 主な支出

- ・ 職員人件費 4,021 万円

3 教職員住宅費 357,439

決算事項別明細書 P55～

**教職員住宅の維持管理（教育文化グループ）**

予算事業名：教職員住宅管理費

当初予算額 435,000 円 最終予算額 435,000 円 決算額 357,439 円

町が管理している教職員住宅（水上8戸、栗ガ丘2戸、中央1戸）の適切な維持管理を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 水上教員住宅のフロ場給湯器、シャワー修繕等 33 万円
- ・ 火災保険料 3 万円

(2) 活動指数

- ・ 入居状況 水上4戸、栗ガ丘1戸、中央1戸

2 小学校費 36,982,783

1 学校管理費 31,476,647

決算事項別明細書 P56～

**栗ガ丘小学校の管理運営(教育文化グループ)**

予算事業名：小学校管理費

当初予算額 32,214,000 円 最終予算額 32,214,000 円 決算額 31,429,266 円

学校教育目標「たくましいからだゆたかな心もち、自ら学び伸びゆく子ども」を基本的なねらいとし、児童に寄せる地域・社会の願いをふまえつつ具体的目標をたて、教育活動を推進しました。

(1) 主な支出

- ・ 健康診断に係る医師などへの報酬・賃金 397 万円

・ 外部講師などへの謝礼	21 万円		
・ 教科用や特別活動などの消耗品	407 万円		
・ 光熱水費	753 万円		
・ コンピュータ機器や印刷機器などの使用料	548 万円		
・ 警備保障や火災報知器などの保守管理の委託	159 万円		
・ 施設の修繕	141 万円	・ 図書の購入	78 万円
・ 教材備品の購入	147 万円	・ 保健検査料や火災保険料等	233 万円
・ 各種負担金、交付金	116 万円		

(2) 活動指標

- ・ 学校教育目標を具現化し、小布施町の次代を担うにふさわしい人間を育てるために、教育実践の流れを提示し学校運営を推進しました。
- ・ 総合的な学習の時間に、東京理科大学・小布施町まちづくり研究所との協働ワークショップによる瓦灯作り、町内の歴史建造物や里道などを巡るふるさと小布施ウォークラリー、巴錦菊栽培、小布施丸ナス作りなど町の特色を生かした活動を地域の方々にご協力いただき行いました。
- ・ コンクール入賞等（主なものについて）
 

自転車クラブ	須高地区大会	Aチーム：優勝	Bチーム：5位
	県大会	5位	
絵画関係	県展（中央入選）	1年生男子、5年生女子	
	花やみどりのある絵（中央入選）	5年生女子	

職員の学校自己評価を行うとともに、平成19年度末保護者に「教育活動アンケート」を実施しました。アンケート項目8項目中7項目において、良い評価をいただきました。評価のやや低かった『気持ちの良いあいさつができる子どもたちが育っている』については、今後も重点目標に掲げ具現を目指します。

コンピュータ等の活用や国際理解教育については、平成17年11月に構築された校内無線LANと同時期に更新されたコンピュータ教室のパソコン機器が、19年度も引き続き効果的に活用されました。さらに18年度の2学期より赴任している外国人講師により、19年度も引き続き本格的な英語活動がどの学年も展開され、子どもたちは英語を使って積極的にコミュニケーションを図ろうとする力を伸ばしました。

**小学校の食育(教育文化グループ)**

予算事業名：小学校管理費

当初予算額	200,000 円	最終予算額	200,000 円	決算額	47,381 円
-------	-----------	-------	-----------	-----	----------

児童の「食」に対する関心を高め、豊かな人間性を育むため、農産物の栽培・収穫・料理体験などを行いました。

(1) 主な支出

- ・ 講師への謝礼など 5 万円

(2) 活動指標

- ・ 農作業体験(米作り 5学年122人参加、大豆作り 2学年129人参加)
- ・ 料理体験(納豆、きなこ、豆腐作り 2学年129人参加)
- ・ 生活習慣病予防教室 (4年年で実施)
- ・ 給食の保護者試食会 (1学年 保護者25人参加、4学年 保護者23人参加)

つくる喜びや食べてもらう喜び、作物をつくる楽しさ、食物への感謝の心を「農作業体験」や「料理体験」を通して学びました。

2	教育振興費	5,506,136	決算事項別明細書 P56～
---	-------	-----------	---------------

**栗ガ丘小学校の管理運営(教育文化グループ)** 予算事業名：小学校教育振興費

当初予算額 1,850,000 円 最終予算額 1,850,000 円 決算額 0 円

よりきめ細かな学習指導や児童の学校生活の指導を行うため、小学校全学年で30人規模学級を実施しました。

(1) 主な支出

平成19年度は必要な児童数を確保できたため、教員の人件費は県の負担となりました。

(2) 活動指標

- ・ 小学校全学年で30人規模学級を実施 23クラス 698人
- ・ 学年別学級別児童数 (5月1日現在)

年度 学年	平成17年度		平成18年度		平成19年度	
	学級数	児童数	学級数	児童数	学級数	児童数
1学年	4	112	4	129	4	107
2学年	3	101	4	110	4	130
3学年	4	123	3	101	4	113
4学年	4	118	4	122	3	103
5学年	4	125	4	121	4	123
6学年	3	98	4	123	4	122
計	22	677	23	706	23	698

- ・ 少人数での学級編制により、児童一人ひとりに分かる授業を進め、きめ細やかな教育を進めることができました。

**学校生活支援員の配置(教育文化グループ)** 予算事業名：小学校教育振興費

当初予算額 4,362,000 円 最終予算額 4,407,000 円 決算額 3,788,680 円

学校や家庭で悩みをもつ児童、保護者を対象に相談活動、生活指導を行うことができる生活支援員を配置しました。

(1) 主な支出

- ・ 支援員への報酬・賃金 379 万円

(2) 活動指標

- ・ 勤務日数 236日
- ・ 不適応児童を生み出さないために、生活支援員と全職員で小さな変化を見逃さず早期発見及び状況把握に努め、開かれた学級、好ましい友人関係づくり等を進めました。
- ・ 不登校傾向の児童及び保護者に対する個別支援を行いました。
- ・ 会議室において、不登校傾向児童に対してその状況に合わせて、精神的な安定を図るとともに、学習支援も行いました。
- ・ 必要に応じて、家庭訪問をしたり、電話連絡をとりながら、登校支援を行いました。
- ・ 保護者の精神的な面での支援を行い、家庭環境が安定するように努めました。
- ・ 学級担任との連絡を密にして、教育的な効果が上がるように努めました。
- ・ 新たな不登校傾向児童を生みださないように、全職員が児童の小さな変化にも気を配るようにし、その情報について連絡・相談を行いました。

過去17年間の不登校児童(30日以上欠席)の統計数値は、減少傾向を続けており19年度は過去最低でした。

**就学の援助など(教育文化グループ)**

予算事業名：小学校教育振興費

当初予算額 1,825,000 円 最終予算額 1,825,000 円 決算額 1,717,456 円

経済的理由により就学が困難と認められる児童の保護者を対象に、学用品や給食費などの一部を援助しました。

## (1) 主な支出

- ・ 就学への援助 149 万円
- ・ 特別支援教育就学への奨励 9 万円
- ・ 交通災害共済会費 14 万円

## (2) 活動指標

- ・ 認定された児童の保護者へ、一定額の学用品や給食費などを援助費として支給しました。
- 支給対象者数 31人

援助費により等しく教育を受ける権利が保障されました。

3

中学校費	43,453,601
------	------------

1 学校管理費	39,101,813
---------	------------

決算事項別明細書 P57~

**小布施中学校の管理運営(教育文化グループ)**

予算事業名：中学校管理費

当初予算額 38,907,000 円 最終予算額 39,210,000 円 決算額 38,261,813 円

学校教育目標「夢・忍耐・思いやり」を基本的なねらいとし、豊かな人間性を持ち、かけがえない人生を強く正しく生きぬく生徒の育成のため、具体的目標をたて、教育活動を推進しました。

## (1) 主な支出

- ・ 臨時職員や健康診断に係る医師などへの報酬・賃金 477 万円
- ・ 外部講師などへの謝礼 25 万円
- ・ 教科用や特別活動用などの消耗品 519 万円
- ・ 光熱水費 803 万円
- ・ 警備保障や火災報知機などの保守管理の委託 352 万円
- ・ コンピューター機器や印刷機器などの使用料 769 万円
- ・ 施設の修繕 308 万円
- ・ 図書を購入 72 万円
- ・ 教材備品の購入 102 万円
- ・ 保健検査料や火災保険料等 218 万円
- ・ 各種負担金、交付金 133 万円

## (2) 活動指標

- ・ 学校教育目標を具体化するために、各教科の学習においては基礎的・基本的な内容を重視することはもちろん、思考力や判断力・表現力の育成に力をいれることを大切にし、全校合唱の充実、学校花壇づくり、清掃活動を三本柱にすえて、学校経営を見返し、教育課程の改善を推進しました。
- ・ 各種大会記録、コンクール入賞等（主なものについて）
 

男子バレーボール部	県大会出場
陸上3年男子100m	北信越大会第4位
陸上共通女子200m	北信越大会第5位
吹奏楽コンクール	県大会銅賞
花壇づくり	春花壇 F B C 地方審査 奨励賞

成果と課題を明確にするため、学校評議員会・PTA活動・地域の方々より評価いただき職員の学校自己評価を併せて今後の改善点を具体化しました。



<b>小布施中学校の管理運営(教育文化グループ)</b>				予算事業名：中学校環境整備事業費	
当初予算額	840,000円	最終予算額	840,000円	決算額	840,000円
<p>体育館脇犬走りが永年にわたる雨水等により地盤沈下し、今後も沈下が進むと考えられるため補修工事を行いました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育館脇犬走り沈下に伴う補修工事 84万円</li> </ul> <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 体育館脇犬走りのコンクリート部分を解体処分し、砕石を敷きました。併せて、機械設備、電気設備の布設替を行いました。</li> </ul>					

2	教育振興費	4,351,788	決算事項別明細書 P57～		
---	-------	-----------	---------------	--	--

<b>小布施中学校の管理運営(教育文化グループ)</b>				予算事業名：中学校教育振興費	
当初予算額	75,000円	最終予算額	70,000円	決算額	62,500円
<p>生徒の学力向上を図るため、長野県学力実態調査に参加しました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学力実態調査負担金 6万円</li> </ul> <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教科に関する調査、学習意識調査を実施し、結果分析を行いました。</li> <li>・ 調査参加者 2年生97名</li> <li>・ 全国及び全県の学力状況との結果分析をもとに、改善点の検討を行い、学習指導に生かすことができました。</li> </ul>					

<b>学校生活支援員の配置(教育文化グループ)</b>				予算事業名：中学校教育振興費	
当初予算額	2,170,000円	最終予算額	2,243,000円	決算額	2,229,915円

<p>学校や家庭で悩みをもつ生徒、保護者を対象に相談活動、生活指導を行うことができる生活支援員を配置しました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 支援員への報酬・賃金 223万円</li> </ul> <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 勤務日数 242日</li> <li>・ あたかな人間関係の実現をめざし、学級経営の充実を図りました。</li> <li>・ 学級担任をサポートするプロジェクトチームを立ち上げ、不登校、教室に入れない生徒へのきめ細やかな対応と支援で指導にあたりました。</li> <li>・ 相談室における教育相談及び生徒への対応を行いました。</li> <li>・ 不登校生徒への教育相談、家庭訪問、送り迎え等の登校支援を行いました。</li> <li>・ 情緒不安定な生徒、悩みを持つ生徒等、心のケアや特別な支援の必要な生徒の教育相談や日常生活での支援を行いました。</li> <li>・ 情緒不安定な生徒等が、登山、キャンプ、修学旅行、学校祭等の学校行事に参加できるよう支援を行いました。</li> <li>・ 生徒、保護者とカウンセラーやその他専門機関との関係づくりを行いました。</li> <li>・ カウンセラーの活用計画作成と推進により、適切な支援を受けられるようにしました。</li> <li>・ 全校生徒の出欠席状況の整理を行うなど、全職員と連携し支援にあたりました。</li> </ul> <p>不登校生徒及び軽度発達障害等により特別な支援が必要な生徒又、人間関係等で不安をかかえる生徒への支援が可能となり「個に応じた支援」が実現されました。</p>					
---	--	--	--	--	--

**就学の援助など(教育文化グループ)**

予算事業名: 中学校教育振興費

当初予算額 2,305,000円 最終予算額 2,310,000円 決算額 2,059,373円

経済的理由により就学が困難と認められる生徒の保護者を対象に、学用品や給食費などの一部を援助しました。

(1) 主な支出

- ・ 就学への援助 155万円
- ・ 特別支援教育就学への奨励 32万円
- ・ 区域外通学の委託 12万円
- ・ 交通災害共済会費 6万円

(2) 活動指標

- ・ 認定された生徒の保護者へ、一定額の学用品や給食費などを援助費として支給しました。  
支給対象者数 31人

援助費により等しく教育を受ける権利が保障されました。

4	幼稚園費	41,366,428	決算事項別明細書 P57～
1	幼稚園費	41,366,428	

**栗ガ丘幼稚園の管理運営(教育文化グループ)**

予算事業名: 幼稚園管理費

当初予算額 41,094,000円 最終予算額 43,316,000円 決算額 41,307,340円

「心身共に健康でたくましい子ども」を目標とし、111名の園児と保育園児・小中学生との交流や地域の人たちとのふれあいを大切にした園運営を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 教諭の人件費(6人) 3,193万円
- ・ 臨時職員の賃金 414万円
- ・ 光熱水費 184万円
- ・ 教材費 68万円
- ・ 駐車場用地の借り上げ 67万円
- ・ 保守点検の委託 16万円

(2) 活動指標

- ・ 年齢別学級数及び園児数

年 齢	3 歳 児	4 歳 児	5 歳 児	計
学 級 数	2	1	2	5
園児数(人)	43	26	42	111

- ・ 職員構成 園長1人、教諭5人、事務1人、支援加配2人
- ・ 体験を重視した保育の充実(野菜・花等の栽培・収穫、町内施設等の利用)
- ・ 地域に開かれた幼稚園づくり(小中学生・地域の人たちとの交流)
- ・ 子育てで支援の充実(親子ふれあい交流、絵本の読み聞かせの推奨、お話の会、サークル活動)
- ・ 特別支援教育の充実(支援加配2人配置)
- ・ 職員の資質向上(研究保育、各種研修会参加、視察研修)
- ・ 主な行事(園児)
  - 入・卒園式、春・秋の遠足、親子ふれあい交流日、おにぎりの日、きょうのおはなしなあに、歯科保健指導日、交通安全教室、プール活動、運動会、縦割り保育、国際交流、豆まき、デイサービスセンター訪問、小布施荘訪問、演劇教室、すいとん汁大会、もちつき、遊戯会、クリスマス会、誕生会、ひなまつり、なかよし学級(年長)、給食センター見学、お弁
- ・ その他
  - 保育参観、音楽参観、プール参観、土曜参観、クラス懇談会、個別懇談会、家庭訪問、健康診断、給食センター栄養士・町栄養士訪問、保健師訪問、未就園児の園開放、環境整備、避難訓練、納涼お楽しみ会・公演会・バザー(保護者会主催)、消防自動車来園、お話パケット号来園

(3) 活動指数の推移

・卒園児数

平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
39人	43人	50人	37人	42人

広々とした快適な環境のもと、地域の皆さんとの交流を通じて明るく健やかな園児が育ち、41人の年長児が栗ガ丘小学校、1人が町外の小学校へ入学しました。

**幼稚園の食育(教育文化グループ)**

予算事業名:幼稚園管理費

当初予算額	32,000 円	最終予算額	72,000 円	決算額	59,088 円
-------	----------	-------	----------	-----	----------

近所の農家の方や園児の祖父母の皆さん等身近な人たちの協力を得ながら楽しく食育を進めました

(1) 主な支出

・ 野菜、りんご等の収穫・畑体験の謝礼3件	0.8 万円
・ 親子クッキング	0.7 万円
・ 畑作り(種、苗、肥料等)	0.8 万円
・ すいとん汁大会	1.4 万円
・ 季節の行事(もちつき等)	1.2 万円
・ サンプル写真紙、食育新聞等	1.3 万円

(2) 活動指標

- ・ 栄養士・保育士が紙芝居等により健康な体づくりに関心を持つように工夫しました。
- ・ 食に関するアンケートをとり、その結果を報告しその後の指導に役立てました。
- ・ 3歳児保護者を対象に試食会を行い、また、栄養士による講話を実施しました。
- ・ 野菜等の種まき、栽培、収穫、会食までの体験活動を身近な人たちの協力を得ながら行うことができました。
- ・ その日の給食を写真に撮り「給食センターだより」と一緒に掲示し、保護者に発信しました。
- ・ 「かみかみ通信」を家庭に発信し、共に食育を進めました。
- ・ 幼保小連携交流の中で年長組の担任と小学校の1年生の担任が互いのクラスの給食時間に参観し、日常の食指導に生かしました。また、箸の持ち方についても情報交換し、話し合いをしました。
- ・ 親子クッキング
 

6月30日	遊戯室及び園庭	カレーパーティー	4歳児 26組参加 (うち両親参加4組)
10月13日	保育室	サンドウィッチ	3歳児 32組参加

(3) 成果指数

- ・ 箸の正しい使い方ができる子  
11月現在、年長児42人中10人 (24%)

5	社会教育費	269,969,788
1	社会教育総務費	4,490,923

決算事項別明細書 P58~

**子ども教育相談(教育文化グループ)**

予算事業名:社会教育総務費

当初予算額	30,000 円	最終予算額	30,000 円	決算額	27,264 円
-------	----------	-------	----------	-----	----------

明るく健全な子どもの育成を願い、子どもに関わる諸問題の解決に向けた相談活動を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 相談員への謝礼 3万円

(2) 活動指標

- ・相談員 4人
- ・場所：北斎ホール相談室
- ・毎月水曜日、年間50回開催 相談件数6件

(3) 活動指数の推移

- ・相談件数 (単位：件)

平成17年度	平成18年度	平成19年度
5	9	6

**成人式の開催(教育文化グループ)**

予算事業名：社会教育総務費

当初予算額 369,000 円 最終予算額 369,000 円 決算額 273,887 円

新成人としての門出を祝福するため、式典と交流会を開催しました。新成人が実行委員会を組織して交流会の企画運営を行いました。

(1) 主な支出

- ・式典記念品 17 万円

(2) 活動指標

- ・期日：平成20年1月13日
- ・場所：北斎ホール
- ・対象：140人（出席者109人）

式典では、多くのご来賓の方々からのお祝いや激励の言葉のほか、選挙についての話もあり、出席者の皆さんの成人としての自律を促すことができました。

**社会教育委員活動の推進(教育文化グループ)**

予算事業名：社会教育総務費

当初予算額 189,000 円 最終予算額 189,000 円 決算額 124,528 円

社会教育に関することを教育委員会に助言する社会教育委員の意見を聞きました。

(1) 主な支出

- ・委員報酬 3 万円

(2) 活動指標

- ・社会教育委員 6人
- ・社会教育委員会議 5月29日開催
- ・平成18年度主要事業実績報告、平成19年度主要事業について協議

**文化協会等の活動の支援(教育文化グループ)**

予算事業名：社会教育総務費

当初予算額 550,000 円 最終予算額 550,000 円 決算額 550,000 円

文化・芸術など次代への継承と活性化を行っている社会教育関係団体の活動を支援しました。

(1) 主な支出

- ・社会教育団体補助金等  
町連合婦人会 10 万円 町文化協会 45 万円

(2) 活動指標

- ・町連合婦人会の主な活動内容

子ども教室・わんぱく教室協力 千年樹の里まつり協力 老人福祉保健福祉計画・介護保険事業計画懇話会への協力

・町文化協会の主な活動内容

清掃奉仕活動（鴻山館・千波館ほか） カルチャー教室（囲碁、将棋、一弦琴） 芸能祭参加 巴錦展 講演会 子ども音楽教室発表会

**地域の花づくりの推進(教育文化グループ)** 予算事業名：花づくり推進事業費

当初予算額 1,722,000 円 最終予算額 1,722,000 円 決算額 1,487,932 円

花による地域づくりを進めていただくため、花づくり推進委員会を通じて各自治会に花の苗を配布しました。また、花づくり推進委員会の活動に対して補助を行いました。

(1) 主な支出

- ・花苗の購入 125 万円
- ・花づくり推進委員会交付金 24 万円

(2) 活動指標

- ・花苗の配付 6月9日～10日 27自治会

花による美しい地域づくりと花づくりを通じた豊かな心の育成が図られています。

**職員人件費** 予算事業名：一般職人件費

当初予算額 2,082,000 円 最終予算額 2,082,000 円 決算額 2,027,312 円

(1) 主な支出

- ・職員人件費 203 万円

2	公民館費	12,972,478	決算事項別明細書 P58～
---	------	------------	---------------

**生涯学習町民のつどいの開催(教育文化グループ)** 予算事業名：公民館運営費

当初予算額 239,000 円 最終予算額 296,000 円 決算額 295,398 円

日頃の個人・グループの文化活動やボランティア活動などの成果を発表する機会として、生涯学習町民のつどいを開催し、町民の皆さんの参加と交流を図りました。

(1) 主な支出

- ・菊花展 小屋建方、解体、増設委託料 24 万円

(2) 活動指標

- ・生涯学習町民のつどい・第47回総合文化祭
 

10月27日・28日	作品展	場所／公民館・北斎ホール・文化体育館
展示内容等	公民館／写真展・俳句展・陶芸展・短歌展・押し花展	ほか
	北斎ホール／盆栽展・絵画展・版画展・手芸展・パッチワーク展	ほか
	文化体育館／華道展・勤労展	参加団体等 40
- 11月4日 芸能祭 場所／北斎ホール 出演数 29
- 11月1日～11月10日 菊花展 場所／皇大神社境内

**公民館分館活動の支援(教育文化グループ)** 予算事業名：公民館運営費

当初予算額 1,528,000 円 最終予算額 1,597,000 円 決算額 1,517,200 円

自治会ごとに設置された公民館の分館活動を推進するため、活動実績に応じた支援を行いました。

(1) 主な支出

- ・分館活動助成 82 万円
- ・分館長報酬 70 万円

(2) 活動指標

- ・ 補助対象分館事業 125件 分館報発行 54件

(3) 活動指数の推移

- ・ 分館事業数 (単位：件)

平成17年度	平成18年度	平成19年度
117	119	125

**公民館の管理運営(教育文化グループ)**

予算事業名：公民館運営費

当初予算額 11,209,000円 最終予算額 11,341,000円 決算額 11,159,880円

各種団体やサークルの活動や会合などで気持ちよくご利用いただけるよう、公民館施設の維持管理を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 職員人件費 1,036万円
- ・ 火災保険料 8万円
- ・ 公民館補償制度掛金 11万円

(2) 活動指標

- ・ 学習室・講堂の使用回数 542回 冷暖房使用料収入 57万円

3 北斎ホール費 4,217,502

決算事項別明細書 P59～

**北斎ホールの管理運営(教育文化グループ)**

予算事業名：北斎ホール管理費

当初予算額 4,622,000円 最終予算額 4,622,000円 決算額 4,217,502円

勤労青少年や各種団体の活動・発表の場として気持ちよくご利用いただけるよう、北斎ホールの維持管理を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 臨時職員賃金 133万円
- ・ 清掃業務(じゅうたん、ガラス等) 18万円
- ・ 空調設備機器保守点検 32万円
- ・ 舞台機構保守点検 16万円
- ・ 音響設備保守点検 17万円
- ・ 自動ドア保守点検 7万円
- ・ 施設修繕料 67万円
- ・ ピアノ調律 9万円
- ・ 舞台照明設備保守点検 17万円
- ・ ロールバック保守点検 16万円
- ・ 地下タンク及び地下配管気密検査 4万円

(2) 活動指標

- ・ 北斎ホールの使用回数 372回 冷暖房使用料収入 105万円

4 図書館費 159,986,630

決算事項別明細書 P59～

**図書館の運営(教育文化グループ)**

予算事業名：図書館管理費

当初予算額 13,754,000円 最終予算額 17,505,000円 決算額 17,009,983円

すべての人が公平に情報を得られるよう、図書や郷土史料の収集、整理、保存、提供を行いました。また、ボランティアの皆さんの協力により、読書推進活動を進めました。

(1) 主な支出

- ・ 書籍、視聴覚資料の購入 264万円
- ・ 読書推進活動(講師謝礼、ブックスタートパック、文集印刷費など) 34万円
- ・ 職員人件費 888万円
- ・ 臨時職員の賃金 437万円
- ・ 建設打合せ旅費 11万円

(2) 活動指標

- ・ 図書館開館日 288日
- ・ 入館者 22,360人
- ・ 図書の購入 1,541冊
- ・ 図書館利用状況 蔵書数 54,300冊(蔵書冊数のみ、平成19年6月点検時現在)

区分	児童	一般	母親文庫	計
貸出冊数	6,926	28,772	22	35,720

- ・ おはなしの会、実演講習会、出張おはなし会の開催 23回開催/368人参加
- ・ 語りを楽しむ会の開催 1回開催/23人参加
- ・ 小中学校図書館見学会 1回開催/8人参加
- ・ 初めてのものづくり講座「布ぞうり」(7月・2月) 2回開催/79人参加
- ・ 図書館だよりの発行(7月・3月) 年2回
- ・ 文集「ちくまがわ」の発行、配付(母親文庫会員・関係施設) 80部
- ・ 図書館協議会 2回開催/委員9人
- ・ 職員プロジェクト会議 新しい小布施町立図書館基本構想 作成

(3) 活動指数の推移

- ・ 開架図書数 (単位:冊)

平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
35,796	36,443	36,416	37,345	36,824

- ・ 個人貸出冊数の推移 (単位:冊)

平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
31,301	30,994	31,377	34,281	35,698

- ・ 予約・リクエスト・相互貸借件数の推移 (単位:冊)

平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
669	769	847	1,056	1,173

- ・ ブックスタート事業

平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年
年間出生数の88%	同83%	同90%	同90%	同85%

※ブックスタート事業: 地域のすべての赤ちゃんを対象に、絵本を通して親子が心を通わせるようメッセージを伝えながら絵本を渡す運動。

**基金(貯金)の積立て**

予算事業名: 図書館管理費

当初予算額 264,000円 最終予算額 140,555,000円 決算額 140,555,000円

図書館建設のために積み立てている基金を積み立てました。

(1) 主な支出

- ・ 基金積立 1億4,056万円

**図書館整備事業(教育文化グループ)**

予算事業名: 図書館整備事業費

当初予算額 19,840,000円 最終予算額 19,729,000円 決算額 2,421,647円

住民との協働により、学びの場、子育ての場、交流の場、情報発信の場としての図書館を目指し、新しい図書館づくりを進めました。

(1) 主な支出

- ・ プロポーザル審査会謝礼 100万円
- ・ 図書館設計業務委託料 0万円 (翌年度繰越額1,701万円)
- ・ 図書館建設工事に伴う地質調査委託料 95万円

(2) 活動指標

- ・ 第1回~第3回 意見交換会「新しい小布施町立図書館の基本構想(案)」について

(8月7日、8月22日、8月30日)

- ・設計者の公募と選定・公開プレゼンテーションの開催・決定(9月14日～10月29日)
- ・図書館建設全体会議(9月28日)
- ・館長の公募と選定・決定(10月26日)
- ・図書館建設運営委員会・専門部会委員募集(10月20日～)
- ・第1回 図書館建設運営委員会(11月16日) (委員数49名)
- ・準備室会議(11月19日)
- ・第2回 図書館建設運営委員会(11月26日)
- ・館長就任・図書館準備室設置(12月1日)
- ・第1回 電算化部会(12月3日)
- ・準備室会議(12月10日)
- ・第2回 電算化部会(12月10日)
- ・第1回 建設部会・運営部会(12月14日)
- ・準備室会議(12月17日)
- ・第3回 図書館建設運営委員会(12月17日)
- ・第2回 運営部会(12月21日)
- ・準備室会議(12月26日)
- ・第2回 建設部会(12月26日)
- ・第3回 運営部会(1月8日)
- ・第3回 電算化部会(1月9日)
- ・第3回 建設部会(1月9日)
- ・準備室会議(1月10日)
- ・準備室会議(1月16日)
- ・第4回 図書館建設運営委員会(1月16日)
- ・準備室会議(1月21日)
- ・第4回 建設部会(1月28日)
- ・第4回 運営部会(1月28日)
- ・第4回 電算化部会(1月29日)
- ・第5回 電算化部会(2月5日)
- ・第5回 建設部会(2月6日)
- ・第5回 運営部会(2月8日)
- ・準備室会議(2月15日)
- ・第5回 図書館建設運営委員会(2月15日)
- ・第6回 電算化部会(2月22日)
- ・第6回 運営部会(2月22日)
- ・第6回 建設部会(2月26日)
- ・準備室会議(2月28日)
- ・第7回 電算化部会(3月11日)
- ・準備室会議(3月13日)
- ・第7回 運営部会(3月14日)
- ・準備室会議(3月19日)
- ・第6回 図書館建設運営委員会(3月19日)
- ・準備室会議(3月26日)

5	歴史民俗資料館費	1,662,002	決算事項別明細書 P59～
歴史民俗資料館の管理運営(教育文化グループ)		予算事業名: 歴史民俗資料館管理費	
当初予算額	1,600,000 円	最終予算額	1,600,000 円
		決算額	1,510,361 円

歴史資料、民俗資料等の保存及び活用を図り、町民文化の向上と学術の発展に資するため、充実した歴史民俗資料の展示ができるよう、館の運営を行いました。



- (1) 主な支出
- ・ 光熱水費 5 万円
  - ・ 植木の手入れ委託 12 万円
  - ・ 施設の修繕 1 万円
  - ・ 臨時職員賃金 97 万円

- (2) 活動指標
- ・ 開館日 土・日曜日及び春・秋のイベント期間中
  - ・ 開館時間 午前9時から午後4時
  - ・ 春・秋の企画展（～体験を通して～歴史再発見）
  - ・ 春・秋の特別イベント ミュージックボックス寄贈に感謝 林柳波を唄うミニコンサート

(3) 活動指標の推移

- ・ 年間入館者数 (単位：人)

区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
大人	383	834	711	725	656
子ども	12	119	413	698	150

**歴史民俗資料館春秋の企画展の開催(教育文化グループ)** 予算事業名：歴史民俗資料館管理費

当初予算額 303,000 円 最終予算額 303,000 円 決算額 151,641 円

子どもから大人まで楽しめる昔体験学習などの企画展を春秋に開催しました。通常は土・日・祝日のみの開館ですが、企画展期間中は毎日開館しました。

- (1) 主な支出
- ・ 体験学習など講師への謝礼 10 万円

(2) 活動指標

- ・ 春の企画展（～体験を通して～歴史再発見）4月20日～5月31日  
大人134人、子ども30人
- ・ ミニコンサート 林柳波を唄う 5月27日
- ・ 秋の企画展（昔の体験を通して歴史再発見）9月21日～10月31日  
大人183人、子ども55人
- ・ 秋の特別イベント 林柳波を唄うミニコンサート 10月28日

(3) 活動指標の推移

- ・ 企画展期間中の入館者数 (単位：人)

区分	期間	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
大人	春	194	128	203	134
	秋	164	242	168	183
子ども	春	77	167	133	30
	秋	42	162	80	55

**6 高井鴻山記念館費** 12,680,530 決算事項別明細書 P60～

**高井鴻山記念館の管理運営(教育文化グループ)** 予算事業名：高井鴻山記念館管理費

当初予算額 12,871,000 円 最終予算額 12,561,000 円 決算額 11,708,447 円

鴻山に関連した資料を収集、公開し、学習の場としての充実を図りました。また、小中学生を無料にするなど、学習機会を提供しました。より多くの皆さんにご来館いただくため、4月～9月の開館時間を午後6時まで延長しました。

(1) 主な支出

- ・ 職員の人件費 186 万円
- ・ 光熱水費 80 万円
- ・ 臨時職員の賃金 513 万円
- ・ 施設の修繕等 45 万円
- ・ パンフレットの印刷など 65 万円
- ・ 警備、植木手入れなどの委託 66 万円
- ・ 土地借上料 70 万円

(2) 活動指標

- ・開館日：通年（休館日12/29～12/31） 362日
- ・開館時間：午前9時～午後6時（10月～3月は午後5時まで）

(3) 活動指標の推移

- ・年間入館者数 (単位：人)

平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
83,469	74,531	69,377	70,961	56,186

**高井鴻山記念館特別展などの開催(教育文化グループ)**

予算事業名：高井鴻山記念館企画展費

当初予算額 1,594,000円 最終予算額 1,594,000円 決算額 972,083円

春と秋に特別展を開催するとともに、恒例の鴻山席書大会を開催しました。春の特別展では、「高井鴻山の山水画展」を開催し、秋には「高井家に残されたスケッチ展」を開催しました。

(1) 主な支出

- ・企画展チラシ、看板類の印刷 45万円
- ・企画展広告料 12万円
- ・席書大会審査員謝礼 3万円
- ・席書大会入選者賞品 3万円

(2) 活動指標

- ・春の特別展 高井鴻山の山水画展 (4/20～5/31) 期間中入館者 9,656人
- ・秋の特別展 高井家に残されたスケッチ展 (9/21～10/31) 期間中入館者 9,752人
- ・第21回高井鴻山席書大会（鳳凰アリーナ） 10/28 参加者 221人

(3) 活動指標の推移

- ・特別展の入館者数 (単位：人)

期間	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
春	11,284	10,816	12,167	9,656
秋	15,630	15,766	23,952	9,752

- ・鴻山席書大会の参加者数 (単位：人)

平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
206	202	188	283	221

7 おぶせミュージアム費 42,593,645

決算事項別明細書 P60～

**おぶせミュージアム・中島千波館の管理運営(教育文化グループ)**

予算事業名：おぶせミュージアム管理費

当初予算額 36,825,000円 最終予算額 33,695,000円 決算額 28,861,604円

芸術文化に親しむ風土をつくるため、地域文化と密接な関わりを持つ貴重な文化財を保存活用し館を運営しました。常設展示では小布施町出身で現代日本画壇のトップランナー・中島画伯の代表作のほか、挿絵表紙画、デッサンなどを、季節ごとに展示内容を替えてご紹介しました。また、平成4年の開館以来、5月には入館者が100万人を越えました。

より多くの皆さんにご利用いただけるよう、4～9月の開館時間を午後6時まで延長しました。地域の文化芸術をより身近に親しんでもうらうため、小中学生の入館料を無料にしました。

(1) 主な支出

- ・職員の人件費 372万円
- ・光熱水費 398万円
- ・警備業務などの委託 318万円
- ・施設の修繕 29万円
- ・土地借上料 885万円
- ・臨時職員の賃金 665万円

(2) 活動指標

- ・開館日：通年（休館日12/29～12/31及び展示替時）
- ・開館時間：午前9時～午後6時（10月～3月は午後5時まで）

(3) 活動指標の推移

・年間入館者数 (単位：人)

平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
67,309	58,923	62,453	61,784	50,731

**中島千波館作品の充実(教育文化グループ)**

予算事業名：おぶせミュージアム管理費

当初予算額 5,000,000 円 最終予算額 5,000,000 円 決算額 5,000,000 円

芸術文化振興基金を活用し、中島千波作品等を購入しました。

(1) 主な支出

・美術品の購入 500 万円

(2) 活動指標

- ・中島千波画「サント・ビクトワール山」(四曲一隻屏風)の購入
- ・15周年記念の企画展の中で、作品を展示しました。
- ・今後も、作家の代表作を購入し、収蔵作品の充実を図ります。

**おぶせミュージアム企画展などの開催(教育文化グループ)**

予算事業名：おぶせミュージアム企画展費

当初予算額 16,717,000 円 最終予算額 16,717,000 円 決算額 8,732,041 円

地元ゆかりの作家をはじめ、ジャンルを問わず意欲あふれる作家たちを紹介しました。また、町民の皆さんの学習の場として、作家によるギャラリートークやワークショップ、ギャラリーコンサートなど体験的事業を行いました。

(1) 主な支出

- ・企画展チラシ、看板類の印刷 475 万円
- ・企画費、作品借用の謝礼など 266 万円

(2) 活動指標

- ・郷土の作家シリーズ⑬「信州の日本画家たち展」(5/18～7/31) 入館者 11,981 人
- ・開館15周年記念「中島千波・新コレクション展Ⅰ」(8/3～9/18) 入館者 8,836 人
- ・開館15周年記念「中島千波・新コレクション展Ⅱ」(9/21～12/4) 入館者 14,225 人
- ・おぶせ昭和の文化人顕彰展 ～歴史の人に学び未来へ歩む～(12/7～2/12) 入館者 2,843 人
- ・「東京藝術大学デザイン科描画系 Sh i n P A ! 展」(2/15～5/13) 入館者 10,190 人

8 千曲川ハイウェイミュージアム費

20,055,621

決算事項別明細書 P61～

**千曲川ハイウェイミュージアムの管理運営(教育文化グループ)**

予算事業名：ハイウェイミュージアム管理費

当初予算額 15,559,000 円 最終予算額 15,559,000 円 決算額 14,633,612 円

現代アートを中心にした企画展を開催し、学習機能の充実、子ども向けの企画運営を実施しました。また、多くの皆さんにご利用いただけるよう開館時間を4月～9月は午後6時まで延長しました。

(1) 主な支出

- ・職員の人件費 217 万円
- ・臨時職員の賃金 443 万円
- ・警備、植木手入れなどの委託 141 万円
- ・光熱水費 528 万円
- ・施設の修繕等 13 万円

(2) 活動指標

- ・開館日：通年(休館日12/29～12/31及び展示替時) 354日
- ・開館時間：午前9時～午後6時(10月～3月は午後5時まで)

(3) 活動指標の推移

・年間入館者数 (単位：人)

平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
33,492	39,872	37,415	34,480	17,321

**千曲川ハイウェイミュージアムの企画展の開催(教育文化グループ)** 予算事業名：ハイウェイミュージアム企画展費  
当初予算額 6,256,000円 最終予算額 6,256,000円 決算額 5,422,009円

現代アートを中心にした企画展を開催し、子どもの社会教育の場として、親子で楽しめるよう体験学習やワークショップを取り入れた企画展を開催しました。

(1) 主な支出

・チラシ、看板類の印刷	115万円	・ワークショップ等の開催	7万円
・企画費、作品借用の謝礼など	337万円	・広告料	4万円

(2) 活動指標

・「境内アート選抜作家展」	(4/7～5/8)	期間中入館者	2,383人
・「版画の魅力展」	(5/11～6/12)	期間中入館者	1,654人
・「五感と空間展」	(6/15～7/17)	期間中入館者	1,344人
・「動物に魅せられた作家たち展」	(7/20～8/29)	期間中入館者	4,502人
・「素材とART展」	(9/1～10/9)	期間中入館者	2,395人
・「機能としての映像展」	(10/12～1/15)	期間中入館者	2,578人
・「音と彫刻による環境造形・パブリックアートの提案」	(1/18～4/8)	期間中入館者	1,768人

**9 人権・同和教育費** 1,995,848 決算事項別明細書 P61～

**集会所・作業所・厚生住宅の維持管理(教育文化グループ)** 予算事業名：人権・同和教育費  
当初予算額 646,000円 最終予算額 646,000円 決算額 488,895円

同和問題の認識と理解を深め、明るく住みよいまちづくりを進めるための中心施設である集会所・作業所の維持管理を行いました。

(1) 主な支出

・集会所などの修繕	26万円
・火災保険料	7万円
・中央・雁中集会所管理委託	14万円

(2) 活動指標

- ・雁中同和对策集会所壁修繕等

**同和对策集会所運営委員会(教育文化グループ)** 予算事業名：人権・同和教育費  
当初予算額 35,000円 最終予算額 35,000円 決算額 24,500円

同和問題の認識と理解を深め、明るく住みよいまちづくりを推めるため、集会所事業・運営事項について審議しました。

(1) 主な支出

・同和对策集会所運営委員報酬	2万円
----------------	-----

(2) 活動指標

- ・同和对策集会所運営委員会 委員 11人 1回開催 (6月28日)

審議内容

人権促進事業年間計画について

人権問題講座 交流事業 (手芸教室・書道教室・大正琴教室・生け花教室)

人権問題講座・交流事業とも継続事業として成果が認められました。

**人権教育の促進(教育文化グループ)**

予算事業名：人権・同和教育費・人権教育促進事業費

当初予算額 1,409,000 円

最終予算額 1,390,000 円

決算額

997,746 円

あらゆる人権問題について意識を高めるための啓発や、正しい知識を持つための学習会を行い、差別を許さないまちづくりを進めるため学習会等を行いました。

## (1) 主な支出

- ・ 講師謝礼 69 万円
- ・ 研修会旅費 0.4 万円
- ・ 学校副読本購入 14 万円

## (2) 活動指標

- ・ 研修会

会 場	事業の内容	時 間	延参加者数
分 館	区民人権学習会	8	150
中央・雁中同和対策集会所及び福原公民館	人権問題学習	34	340
	地域住民交流促進事業	240	504
計		282	994

- ・ 人権同和教育啓発

あけぼの購入 小学生用 1、3、5年 354冊、中学生用124冊

## (3) 活動指標の推移

- ・ 学習会などへの積極的な参加が見られ、地域社会・学校・家庭において人権問題に関する意識が高まっています。

- ・ 研修会への延参加人数

(単位：人)

平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
1,235	760	450	894	994

**部落解放教育推進委員(教育文化グループ)**

予算事業名：人権・同和教育費

当初予算額 42,000 円

最終予算額 42,000 円

決算額

0 円

部落解放委員は、部落解放教育を進めるため、教育委員会の諮問に応じて審議・調査します。

## (1) 主な支出

なし（教育委員会からの諮問なし）

**解放子ども会(教育文化グループ)**

予算事業名：人権・同和教育費・人権教育促進事業費

当初予算額 423,000 円

最終予算額 423,000 円

決算額

102,800 円

正しい知識を持ち差別に負けないリーダーを育成するため、小中学校の児童生徒を対象に人権学習・基礎学習を行いました。

## (1) 主な支出

- ・ 指導者謝礼 8 万円
- ・ 解放子ども会運営委員報酬 1 万円

## (2) 活動指標

会 場	雁中同和対策集会所
参加児童・生徒数	2 人（中学生 2）
指 導 者	中学校教員、支援加配員
時 間 数	92 時間
学 習 日	毎週 月曜日（基礎、人権学習、行事）

主な活動内容

- ・ 解放子ども会運営委員会 委員 12人 1回開催（平成19年5月8日）
- ・ くりん子ども会発会式 平成19年5月8日
- ・ レクリエーション 平成19年12月21日
- ・ 進級・卒業を祝う会 平成20年3月10日

**人権のまちづくり委員会(教育文化グループ)**

予算事業名：人権・同和教育費

当初予算額 100,000円 最終予算額 100,000円 決算額 100,000円

身近なところから人権を大切にする気配りを進めるため、地域での学習会や研修会を開催いたしました。

(1) 主な支出

- ・ 活動補助金 10万円

(2) 活動指標

- ・ 人権のまちづくり委員（各自治会の代表者） 366人
- ・ 人権のまちづくり委員研修会
  - 期日：9月25日
  - 場所：公民館講堂
  - 参加：100人
- ・ 人権政策・確立要求基本法制定須高地区大会への参加
  - 期日：6月25日
  - 場所：須坂市メセナホール
  - 参加：700人（須高地区全体）

**人権フェスティバルの開催(教育文化グループ)**

予算事業名：人権教育促進事業費

当初予算額 230,000円 最終予算額 249,000円 決算額 248,574円

すべての町民が、同和問題をはじめとする人権問題に正しい認識を持ち、一人ひとりが大切にされるまちづくりを実践していくことを誓い合う場として開催しました。

(1) 主な支出

- ・ 講師謝礼 17万円
- ・ 手話通訳謝礼 2万円
- ・ 会場看板 1万円
- ・ 啓発用ポスター・作文その他 4万円

(2) 活動指標

第34回人権フェスティバル 12月1日開催 260人参加

会 場	事業の内容	時 間	参 加 者 数
北斎ホール（勤労青少年ホーム）	人権問題講演会	3	260

- ・ 人権に関する作文の発表及び表彰
- ・ 講 演 「心のバリアをはずして」
  - 講師 NHK手話ニュースキャスター 中野佐世子
- ・ 集会宣言

(3) 活動指標の推移

- ・ 今回で34回目を迎える人権フェスティバルは、町民一人ひとりが差別をなくすことを誓い、決意を新たにす力強い大会となっています。

・ 大会の参加者数 (単位：人)

平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
380	380	250	250	260

※平成16年度から、人権フェスティバルに名称を変更しました。

**人権教育研究集会の開催(教育文化グループ)**

予算事業名：人権教育促進事業費

当初予算額 50,000 円 最終予算額 50,000 円 決算額 33,333 円

人権問題を自分自身の課題として捉え、明るく住みよいまちづくりを推進するため実行委員会を組織し集会を行いました。

(1) 主な支出

・ 講師謝礼 3 万円

(2) 活動指標

会 場	事業の内容	時 間	参加者数
北斎ホール	おしゃべりコンサート	2	100

第7回人権教育研究集会 (平成19年11月11日開催)

・ 声楽家 山崎 浩

10 文化財保護費 1,505,817

決算事項別明細書 P61～

**文化財の保護(教育文化グループ)**

予算事業名：文化財保護費

当初予算額 1,915,000 円 最終予算額 1,915,000 円 決算額 1,505,817 円

有形文化財や史跡等の保護と管理を行うとともに、文化財保護審議委員により新たな文化財指定候補について調査を行いました。また、重要文化財浄光寺薬師堂保存修理交付金を支出しました。

(1) 主な支出

・ 審議会委員報酬、調査協力の謝礼 12万円  
 ・ 重要文化財の維持管理に対する交付金 110万円  
 ・ 清掃の委託 (千両堤・古堂塚古墳・押羽水制) 12万円

(2) 活動指標

・ 文化財保護審議会 3回 (文化財保存の現況、文化財の指定について検討ほか)

(3) 成果指標

・ 国重要文化財 1、県宝 2、町宝 15、史跡 9、天然記念物 1 (15年度末現在)  
 ・ 国重要文化財 1、県宝 2、町宝 17、史跡 9、天然記念物 1 (16年度末現在)  
 ・ 国重要文化財 1、県宝 2、町宝 17、史跡 9、天然記念物 1 (17年度末現在)  
 ・ 国重要文化財 1、県宝 2、町宝 17、史跡 9、天然記念物 1 (18年度末現在)  
 ・ 国重要文化財 1、県宝 2、町宝 17、史跡 9、天然記念物 1 (19年度末現在)

11 文化振興費 1,074,825

決算事項別明細書 P62～

**町民ギャラリーの維持管理(教育文化グループ)**

予算事業名：文化振興事業費

当初予算額 977,000 円 最終予算額 977,000 円 決算額 960,375 円

各団体やグループ活動を行っている皆さんの発表の場として、町民ギャラリーの管理を行いました。

(1) 主な支出

・ 光熱水費 35 万円  
 ・ 施設管理委託 24 万円  
 ・ 土地借上料 20 万円

(2) 活動指標

- ・施設使用 29件 (ギャラリー利用12件、和室利用17件)  
(ギャラリー利用の内訳)

自由工房 (木工芸品展示販売)	5回	焼物クラブ (作品展示販売)	1回
緋くらぶ (布小物・パッチワーク展示販売)	2回	写団影法師 (写真展)	1回
中国画展	1回	その他 (個人作品展等)	2回

(3) 活動指標の推移

- ・利用件数

平成17年度	平成18年度	平成19年度
34件	29件	29件

**美術館・シャトルバスフリーパスの発行(教育文化グループ)**

予算事業名：文化振興事業費

当初予算額 126,000 円 最終予算額 126,000 円 決算額 114,450 円

町内にある町営、民営の美術館10施設とシャトルバスを、年間通して利用できるフリーパスを作成し販売しました。

(1) 主な支出

- ・フリーパス・ポスター印刷費 11 万円

(2) 活動指標

- ・対象施設  
・町内の美術館10施設  
北斎館、高井鴻山記念館、おぶせミュージアム、千曲川ハイウェイミュージアム、フローラルガーデンおぶせ、歴史民俗資料館、日本のあかり博物館  
陶磁器コレクション「了庵」、おぶせ中国美術館、現代中国美術館  
・町内周遊シャトルバス

(3) 活動指標の推移

- ・フリーパスの発行数

平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
211枚	127枚	140枚	115枚	132枚

**小布施国際音楽祭開催の補助(教育文化グループ)**

予算事業名：文化振興事業費

当初予算額 1,000,000 円 最終予算額 0 円 決算額 0 円

今年度は、県より元気づくり支援金が交付されたため、町の補助金の支出はありませんでした。

(1) 活動指標

第8回小布施音楽祭

- ・7/14 室内楽の夕べ (北斎ホール)
- ・7/15 美術館コンサート (おぶせミュージアム中島千波館)  
オーケストラコンサート (鳳凰アリーナ)
- ・7/14～15 街角コンサート (小布施町内各所)
- ・観客総数2,500名、ボランティア総数50名のもと開催されました。

12 | 生涯学習推進費 | 6,733,967 |

決算事項別明細書 P62～

**生涯学習入門講座「まなともカレッジ」(教育文化グループ)**

予算事業名：生涯学習推進費

当初予算額 1,134,000 円 最終予算額 1,134,000 円 決算額 1,047,232 円

「自分を高め、地域に生かす」をテーマに、若者からお年寄りまで幅広い層が受講できる各種講座を開いて、広く学習機会と交流の場を提供しました。



- (1) 主な支出  
 ・ 講師謝礼 71万円 ・ 雁田山登山道マップ印刷 28万円

- (2) 活動指標  
 ・ 学級・講座名、参加人数

学級・講座名	回数	延参加者数(人)
健康美容体操	10	116
ガラスサンドブラスト	15	49
フラダンス	10	85
ダンス	10	154
パソコン	10	106
絵手紙	10	76
紙粘土	10	63
謡曲	10	34
連句	10	75
フルート	10	126
I T講習会	12	190
おぶせセミナー	8	456
雁田山登山	1	60
計	121	1,590

- (3) 活動指標の推移  
 ・ 延べ参加者数

区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
参加者数(人)	1,678	1,577	1,450	1,627	1,590
講座数	18	14	13	12	13

**カルチャー大学講座・高齢者学級(教育文化グループ)**

予算事業名：生涯学習推進費

当初予算額 218,000円 最終予算額 218,000円 決算額 199,535円

時代に対応した知識や教養を身につけることを目的としたカルチャー大学と、高齢者が生きがいのある生活を送るため必要な趣味や教養を身につけることを目的とした高齢者学級を開催しました。

- (1) 主な支出  
 ・ 講師謝礼 14万円

- (2) 活動指標  
 ・ カルチャー大学 (5回) 8月4日、8月25日、12月14日、平成20年3月6日、3月13日  
 「安全・安心な農作物の生産」  
 講師：農学博士 小林荘一氏 ほか4講座 375人参加  
 ・ 高齢者学級 (9回)  
 5月15日、6月5日、6月26日、7月10日、7月24日、8月22日、9月11日、10月2日、10月30日  
 「生活習慣病と高齢者」  
 講師：さかまき内科クリニック院長 坂巻隆男氏 ほか8講座 589人参加

- (3) 活動指標の推移  
 ・ 延べ参加者数 (単位：人)

区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
カルチャー大学	130	416	93	290	375
高齢者学級	630	549	595	501	589

**子ども教室の管理運営(教育文化グループ)** 予算事業名：子ども教室推進事業費  
 当初予算額 6,234,000円 最終予算額 6,367,000円 決算額 5,487,200円

小学生の放課後や週末の保護を行うとともに、スポーツ・文化活動や農業・福祉体験などを通じたくましい子どもを育むため支援しました。登録区分を、一般登録及び体験活動付きに分け、地域の皆さんとの交流や自主的な活動を実施しました。

(1) 主な支出

- ・ 嘱託職員人件費 246万円
- ・ 講師謝礼 29万円
- ・ 下駄箱の設置 32万円
- ・ 臨時職員の賃金 184万円
- ・ 通信運搬費 32万円

(2) 活動指標

- ・ 子ども教室(一般・体験)登録人数 98名  
 受入時間 学校終了時～午後6時(冬期間・午後5時)  
 長期休業日 午前10時～午後3時
- ・ 親子わんぱく教室 年間 23回開催 延べ647人参加

子どもたちの自主性が芽生え、こういう事がしたい、こういう活動をしようということを計画し実行する力が徐々に身についてきました。また、自信をもって好きな事に取り組む姿勢が見られるようになってきました。登録区分を分けたことにより、利用者にもそれぞれの目的や役割を理解した上での利用を図ることができました。

6	保健体育費	25,313,666
1	保健体育総務費	3,130,263

決算事項別明細書 P62～

**体育指導委員活動の推進(教育文化グループ)** 予算事業名：保健体育総務費  
 当初予算額 411,000円 最終予算額 411,000円 決算額 278,460円

町民の皆さんにスポーツへの関心や理解を深めていただくため、魅力あるスポーツ行事の企画立案やスポーツ教室での指導を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 体育指導委員報酬 委員8人 18万円

(2) 活動指標

- ・ 体育指導委員会 10回開催  
 スポーツ教室の企画・立案などを協議
- ・ 町民運動会 実行委員として運営
- ・ レクリエーションスポーツ教室の実技指導 4回

スポーツ教室や町民運動会の企画立案から実施まで幅広く活動しており、町のスポーツ振興、町民の体力づくりに寄与しています。

**楽しくできる健康づくりの推進(教育文化グループ)** 予算事業名：保健体育総務費  
 当初予算額 504,000円 最終予算額 383,000円 決算額 21,479円

運動に親しむことを目的にNEWスポーツ教室開催しました。

(1) 主な支出

- ・ 講師謝礼等 1万円

(2) 活動指標

- ・ NEWスポーツ教室  
 平成20年1月19日(土) 親子25人参加

**体育団体への支援(教育文化グループ)**

予算事業名：保健体育総務費

当初予算額 1,450,000 円

最終予算額 1,571,000 円

決算額 1,571,000 円

スポーツの普及のために活動している各体育団体へ支援を行いました。

## (1) 主な支出

## ・体育団体補助金

・町体育協会	100 万円	・スポーツ少年団	15 万円
・少年硬式野球連盟	10 万円	・早起き野球連盟	5 万円
・全国スポーツ大会出場補助金	27 万円		

## (2) 活動指標

## ・町体育協会の活動内容

町長杯・町民大会競技開催運営 (バドミントン・テニス・バレー・ゴルフほか) 分館対抗球技大会運営協力 教室開催 (スキー・テニスほか) 各種行事ボランティア (見にマラソン・アートウォーク) 町民運動会運営

## ・少年硬式野球連盟の活動内容

各種大会参加 シニア (信越秋季大会・東北信ブロック新人大会・ライオンズ杯・日本選手権予選ほか) リトル (信越マイナー大会・信越秋季大会・須高少年硬式大会 ジョイフル大会ほか)

## ・スポーツ少年団の活動内容

各単位団競技交流 (バドミントン・野球・サッカー・ソフトテニス・剣道・バレー・サッカー・ミニバスケットボール)

## ・早起き野球連盟の活動内容

大会開催 各種大会参加 (北信ダークホース・各市町村杯大会出場) グラウンド整備

## (3) 成果指標

・スポーツ少年団男子・女子バレーボール 全国大会出場 など

**町民運動会の開催(教育文化グループ)**

予算事業名：各種競技大会経費費

当初予算額 1,137,000 円

最終予算額 1,137,000 円

決算額 1,019,957 円

町民の皆さんの親睦と交流を深めることを目的に、自治会やコミュニティ対抗で行う町民運動会を開催しました。

## (1) 主な支出

・参加賞・トロフィー	81 万円	・大会経費	22 万円
------------	-------	-------	-------

## (2) 活動指標

・期日：平成19年10月7日 (日)

・場所：栗ガ丘小学校グラウンド

・参加：26自治会

優勝 伊勢町 準優勝 雁田 3位 羽場

1年に一度の体育の祭典として伝統行事となっています。大会当日だけでなく、直前まで行われる自治会ごとの練習を通じて町民の体力向上や区民どうしの親睦が図られています。

**分館対抗球技大会の開催(教育文化グループ)** 予算事業名：各種競技大会経費  
 当初予算額 39,000 円 最終予算額 72,000 円 決算額 71,220 円

町民の体力向上や親睦を図るため、ソフトミニバレーボールとバドミントンの分館対抗の球技大会を開催しました。

(1) 主な支出

- ・大会消耗品（トロフィー、ラインテープなど） 7 万円

(2) 活動指標

- ・ソフトミニバレーボール大会 平成19年6月17日 25分館参加 優勝 六川
- ・バドミントン大会 平成20年3月9日 26分館参加  
 一部優勝 松村 二部優勝 中町

**市町村対抗駅伝大会等への出場(教育文化グループ)** 予算事業名：各種競技大会経費  
 当初予算額 240,000 円 最終予算額 207,000 円 決算額 168,147 円

縣市町村対抗駅伝競走大会へ出場しました。また、県縦断駅伝競走大会へ須高チームとして出場する須高陸上協会の経費を負担しました。

(1) 主な支出

- ・選手への謝礼 4 万円
- ・県縦断駅伝競走大会の負担金 6 万円

(2) 活動指標

- ・縣市町村対抗駅伝競走大会 5月6日 総合30位 (参加： 57 チーム)
- ・縣市町村対抗小学生駅伝競走大会 5月6日 総合45位 (参加： 57 チーム)
- ・県縦断駅伝競走大会 11月17日～18日 総合15位 (参加： 15 チーム)

**2 体育施設費 22,183,403 決算事項別明細書 P62～**

**体育施設の維持管理(教育文化グループ)** 予算事業名：体育施設管理費  
 当初予算額 14,363,000 円 最終予算額 13,879,000 円 決算額 13,193,621 円

町民の皆さんのスポーツ活動の場として、気持ちよくご利用いただけるよう施設の維持管理を行いました。

(1) 主な支出

- ・光熱水費 400 万円
- ・施設の清掃委託等 79 万円
- ・土地借上料 483 万円

(2) 活動指標

- ・施設の修繕
  - ・総合体育館 150 万円
  - ・トレーニングセンター 1 万円
  - ・北部体育館 40 万円
  - ・小学校グラウンド 1 万円
  - ・雁田山案内説明板 17 万円
- ・体育施設利用者会議 年2回 (8月9日、平成20年2月7日 開催)
- ・体育施設の利用状況 (スポーツ少年団、部活動等の利用は除く)
  - ・総合体育館 464 回
  - ・トレーニングセンター 389 回
  - ・北部体育館 319 回
  - ・文化体育館 325 回
  - ・小学校体育館 236 回
  - ・小学校グラウンド 86 回
  - ・中学校グラウンド 21 回
  - ・町営グラウンド 54 回
  - ・松川グラウンド 39 回
  - ・町営テニスコート 432 回

会議により利用者の皆さんのマナーの向上が図られています。

**サマーランドの管理運営(須高行政事務組合)(教育文化グループ)** 予算事業名：体育施設管理費  
 当初予算額 4,712,000円 最終予算額 3,662,000円 決算額 3,662,000円

須高行政事務組合が運営する総合プール(サマーランド)の運営に必要な経費を負担しました。

(1) 主な支出

- ・ 須高行政事務組合負担金 366万円

(2) 活動指標

- ・ 施設利用者総数 33,871人(うち利用券使用者数 1,304人(町内の幼・保・小・中学生))

**体育施設の整備(教育文化グループ)** 予算事業名：体育施設整備事業費  
 当初予算額 4,845,000円 最終予算額 5,329,000円 決算額 5,327,782円

総合体育館大屋根箱樋防水工事、総合体育館誘導灯設備工事、北部体育館雨樋改修工事、雁田山ハイキングコース整備を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 施設修繕工事 533万円

(2) 活動指標

- ・ 総合体育館大屋根箱樋防水工事 252万円
- ・ 総合体育館誘導灯設備工事 121万円
- ・ 北部体育館雨樋改修工事 94万円
- ・ 雁田山ハイキングコース整備 50万円

7	給食センター費	44,883,486
1	給食センター費	44,883,486

決算事項別明細書 P63～

**学校給食センターの管理運営(教育文化グループ)** 予算事業名：給食センター管理費  
 当初予算額 45,644,000円 最終予算額 45,700,000円 決算額 44,883,486円

幼稚園・小中学校の給食約1,200食を、おいしく、安全で、衛生的に提供するように努めました。また、お米は農家等の皆さんの協力を得て、小布施で収穫されたものだけを使用しました。野菜等についても、可能な限り地元産のものを取り入れ「食育」と「地産地消」を進めました。

(1) 主な支出

- |            |       |                  |         |
|------------|-------|------------------|---------|
| ・ 光熱水費     | 550万円 | ・ 調理器具の保守点検などの委託 | 225万円   |
| ・ 施設用地の借上げ | 170万円 | ・ 職員・調理員の人件費     | 2,197万円 |
| ・ 施設の修繕料   | 112万円 | ・ 衛生用品、調理用品      | 400万円   |
| ・ 厨芥処理機    | 236万円 | ・ その他の経費         | 598万円   |

(2) 活動指標

① 給食数及び給食費

区 分	学 級 数	給食日数	給 食 数 (延べ)	月額給食費(円)		1食当たり(円)
				4月～1月	2月	
幼稚園	5	202	23,634	3,864	3,864	232
小学校	25	208	152,256	4,600	4,336	242
中学校	11	208	74,256	5,400	4,240	280
計	41		250,146			

② 学校給食センター運営委員会の開催

- ・委員構成 町理事者代表 1人、小中学校長及び幼稚園長 3人、学校医代表 1人、  
学校薬剤師代表 1人、小中学校PTA代表 2人、幼稚園保護者会代表 1人  
計9人
- ・委員会開催数 年2回開催（平成19年7月23日8人出席、平成20年3月28日8人出席）
- ・内 容 給食費の額の決定並びに決算の認定や業務計画の決定に関すること等を審議  
しました。

③ 学校給食会の開催

- ・委員構成 幼稚園 1人、小学校 4人、中学校 4人、教育委員会 4人、給食センター 10人
- ・委員会開催数 年2回開催（平成19年7月23日22人出席、平成20年3月28日20人出席）
- ・内 容 予算、決算及び給食会運営上の反省と給食に対する要望等を協議しました。

款	項	目	款項目名	決算額 (円)	主要な施策の成果説明及び実績
10			公債費	764,402,635	
	1		公債費	764,402,635	
		1	元金	648,682,584	決算事項別明細書 P64～
<b>町債(借金)の返済</b>					予算事業名：償還元金
当初予算額 634,406,000 円 最終予算額 684,683,000 円					決算額 648,682,584 円
<p>道路や教育施設、福祉施設、公園や美術館などを整備するために借り入れた町債(借金)の返済(元金)を行いました。また、平成19年度から平成21年度にかけて予定されている、政府系資金の公的資金補償金免除繰上償還を行いました。</p> <p>(1) 主な支出及び(2)活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>償還元金 6億4,868 万円 (うち公的資金補償金免除繰上償還に係るもの 1,553万円)</li> </ul> <p>(2) 成果指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一般会計町債残高(平成19年度末) 51億9,097万円 (普通会計町債の詳細については、「4.普通会計決算の状況」に記載)</li> </ul>					
		2	利子	115,714,645	決算事項別明細書 P64～
<b>町債(借金)の返済</b>					予算事業名：支払利子
当初予算額 122,512,000 円 最終予算額 122,512,000 円					決算額 115,714,645 円
<p>道路や教育施設、福祉施設、公園や美術館などを整備するために借り入れた町債(借金)の返済(利子)を行いました。</p> <p>(1) 主な支出及び(2)活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>支払利子 1億1,571 万円</li> </ul> <p>(2) 成果指標</p> <p>民間銀行等から借り受けた3%以上の地方債については、平成16年度までに繰上償還を終了しています。平成19年度からは平成21年度までに行われる5.5%以上の政府系資金の繰上償還を実施し、将来負担となる公債費の利子2,475万円が軽減されます。</p>					
		3	公債諸費	5,406	決算事項別明細書 P64～
<b>町債(借金)の返済</b>					予算事業名：公債諸費
当初予算額 100,000 円 最終予算額 100,000 円					決算額 5,406 円
<p>ふるさと融資償還条件変更にかかる手数料を支払いました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>手数料 0.5 万円</li> </ul>					

款	項	目	款項目名	決算額 (円)	主要な施策の成果説明及び実績
11			予備費	0	
	1		予備費	0	
		1	予備費	0	決算事項別明細書 P64～
<b>一般会計の予備費</b>					予算事業名：予備費
当初予算額 21,425,000 円 最終予算額 24,971,000 円					決算額 0 円
<p>予備費は、予算外の支出または予算超過の支出に充てるための経費で、他の予算に充用して支出されるものです。(予備費としての支出はありません)</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>予備費 0 万円</li> </ul>					

## 6. 会計別決算概要

### II 国民健康保険特別会計

#### 1 決算規模及び収支

平成19年度の国民健康保険財政は、歳入で前年比1,163万5千円増の10億9,293万円、歳出では前年比787万7千円増の10億2,611万3千円となり、差し引きの残額は6,681万7千円となりました。

#### 2 歳入

##### (1) 国民健康保険税

国民健康保険税は3億8,648万8千円で、対前年比15.5%（5,193万8千円）の増になりました。これは税制改正の影響によるものです。

##### (2) 国庫支出金

国庫支出金は2億7,775万7千円で、対前年比16.6%（5,532万3千円）の減になりました。これは、補助対象費用である一般被保険者分の保険給付費や老人保健拠出金等の減によるものです。

##### (3) 県支出金

県支出金は5,260万6千円で、対前年比12.5%（582万6千円）の増になりました。これは、入院等の高額な医療費が減少したために、共同事業拠出金が共同事業交付金を上回ったため差額について補助があったことが影響しています。

##### (4) 療養給付費交付金

療養給付費交付金は1億9,839万1千円で、対前年比7.1%（1,515万7千円）の減になりました。これは、退職被保険者からの保険税収入が増加していることが影響しています。

##### (5) 共同事業交付金

共同事業交付金は8,624万2千円で、対前年比41.0%（2,506万4千円）の増になりました。昨年度の途中から新たに保険財政共同安定化事業が開始されたことが影響しています。

##### (6) その他

繰入金は、5,687万3千円で、対前年比8.8%（460万9千円）の増になりました。これは、税率改正が影響しています。

#### 3 歳出

##### (1) 総務費

総務費は1,620万5千円で、対前年比110.5%（850万7千円）の増になりました。これは後



期高齢者医療制度創設に対応するため、国保関連のシステム改修をしたためです。

(2) 保険給付費

保険給付費は6億5,904万2千円で、対前年比4.8%（3,320万9千円）の減になりました。これは一般被保険者における入院件数及び一人当たり入院費用の減少が影響しています。

(3) 老人保健拠出金

老人保健拠出金は1億5,472万5千円で、対前年比16.7%（3,112万9千円）の減になりました。これは、対象年齢の引き上げにともない老人医療費が減少しているためと、国保が老人保健に対して負担する拠出金の割合の減が影響しているためです。

(4) 介護納付金

介護納付金は6,736万円で、対前年比2.9%（198万9千円）の減になりました。介護保険が予防介護に重点を置くようになったことが影響しています。

(5) 共同事業拠出金

共同事業拠出金は1億185万2千円で、対前年比80.5%（4,541万円）の増になりました。昨年度途中から新たに保険財政共同安定化事業が開始されたことが影響しています。

主要な施策の成果は、次のとおりです。

## 平成19年度 国民健康保険特別会計歳入歳出決算の状況

### 【歳 入】

(単位：千円)

区 分	平成19年度		平成18年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
国民健康保険税	386,488	35.4%	334,550	30.9%	51,938	15.5%
使用料及び手数料	82	0.0%	74	0.0%	8	10.8%
国庫支出金	277,757	25.4%	333,080	30.8%	△ 55,323	△ 16.6%
県支出金	52,606	4.8%	46,780	4.3%	5,826	12.5%
療養給付費交付金	198,391	18.2%	213,548	19.7%	△ 15,157	△ 7.1%
共同事業交付金	86,242	7.9%	61,178	5.7%	25,064	41.0%
財産収入	728	0.1%	85	0.0%	643	756.5%
繰入金	56,873	5.2%	52,264	4.8%	4,609	8.8%
繰越金	30,001	2.7%	35,176	3.3%	△ 5,175	△ 14.7%
諸収入	3,762	0.3%	4,560	0.4%	△ 798	△ 17.5%
合 計	1,092,930	100.0%	1,081,295	100.0%	11,635	1.1%

### 【歳 出】

(単位：千円)

区 分	平成19年度		平成18年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
総務費	16,205	1.6%	7,698	0.8%	8,507	110.5%
保険給付費	659,042	64.2%	692,251	68.0%	△ 33,209	△ 4.8%
老人保健拠出金	154,725	15.1%	185,854	18.3%	△ 31,129	△ 16.7%
介護納付金	67,360	6.6%	69,349	6.8%	△ 1,989	△ 2.9%
共同事業拠出金	101,852	9.9%	56,442	5.5%	45,410	80.5%
保健事業費	6,325	0.6%	6,146	0.6%	179	2.9%
基金積立金	728	0.1%	85	0.0%	643	756.5%
公債費	-	-	-	-	-	-
諸支出金	19,876	1.9%	411	0.0%	19,465	4736.0%
合 計	1,026,113	100.0%	1,018,236	100.0%	7,877	0.8%

歳入歳出差引額      66,817                      63,059

款	項目	款項目名	決算額 (円)	主要な施策の成果説明及び実績
1		総務費	16,205,337	
1		総務管理費	12,882,290	
1		一般管理費	11,837,637	

決算事項別明細書 P77～

**資格管理・レセプト点検(健康グループ)**

新たに国民健康保険に加入した方に被保険者証を交付し、また他の健康保険に加入された方からは被保険者証を回収します。また、町の国保に加入する前、辞めた後に被保険者証を使っていないか確認しています。

医療機関等から請求された医療費の内容について、レセプト(診療報酬明細書)の点検を行うことにより医療費の適正化を図っています。

被保険者の状況

区 分		前年度末 現 在	本年度末 現 在	年間平均	
世 帯 数 (世帯)		2,144	2,152	2,151	
者被 数 (保 人 ) 險	総 数 A	4,679	4,632	4,665	
	一般被保険者数	B	3,821	3,737	3,775
		(再掲)老人保険医療給付対象者 C	1,228	1,224	1,215
	(再掲)上記以外のもの (B-C)	2,593	2,513	2,560	
退職被保険者数 D		858	895	890	

(単位：人)

増被 減保 内 険 訳 者	本年度中増	転 入	社保離脱	生保廃止	出 生	そ の 他	計
		88	380	0	15	75	558
	本年度中減	転 出	社保加入	生保開始	死 亡	そ の 他	計
		76	332	1	85	111	605

(1) 主な支出

- ・ 保険証作成委託料 21 万円
- ・ 後期高齢者医療制度の創設に伴うシステム改修 696 万円
- ・ レセプト点検賃金 87 万円

(2) 活動指標

電算事務委託

- ・ 被保険者証の更新 10月1日

レセプト点検 点検レセプト枚数 46,444 枚

	枚 数	金 額 (万円)
再審査依頼レセプト	492	702
査定決定レセプト	435	606
返戻レセプト	57	96

(3) 活動指標の推移

(単位：万円)

	平成15年度		平成16年度		平成17年度		平成18年度		平成19年度	
	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額
点検レセプト枚数	37,284		39,861		42,388		45,780		46,444	
再審査依頼レセプト	257	288	224	345	471	308	626	2,130	492	702
査定決定レセプト	142	25	74	12	416	298	483	401	435	606
返戻レセプト	46	251	24	185	31	51	39	147	57	96

2	連合会負担金	1,044,653
<b>連合会負担金(健康グループ)</b>		
医療機関への医療費の支払い等を委託している長野県国民健康保険団体連合会に対し負担金を支払いました。		
(1) 主な支出		
・長野県国民健康保険団体連合会負担金 104万円		
(2) 活動指標		
・医療費の審査、取りまとめ、医療費支払いの代行等を委託		
3	介護納付金事務費	0
(1) 主な支出		
なし		

2	徴税費	3,232,047
1	賦課徴収費	3,232,047

**保険税の賦課・徴収(税務グループ)**

加入者に収めていただく保険税の計算と徴収を行いました。

- (1) 主な支出
- ・課税及び収納業務委託(保守を含む) 164万円
  - ・国保業務ソフトウェア使用料 130万円

- (2) 活動指標
- ・国民健康保険税の状況(現年分) (単位:万円)

区 分	税 率 等		割 合		金 額	
	医 療 分	介 護 分	医 療 分	介 護 分	医 療 分	介 護 分
所 得 割 額	7.40%	1.70%	44.85%	43.70%	18,524	1,728
資 産 割 額	22.00%	7.50%	9.63%	9.62%	3,976	380
均 等 割 額	28,500円	9,500円	31.97%	32.06%	13,204	1,267
平 等 割 額	26,000円	6,000円	13.55%	14.62%	5,598	578
課 税 総 額	医 療 分		介 護 分		41,302	3,953
7 割 軽 減 額	543世帯	862人	170世帯	198人	2,708	203
5 割 軽 減 額	121世帯	334人	57世帯	79人	633	38
2 割 軽 減 額	213世帯	457人	83世帯	107人	371	30
軽 減 額 計					3,712	271
限 度 超 過 額	55世帯		59世帯		1,851	223
算 出 税 額					35,498	3,516
1 世 帯 当 り 国 保 税 (円)					164,874	36,508
1 人 当 り 国 保 税 (円)					76,619	26,355

※ 応益割合 = (均等割額 + 平等割額) ÷ (A-C)

- ・収 納 率 (現年課税分) (単位:円)

区 分	調 定 額	収 入 済 額	収 納 率
一 般	303,873,517	296,246,299	97.5%
退 職	88,072,183	87,261,801	99.1%
計	391,945,700	383,508,100	97.8%

(3) 活動指標の推移

・ 収納率（現年度）の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
一般	98.5%	96.8%	98.3%	98.4%	97.5%
退職	99.4%	98.6%	98.9%	98.8%	99.1%
計	98.6%	97.1%	98.4%	98.4%	97.8%

2 滞納処分費 0

(1) 主な支出  
なし

3 運営協議会費 91,000

1 運営協議会費 91,000

**国民健康保険運営協議会の開催(健康グループ)**

国保の運営上重要な事項、例えば一部負担金の負担割合、保険税の賦課方法、保健事業等の事項について協議していただきました。

(1) 主な支出

・ 委員報酬 9万円

(2) 活動指標

国保運営協議会

・ 委員 9人（構成：被保険者代表、保険医等代表、公益代表 各3人）

・ 協議会の開催 3回

開催日

内容 平成19年度国民健康保険特別会計決算見込みについて

平成20年度国民健康保険事業計画・予算(案)について

平成20年度国民健康保険税率について

2 保険給付費 659,041,469

1 療養諸費 603,734,905

1 一般被保険者療養給付費 372,484,438

決算事項別明細書 P78～

**医療機関等へ一般被保険者の医療費の支払(健康グループ)**

長野県国民健康保険団体連合会を通じ、医療機関等へ一般被保険者の医療費を支払いました。

(1) 主な支出

・ 療養給付費 3億7,248万円

(2) 活動指標

・ 療養給付費の状況

(単位：万円)

区分		件数 (件)	日数 (日)	費用額	保険者 負担分	一部 負担金	他法分	
被一 保 険 者 分 般	合計	30,082	44,072	49,849	37,227	11,794	828	
	内 訳	診療費						
		入院	405	6,991	14,681			
		入院外	17,761	30,422	20,726			
		歯科	2,879	6,659	3,943			
		調剤	9,037	12,233	9,230			
		食事療養	394	19,114	1,269			
	訪問看護	0	0	0				

・療養の給付費(診療費)等諸率

対 象	種 別	受 診 率 (ア)	1 件 当 り 日 数 (イ)	1 日 当 り 費 用 額 (ウ)	1 人 当 り 費 用 額 (エ)	1 件 当 り 費 用 額 (オ)
一 般	入 院	15.8件	17.3日	20,999円	57,346円	362,486円
	入 院 外	693.8件	1.7日	6,813円	80,962円	11,670円
	歯 科	112.5件	2.3日	5,922円	15,403円	13,696円
	計	822.1件	2.1日	8,929円	153,711円	18,698円

ア 受 診 率 = 年間診療件数 ÷ 年間平均被保険者数 … (100人当り受診件数)  
 イ 1件当り日数 = 診療日数 ÷ 診療件数 … (1ヶ月における平均日数)  
 ウ 1日当り費用額 = 診療費用額 ÷ 診療日数 … (1日当り費用単価)  
 エ 1人当り費用額 = 診療費用額 ÷ 年間平均被保険者数 … (年間1人当りの平均費用額)  
 オ 1件当り費用額 = 診療費用額 ÷ 診療件数 … (1件当りの費用単価)

(3) 活動指標の推移

・1人当り費用額の推移

年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
入 院	54,177円	59,642円	65,704円	75,027円	57,346円
入院外	71,849円	75,217円	79,826円	80,625円	80,962円
歯 科	16,513円	16,788円	15,680円	16,300円	15,403円
計	142,538円	151,646円	161,210円	171,952円	153,711円

2 退職被保険者等療養給付費 222,178,112

**医療機関等へ退職被保険者の医療費の支払(健康グループ)**

長野県国民健康保険団体連合会を通じ、医療機関等へ退職被保険者の医療費を支払いました。

(1) 主な支出

・療養給付費 2億2,218万円

(2) 活動指標

・療養給付費の状況

(単位：万円)

区 分			件 数 (件)	日 数 (日)	費 用 額	保 険 者 負 担 分	一 部 負 担 金	他 法 分	
被退 保 險 者 分 職	合 計		16,381	23,499	29,503	22,149	7,258	96	
	内 訳	診 療 費	入 院	215	2,731	9,359			
		入 院 外	9,958	17,543	12,373				
		歯 科	1,347	3,225	2,010				
	調 剤	4,861	6,414	5,317					
	食 事 療 養	210	6,890	444					
	訪 問 看 護	0	0	0					

・療養の給付費(診療費)等諸率

対 象	種 別	受 診 率 (ア)	1 件 当 り 日 数 (イ)	1 日 当 り 費 用 額 (ウ)	1 人 当 り 費 用 額 (エ)	1 件 当 り 費 用 額 (オ)
退 職 者	入 院	24.2件	12.7日	34,269円	105,157円	435,302円
	入 院 外	1,118.9件	1.8日	7,053円	139,022円	12,425円
	歯 科	151.3件	2.4日	6,233円	22,584円	14,922円
	計	1,294.4件	2.0日	10,103円	266,764円	20,609円

(3) 活動指標の推移

・1人当り費用額の推移

年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
入 院	99,231円	97,246円	121,012円	105,269円	105,157円
入院外	109,298円	111,021円	121,982円	121,982円	139,022円
歯 科	24,075円	23,102円	25,433円	25,433円	22,584円
計	232,605円	231,369円	268,427円	268,427円	266,764円

3 一般被保険者療養費 4,889,487

**加入者等へ一般被保険者の療養費の支払(健康グループ)**

国保加入者(一般被保険者)の方等へ、療養費を支払いました。

(1) 主な支出

・療養費 489 万円

(2) 活動指標

・療養費の内容

医療の内容	件数(件)	費用額(円)	保険者負担額(円)	一部負担金(円)
診療費	3	10,900	7,630	3,270
柔道整復師・補装具・ハリ 等	615	6,475,674	4,881,857	1,593,817
計	618	6,486,574	4,889,487	1,597,087

(3) 活動指標の推移

件数と金額の推移

年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
件数	586	609	693	688	618
保険者負担額	4,100,504円	4,437,876円	5,261,826円	5,319,022円	4,889,487円

4 退職被保険者等療養費 2,350,777

**加入者等へ退職被保険者の医療費の支払(健康グループ)**

国保加入者(退職被保険者)の方等へ、療養費を支払いました。

(1) 主な支出

・療養費 235 万円

(2) 活動指標

・療養費の内容

医療の内容	件数(件)	費用額(円)	保険者負担額(円)	一部負担金(円)
診療費	-	-	-	-
柔道整復師・補装具・ハリ 等	232	3,038,428	2,350,777	687,651
計	232	3,038,428	2,350,777	687,651

(3) 活動指標の推移

・件数と金額の推移

年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
件数	186	190	226	254	232
保険者負担額	1,308,391円	1,355,858円	1,951,294円	2,627,357円	2,650,777円

5	審査支払手数料	1,832,091
---	---------	-----------

**医療内容の審査(健康グループ)**

長野県国民健康保険団体連合会で行っている医療内容の審査にかかる手数料を支払いました。

- (1) 主な支出  
 ・ 審査手数料 183 万円

- (2) 活動指標  
 ・ 主な審査手数料

医療の内容	件数 (件)	単価 (円)	金額 (円)
療養給付費	46,538	38	1,768,444
療養費	844	38	32,072
計	47,382		1,800,516

※平成19年3月診療分から平成20年2月診療分

2	高額療養費	45,467,658
---	-------	------------

1	一般被保険者高額療養費	27,939,304
---	-------------	------------

2	退職被保険者等高額療養費	17,528,354
---	--------------	------------

**加入者へ高額医療費の支払(健康グループ)**

医療費が高額となった場合、自己負担限度額を超えた額を加入者にお支払いしました。

- (1) 主な支出  
 ・ 一般被保険者高額療養費 2,794 万円  
 ・ 退職被保険者等高額療養費 1,753 万円

- (2) 活動指標  
 高額療養費支出状況  
 ・ 一般被保険者高額療養費 482 件  
 ・ 退職被保険者高額療養費 299 件

3	移送費	0
---	-----	---

1	一般被保険者移送費	0
---	-----------	---

2	退職被保険者等移送費	0
---	------------	---

- (1) 主な支出  
 なし

4	出産育児諸費	4,550,000
---	--------	-----------

1	出産育児一時金	4,550,000
---	---------	-----------

**国民健康保険加入者の出産費の支払(健康グループ)**

国保加入者の方の出産にかかった費用を負担しました。

- (1) 主な支出  
 ・ 出産育児一時金 455 万円

- (2) 活動指標  
 ・ 妊娠4カ月を超える出産に係るもの 1人 35万円(胎児数に応じて支給)×13人



(3) 活動指標の推移

・過去の推移

年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
件数	14件	18件	10件	12件	13件
保険者負担額	420万円	540万円	300万円	385万円	455万円

5 葬祭諸費 3,400,000

1 葬祭費 3,400,000

**国民健康保険加入者の葬祭費の支払(健康グループ)**

国保加入者の方の葬祭にかかった費用の一部を負担しました。

(1) 主な支出

・葬祭費 340万円

(2) 活動指標

・葬祭を行った者 4万円×85件

(3) 活動指標の推移

年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
件数	74件	67件	87件	73件	85件
保険者負担額	296万円	268万円	348万円	292万円	340万円

6 精神諸費 1,888,906

1 精神給付金 1,888,906

**精神給付金の支払(健康グループ)**

精神障害者の方の通院治療費の一部を負担しました。

(1) 主な支出

・精神給付金 189万円

(2) 活動指標

・自立支援医療(旧精神通院公費)の自己負担相当額を支給 1,220件

(3) 活動指標の推移

年 度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
件数	1,139件	1,233件	1,125件	1,089件	1,220件
保険者負担額	95万円	113万円	107万円	157万円	189万円

3 老人保健拠出金 154,724,750

1 老人保健拠出金 154,724,750

1 老人保健医療費拠出金 151,324,163

2 老人保健事務費拠出金 3,400,587

決算事項別明細書 P79～

**老人保健のための負担金の支払(健康グループ)**

老人保健への医療費拠出金と事務費拠出金です。

(1) 主な支出

・老人保健拠出金 1億5,472万円

4	介護納付金	67,360,124	
1	介護納付金	67,360,124	
1	介護納付金	67,360,124	決算事項別明細書 P80～
<b>介護保険のための負担金の支払(健康グループ)</b>			
<p>国保被保険者のうち介護保険の第2号被保険者より徴収した保険税を社会保険診療報酬支払基金へ納付しました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護納付金 6,736 万円</li> </ul> <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・介護給付費・地域支援事業支援納付金</li> </ul> <p>平成19年度概算 7,035 万円</p> <p>1,422 人 (第2号被保険者数) × 49,476 円 (第2号被保険者1人当たり負担額)</p> <p>平成17年度精算 △ 299 万円</p>			
5	共同事業拠出金	101,851,638	
1	共同事業拠出金	101,851,638	
1	高額医療費共同事業拠出金	12,039,662	
2	保険財政共同安定化事業拠出金	89,811,424	
3	その他共同事業拠出金	552	決算事項別明細書 P80～
<b>市町村間の保険事業の掛金の支払(健康グループ)</b>			
<p>医学、薬学の進歩、疾病構造の変化等に伴い、高額な医療費が発生する機会が増加したため、国民健康保険団体連合会が事業主体となり、各保険者からの拠出金により高額医療費の発生による保険者の財政運営の安定化を図りました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高額医療費共同事業拠出金 1,204 万円</li> <li>・保険財政共同安定化事業拠出金 8,981 万円</li> </ul>			
6	保健事業費	6,324,997	
1	保健事業費	6,324,997	
1	保健衛生普及費	536,052	決算事項別明細書 P80～
<b>健康づくりセミナーの開催(健康グループ)</b>			
<p>健康づくりへの意識の高揚と体力づくりのため、健康づくりセミナーを開催しました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講師謝金 11 万円</li> <li>・雑費 (消耗品等) 7 万円</li> <li>・委託料 (血液サラサラチェック) 10 万円</li> </ul> <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ いつでもどこでも気軽にウォーキング</li> <li>・講師 古賀和仁氏 (パワーウォーキング日本協会会長)</li> <li>・開催日時 平成19年10月13日(土)</li> <li>・場所 小布施町総合公園</li> </ul>			

(3) 活動指標の推移

毎年さまざまなテーマでセミナーを開催しており、健康づくり、体力の増進に役立ててもらっています。

参加者数 (人)	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
	130	300	80	60	80

**制度周知パンフレットの配付(健康グループ)**

10月の保険証更新に伴い、制度周知パンフレットとエイズ啓発パンフレットを配付しました。

(1) 主な支出

- ・パンフレットの購入 22 万円

(2) 活動指標

- ・制度周知パンフレット 「いつでも国保」 2,300部
- ・エイズ啓発パンフレット 「やってみようエイズ検定」 2,100部

2	疾病予防費	5,788,945
---	-------	-----------

**医療費通知の郵送(健康グループ)**

医療費通知の作成料と郵送料です。

(1) 主な支出

- ・郵送料 38 万円
- ・作成委託料 14 万円

**人間ドック費用の補助(健康グループ)**

加入者の皆さんの人間ドックにかかる費用を補助しました。

(1) 主な支出

- ・人間ドック受診補助金 526 万円

(2) 活動指標

- ・人間ドック補助数

区 分	一 般			節 目 (40、50歳)		
	一日ドック	一泊ドック	一泊脳ドック	一日ドック	一泊ドック	一泊脳ドック
補助単価 (万円)	2	3	6	3.5	4.5	7.5
補助人数 (人)	194	24	11	0	0	0

(3) 活動指標の推移

- ・人間ドック受診者数 (単位：人)

受診者数 (人)	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
	217	203	190	199	229

3	在宅医療等推進支援事業費	0
---	--------------	---

(1) 主な支出

なし

7	基金積立金	728,000				
1	基金積立金	728,000				
1	基金積立金	728,000	決算事項別明細書 P81～			
<b>財政調整基金など基金への積立(健康グループ)</b>						
財政調整基金など、基金への積み立てを行いました。						
(1) 主な支出						
・基金積立金 73万円						
(2) 活動指標						
・基金の状況 (単位：万円)						
	区 分	平成18年度末	平成19年度 積立金額			平成19年度末
			積立	利子	計	取崩額
	財政調整基金	16,595		68	68	
	出産資金貸付基金	100		1	1	
	高額医療費資金貸付基金	1,008		4	4	
						16,663
						101
						1,012
(3) 活動指標の推移						
・基金残高の推移 (単位：万円)						
	区 分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
	財政調整基金	20,138	16,160	13,281	16,595	16,663
	出産資金貸付基金	100	100	100	100	100
	高額医療費資金貸付基金	1,004	1,006	1,007	1,008	1,012
※地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額 4,037万円						
8	公債費	0				
1	公債費	0				
1	利子	0	決算事項別明細書 P81～			
(1) 主な支出						
なし						
9	諸支出金	19,876,104				
1	償還金及び還付加算金	19,876,104				
1	一般被保険者保険税還付金	483,700				
2	退職被保険者等保険税還付金	0	決算事項別明細書 P81～			
<b>保険税の還付(税務グループ)</b>						
(1) 主な支出						
・保険税の還付 48万円						
3	償還金	0				
(1) 主な支出						
なし						
4	一般被保険者還付加算金	7,700				
(1) 主な支出						
・還付加算金 1万円						

5	退職費保険者等還付加算金	0	
(1) 主な支出 なし			
6	返納金	19,384,704	
(1) 主な支出 ・療養給付費等負担金返還金 1,938 万円			

## 6. 会計別決算概要

### Ⅲ 老人保健特別会計

#### 1 決算規模及び収支

平成 19 年度の老人保健特別会計は、歳入で前年比 2,918 万 1 千円 (2.7%) 減の 10 億 6,439 万 2 千円、歳出で前年比 2,917 万 7 千円 (2.7%) 減の 10 億 6,438 万円となり、差し引きの残額は 1 万 2 千円となりました。

歳出の 99.8%を占める医療諸費は、10 億 6,243 万 7 千円となり、前年比 2,918 万 4 千円、2.7%の減となっています。

主要な施策の成果は、次のとおりです。

## 平成19年度 老人保健特別会計歳入歳出決算の状況

### 【歳 入】

(単位：千円)

区 分	平成19年度		平成18年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
支払基金交付金	562,928	52.9%	584,909	53.5%	△ 21,981	△ 3.8%
国庫支出金	349,068	32.8%	319,772	29.2%	29,296	9.2%
県支出金	82,767	7.8%	80,301	7.3%	2,466	3.1%
繰入金	69,259	6.5%	107,657	9.8%	△ 38,398	△ 35.7%
繰越金	16	0.0%	1	0.0%	15	1500.0%
諸収入	354	0.0%	933	0.1%	△ 579	△ 62.1%
合 計	1,064,392	100.0%	1,093,573	100.0%	△ 29,181	△ 2.7%

### 【歳 出】

(単位：千円)

区 分	平成19年度		平成18年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
総務費	1,943	0.2%	1,936	0.2%	7	0.4%
医療諸費	1,062,437	99.8%	1,091,621	99.8%	△ 29,184	△ 2.7%
合 計	1,064,380	100.0%	1,093,557	100.0%	△ 29,177	△ 2.7%

歳入歳出差引額

12

16

款	項目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績																																																																
1		総務費	1,942,317	決算事項別明細書 P86～																																																																
	1	総務費	1,942,317																																																																	
		1	総務費			1,942,317																																																														
<b>レセプト点検・電算共同処理委託</b>																																																																				
<p>診療や投薬等の処方が適切か否かを判断するためのレセプト点検賃金、老人保健受給者異動、高額医療費の算定と支給者名簿作成、保険者等への医療費通知等に係る電算共同処理委託料等を支払いました。</p> <p>・老人保健医療対象者（平成20年3月末現在） <span style="float:right">(単位：人)</span></p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>70歳以上の者</th> <th>65歳以上70歳未満で障害認定を受けた者</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">国民健康保険</td> <td>市町村</td> <td>1,115</td> <td>30</td> <td>1,145</td> </tr> <tr> <td>組 合</td> <td>45</td> <td>3</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">健康保険</td> <td>政府(日雇特例被保険者保険を除く)</td> <td>195</td> <td>4</td> <td>199</td> </tr> <tr> <td>政府(日雇特例被保険者保険)</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">組 合</td> <td>99</td> <td>0</td> <td>99</td> </tr> <tr> <td colspan="2">船員保険</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">共済組合</td> <td>30</td> <td>0</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>1,484</td> <td>37</td> <td>1,521</td> </tr> <tr> <td colspan="2">前年計</td> <td>1,516</td> <td>44</td> <td>1,560</td> </tr> <tr> <td colspan="2">前年比</td> <td>△ 32</td> <td>△ 7</td> <td>△ 39</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レセプト点検等 <span style="float:right">69 万円</span></li> <li>・電算共同処理委託料（電算、国保連合会） <span style="float:right">82 万円</span></li> <li>・老健保険者別医療費通知手数料（診療報酬支払基金） <span style="float:right">31 万円</span></li> <li>・第三者行為損害賠償求償事務共同事業委託料（国保連合会） <span style="float:right">2 万円</span></li> <li>・医療費通知作成委託料 <span style="float:right">6 万円</span></li> </ul> <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レセプト点検</li> </ul> <p>(3) 活動指標の推移</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レセプト点検処理件数</li> </ul> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>平成15年度</th> <th>平成16年度</th> <th>平成17年度</th> <th>平成18年度</th> <th>平成19年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>43,555</td> <td>42,466</td> <td>41,139</td> <td>39,557</td> <td>38,392</td> </tr> </tbody> </table>						区 分		70歳以上の者	65歳以上70歳未満で障害認定を受けた者	計	国民健康保険	市町村	1,115	30	1,145	組 合	45	3	48	健康保険	政府(日雇特例被保険者保険を除く)	195	4	199	政府(日雇特例被保険者保険)	0	0	0	組 合		99	0	99	船員保険		0	0	0	共済組合		30	0	30	計		1,484	37	1,521	前年計		1,516	44	1,560	前年比		△ 32	△ 7	△ 39	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	43,555	42,466	41,139	39,557	38,392
区 分		70歳以上の者	65歳以上70歳未満で障害認定を受けた者	計																																																																
国民健康保険	市町村	1,115	30	1,145																																																																
	組 合	45	3	48																																																																
健康保険	政府(日雇特例被保険者保険を除く)	195	4	199																																																																
	政府(日雇特例被保険者保険)	0	0	0																																																																
組 合		99	0	99																																																																
船員保険		0	0	0																																																																
共済組合		30	0	30																																																																
計		1,484	37	1,521																																																																
前年計		1,516	44	1,560																																																																
前年比		△ 32	△ 7	△ 39																																																																
平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度																																																																
43,555	42,466	41,139	39,557	38,392																																																																
2		医療諸費	1,062,437,199	決算事項別明細書 P86～																																																																
	1	医療諸費	1,052,863,038																																																																	
		1	医療給付費			1,040,355,308																																																														
<b>医療給付費の支払</b>																																																																				
<p>入院、通院、歯科診療、調剤報酬、食事療養費として、医療機関等に支払いました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療給付費 <span style="float:right">10億4,036万円</span></li> </ul>																																																																				



## (2) 活動指標

## ・医療費の給付の内訳

区 分		件 数 (件)	日 数 (日)	一 部 負担金 (万円)	給付額 (万円)	1件当り 日数(日)	1件当り 費用額 (円)	1人当り 費用額 (円)	
医 科	入院	公費0割	58	912	291	2,596	15.7	49,776	1,851
		公費3～5割	1,130	21,452	3,417	47,364	19.0	44,939	32,552
	外来	公費0割	1,268	2,443	582	2,778	1.9	2,650	2,154
		公費3～5割	21,228	41,997	3,025	30,526	2.0	1,581	21,507
歯 科	入院	公費0割							
		公費3～5割							
	外来	公費0割	120	285	49	116	2.4	1,375	106
		公費3～5割	1,634	3,956	274	2,466	2.4	1,677	1,756
調 剤	公費0割	587		222	655	-	1,494	562	
	公費3～5割	11,935		1,638	14,740	-	1,372	10,499	
食 事 療 養 費	医 科	公費0割	53	2,307	60	97	43.5	2,962	101
		公費3～5割	1,080	57,875	1,564	2,366	53.6	3,639	2,519
施 設 療 養 費	歯 科	公費0割							
		公費3～5割							
入 院	公費0割								
	公費3～5割								
通 所	公費0割								
	公費3～5割								
看 訪 護 問	公費0割								
	公費3～5割	47	361		331			212	
合 計		38,007	71,045	11,122	104,035	1.9	3,030	73,819	

## (3) 活動指標の推移

## ・医療給付費の推移

平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
10億4,850万円	10億1,081万円	10億7,409万円	10億3,963万円	10億4,036万円

2 医療支給費 8,322,593

## 医療支給費の支払

柔道整復、コルセット等補装具代として柔道整復師、補装具制作会社に支払いました。

## (1) 主な支出

・医療支給費 832万円

## (2) 活動指標

## ・療養費支給の内訳

(単位：円)

区 分	件 数 (件)	一部負担金	給 付 額	1件当り費用額	1人当り費用額
柔道整復	433	828,557	7,340,990	18,867	5,237
補 装 具	15	166,750	604,662	51,427	494
マッサージ	14	41,884	376,941	29,916	268
鍼 灸					
そ の 他					
計	462	1,037,191	8,322,593	100,211	6,000

## (3) 活動指標の推移

## ・医療支給費の推移

平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
621万円	780万円	750万円	777万円	832万円

3	審査手数料	4,146,258
---	-------	-----------

### 審査手数料の支払

レセプトの審査、医療機関への診療報酬支払いに要する手数料として、社会保険診療報酬支払基金に支払いました。

(1) 主な支出

- ・審査手数料 415万円

(2) 活動指標

- ・審査支払手数料 (単位：円)

区 分	厚生労働大臣が定める基準額	件 数 (件)	審査支払手数料
国 保	111.60	31,161	3,477,567
国保 (柔整・補装具)	38.00	463	17,594
社 保	医科・歯科・施設・訪問看護分	4,513	651,097
	調剤審査分	27	
	調剤審査以外の調剤分	2,306	
計	—	—	4,146,258

(3) 活動指標の推移

- ・審査手数料の推移

平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
475万円	452万円	435万円	421万円	415万円

4	返還金	38,879
---	-----	--------

### 返還金

医療給付費や審査支払手数料に充当する社会保険診療報酬支払基金からの平成18年度分交付金、レセプト点検の賃金等に充当する平成18年度分国庫支出金について、精算額が確定したため、差額を返還しました。

(1) 主な支出

- ・支払基金交付金返還金 4万円

2	高額医療費	9,574,161
---	-------	-----------

1	高額医療費	9,574,161
---	-------	-----------

### 高額医療費の支払

医療費の自己負担額を超える金額を、高額医療費として、該当者に支給しました。

(1) 主な支出

- ・高額療養費 957万円

(2) 活動指標

- ・高額療養費の件数 (単位：円)

区 分	件 数 (件)	支 給 額	1件当り支給額	1人当り支給額
高額療養費	1,318	9,574,161	7,264	6,137

(3) 活動指標の推移

- ・高額療養費の推移

平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
645万円	793万円	555万円	762万円	957万円

## 6. 会計別決算概要

### IV 介護保険特別会計

#### 1 決算規模及び収支

平成19年度の決算額は、歳入総額7億1,833万6千円、歳出総額6億7,531万1千円で、形式収支額、実質収支額ともに4,302万5千円となりました。

これを前年度と比較すると、歳入においては6,003万1千円、9.1%の増、歳出においては6,693万9千円、11.0%の増、実質収支においては493万4千円、10.3%の減となりました。

#### 2 歳入

##### (1) 保険料

保険料収入は、1億4,161万9千円で、対前年比5.6%（745万円3千円）の増となりました。これは、第1号被保険者の増加に加えて激変緩和措置対象者の保険料が上がったことによるものです。

##### (2) 国庫支出金

国庫支出金は1億5,083万8千円で、対前年度比6.9%（1,124万7千円）の減となりました。これは、前年度よりも介護給付費の増加を少なく見越したことによるものです。

##### (3) 支払基金交付金

支払基金交付金は、1億9,131万4千円で対前年比7.8%（1,380万2千円）の増となりました。これは前年度よりも介護給付費が増加したことによるものです。

##### (4) 県支出金

県支出金は9,459万2千円で、対前年度比5.9%（530万4千円）の増になった。これは、前年度よりも介護給付費が増加したことによるものです。

##### (5) その他

一般会計繰入金は、対前年度比0.2%（13万8千円）増の8,924万4千円となりました。

#### 3 歳出

前年度に比べ、保険給付費全体で8.1%（4,681万4千円）の増となりました。これは、施設系の給付費が前年度に引き続き減少したものの、居宅系サービスと地域密着型サービスが支出全体を押し上げたことによるものと考えられます。

主な施策の成果は、次のとおりです。

## 平成19年度 介護保険特別会計歳入歳出決算の状況

### 【歳 入】

(単位：千円)

区 分	平成19年度		平成18年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
保 険 料	141,619	19.7%	134,166	20.4%	7,453	5.6%
使用料及び手数料	715	0.1%	559	0.1%	156	27.9%
国庫支出金	150,838	21.0%	162,085	24.6%	△ 11,247	△ 6.9%
支払基金交付金	191,314	26.6%	177,512	27.0%	13,802	7.8%
県支出金	94,592	13.2%	89,288	13.6%	5,304	5.9%
財産収入	73	0.0%	1	0.0%	72	7200.0%
繰入金	89,244	12.4%	89,106	13.5%	138	0.2%
繰越金	49,933	7.0%	5,586	0.8%	44,347	793.9%
諸収入	8	0.0%	1	0.0%	7	700.0%
合 計	718,336	100.0%	658,304	100.0%	60,032	9.1%

### 【歳 出】

(単位：千円)

区 分	平成19年度		平成18年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
総 務 費	11,235	1.7%	12,136	2.0%	△ 901	△ 7.4%
保険給付費	624,345	92.5%	577,531	94.9%	46,814	8.1%
地域支援事業費	16,386	2.4%	14,917	2.5%	1,469	9.8%
財政安定化基金拠出金	755	0.1%	756	0.1%	△ 1	△ 0.1%
基金積立金	73	0.0%	1	0.0%	72	7200.0%
諸支出金	19,510	2.9%	24	0.0%	19,486	81191.7%
公 債 費	3,007	0.4%	3,007	0.5%	-	0.0%
合 計	675,311	100.0%	608,372	100.0%	66,939	11.0%

歳入歳出差引額            43,025                            49,932

款	項	目	款項目名	決算額 (円)	主要な施策の成果説明及び実績		
1			総務費	11,235,000	決算事項別明細書 P92～		
	1		総務管理費	4,091,407			
		1	一般管理費	4,091,407			
<b>介護保険料運営の総務管理(福祉グループ)</b>							
介護保険を運営するためのシステムの保守や関連団体との情報交換を行いました。							
(1) 主な支出							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 需用費 (事務用品の購入) 17 万円</li> <li>・ 介護保険システム委託料、改修費 387 万円</li> <li>・ 通信料 (WISH接続料等) 7 万円</li> </ul>							
(2) 活動指標							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護保険システムの概要 <ul style="list-style-type: none"> <li>資格記録管理 (資格取得登録、被保険者証発行など)</li> <li>保険料納付管理 (納入通知書発行、督促状発行など)</li> <li>受給者管理 (認定登録など)</li> <li>給付実績管理 (償還払い申請登録など)</li> </ul> </li> </ul>							
2			徴収費	800,546	決算事項別明細書 P92～		
	1		賦課徴収費	800,546			
<b>介護保険料の徴収(福祉グループ)</b>							
第1号被保険者から介護保険制度を運営するための保険料徴収に要する経費を支出しました。							
(1) 主な支出							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 納入通知書郵送料、介護保険料口座振替手数料 23 万円</li> <li>・ 特別徴収開始通知書印刷委託料ほか 52 万円</li> </ul>							
(2) 活動指標							
① 平成19年度保険料 (単位: 円)							
		第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階	第6段階
年	額 (円)	23,400	23,400	35,100	46,700	58,400	70,100
② 平成19年度調定額							
区 分	特別徴収			普通徴収		合 計	
	人 員 (人)	調定額(万円)	人 員 (人)	調定額(万円)			
第1段階	7	14	3	6	10	内併徴者 0	
第2段階	241	541	47	66	288	内併徴者 11	
第3段階	170	581	15	33	185	内併徴者 3	
第4段階	1,204	5,434	146	426	1,350	内併徴者 41	
第5段階	833	4,485	136	392	969	内併徴者 49	
第6段階	277	1,877	80	316	357	内併徴者 21	
計	2,732	12,932	427	1,239	3,159	内併徴者125	
③ 収 納 率 (現年度分)							
区 分	調 定 額 (円)	収入済額 (円)	収 納 率 (%)				
特別徴収保険料	129,330,100	129,330,100	100.0				
普通徴収保険料	12,390,400	12,072,400	97.4				
計	141,720,500	141,402,500	99.8				

## (3) 活動指標の推移

## ・収納率の推移

(単位：%)

区分	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
特別徴収保険料	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
普通徴収保険料	99.0	98.1	99.7	97.1	97.4
計	99.8	99.7	99.7	99.6	99.8

3 介護認定審査会費 6,343,047

1 認定調査費 3,242,047

**介護認定調査(福祉グループ)**

介護保険サービスを受けるための認定調査や、主治医意見書の作成、長野広域連合への判定依頼を行いました。

## (1) 主な支出

- ・臨時職員賃金(認定調査等3人) 127万円 ・訪問調査委託料 14万円
- ・主治医意見書作成委託料 192万円

## (2) 活動指標

## ・平成19年度判定件数

	区 分	単価(税込:円)	件 数	金 額(円)
在 宅	新 規	5,250	120	630,000
	継 続	4,200	222	932,400
施 設	新 規	4,200	78	327,600
	継 続	3,150	40	126,000

2 認定審査会共同設置負担金 3,101,000

**認定審査会共同設置負担金(福祉グループ)**

長野広域連合に認定審査会を設置するための負担金を支払いました。

## (1) 主な支出

- ・認定審査会共同設置負担金 310万円

## (2) 活動指標

- ・412件の介護認定申請に対し、認定審査会(保健、医療、福祉の学識経験者で構成)にて、主治医意見書や訪問調査の結果をもとに介護認定申請者がどのくらいの介護が必要かの審査・認定を行いました。

## (3) 活動指標の推移

## ・認定申請者数の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
第1号被保険者	334	366	363	393	404
第2号被保険者	13	12	13	7	8
計	347	378	376	400	412

4 趣旨普及費 0

1 趣旨普及費 0

**制度趣旨普及のための支出(福祉グループ)**

## (1) 主な支出

なし

2	保険給付費	624,344,399	主要な施策の成果説明及び実績
1	介護サービス等諸費	559,966,904	

1 1 1 居宅介護サービス給付費 260,280,708 決算事項別明細書 P92～

**居宅介護サービス(福祉グループ)**

訪問介護、訪問入浴介護、訪問リハビリテーションなどの在宅サービスに対して給付を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 居宅介護サービス給付費 2億6,028 万円

(2) 活動指標

- ・ 年間居宅介護サービス受給者延件数と給付額 (H19.4～H20.3審査) (単位：人)

	1号被保険者	2号被保険者	人 数	給付額 (万円)
経過的要介護	0	0	0	0
要介護 1	583	0	583	3,653
要介護 2	530	6	536	5,165
要介護 3	532	9	541	6,633
要介護 4	406	11	417	6,180
要介護 5	196	12	208	4,397
計	2,247	38	2,285	2億6,028

(3) 活動指標の推移

- ・ 居宅介護サービス受給者延人数と給付額の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
総数 (人)	1,997	2,385	2,508	2,480	2,285
給付額 (万円)	2億1,578	2億3,902	2億5,466	2億4,165	2億6,028

- ・ 過年度に比べ、総数は減りましたが、給付額が増加しました。

2	地域密着型介護サービス給付費	40,891,761
---	----------------	------------

**地域密着型介護サービス(福祉グループ)**

認知症対応型通所介護、認知症対応型共同生活介護に対して給付を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 地域密着型介護サービス給付費 4,089 万円

(2) 活動指標

- ・ 年間地域密着型サービス受給延件数と給付額

	第1号被保険者	第2号被保険者	総 数	給付額 (万円)
認知症対応型通所介護 (件)	26	0	26	266
認知症対応型共同生活介護 (件)	140	0	140	615
小規模多機能型居宅介護 (件)	51	0	51	3,208
計	217	0	217	4,089

(3) 活動指標の推移

- ・地域密着型サービス受給件数と給付額（平成18年度以前は認知症対応型通所介護、共同生活介護による）

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
総数(件)	19	23	40	83	217
給付額(万円)	371	521	884	1,499	4,089

- ・地域密着型サービスが創設され2年目となり制度が浸透してきたことと、町内に地域密着型サービス事業所が新設されたことにより、利用者が増加しました。

3 施設介護サービス給付費 230,882,088

**施設介護サービス(福祉グループ)**

介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設の施設サービスに対して給付を行いました。

(1) 主な支出

- ・施設介護サービス給付費 2億3,088万円

(2) 活動指標

- ・年間施設介護サービス受給者延人数と給付額 (単位：人)

	1号被保険者	2号被保険者	人数	給付額(万円)
介護老人福祉施設	520	36	556	13,439
介護老人保健施設	324	0	324	8,153
介護療養型医療施設	39	0	39	1,496
計	883	36	919	2億3,088

(3) 活動指標の推移

- ・施設介護サービス受給者延人数と給付額の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
総数(人)	1,004	1,048	1,073	994	919
給付額(万円)	2億9,031	3億716	2億9,937	2億4,275	2億3,088

- ・制度改正による影響と思われますが、前年度に比べ、延人数と給付額が減少しました。これは、施設利用者の食費・居住費が全額自己負担となった（平成17年10月より）ことの影響が昨年度から継続しているものと思われます。

4 居宅介護福祉用具購入費 511,615

**要介護者対象の福祉用具購入費の支給(福祉グループ)**

入浴や排泄などに使用する福祉用具の購入者に対し、費用の9割を支給しました。

(1) 主な支出

- ・居宅介護福祉用具購入費 51万円

(2) 活動指標

- ・福祉用具購入費の支給  
腰掛便座、特殊尿器、入浴補助用具、簡易浴槽そう、移動用リフトのつり具  
合計件数 25件



(3) 活動指標の推移

- ・福祉用具購入延人数と給付額の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
総数(人)	30	31	36	24	25
給付額(万円)	87	73	76	39	52

- ・前年度に比べ、1件あたりの給付額が増加しました。

5 居宅介護住宅改修費 1,410,382

**要介護者対象の住宅改修費の支給(福祉グループ)**

手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修をした方の、費用の9割を支給しました。

(1) 主な支出

- ・居宅介護住宅改修費 141 万円

(2) 活動指標

- ・対象事業費(上限)20万円
- ・住宅改修(手すり・段差解消等) 13件

(3) 活動指標の推移

- ・住宅改修延人数と給付額の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
総数(人)	14	20	26	17	13
給付額(万円)	145	231	266	171	141

- ・前年度に比べ、住宅改修をした方が少なく、件数、給付額ともに減少しました。

6 居宅介護サービス計画給付費 25,990,350

**居宅介護サービス計画作成費の支給(福祉グループ)**

介護サービスを利用される方のケアプラン作成費用を支給しました。

(1) 主な支出

- ・居宅介護サービス計画給付費 2,599 万円

(2) 活動指標

- ・年間居宅サービス計画作成延件数と給付額

介護度	件数	給付額(万円)
経過的要介護	0	0
要介護1	580	584
要介護2	533	537
要介護3	523	676
要介護4	411	536
要介護5	208	266
合計	2,255	2,599

(H19.4~H20.3審査)

(3) 活動指標の推移

- ・居宅介護サービス計画作成延人数と給付額の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
総数(人)	1,995	2,392	2,479	2,486	2,255
給付額(万円)	1,703	2,052	2,126	2,724	2,599

- ・ケアプランの作成は、件数、給付額ともに減少しています。

2 介護予防サービス等諸費 33,359,643

1 介護予防サービス給付費 28,438,326

**居宅介護予防サービス(福祉グループ)**

訪問介護、訪問入浴介護、訪問リハビリテーションなどの在宅サービスに対して給付を行いました。

(1) 主な支出

- ・居宅介護予防サービス費 2,844 万円

(2) 活動指標

- ・年間居宅介護予防サービス受給者延人数と給付額 (H19.4~H20.3審査) (単位:人)

	1号被保険者	2号被保険者	総数	給付額(万円)
要支援1	268	0	268	598
要支援2	557	12	569	2,246
計	825	12	837	2,844

(3) 活動指標の推移

- ・居宅介護予防サービス受給者延人数と給付額の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
総数(人)	245	359	431	420	837
給付額(万円)	728	1,143	1,002	1,413	2,844

・前年度に比べて、総数、給付額ともに増加しています。これは、平成18年度以降、予防給付が創設され、要介護認定更新の際に介護給付から予防給付へ移行した方が増加したことが一因と考えられます。

2 地域密着型介護予防サービス給付費 0

**地域密着型介護予防サービス(福祉グループ)**

(1) 主な支出

なし

3 介護予防福祉用具購入費 175,296

**要支援者対象の福祉用具購入費の支給(福祉グループ)**

入浴や排泄などに使用する福祉用具の購入者に対し、費用の9割を支給しました。

(1) 主な支出

- ・居宅介護予防福祉用具購入費 18 万円

(2) 活動指標

- ・福祉用具購入 合計件数 9件  
(腰掛便座、特殊尿器、入浴補助用具、簡易浴槽そう、移動用リフトのつり具)

(3) 活動指標の推移

- ・福祉用具購入延人数と給付額の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
総数(件)	0	3	5	10	9
給付額(万円)	0	5	6	23	18

- ・上記の福祉用具を必要とされる方は、前年並みとなり、近年その需要が多くなっています。

4	介護予防住宅改修費	1,304,521
---	-----------	-----------

**要支援者対象の住宅改修費の支給(福祉グループ)**

手すりの取り付けや段差解消などの住宅改修をした際、費用の9割を支給しました。

(1) 主な支出

- ・ 居宅介護予防住宅改修費 130 万円

(2) 活動指標

- ・ 対象事業費(上限) 20万円
- ・ 住宅改修(手すり・段差解消等) 14件

(3) 活動指標の推移

- ・ 住宅改修延人数と給付額の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
総数(人)	14	20	6	4	14
給付額(万円)	145	231	50	37	130

- ・ 前年度と比べ、要支援者で住宅改修を行った方が増加しました。

5	介護予防サービス計画給付費	3,441,500
---	---------------	-----------

**介護予防サービス計画作成費の支給(福祉グループ)**

介護サービスを利用される方のケアプラン作成費用を全額支給しました。

(1) 主な支出

- ・ 居宅介護予防サービス計画給付費 334 万円

(2) 活動指標

- ・ 年間居宅サービス計画作成延件数と給付額

介護度	件数	給付額(万円)
要支援 1	266	110
要支援 2	565	234
計	831	344

(H19.4~H20.3審査)

(3) 活動指標の推移

- ・ 居宅介護予防サービス計画作成延件数と給付額の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
総数(人)	246	377	440	422	831
給付額(万円)	205	321	376	203	344

- ・ 介護予防受給者の増加とともに、ケアプランの作成件数も増加しました。

3	その他諸費	925,565
1	審査支払手数料	925,565

**国保連合会への審査依頼(福祉グループ)**

介護給付費の審査支払のための手数料を国保連合会へ支払いました。

(1) 主な支出

- ・ 審査支払手数料 93 万円

(2) 活動指標

- ・ 審査依頼件数10,889件×単価85円

(3) 活動指標の推移

- ・ 審査支払手数料の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
件数	8,203	9,728	10,502	10,548	10,889
手数料(万円)	66	83	89	90	93

- ・ 介護認定者と給付費の増加に伴い、審査依頼件数が増加しました。

4	高額介護サービス等諸費	7,839,097
1	高額介護サービス費	7,838,802

**高額介護サービス費の支給(福祉グループ)**

個人または世帯内で一ヶ月のサービスにかかる利用者負担の上限額を超える場合に、超えた分を払い戻しました。

(1) 主な支出

- ・ 高額介護サービス費 784 万円

(2) 活動指標

- ・ 所得段階別給付状況 (単位：万円)

所得段階	件数	給付額
高齢福祉年金受給者等	49	46
利用者負担第二段階	558	613
利用者負担第三段階	118	54
利用者負担第四段階	130	71
合計	855	784

(3) 活動指標の推移

- ・ 高額介護サービス費支給延人数と給付額の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
総数(人)	492	516	688	791	855
給付額(万円)	222	233	430	725	784

- ・ 給付額、件数ともに増加しています。これは、平成18年度の制度改正前に世帯単位で負担上限額が定められていたものが、個人単位でも負担上限額が定められたことや給付額増加の影響により、支給対象件数が増加したものと考えられます。

2	高額介護支援サービス費	295
---	-------------	-----

**高額介護予防サービス費の支給(福祉グループ)**

(1) 主な支出

- ・ 高額介護予防サービス費 0.03 万円

(2) 活動指標

- ・ 所得段階別給付状況 (単位：万円)

所得段階	件数	給付額
高齢福祉年金受給者等	0	0
利用者負担第二段階	0	0
利用者負担第三段階	0	0
利用者負担第四段階	3	0.03
合計	3	0.03

(3) 活動指標の推移

- ・高額介護予防サービス費支給延人数と給付額の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
総数(人)	0	0	0	0	3
給付額(万円)	0	0	0	0	0.03

- ・該当者は1名で延人数は3件となりました。

5	特定入所者介護サービス等諸費	22,253,190
1	特定入所者介護サービス給付費	22,253,190

**特定入所介護サービス費の支給（福祉グループ）**

住民税の課税状況や所得額により、被保険者が介護保険施設に入所（入院）したときや短期入所サービスを利用したときの負担を軽減するため食費・居住費について補足的な給付を行いました。

(1) 主な支出

- ・特定入所介護サービス費 2,225 万円

(2) 活動指標

	食費	居住費	総数	給付額(万円)
要支援1	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0
要介護1	13	6	19	14
要介護2	80	22	102	253
要介護3	144	52	196	569
要介護4	163	33	196	500
要介護5	240	103	343	889
計	640	216	856	2,225

(3) 活動指標の推移

	平成17年度	平成18年度	平成19年度
件数	430	939	856
給付額(万円)	1,054	2,389	2,225

- ・施設サービスの利用者が昨年度に比べ、減少したことにより、食費や居住費への給付が減少したと思われます。

2	特定入所者介護予防サービス給付費	0
---	------------------	---

**特定入所介護予防サービス費の支給（福祉グループ）**

(1) 主な支出

なし

3	地域支援事業費	16,385,842
1	介護予防事業費	5,572,558
1	介護予防特定高齢者施策事業費	1,589,592
2	介護予防一般高齢者施策事業費	3,982,966

決算事項別明細書 P95～

**高齢者の介護予防(福祉グループ)**

高齢者ができる限り要介護状態に陥ることなく、健康でいきいきとした生活を送れるよう、各種教室の開催を、ボランティアの皆さんにご協力をいただきながら実施しました。

(1) 主な支出

- ・社会福祉協議会等への事業の委託 194万円・各種教室講師、出演者等の謝礼 28万円
- ・敬老会「ふれあい寄席」出演者の謝礼 125万円・在宅保健師等の賃金 30万円
- ・短期宿泊サービス事業の委託 6万円・高齢者スポーツ大会の補助 13万円

## (2) 活動指標

事業名	内容等	回数	延人員 (実人員)	費用 (万円)	
転倒予防教室	骨コツ貯筋教室：新規 (特定高齢者対象)	転倒による骨折等での寝たきりを予防するための体力づくり。体力測定、ストレッチ、筋力づくりの運動	10回	92人 (12人)	219
	転倒予防教室：新規 (一般高齢者対象)	転倒による骨折等での寝たきりを予防するための体力づくり。ストレッチ、ウォーキングピクス、歩行訓練、調理実習ほか。	10回	145人 (18人)	
認知症予防教室	ダンスで脳元気教室	音楽で体を動かし、脳を刺激して認知症の予防と改善をする。フォークダンス	11回	280人 (48人)	1,776
	チャレンジのど自慢教室	歌を歌うことで心身ともにリフレッシュし、認知症を予防する。カラオケ	11回	132人 (25人)	
	はつらつお笑い演芸会	6/27寸劇、コンサート・9/12ふれあい寄席 10/14千年樹の里まつり(和太鼓、フラメンコ、大道芸他) 3/12寸劇、らくのう座お楽しみ公演	4回	1,428人	
	認知症学習会 (はつらつお達者教室)	脳のいきいき度チェック、認知症予防の講話	2回	36人	
	ボケ予防講演会	「ボケは防げる・治せる」 浜松医科大学講師・臨床心理士 高槻絹子氏 6/16 健康福祉センター	1回	185人	
	脳のリフレッシュ教室 交流会	各教室(8地区)の交流。歌、踊り等。	1回	150人	
	脳のリハビリ教室	脳のいきいき度チェック、個人面談、生活指導等。リズム運動、ゲーム、パズルほか。	20回	187人 (17人)	
	脳のリフレッシュ教室 (林・中扇：新規)	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、クリスマス会等。 講師エイジングライフ研究所 高槻忠男氏、高槻絹子氏。	11回	161人 (31人)	
自主活動	転倒予防教室 (継続)「ひまわり」	転倒による骨折等での寝たきりを予防するための体力づくり。ストレッチ、ウォーキングピクス、歩行訓練ほか。	12回	227人 (37人)	207
	ダンスで脳元気教室 (継続)「フレッシュ」	音楽で体を動かし、脳を刺激して認知症の予防と改善をする。フォークダンス	12回	269人 (43人)	
	脳のリハビリ教室 (フォロー)	脳のいきいき度チェック、個人面談、生活指導等。リズム運動、ゲーム、パズルほか。	23回	267人 (24人)	
	脳のリフレッシュ教室 (山王島：継続)	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、クリスマス会等。 講師エイジングライフ研究所 高槻絹子氏。	7回	175人 (25人)	
	脳のリフレッシュ教室 (北部：継続)	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、クリスマス会等。 講師エイジングライフ研究所 高槻絹子氏。	13回	168人 (19人)	
	脳のリフレッシュ教室 (東部：継続)	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、クリスマス会等。 講師エイジングライフ研究所 高槻絹子氏。	10回	103人 (16人)	
	脳のリフレッシュ教室 (大島：継続)	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、クリスマス会等。 講師エイジングライフ研究所 高槻絹子氏。	13回	161人 (25人)	
	脳のリフレッシュ教室 (都住：継続)	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、クリスマス会等。 講師エイジングライフ研究所 高槻絹子氏。	13回	99人 (14人)	
	脳のリフレッシュ教室 (飯田：継続)	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、クリスマス会等。 講師エイジングライフ研究所 高槻絹子氏。	14回	281人 (28人)	
	脳のリフレッシュ教室 (東町・上町：継続)	脳のいきいき度チェック、工作、ゲーム、クリスマス会等。 講師エイジングライフ研究所 高槻絹子氏。	13回	144人 (22人)	

(3) 活動指標の推移

- ・脳のリフレッシュ教室(新規)の脳機能の改善率

林・中扇地区 62% (13人中 8人)

介護予防に最も重要なのは「認知症予防」であるという理念に立ち、他に先駆けて取り組んだ各種認知症予防教室は、上記の数字的な成果だけでなく、参加者の皆さんが目に見えて元気になられていくのが分かります。また、教室ボランティアも育ちつつあり、自主活動地区を支える大きな力となっています。

2	包括的支援事業費	8,069,617
1	介護予防ケアマネジメント事業費	6,644,820
2	総合相談支援・権利擁護事業費	1,292,323
3	包括的・継続的マネジメント事業費	132,474

**在宅介護支援センター(地域包括支援センター)の運営(福祉グループ)**

在宅介護に関する総合的な相談に応じ、各種保健福祉サービスを総合的に受けられるよう、地域住民の助け合い活動なども含め、関係機関との連絡調整を行い、高齢者とその家族等の福祉の向上を図りました。

(1) 主な支出

- ・保健師給料・手当等人件費 566万円
- ・臨時職員賃金 106万円
- ・現任研修等の旅費 4万円
- ・センター運営協議会委員等への謝礼 4万円
- ・地域公共交通会議委員等への謝礼 2万円
- ・ケアマネ研修講師謝礼 5万円
- ・総合福祉事務支援システム等保守料・使用料 99万円
- ・電話料金等 20万円

(2) 活動指標

- ・在宅介護等に関する総合相談・助言・指導(来所による面接・電話・訪問)

項目	延件数	主な内容
他機関との連絡調整	1,197	
状況把握	498	
福祉サービスに関する相談	415	サービス内容、利用の対象になるか等の相談
事業所からの相談	254	
予防給付に関する相談	397	
介護保険に関する相談	315	介護保険、ケアプラン、在宅サービスの内容についての問合せ
予防給付(町との連絡調整)	46	
認定調査	110	新規分のみ
認知症(痴呆)に関する相談	99	認知症かどうかの判断、認知症高齢者への対応の方法について
住宅改修に関する相談	76	
介護用品に関する相談	65	介護用品の紹介、使用方法について
施設入所に関する相談	90	施設の紹介、入所申込み、施設の空き具合について
介護予防に関する相談	61	
ケース検討会	72	
介護方法に関する相談	34	在宅での介護方法について(体位交換、排泄介助等)
定期訪問指導	76	健康相談、生活指導等
医療等に関する相談	45	医療費、受診する病院についての問い合わせ
健康相談(状況確認)	18	
高齢者虐待	4	
療養上の精神的支援	3	
その他(家庭内関係等)	124	経済、法律、家庭内関係等
計	3,999	

・時間外・祝祭日相談受付件数

- ・介護予防事業関係 12件、福祉サービス関係 19件  
その他54件（認定調査に関すること、教室等の問い合わせ等）

※昼間は社会福祉協議会の日直者が、時間外は携帯電話により在宅介護支援センター職員が対応

・要援護高齢者の情報集約と実態把握

- ・要援護高齢者の家庭訪問 延訪問件数 451件  
訪問実人員 192人 要指導者（介護認定自立判定者・要観察者等）91人、介護家族者21人  
寝たきり高齢者26人、認知症高齢者48人、その他 6人

・地域ケア会議の開催

保健・福祉・医療に係るサービスの総合調整を図るため、居宅介護支援事業所、サービス事業所等関係機関が集まり、定期または随時会議を開催しました。

①在宅支援連絡会 年12回(月1回)

各関係機関相互の情報交換、連絡調整、課題の検討等を行いました。

②ケース検討会 年72回

個別の困難事例を、関係者により相談、検討しました。

・ケアマネジャー等サービス事業者の指導支援

ケアマネジメント研修

（対象：介護保険サービス事業所に従事する職員、ケアマネジャー等）

- ・平成19年4月18日 介護支援サービスにおける基本倫理について  
講師：介護支援専門員協会理事 中澤 茂氏 32人出席
- ・平成19年8月1日 グループスーパービジョンによるケアマネジメント研修  
講師：武蔵野大学現代社会学部 佐藤 信人氏 11人出席
- ・平成19年9月20日 グループスーパービジョンによるケアマネジメント研修  
講師：介護支援専門員協会会長 岸田 公子氏 14人出席
- ・平成19年10月26日 グループスーパービジョンによるケアマネジメント研修  
講師：武蔵野大学現代社会学部 佐藤 信人氏 10人出席
- ・平成20年1月22日 グループスーパービジョンによるケアマネジメント研修  
講師：介護支援専門員協会会長 岸田 公子氏
- ・平成20年2月18日 診療報酬改定に伴う連携のあり方  
講師：医療ソフト総合研究所 太田 善文

・地域包括（在宅介護）支援センター運営協議会 年1回

6/7 平成18年度事業報告及び平成19年度事業計画について

(3) 活動指標の推移

・相談件数の推移

	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
相談件数	1,818件	2,341件	2,656件	3,239件	3,999件

24時間体制の総合相談は年々利用者が増えています。中でも、介護保険外の福祉サービスに関する相談件数や関係機関との連絡調整に費やす件数が大きく伸びており、地域ケア体制の要としての大きな役割を果たしています。



3	任意事業費	2,743,667
1	家族介護支援事業費	786,427
2	その他事業費	1,957,240

**家族介護の支援(福祉グループ)**

介護者の身体的、精神的、経済的負担の軽減を図るため、家庭介護に携わっている方たちの連絡会や交流事業などを行いました。

(1) 主な支出

- ・ 社会福祉協議会への事業の委託 (家族介護支援) 62 万円
- ・ 社会福祉協議会への事業の委託 (食の自立支援) 196 万円
- ・ 在宅保健師等賃金 16 万円

(2) 活動指標

- ・ 要援護高齢者を抱える家族の会 年6回 参加者延47人
- ・ 在宅介護者のつどい(社会福祉協議会委託) 12月19日 参加者41人
- ・ 在宅介護者リフレッシュの旅(社会福祉協議会委託) 1月25日 参加者14人  
鵜の浜温泉 (新潟県上越市)
- ・ 介護講座 平成20年1月29日、2月5日、12日、19日、26日 (計5日間) 参加者8人
- ・ おむつ給付サービス 対象56人
- ・ 食の自立支援 (ふれあい給食) 対象51人 2,027食

(3) 活動指標の推移

・ 事業等への参加者数の推移 (単位：人)

項 目	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度
要援護高齢者を抱える家族の会	65	76	42	47	47
在宅介護者のつどい	40	47	48	46	41
在宅介護者リフレッシュの旅	8	14	18	17	14
介護講座	16	9	15	14	8
おむつ給付サービス	73	67	68	52	56
食の自立支援 (ふれあい給食)	47	49	50	46	51

介護者間の情報交換や悩みを共有する場としての家族の会が徐々に定着しつつあります。リフレッシュのための事業への参加も誘い合って参加するなど、介護者間のコミュニケーションも前より深まっています。

4	財政安定化基金拠出金	755,391
1	財政安定化基金拠出金	755,391
1	財政安定化基金拠出金	755,391

決算事項別明細書 P97～

**財政安定化基金拠出金(福祉グループ)**

予想を上回る給付費の増大などに備えるため基金へ拠出金(同じ目的のために出し合うお金)を支出しました。

(1) 主な支出

- ・ 財政安定化拠出金 76 万円

5	基金積立金	73,000	
1	基金積立金	73,000	
1	介護給付費準備基金積立金	73,000	決算事項別明細書 P97～
<b>介護給付費準備基金積立金(福祉グループ)</b>			
介護保険財政の健全な運営を行うため介護給付費準備基金に積み立てを行いました。			
(1) 主な支出			
・ 介護給付費準備基金積立金 7 万円			
6	諸支出金	19,509,776	
1	償還金及び還付加算金	19,509,776	
1	第1号被保険者保険料還付金	3,800	決算事項別明細書 P98～
<b>介護保険料の還付(福祉グループ)</b>			
所得更正によって、過年度に賦課した保険料額に変更が生じたため、還付金を支払いました。			
(1) 主な支出			
・ 過年度分還付金 0.4 万円			
2	償還金	19,505,976	
<b>交付金に対する償還(福祉グループ)</b>			
平成18年度介護給付費国庫負担金と地域支援事業交付金の交付額確定に伴い、精算を行いました。			
(1) 主な支出			
・ 交付金に対する償還額 1,951 万円			
3	第1号被保険者還付加算金	0	
<b>長期間経過後の介護保険料の還付(福祉グループ)</b>			
(1) 主な支出 なし			
2	繰出金	0	
1	他会計繰出金	0	
<b>繰出金(福祉グループ)</b>			
(1) 主な支出 なし			
7	公債費	3,007,333	
1	公債費	3,007,333	
1	公債費	3,007,333	決算事項別明細書 P98～
<b>公債費の元金(福祉グループ)</b>			
平成14年度に、給付費の支払いのために借り入れた2,385万円の償還金を支払いました。平成15年度から平成20年度までの6年償還です。			
(1) 主な支出			
・ 償還金 301 万円			
(2) 活動指標			
・ 平成14年度23,856,000円借入(6年償還)平成20年度まで			

## 6. 会計別決算概要

### V 同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計

#### 1 決算規模及び収支

平成 19 年度の決算額は、歳入で前年比 501 万 7 千円減の 346 万 2 千円、歳出では前年比 500 万 7 千円減の 346 万 2 千円となりました。

また、1 件分・1 人（昭和 57 年度貸付）の償還がありました。

#### 2 歳入

諸収入は、前年度に 3 件分の繰上げ償還があった為、前年度に比べて、581 万 7 千円の減となりました。

#### 3 歳出

公債費は、前年度に 3 件分の繰上げ償還があった為、前年度に比べて、502 万 2 千円の減となりました。

主要な施策の成果は、次のとおりです。

平成19年度 同和地区住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の状況

【歳 入】

(単位：千円)

区 分	平成19年度		平成18年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
財産収入	8	0.2%	1	0.0%	7	700.0%
繰入金	1,350	39.0%	552	6.5%	798	144.6%
繰越金	10	0.3%	15	0.2%	△ 5	△ 33.3%
諸 収 入	2,094	60.5%	7,911	93.3%	△ 5,817	△ 73.5%
合 計	3,462	100.0%	8,479	100.0%	△ 5,017	△ 59.2%

【歳 出】

(単位：千円)

区 分	平成19年度		平成18年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
住宅新築資金等貸付事業費	14	0.4%	7	0.1%	7	100.0%
積立金	8	0.2%	0	0.0%	8	皆増
公債費	3,440	99.4%	8,462	99.9%	△ 5,022	△ 59.3%
合 計	3,462	100.0%	8,469	100.0%	△ 5,007	△ 59.1%

歳入歳出差引額

0

10

款	項	目	款項目名	決算額 (円)	主要な施策の成果説明及び実績			
1			住宅新築資金等貸付事業費	13,585	主要な施策の成果説明及び実績			
	1		総務費	13,585				
		1	貸付事業総務費	13,585			決算事項別明細書 P101～	
<b>住宅新築資金等貸付事業(教育文化グループ)</b>								
<p>予算書、決算書の印刷など、住宅新築資金等貸付事業にかかる経費です。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 印刷製本費 1万円</li> </ul> <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成18年度決算書の印刷</li> <li>・ 平成19年度予算書の印刷</li> </ul>								
2			積立金	8,000	主要な施策の成果説明及び実績			
	1		積立金	8,000				
		1	積立金	8,000			決算事項別明細書 P101～	
(1) 主な支出								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 積立金 0.8万円</li> </ul>								
3			公債費	3,440,500	主要な施策の成果説明及び実績			
	1		公債費	3,440,500				
		1	元金	2,880,340			決算事項別明細書 P101～	
<b>住宅新築資金等貸付事業(元金)(教育文化グループ)</b>								
住宅新築資金等の貸付金の徴収、借入金の返済を行いました。								
(1) 主な支出								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 元金償還金 288万円</li> </ul>								
(2) 活動指標								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貸付金の徴収 181万円</li> </ul>								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 平成19年度末貸付返済件数</li> <li>・ 新築資金 4件 うち償還猶予 1件</li> <li>・ 宅地取得資金 4件 うち償還猶予 1件</li> <li>・ 改築資金 2件 うち償還猶予 1件</li> </ul>								
<p style="text-align: center;">計 10件 3件 平成18年度末残高 2,604万円</p>								
2			利子	560,160	主要な施策の成果説明及び実績			
<b>住宅新築資金等貸付事業(利子)(教育文化グループ)</b>								
住宅新築資金等の貸付金の徴収、借入金に対する利子を支払いしました。								
(1) 主な支出								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利子の支払い 56万円</li> </ul>								
(2) 活動指標								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貸付金の徴収(利子分) 27万円</li> </ul>								

## 6. 会計別決算概要

### VI 霊園事業特別会計の状況

#### 1 決算規模及び収支

霊園事業特別会計は、町営霊園の維持管理を行っており、平成 19 年度においては、陽光霊園（玄照寺境内地内）、福聚霊園（伝教寺境内地内）の通路及び生け垣など共有部分の清掃・管理を実施しました。

決算額は、平成 19 年度において返還分の区画の永代使用許可を行ったことから、歳入においては、使用料収入 90 万（3 区画分）、清掃料収入 69 万 2 千円で、歳入総額 416 万 5 千円、歳出総額 22 万 3 千円となり、実質収支額は 394 万 2 千円となりました。

これを前年度と比較すると、歳入においては 141 万 4 千円、51.4%の増、歳出においては、4 万 3 千円、23.9%の増、実質収支においては、136 万 9 千円、53.2%の増となりました。

#### 2 歳入

##### (1) 使用料

使用料は 159 万 2 千円で、対前年度比 132.7%（90 万 8 千円）の増になりました。これは、霊園返還 3 区画分の新規使用許可によるものです。

##### (2) 繰越金

繰越金は 257 万 3 千円で、対前年度比 24.4%（50 万 5 千円）の増になりました。

#### 3 歳出

維持管理に伴う清掃に要する経費のみ 22 万円 3 千円を支出しました。

主要な施策の成果は、次のとおりです。

## 平成19年度 霊園事業特別会計歳入歳出決算の状況

### 【歳 入】

(単位：千円)

区 分	平成19年度		平成18年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
使用料及び手数料	1,592	38.2%	684	24.8%	908	132.7%
繰越金	2,573	61.8%	2,068	75.1%	505	24.4%
諸収入	-	0.0%	1	0.0%	1	0.0%
合 計	4,165	100.0%	2,753	100.0%	1,414	51.4%

### 【歳 出】

(単位：千円)

区 分	平成19年度		平成18年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
霊園事業費	223	100.0%	180	100.0%	43	23.9%
合 計	223	100.0%	180	100.0%	43	23.9%

歳入歳出差引額                      3,942                                      2,573

款	項	目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績  決算事項別明細書 P104～																
1			霊園事業費	223,448																	
	1		総務費	223,448																	
		1	総務費	223,448																	
<b>霊園の管理運営(生活環境グループ)</b>																					
陽光霊園250区画、福聚霊園97区画の管理を行いました。																					
(1) 主な支出																					
・清掃業務委託料                      19万円                      ・印刷製本費等                      3万円																					
(2) 活動指標																					
・清掃業務(草取り、植木の剪定等) 須高広域シルバー人材センターへ委託 陽光霊園/8日/13人                      福聚霊園/13日/18人																					
(3) 活動指標の推移																					
・管理区画数																					
		<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">区 分</th> <th style="width: 20%;">区画総数</th> <th style="width: 20%;">販売済区画</th> <th style="width: 20%;">残(返納)区画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>陽光霊園</td> <td style="text-align: center;">250</td> <td style="text-align: center;">250</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td>福聚霊園</td> <td style="text-align: center;">97</td> <td style="text-align: center;">97</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">計</td> <td style="text-align: center;">347</td> <td style="text-align: center;">347</td> <td style="text-align: center;">0</td> </tr> </tbody> </table>				区 分	区画総数	販売済区画	残(返納)区画	陽光霊園	250	250	0	福聚霊園	97	97	0	計	347	347	0
区 分	区画総数	販売済区画	残(返納)区画																		
陽光霊園	250	250	0																		
福聚霊園	97	97	0																		
計	347	347	0																		

## 6. 会計別決算概要

### Ⅶ 下水道事業特別会計

#### 1 決算規模及び収支

平成 19 年度末の下水道への接続率は 89.4%となり、前年度より 1.5%の伸びとなりました。

決算額は歳入総額 7 億 1,437 万 2 千円、歳出総額 7 億 1,361 万 5 千円で、実質収支額は 75 万 7 千円となりました。

これを前年と比較すると、歳入においては 1 億 8,964 万 2 千円、36.1%の増、歳出においては 1 億 9,000 万円、36.3%の増となりました。

#### 2 歳入

分担金及び負担金収入は 708 万 7 千円（前年度比 169 万 4 千円の減）になりました。これは、東町第二土地区画整理地分の受益者負担金の減によるものです。

町債収入は 2 億 7,190 万円（前年度比 2 億 700 万円の増）になりました。これは、公的資金補償金免除繰上償還による借換債の増によるものです。

#### 3 歳出

公債費は 5 億 4,982 万 9 千円（前年度比 1 億 9,072 万 7 千円の増）になりました。これは、公的資金補償金免除繰上償還の実施による償還額の増によるものです。

主要な施策の成果は、次のとおりです。



## 平成19年度 下水道事業特別会計歳入歳出決算の状況

### 【歳 入】

(単位：千円)

区 分	平成19年度		平成18年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
分担金及び負担金	7,087	1.0%	8,781	1.7%	△ 1,694	△ 19.3%
使用料及び手数料	147,469	20.6%	149,491	28.5%	△ 2,022	△ 1.4%
国庫支出金	20,000	2.8%	20,000	3.8%	0	0.0%
繰入金	262,500	36.7%	278,000	53.0%	△ 15,500	△ 5.6%
繰越金	1,116	0.2%	1,506	0.3%	△ 390	△ 25.9%
諸収入	4,300	0.6%	2,052	0.4%	2,248	109.6%
町 債	271,900	38.1%	64,900	12.4%	207,000	319.0%
合 計	714,372	100.0%	524,730	100.0%	189,642	36.1%

### 【歳 出】

(単位：千円)

区 分	平成19年度		平成18年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
下水道費	163,786	23.0%	164,513	31.4%	△ 727	△ 0.4%
公債費	549,829	77.0%	359,102	68.6%	190,727	53.1%
合 計	713,615	100.0%	523,615	100.0%	190,000	36.3%

歳入歳出差引額                    757

1,115

款	項目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績																																																																																		
1		下水道費	163,786,449	<p>人件費・負担金等下水道事業を運営していくための経費です。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本下水道協会等負担金 12万円</li> <li>・ 職員人件費 731万円</li> <li>・ 下水道台帳作成業務 97万円</li> </ul> <p>(2) 活動指標</p> <p>公共下水道事業の概要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>整備状況</th> <th>区 分</th> <th>整備状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全 体 計 画 面 積</td> <td>280 ha</td> <td>処 理 区 域 内 人 口</td> <td>9,288 人</td> </tr> <tr> <td>整 備 面 積</td> <td>280 ha</td> <td>水 洗 化 人 口</td> <td>8,452 人</td> </tr> <tr> <td>全 体 計 画 人 口</td> <td>10,700 人</td> <td>管 渠 延 長</td> <td>57.2 km</td> </tr> <tr> <td>処 理 面 積（告 示）</td> <td>280 ha</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>公共下水道への接続状況 (単位：戸)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>接 続</td> <td>12</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>14</td> <td>3</td> <td>9</td> <td>△ 5</td> <td>11</td> <td>△ 1</td> <td>5</td> <td>△ 1</td> <td>2</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>累 計</td> <td>2,406</td> <td>2,409</td> <td>2,412</td> <td>2,426</td> <td>2,429</td> <td>2,438</td> <td>2,433</td> <td>2,444</td> <td>2,443</td> <td>2,448</td> <td>2,447</td> <td>2,449</td> <td>2,449</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 活動指標の推移</p> <p>接続率の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>15年度末</th> <th>16年度末</th> <th>17年度末</th> <th>18年度末</th> <th>19年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>84.2%</td> <td>85.9%</td> <td>87.0%</td> <td>87.9%</td> <td>89.4%</td> </tr> </tbody> </table>											区 分	整備状況	区 分	整備状況	全 体 計 画 面 積	280 ha	処 理 区 域 内 人 口	9,288 人	整 備 面 積	280 ha	水 洗 化 人 口	8,452 人	全 体 計 画 人 口	10,700 人	管 渠 延 長	57.2 km	処 理 面 積（告 示）	280 ha			区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	接 続	12	3	3	14	3	9	△ 5	11	△ 1	5	△ 1	2	55	累 計	2,406	2,409	2,412	2,426	2,429	2,438	2,433	2,444	2,443	2,448	2,447	2,449	2,449	15年度末	16年度末	17年度末	18年度末	19年度末	84.2%	85.9%	87.0%	87.9%	89.4%
区 分	整備状況	区 分	整備状況																																																																																			
全 体 計 画 面 積	280 ha	処 理 区 域 内 人 口	9,288 人																																																																																			
整 備 面 積	280 ha	水 洗 化 人 口	8,452 人																																																																																			
全 体 計 画 人 口	10,700 人	管 渠 延 長	57.2 km																																																																																			
処 理 面 積（告 示）	280 ha																																																																																					
区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計																																																																									
接 続	12	3	3	14	3	9	△ 5	11	△ 1	5	△ 1	2	55																																																																									
累 計	2,406	2,409	2,412	2,426	2,429	2,438	2,433	2,444	2,443	2,448	2,447	2,449	2,449																																																																									
15年度末	16年度末	17年度末	18年度末	19年度末																																																																																		
84.2%	85.9%	87.0%	87.9%	89.4%																																																																																		
1		総務管理費	10,498,380	<p>決算事項別明細書 P108～</p> <p><b>公共下水道事業の運営(建設水道グループ)</b></p>																																																																																		
1		一般管理費	10,498,380																																																																																			
2		維持管理費	20,161,828	<p><b>公共下水道施設の維持管理(建設水道グループ)</b></p> <p>下水道施設の機能を維持するため管渠・マンホールの清掃・修繕、また、マンホールポンプ・雨水排水ポンプ場の修繕・保守点検を行いました。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ マンホールポンプとマンホール維持点検の委託 394万円</li> <li>・ 雨水排水ポンプ場維持点検の委託 157万円</li> <li>・ 汚水管渠と雨水管清掃の委託 200万円</li> <li>・ 管の補修工事 630万円</li> </ul> <p>(2) 活動指標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ マンホールポンプ管理業務 日常管理、異常時対応（年間24回対応） 使用開始から10年以上経過しており、施設の老朽化による異常も増えてきているが、専門家による迅速な対応ができています。</li> <li>・ 雨水排水ポンプ場保守点検業務 年4回 定期的な点検を行うことにより、河川の増水時に正常にポンプが作動しています。</li> </ul>																																																																																		
1		施設管理費	20,161,828																																																																																			

- ・ 管渠・マンホール清掃調査業務委託 清掃 L=6,700m (L…延長)  
定期的な清掃調査を行うことにより、施設の機能維持、破損箇所等の早期発見ができ迅速な対応が来ています。

3	下水道建設費	69,488,712
1	公共下水道建設費	69,488,712

#### 下水道整備に伴う設計委託(建設水道グループ)

雁田地区造成工事に伴う下水道設計委託を行いました

(1) 主な支出

- ・ 設計委託 48万円 L=80m (L…延長)

#### 受電設備工事及び建設に係る事務費など(建設水道グループ)

下水道を接続したお宅の検査口設置工事を行いました。また、消費税を納付しました。

(1) 主な支出

- ・ 検査口設置工事 17万円
- ・ 消費税 991万円

(2) 活動指標

- ・ 検査口設置工事 41件  
41件の検査口設置工事を行い接続率が89.4%となり、昨年度より1.5%アップしました。

#### 雨水幹線の整備(建設水道グループ)

浸水区域の解消を図るため雨水幹線工事を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 国補千曲川4-1号雨水幹線(その1)工事 1,887万円
- ・ 国補千曲川4-1号雨水幹線(その2)工事 1,666万円
- ・ 国補千曲川4-1号雨水幹線(その3)工事 319万円
- ・ 町単千曲川4-1号雨水幹線工事 103万円

(2) 活動指標

- ・ 国補千曲川4-1号雨水幹線(その1)工事 Φ1100mm L=90.71m
- ・ 国補千曲川4-1号雨水幹線(その2)工事 Φ1100mm L=93.06m
- ・ 国補千曲川4-1号雨水幹線(その3)工事 Φ1100mm L=27.52m
- ・ 町単千曲川4-1号雨水幹線工事 Φ400mm L=8.5m  
(Φ…管の太さ L…延長)

平成5年度から着手した、雨水計画区域(認可区域)105haの内、千曲川第1号(13ha)・第2号(13ha)・第3号(36ha)・4-1号(23ha)・4-2号(20ha)の雨水幹線整備が平成19年度で概ねの整備が完了しました。

今後、雨水幹線へ接続される水路の大きさの検討を行うとともに、併せて整備を行うことにより、より幹線を整備した効果が得られると思われます。

**汚水管の整備(雁田・松川端地区)(建設水道グループ)**

雁田地区造成工事に伴う汚水管の布設工事を行いました。

- (1) 主な支出
  - ・ 雁田・松川端地区事業管渠布設工事 248 万円
- (2) 活動指標
  - ・ 雁田・松川端地区事業管渠布設工事 Φ200mm L=81.3m  
(Φ…管の太さ L…延長)

雁田地区造成事業に伴い、本工事を施工することにより下水道接続可能になりました。

**職員人件費**

- (1) 主な支出
  - ・ 職員人件費 795万円

4	流域下水道事業費	63,637,529
1	流域下水道事業費	63,637,529

**流域下水道事業負担金(建設水道グループ)**

町の公共下水道をつなぎ込んでいる千曲川流域下水道・クリーンピア千曲の維持管理費と建設費の経費の一部を負担しました。

- (1) 主な支出
  - ・ 千曲川流域下水道事業費建設負担金 766 万円
  - ・ 千曲川流域下水道促進協議会負担金 6 万円
  - ・ 千曲川流域下水道維持管理負担金 5,592 万円
- (2) 活動指標
  - ・ 千曲川流域下水道維持管理負担金 902652m<sup>3</sup>×59円×1.05 (消費税)
  - ・ 千曲川流域下水道事業建設負担金 平成22年度まで (現在の事業認可期間)

2	公債費	549,828,513
1	公債費	549,828,513
1	元金	396,573,788
2	利子	153,254,725

決算事項別明細書 P109～

**下水道施設の借金の返済(建設水道グループ)**

下水道施設を建設するために借りたお金の返済を行いました。

- (1) 主な支出
  - ・ 元金の返済 3億9,657万円 (うち公的資金繰上償還分20,818万円)
  - ・ 利子の支払い 1億5,326万円

- (2) 活動指標 (単位：万円)

償還金額			未償還元金 (平成19年度末現在高)
元金	利子	計	
39,657	15,326	54,983	388,189

- (3) 活動指標の推移 (単位：万円)
- ・ 起債残高の推移

平成15年度末	平成16年度末	平成17年度末	平成18年度末	平成19年度末
448,563	431,590	414,090	400,656	388,189

## 6. 会計別決算概要

### Ⅷ 農業集落排水事業特別会計

#### 1 予算規模及び収支

平成19年度末の農業集落排水への接続率は、砂川地区污水管布設による対象世帯数の増加により、前年度末より0.4%減の93.4%となりました。

決算額は、歳入総額4,983万4千円、歳出総額4,904万3千円で実質収支額は79万1千円となりました。これを前年と比較すると、歳入においては1,328万円、21.0%の減、歳出においては1,394万8千円、22.1%の減となりました。

#### 2 歳入

分担金及び負担金は195万円（前年度比91万4千円の増）になりました。これは、砂川地区污水管布設工事による受益者分担金の増によるものです。

町債は270万円（前年度比1,380万円の減）になりました。これは、砂川地区污水管布設工事の減によるものです。

#### 3 歳出

農業集落排水事業建設費が292万9千円（前年度比1,705万2千円の減）になりました。これは、砂川地区污水管布設工事費の減によるものです。

主要な施策の成果は、次のとおりです。

平成19年度 農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の状況

【歳 入】

(単位：千円)

区 分	平成19年度		平成18年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
分担金及び負担金	1,950	3.9%	1,036	1.6%	914	88.2%
使用料及び手数料	29,405	59.0%	28,757	45.6%	648	2.3%
繰入金	15,500	31.1%	15,200	24.1%	300	2.0%
繰越金	124	0.2%	1,232	2.0%	△ 1,108	△ 89.9%
諸収入	155	0.3%	389	0.6%	△ 234	△ 60.2%
町債	2,700	5.4%	16,500	26.1%	△ 13,800	△ 83.6%
合 計	49,834	100.0%	63,114	100.0%	△ 13,280	△ 21.0%

【歳 出】

(単位：千円)

区 分	平成19年度		平成18年度		比 較	
	決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	増 減 額	増 減 率
集落排水事業費	35,039	71.4%	49,343	78.3%	△ 14,304	△ 29.0%
公債費	14,004	28.6%	13,648	21.7%	356	2.6%
合 計	49,043	100.0%	62,991	100.0%	△ 13,948	△ 22.1%

歳入歳出差引額

791

123

款	項	目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績																																																																																																																												
1			集落排水事業費	35,038,866	<p style="text-align: center;"><b>農業集落排水事業の運営(建設水道グループ)</b></p> <p>農業集落排水事業を運営していくための経費です。</p> <p>(1) 主な支出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 職員人件費 1,152万円</li> </ul> <p>(2) 活動指標</p> <p>農業集落排水事業の概要</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>北 部</th> <th>雁 中</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>事 業 名</td> <td>農業集落排水事業</td> <td>農業集落排水事業</td> </tr> <tr> <td>地 区 名</td> <td>北 部</td> <td>雁 中</td> </tr> <tr> <td>世帯数(計画)</td> <td>410戸</td> <td>192戸</td> </tr> <tr> <td>世帯数(現在)</td> <td>411戸</td> <td>209戸</td> </tr> <tr> <td>人 口(計画)</td> <td>1,930人</td> <td>886人</td> </tr> <tr> <td>人 口(現在)</td> <td>1,588人</td> <td>789人</td> </tr> <tr> <td>供用開始日</td> <td>昭和63年3月1日</td> <td>昭和63年3月1日</td> </tr> <tr> <td>供用人口</td> <td>1,588人</td> <td>781人</td> </tr> <tr> <td>供 用 率</td> <td>100.0%</td> <td>99.0%</td> </tr> <tr> <td>処 理 方 式</td> <td>J A R U S - III</td> <td>J A R U S - I</td> </tr> <tr> <td>管 種</td> <td>V U 管</td> <td>V U 管</td> </tr> <tr> <td>管 径</td> <td>150mm～350mm</td> <td>150mm～200mm</td> </tr> <tr> <td>管 路 延 長</td> <td>L = 10,600m</td> <td>L = 5,870m</td> </tr> <tr> <td>中継ポンプ</td> <td>2箇所</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>処理施設敷地面積</td> <td>1,355㎡</td> <td>995㎡</td> </tr> <tr> <td>計画日平均汚水量</td> <td>521㎡/日</td> <td>239㎡/日</td> </tr> <tr> <td>日最大汚水量</td> <td>442㎡/日</td> <td>222㎡/日</td> </tr> <tr> <td>放流水質(計画)</td> <td>BOD20mg/l S S 30mg/l</td> <td>BOD20mg/l S S 30mg/l</td> </tr> <tr> <td>放流水質(実績)</td> <td>BOD 7mg/l S S 17mg/l</td> <td>BOD 5mg/l S S 15mg/l</td> </tr> <tr> <td>放 流 先</td> <td>準用河川 赤川</td> <td>通 堰</td> </tr> </tbody> </table> <p>公共下水道への接続状況 (単位：戸)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>4月</th> <th>5月</th> <th>6月</th> <th>7月</th> <th>8月</th> <th>9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>接 続</td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>累 計</td> <td>578</td> <td>578</td> <td>579</td> <td>579</td> <td>579</td> <td>579</td> <td>579</td> <td>579</td> <td>579</td> <td>579</td> <td>579</td> <td>579</td> <td>579</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 活動指標の推移</p> <p>接続率の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>平成15年度末</th> <th>平成16年度末</th> <th>平成17年度末</th> <th>平成18年度末</th> <th>平成19年度末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>91.8%</td> <td>92.5%</td> <td>93.3%</td> <td>93.8%</td> <td>93.4%</td> </tr> </tbody> </table>										区 分	北 部	雁 中	事 業 名	農業集落排水事業	農業集落排水事業	地 区 名	北 部	雁 中	世帯数(計画)	410戸	192戸	世帯数(現在)	411戸	209戸	人 口(計画)	1,930人	886人	人 口(現在)	1,588人	789人	供用開始日	昭和63年3月1日	昭和63年3月1日	供用人口	1,588人	781人	供 用 率	100.0%	99.0%	処 理 方 式	J A R U S - III	J A R U S - I	管 種	V U 管	V U 管	管 径	150mm～350mm	150mm～200mm	管 路 延 長	L = 10,600m	L = 5,870m	中継ポンプ	2箇所	—	処理施設敷地面積	1,355㎡	995㎡	計画日平均汚水量	521㎡/日	239㎡/日	日最大汚水量	442㎡/日	222㎡/日	放流水質(計画)	BOD20mg/l S S 30mg/l	BOD20mg/l S S 30mg/l	放流水質(実績)	BOD 7mg/l S S 17mg/l	BOD 5mg/l S S 15mg/l	放 流 先	準用河川 赤川	通 堰	区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	接 続	1		1										2	累 計	578	578	579	579	579	579	579	579	579	579	579	579	579	平成15年度末	平成16年度末	平成17年度末	平成18年度末	平成19年度末	91.8%	92.5%	93.3%	93.8%	93.4%
区 分	北 部	雁 中																																																																																																																															
事 業 名	農業集落排水事業	農業集落排水事業																																																																																																																															
地 区 名	北 部	雁 中																																																																																																																															
世帯数(計画)	410戸	192戸																																																																																																																															
世帯数(現在)	411戸	209戸																																																																																																																															
人 口(計画)	1,930人	886人																																																																																																																															
人 口(現在)	1,588人	789人																																																																																																																															
供用開始日	昭和63年3月1日	昭和63年3月1日																																																																																																																															
供用人口	1,588人	781人																																																																																																																															
供 用 率	100.0%	99.0%																																																																																																																															
処 理 方 式	J A R U S - III	J A R U S - I																																																																																																																															
管 種	V U 管	V U 管																																																																																																																															
管 径	150mm～350mm	150mm～200mm																																																																																																																															
管 路 延 長	L = 10,600m	L = 5,870m																																																																																																																															
中継ポンプ	2箇所	—																																																																																																																															
処理施設敷地面積	1,355㎡	995㎡																																																																																																																															
計画日平均汚水量	521㎡/日	239㎡/日																																																																																																																															
日最大汚水量	442㎡/日	222㎡/日																																																																																																																															
放流水質(計画)	BOD20mg/l S S 30mg/l	BOD20mg/l S S 30mg/l																																																																																																																															
放流水質(実績)	BOD 7mg/l S S 17mg/l	BOD 5mg/l S S 15mg/l																																																																																																																															
放 流 先	準用河川 赤川	通 堰																																																																																																																															
区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計																																																																																																																				
接 続	1		1										2																																																																																																																				
累 計	578	578	579	579	579	579	579	579	579	579	579	579	579																																																																																																																				
平成15年度末	平成16年度末	平成17年度末	平成18年度末	平成19年度末																																																																																																																													
91.8%	92.5%	93.3%	93.8%	93.4%																																																																																																																													
1			総務管理費	12,414,727	<p style="text-align: center;"><b>農業集落排水施設の維持管理(建設水道グループ)</b></p> <p>下水道施設の機能を維持するため管渠マンホールの清掃、修繕及びマンホールポンプ及び処理場の点検、修繕を行いました。</p>																																																																																																																												
1			一般管理費	12,414,727																																																																																																																													
2			維持管理費	19,694,639	<p style="text-align: center;"><b>農業集落排水施設の維持管理(建設水道グループ)</b></p> <p>下水道施設の機能を維持するため管渠マンホールの清掃、修繕及びマンホールポンプ及び処理場の点検、修繕を行いました。</p>																																																																																																																												
1			施設管理費	19,694,639																																																																																																																													

(1) 主な支出

- ・ 処理施設の修繕 167万円
- ・ 処理場管理保守点検の委託 935万円
- ・ 管の清掃委託 63万円

(2) 活動指標

- ・ 処理施設の修繕 脱水機・混合機・破砕機改修一式
- ・ 処理場運転管理 週2～3日

供用開始から20年を経過しようとしており、平成9年度には機能強化事業も行いました。施設のオーバーホールも必要と思われませんが、日頃の運転管理及び点検による破損箇所の早期発見修繕等に対応し経費節減を図っています。

- ・ 管渠清掃業務 L=2,300m (L…延長)

定期的な清掃を行うことにより、施設の機能維持、破損箇所等の早期発見ができ迅速な対応ができています。

3	集落排水事業建設費	2,929,500
1	集落排水事業建設費	2,929,500

**舗装の本復旧(砂川地区)(建設水道グループ)**

砂川地区(国道403号)の污水管布設に伴い舗装本復旧工事を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 砂川地区舗装本復旧工事 293万円

(2) 活動指標

- ・ 砂川地区舗装本復旧工事 L=110m (L…延長)

2	公債費	14,004,159
1	公債費	14,004,159
1	元金	8,749,946
2	利子	5,254,213

決算事項別明細書 P114～

**農業集落排水施設の借金の返済(建設水道グループ)**

下水道施設を建設するために借りたお金の返済を行いました。

(1) 主な支出

- ・ 元金の返済 875万円
- ・ 利子の支払い 525万円

(2) 活動指標

(単位：万円)

償還金額			未償還元金 (平成19年度末現在高)
元金	利子	計	
875	525	1,400	15,394

(3) 活動指標の推移

- ・ 起債残高の推移 (単位：万円)

平成15年度末	平成16年度末	平成17年度末	平成18年度末	平成19年度末
14,888	14,177	14,299	15,190	15,394



## 6. 会計別決算概要

### IX 水道事業会計

#### (営業)

平成 20 年 3 月 31 日現在の給水人口は、11,667 人で普及率は 99.9%となりました。

給水戸数は 3,510 戸で、平成 18 年度と比較して給水人口は 86 人減少、給水戸数は 23 戸増加しました。

給水量は需要期である 7 月は冷夏で梅雨明けも遅くなり、雨が多く日照不足となったことなど年間を通じて減少したため 1,297,709 m<sup>3</sup>となり、平成 18 年度 (1,341,155 m<sup>3</sup>) と比較して 3.2%の減となりました。

給水収益を有収水量で除した給水単価は、159 円 30 銭で前年度対比 37 銭の増、総費用を有収水量で除した給水原価は 135 円 55 銭で前年度対比 1 円 7 銭の減となりました。

#### (建設改良)

平成 19 年度の建設改良工事の総事業費は 13,487,565 円 (消費税込み) で、林、押羽地区で配水管布設替 480.1mを行いました。また、中松水源送水予備ポンプを購入しました。

#### (経理)

平成 19 年度の収益的収支は、事業収益 212,304,695 円 (消費税抜き) に対し、事業費用 175,902,204 円 (消費税抜き) で、36,402,491 円の利益を生じました。

事業収益の内、給水収益は 206,724,445 円で、前年度対比 3% (213,146,880 円) の減、受託工事収益は無く、その他営業収益等は 5,580,250 円で前年度対比 35% (4,120,078 円) の増でありました。事業費用の内、営業費用は 126,296,578 円で前年度比 3% (130,462,388 円) の減、営業外費用は 49,605,626 円で 6% (52,760,157 円) の減となりました。

資本的収支は、収入 3,958,500 円 (消費税込み) に対し、支出 141,539,096 円 (消費税込み) で、不足する額 137,580,596 円は減債積立金 90,000,000 円、過年度分損益勘定留保資金 47,074,346 円、当年度分消費税資本的収支調整額 506,250 円で補てんしました。

資本的収入は、水道事業負担金が 3,958,500 円で前年度対比 45.8% (7,297,500 円) の減でありました。資本的支出の内、建設改良費は 14,694,550 円で 1.01 倍 (14,609,665 円)、企業債償還金は 126,844,546 円で前年度比 104% (62,093,787 円) の増となりました。

主要な施策の成果は、次のとおりです。

## 平成19年度 水道事業会計決算の状況

### 1. 収益的収入及び支出

【収入】 (単位：千円)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
第1款 水道事業収益	217,743	222,665	4,922	うち仮受消費税 10,359
第1項 営業収益	215,617	218,800	3,183	うち仮受消費税 10,327
第2項 営業外収益	2,126	3,865	1,739	うち仮受消費税 32

【支出】 (単位：千円)

区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額	備 考
第1款 水道事業費用	201,540	185,750	15,790	うち仮払消費税 2,164
第1項 営業費用	143,154	128,461	14,693	うち仮払消費税 2,164
第2項 営業外費用	57,386	57,289	97	うち仮払消費税 0
第3項 予 備 費	1,000		1,000	

### 2. 資本的収入及び支出

【収入】 (単位：千円)

区 分	予 算 額	決 算 額	予算額に比べ 決算額の増減	備 考
第1款 資本的収入	2,362	3,959	1,597	うち仮受消費税 189
第1項 負 担 金	2,362	3,959	1,597	うち仮受消費税 189

【支出】 (単位：千円)

区 分	予 算 額	決 算 額	不 用 額	備 考
第1款 資本的支出	149,763	141,539	8,224	うち仮払消費税 695
第1項 建設改良費	22,917	14,695	8,222	うち仮払消費税 695
第2項 企業債償還金	126,846	126,844	2	

※ 資本的収入額が資本的支出額に不足する額 137,580千円は、減債積立金90,000千円、過年度分損益勘定留保資金 47,074千円、当年度分消費税資本的収支調整額 506千円で補てんしました。

款	項目	款項目名	決算額（円）	主要な施策の成果説明及び実績	
1		水道事業費用	185,750,059		
1		営業費用	128,460,764		
2		営業外費用	57,289,295		
3		予備費	0		
<b>水道事業費用</b>					
(1) 職員数 総括参事 1人、グループリーダー 1人、主査1人 (0.5人分は農業集落排水事業特会で措置)					
(2) 給水					
		計画給水人口	14,700人	現在給水人口	11,667
(3) 業務					
		配水能力	8,400m <sup>3</sup> /日	有収水量	1,298千m <sup>3</sup> /年
(4) 料金					
		基本料金 (13mm 1ヶ月、消費税含む)	987円		
		10m <sup>3</sup> 当り料金 (基本料金含む1ヶ月、消費税含む)	1,318円		
(5) 施設					
		水源数	5箇所	浄水施設数	2箇所
		消火栓数	411基	導配送水管延長	85,790m
		配水池	3箇所		
<b>水道事業の運営</b>					
人件費、営業経費等水道事業を運営していくための経費です。					
(1) 主な支出					
		・ポンプの動力費	1,904万円		
		・配水管などの修繕	356万円		
		・電算システム賃借料など	444万円		
		・検針業務の委託	193万円		
		・職員人件費	2,269万円		
		・その他経費	1,194万円		
(2) 活動指標					
		・深井戸ポンプ動力費	4カ所	送水ポンプ動力費	3カ所
		・水道料金・企業会計システム賃借			
		・検針業務委託者数	個人6人	シルバー人材センターへ委託	
<b>水道施設の減価償却</b>					
水道施設の減価償却を行いました。					
(1) 主な支出					
		・有形固定資産減価償却費	5,479万円		
		・有形固定資産除却費	108万円		
<b>水道施設の維持管理</b>					
安全な水を安定して供給できるよう、水道施設の適正な維持管理、水質の検査を行い水道水の安全を確認しました。					
(1) 主な支出					
		・水道施設の維持管理	1,597万円		
		・水道水質検査	74万円		

(2) 活動指標

- ・ 高圧受電盤保安業務
- ・ 雁田浄水場浄水設備点検
- ・ 雁田浄水場消石灰注入設備点検
- ・ 水道施設保守点検
- ・ 水道施設草刈り委託
- ・ 検満量水器交換業務
- ・ 高区配水池水位計交換

(3) 活動指標の推移

・ 平成20年3月4日付の水質調査結果

項目	p h 値	塩化物イオン	有機物の量	一般細菌	大腸菌	臭気	味	色度	濁度
基準値	5.8以上8.6以下	200mg/1以下	5mg/1以下	100CFU/以下	検出されないこと	異常でないこと	異常でないこと	5度以下	2度以下
調査結果	6.9	22.9	0.2	0	検出なし	異臭なし	異味なし	0.5度未満	0.1度未満

**水道施設の借金の返済[企業債利息] (建設水道グループ)**

水道管や水道施設を建設するために借りたお金を返済しました。

(1) 主な支出

- ・ 利子の支払い 4,957 万円

2	資本的支出	141,539,096
1	建設改良費	14,694,550
2	企業債償還金	126,844,546

**林地区上水道配水管の取り換え(建設水道グループ)**

下水道雨水幹線工事と合わせて老朽配水管の取り換えを行いました。

(1) 主な支出

- ・ 取り換え工事 317 万円

(2) 活動指標

- ・ 林地区(その1) 工事 Φ100mm L=89.5m
- ・ 林地区(その2) 工事 Φ100mm L=94.1m
- ・ 林地区(その3) 工事 Φ100mm L=36.4m

雨水幹線工事と合わせて布設することにより、効率的に耐応年数を過ぎた老朽管の取り換えを行うことができました。老朽管の取替え工事については、他の事業と合わせて実施するなどして効率的に進めていきます。

**押羽地区上水道配水管の取り換え(建設水道グループ)**

押羽地区の老朽配水管の取り換えを行いました。

(1) 主な支出

- ・ 取り換え工事等 645 万円

(2) 活動指標

- ・ 押羽地区工事 Φ100mm L=260.1m

耐震化も兼ね耐用年数を過ぎた老朽管の取り換えを行うことができました。

#### 水道施設の借金の返済[元金の返済](建設水道グループ)

水道管や水道施設を建設するために借りたお金を返済しました。

(1) 主な支出

- ・ 元金の返済 1億2,684万円 (うち公的資金繰上償還分6,264万円)

#### 予備ポンプの購入など(建設水道グループ)

古くなった量水器や新設に伴う量水器を購入しました。

(1) 主な支出

- ・ 量水器の購入 121万円
- ・ 中松水源送水予備ポンプ購入 321万円
- ・ 軽貨物自動車の購入 66万円

(2) 活動指標

- ・ 計量法によるメーターの取替え 467個

## 7. 第四次総合計画・後期基本計画評価指標の達成度

政策	施策の方向	評価指標	現況値		平成19年度	目標値	
			値	年度	値	値	年度
ゆったり歩ける歩行者空間の創出	人にやさしい道の整備	町営松村駐車場利用者の町内滞在平均時間(休日、普通車)	1時間48分	H16	/	2時間	H22
	和める小路の整備						
循環型社会の形成と環境保全の推進	地球環境の保全	公害に関する苦情件数	24件	H16	26件	0件	H22
	ごみの適正処理の推進	可燃ごみ年間排出量	2,616t	H16	2,180t	1,831t	H22
		資源物排出量	559t	H16	781t	727t	H22
し尿処理対策	下水道接続率	87.2%	H16	90.1%	95%	H22	
整理整頓された美しいまちの形成	環境美化の推進	狂犬病予防注射未実施犬数	11頭	H16	15頭	0頭	H22
		環境美化運動の日参加者数	4,537人	H16	4,704人	7,000人	H22
汚水・雨水排水の推進	公共下水道の整備促進	下水道接続率	87.2%	H16	90.1%	95%	H22
防災機能の強化と危機管理体制の整備	防災対策の推進と意識の高揚	総合防災訓練参加者数	1,000人	過去平均	958人	2,000人	H22
防火・救急体制の充実	火災予防対策の充実	火災発生件数(建物、車両、その他)	6件	H16	6件	0件	H22
防犯活動の推進	防犯体制の強化	犯罪に対する安全さや風紀のよさに対する町民の満足度(町民アンケートで「満足」「やや満足」と答えた人の割合)	46%	H17	/	66%	H22
交通安全の推進	交通安全対策の強化	町内交通事故発生件数	51件	H16	59件	25件	H22
		交通死亡事故発生件数	1件	H16	0件	0件	H22
		シートベルト着用率	85.6%	H16	97.7%(平均96.1%)	県下平均	H22
消費生活の安定	消費者の自立支援の充実	消費生活相談件数	60件	H16	15件	0件	H22
家庭における子育て環境の整備	子どもの健やかな成長支援	妊婦検診受診率	前期98.7% 後期94.9%	H16	前期98.0% 後期100%	100%	H22
		赤ちゃん訪問(第1子)	75%	H16	90%	95%	H22
		乳幼児健診受診率	91.2%	H16	91.6%	95%	H22
子育てと仕事の両立のための環境整備	保育サービスの充実	12時間保育実施園数 11時間半保育実施園数	なし	なし	なし	1園	H20
		特定保育実施園数	なし	なし	2園	2園	H20
		休日保育実施園数	なし	なし	なし	1園(エンゼルランド)	H20
	子育て支援サービスの充実	エンゼルランドセンター事業への父親参加組数	7組	H17	33組	15組 30組	H18 H19
	子ども・青少年の育つ環境の整備	ファミリーサポートセンター登録人数	なし	なし	48人	50人 100人	H18 H22
子育て支援ネットワークの構築	子育てサポーター	なし	なし	24人	20人	H18	
健康づくりの推進	生涯を通じた健康の保持・増進	基本健診受診率(※)	36.6%	H16	41.4%	65%	H24
		健康相談利用者数	161件	H16	236件	250件	H22
保健・医療の充実	予防・衛生の充実	個別保健指導者数(※)	なし	なし	なし	40%	H24
地域ぐるみの福祉の推進	福祉ボランティアの育成と人材の確保	ボランティア登録団体数	15団体	H16	24団体	50団体	H22
高齢者福祉の充実	介護予防と自立支援	脳のリフレッシュ教室(自主活動)実施箇所数	5カ所	H17	8カ所	10カ所	H22
		お茶のみサロン実施箇所	4カ所	H17	3カ所	10カ所	H22
障害者の自立と社会参加の推進	障害者の自立支援	一般就労への移行(共同作業所)	0人	H16	0人	5人	H18~22
社会保険(保障)制度の充実	国民健康保険・老人保健の充実	一人あたり医療費(一般国保)	189,245円	H16	170,102円	200,800円	H22

政策	施策の方向	評価指標	現況値		平成19年度	目標値	
			値	年度	値	値	年度
多彩な学習と交流の推進	生涯学習活動の推進	公民館事業など教養を高める機会に対する町民の満足度(町民アンケートで「満足」「やや満足」と答えた人の割合)	25%	H17		50%	H22
	総合的な学習・情報拠点の整備	ブックスタート	年間出生数の83%	H16	年間出生数の85%	年間出生数の95%	H22
開架図書数		34,316冊	H16	36,824冊	80,000冊	H22	
持続的な小布施農業の振興	都市農村交流の促進	遊休荒廃農地面積(農業委員会調査面積)	14.3ha	H16	13.7ha	15ha	H22
水と緑に彩られた生活空間の整備	公園管理の充実	公園・広場・子どもの遊び場に対する町民の満足度(町民アンケートで「満足」「やや満足」と答えた人の割合)	45%	H17		50%	H22
郷土の自然環境の保全	郷土の自然環境の保全	緑の豊かさや自然環境に対する町民の満足度(町民アンケートで「満足」「やや満足」と答えた人の割合)	69%	H17		75%	H22
町政への町民参加の推進	町民参加機会の拡充	町政への町民の関心度(町民アンケートで「関心がある」「やや関心がある」と答えた人の割合)	69.1%	H17		75%	H22
町民との情報の共有化の推進	情報の公開と共有化の推進	ホームページアクセス数	15,000件	H17	14,800件	30,000件	H22
		メール配信サービス読者数(上:生活情報、下:観光情報)	250人 650人	H17	267人 333人	500人 1,300人	H22
		情報公開など広報・広聴に対する町民の満足度(町民アンケートで「満足」「やや満足」と答えた人の割合)	32%	H17		50%	H22
国際感覚の育成と異文化交流の推進	国際交流・国際教育の充実	国際交流に対する町民の満足度(町民アンケートで「満足」「やや満足」と答えた人の割合)	17%	H17		33%	H22
町民に親しまれる町政と行政改革の推進	役場組織の機能の強化・充実	役場窓口での対応に対する町民の満足度(町民アンケートで「満足」「やや満足」と答えた人の割合)	38%	H17		75%	H22
効率的で安定した行政運営の推進	財政基盤の充実	町税徴収率	97.7%	H16	95.7%	98%	H22
		適正な財政運営	財政調整基金残高	4.9億円	H16	6.6億円	2.4億円
	普通会計町債残高		60.8億円	H16	52億円	48.0億円	H22

※国による目標年が設定されたため、目標値と目標年度を変更しています